

施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
	危機管理棟 改修工事			危機管理棟 改修工事			危機管理棟 改修工事			既存車庫 解体工事	
00	表紙・目録	—	A-31	改修前 展開図 1	1/50	E-01	電気設備工事 特記仕様書	—	K-00-01	解体工事特記仕様書	—
A-01-01	建築改修工事特記仕様書(1)	—	A-32	改修前 展開図 2	1/50	E-02	配置図	1/300	K-01	配置図・付近見取図	図示
A-01-02	建築改修工事特記仕様書(2)	—	A-33	改修前 展開図 3	1/50	E-03	既設撤去キュービクル 結線図・姿図	—	K-02	平面図、立面図、断面図、基礎伏図、詳細図 仕上表、廊柱表、屋根表	図示
A-01-03	建築改修工事特記仕様書(3)	—	A-34	改修前 展開図 4	1/50	E-04	新設キュービクル 結線図・姿図	—	KE-01	幹線・動力・電灯コンセント設備 撤去図	1/100
A-01-04	建築改修工事特記仕様書(4)	—	A-35	改修前 展開図 5	1/50	E-05	分電盤 結線図(1)	—			
A-01-05	建築改修工事特記仕様書(5)	—	A-36	改修後 展開図 1	1/50	E-06	分電盤 結線図(2)	—			
A-02	仕上表(1)	—	A-37	改修後 展開図 2	1/50	E-07	分電盤 結線図(3)	—		新設車庫 新築工事	
A-03	仕上表(2)	—	A-38	改修後 展開図 3	1/50	E-08	照明器具 参考姿図	—	G-00-01	新築工事特記仕様書 1	—
A-04	仕上表(3)	—	A-39	改修後 展開図 4	1/50	E-09	改修前・改修後 1階 幹線・空調電源・電動水栓配線 設備図	1/100	G-00-02	新築工事特記仕様書 2	—
A-05	面積表及び求積図	1/200	A-40	改修後 展開図 5	1/50	E-10	改修前・改修後 2階 幹線・空調電源・電動水栓配線 設備図	1/100	G-00-03	新築工事特記仕様書 3	—
A-06	配置図	1/300	A-41	各室 木床組み伏図	1/50	E-11	改修前・改修後 3階 幹線・空調電源・電動水栓配線 設備図	1/100	G-00-04	新築工事特記仕様書 4	—
A-07	改修前・改修後 1階平面図	1/100	A-42	改修前・改修後 1階家具キープラン	1/100	E-12	改修前・改修後 1階 電灯 設備図	1/100	G-00-05	新築工事特記仕様書 5	—
A-08	改修前・改修後 2階平面図	1/100	A-43	改修前・改修後 2階家具キープラン	1/100	E-13	改修前・改修後 2階 電灯 設備図	1/100	G-00-06	新築工事特記仕様書 6	—
A-09	改修前・改修後 3階平面図	1/100	A-44	改修前・改修後 3階家具キープラン	1/100	E-14	改修前・改修後 3階 電灯 設備図	1/100	G-01	配線図、付近見取図 敷地表示図、電気基礎詳細図	図示
A-10	改修前・改修後 屋根伏図	1/100	A-45	改修家具表	1/30	E-15	改修前・改修後 1階 非常照明 設備図	1/100	G-02	平面図、立面図、断面図、基礎伏図、詳細図 仕上表、廊柱表、屋根表	図示
A-11	屋根改修参考断面図	1/8				E-16	改修前・改修後 2階 非常照明 設備図	1/100	S-01	構造関係特記仕様書 1	—
A-12-1	改修前 立面図	1/100	参考-01	矩計図 1	1/30	E-17	改修前・改修後 3階 非常照明 設備図	1/100	S-02	構造関係特記仕様書 2	—
A-12-2	改修後 立面図	1/100	参考-02	矩計図 2	1/30	E-18	改修前・改修後 1階 コンセント・電熱 設備図	1/100	S-03	配筋標準図 1	—
A-13-1	改修前 断面図	1/100	参考-03	階段詳細図	1/30	E-19	改修前・改修後 2階 コンセント・電熱 設備図	1/100	S-04	配筋標準図 2	—
A-13-2	改修後 断面図	1/100	参考-04	詳細図 1	図示	E-20	改修前・改修後 3階 コンセント・電熱 設備図	1/100	S-05	配筋標準図 3	—
A-14	改修前 1階平面詳細図	1/50	参考-05	詳細図 2	1/30	E-21	改修前・改修後 1階 構内情報通信網 設備図	1/100	S-06	配筋標準図 4	—
A-15	改修前 2階平面詳細図	1/50	参考-06	渡り廊下 既存建物改修 各図	図示	E-22	改修前・改修後 2階 構内情報通信網 設備図	1/100	S-07	配筋標準図 5	—
A-16	改修前 3階平面詳細図	1/50	参考-07	杭・基礎伏図、土質柱状図	1/100	E-23	改修前・改修後 3階 構内情報通信網 設備図	1/100	S-08	鉄骨標準図 1	—
A-17	改修後 1階平面詳細図	1/50	参考-08	床・梁伏図 1	1/100	E-24	改修前・改修後 1階 構内交換 設備図	1/100	S-09	鉄骨標準図 2	—
A-18	改修後 2階平面詳細図	1/50	参考-09	床・梁伏図 2	1/100	E-25	改修前・改修後 2階 構内交換 設備図	1/100	S-10	鉄骨標準図 3	—
A-19	改修後 3階平面詳細図	1/50	参考-10	軸組図 1	1/100	E-26	改修前・改修後 3階 構内交換 設備図	1/100	S-11	ソールセメントコラム地業特記仕様書	—
A-20	改修前 天井伏図	1/100	参考-11	軸組図 2	1/100	E-27	改修前・改修後 1階 テレビ共用受電・放送・インターホン 設備図	1/100	S-12	基礎伏図・基礎断面リスト・地中梁断面図	図示
A-21	改修後 天井伏図	1/100	参考-12	基礎・梁断面リスト、ビット配筋図	1/30	E-28	改修前・改修後 2階 テレビ共用受電・放送 設備図	1/100	S-13	小屋伏図・軸組図・鉄骨リスト	1/100
A-22	改修前・改修後 1階キープラン	1/100	参考-13	柱断面リスト 1	図示	E-29	改修前・改修後 3階 テレビ共用受電・放送 設備図	1/100	S-14	鉄骨詳細図・継手リスト	図示
A-23	改修前・改修後 2階キープラン	1/100	参考-14	柱断面リスト 2	図示	E-30	改修前・改修後 1階 自動火災報知・防排烟 設備図	1/100	GE-01	電気設備工事 特記仕様書	—
A-24	改修前・改修後 3階キープラン	1/100	参考-15	梁断面リスト	1/30	E-31	改修前・改修後 2階 自動火災報知・防排烟 設備図	1/100	GE-02	分電盤 結線図・照明器具 参考姿図	—
A-25	改修前 建具表 1	1/50	参考-16	床・壁断面リスト、階段配筋図	1/30	E-32	改修前・改修後 3階 自動火災報知・防排烟 設備図	1/100	GE-03	幹線・動力・電灯コンセント設備 配線図	1/100
A-26	改修前 建具表 2	1/50	参考-17	架構詳細図	1/30				GM-01	機械設備工事特記仕様書	—
A-27	改修前 建具表 3	1/50				M-01	機械設備改修工事特記仕様書 1	—	GM-02	空調・衛生平面図	1/100
A-28	改修後 建具表 1	1/50				M-02	機械設備改修工事特記仕様書 2	—			
A-29	改修後 建具表 2	1/50				M-03	空調設備 機器表	—			
A-30	改修後 建具表 3	1/50				M-04	空調設備 改修前平面図	1/100			
						M-05	空調設備 改修後平面図	1/100			
						M-06	衛生設備平面図 器具表・機器表	1/200			
						M-07	衛生設備 改修前詳細図	1/50			
						M-08	衛生設備 改修後詳細図	1/50			

9-1

環境配慮改修工事

①

石綿含有建材の除去工事

[9.1.1~9.1.6]

石綿粉じん濃度測定

○適用する　・適用しない

測定時期・場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点
			(各施工箇所ごと)	
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計点
・	測定2		調査対象室外部の付近	・計点
・	測定3		処理作業室内	・計点
・	測定4		セキュリティゾーン入口	・計点
・	測定5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口 (処理作業室以外の場合)	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・計点
○	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺○敷地境界	○計4点
・	測定7	処理作業後(○+養生中)	処理作業室内	・計点
・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	・計点
・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計点

測定方法

・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定
・測定5	

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(l/min)	試料の吸引時間(min)
・測定4・測定5	25	5	30
・測定	47	10	120
・測定	47	10	240
・測定			

石綿含有建材の処理

・石綿含有収付材の除去

除去対象範囲　・図示

除去工法　※9.1.3(2)(ア)による

除去した石綿含有収付材等の飛散防止処置

※湿潤化　・固形化

除去した石綿含有収付材等の処分

・埋立処分(管理型最終処分場)

・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有保温材の除去

除去対象範囲　・図示

除去方法　・破砕して除去　・手ばらし

除去した石綿含有保温材等の飛散防止

※湿潤化　・固形化

除去した石綿含有保温材等の処分

・埋立処分(管理型最終処分場)

・中間処理(溶融施設)

○石綿含有成形板等の除去

除去対象範囲　○図示

作業場周辺の養生

○行う　○養生シート　・

・行わない

除去した石綿含有成形板等の処分

・石綿含有せっこうボード

※埋立処分(管理型最終処分場)

○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等

○埋立処分(管理型最終処分場)

・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

○石綿含有仕上げ塗材の除去

除去対象範囲　○図示

石綿含有仕上げ塗材の除去工法

○電気グラインダー工法　○湿潤化　・

○高圧洗浄工法

○剥離工法

除去した石綿含有仕上げ塗材(汚泥)の処理

○埋立処分(管理型最終処分場)

○石綿含有建材除去後の仕上げ工事

※図示による　・

[9.2.2~4]

2. 外断熱改修工事

断熱材

種 類	厚 さ (mm)
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキャン層なし)	・
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・
・ フェノールフォーム断熱材	・
・	・
・ ロックウール	・
・ グラスウール	・
・	・

施工箇所　・図示　・

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外

外装材

種 類	防火性能	備考
・		
・		

既存外壁の措置

既存外壁仕上げ材の撤去　・あり　・なし

下地面の清掃　・行う　・行わない

欠損部の改修工法　・改修標準仕様書4章 外壁改修工事による　・

工法

不陸等の下地調整　・外装材製造所の仕様による　・

通気層の有無　・あり(　mm)　・なし

断熱材の施工　・断熱材製造所の仕様による　・

外装材の施工　・外装材製造所の仕様による　・

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法　・図示による　・

9-2

環境配慮改修工事

3. 断熱・防露改修工事

改修工事

[9.3.2~4]

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆

・断熱材打込み工法

種 類	厚 さ (mm)
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキャン層なし)	・
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・
・ フェノールフォーム断熱材	・

施工箇所　・図示　・

断熱材現場発泡工法

断熱材の種類 (JIS A 9526 建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム)

・ A種1　・ A種1H

厚さ (mm)　・ 25　・ 30　・

施工箇所　・図示　・

断熱材後張り工法

断熱材の種類 (JIS A 9521 発泡プラスチック断熱材)

・ (　　)

厚さ (mm)　・

施工箇所　・図示　・

断熱材に直接ボードの張付けを行う場合の工法

・図示による　・

断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネルを使用する場合の工法

・図示による　・

4. 屋上緑化改修工事

工事

[9.4.1~4]

植栽基礎及び材料

屋上緑化軽量システム　・適用する　・適用しない

芝及び地被類の樹種並びに種類等　※図示　・

見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※図示　・

(品質・性能)

項 目	性 能
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、 植え込み用土を流出させない構造であること。
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み 土壌を支え、流出しない構造をもつこと。
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m ² /h以上
耐荷重性能	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 ³ N/m ² の載荷重で破壊・有害なひずみなど異常がないこと。(保水層を有する場合は保水層共)
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い 植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食 性及び耐久性のあるものであること。
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、 かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものである こと。但し、耐根層がこれと同等の性能を有するものと 認められる場合は省略することができるものとする。

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

・図示による

かん水装置　・設置する　・

(種類　・)

既存保護層の撤去　・行う(・改修標準仕様書3.2.3による　・)

・行わない

新植した芝及び地被類の枯保期間　※引渡の日から1年

5. 透水性アスファルト舗装改修工事

舗装改修工事

[9.5.2~9]

既存舗装の撤去及び再利用　※図示による　・

路床

種 別	材 料	厚 さ (mm)
・ 盛土	・ A種　・ B種　・ C種　・ D種	・ 図示
・ 凍上抑制層	・ 建設汚泥から再生した処理土G　・ クラッシュラン切込み砂利　・ 砂	・ 図示
・ フィルター層	・ 砂	・ 図示
・	・	・

路床安定処理　・適用する　・適用しない

路床安定処理の方法

・添加材料による安定処理　・

・路床安定処理用添加材料

種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントB種G

・フライアッシュセメントB種

・生石灰(・特号　・1号)　・消石灰(・特号　・1号)

添加量　kg(目標QBR　・3以上　・)

目標C B Rを満足する添加量の確認方法

・安定処理土のC B R試験

試験

砂の粒度試験　・行う　・行わない

路床土の支持力比(C B R)試験　・行う　・行わない

現場C B R試験　・行う　・行わない

路床締固め試験　・行う　・行わない

路盤

路盤の厚さ　・図示による　・

路盤材料

	種 類
砕石	・ クラッシュラン
	・ 粒度調整砕石
再生材	・ 再生クラッシュランG
	・ 再生粒度調整砕石G
・ クラッシュラン鉄鋼スラグG	
・ 粒度調整鉄鋼スラグG	
・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグG	

舗装の構成　・図示による

開粒度アスファルト混合物等の抽出試験

・行う　・行わない

舗装の平たん性　※著しい不陸がないもの

設計番号

工 事 名

施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事

検 図

担 当

特 記

図 面 名

建策改修工事特記仕様書(5)

縮 尺

A1:N/S
A3:N/S

図 面 番 号

A-01-05

6

■ 外 部 仕 上 表																			
□：石綿含有みなし建材を示す(Ⅱ'Ⅱ3除去工法：けい酸カルシウム板t=5)																			
【屋 根】				【軒天井】				【外 壁】				【地 覆】		【 庇 】					
既存	木毛セメント板 t=25下地、アスファルトルーフィング22kg品下張り ふっ素樹脂銅板 t=0.4 定尺継手工法 ※ダンツキルーフ182同等(フォームエース裏貼共) 破風・鼻隠し：ボンデ銅板 t=1.6 加工品 耐候性塗料塗り			既存	けい酸カルシウム板 t=5 目透し張り(一部、有孔板) VP塗り ※ニチアスラックス同等			既存	コンクリート打放し補修下地、透湿性弾性タイル吹付 ※ダイヤートシツダンセイタイル同等			既存	コンクリート打放し補修仕上 化粧目地入		既存	防水モルタル下地、塗膜防水 t=1.5 ※アロンコート同等 立上りシーリング 10×10			
改修	既存屋根のうえ、カバー工法 カラーガルバリウム鋼板 t=0.4 段葺き(メーカー専用バックアップ材敷き) 破風・鼻隠し：既存銅板撤去の上、コンパネt=12下地、 カラーガルバリウム鋼板 t=0.4包み 雪止め金具：亜鉛めっきアングル(塗装品) 50×50×4 2段新設			改修	既存仕上撤去、化粧けい酸カルシウム板(塗装品) t=6張り			改修	既存塗膜除去(集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法)、 劣化部補修・下地調整のうえ、防水形複層塗材E吹付 開口部廻り・目地部：シーリング打替え			改修	下地調整のうえ、薄塗りモルタル t=5塗り 金ごて仕上		改修	既存塗膜除去・下地調整のうえ、ウレタンゴム系塗膜防水			
【ポーチ】				【現 寮母室玄関ポーチ】				【断熱材】				【その他】							
既存	パラベット：コンクリート打放し補修下地、透湿性弾性タイル吹付 屋 根：軽量コンクリート t=80、防水モルタル t=30下地 シート防水 ※サンロイドDN-S-13D 同等 縦形ルーフドレン φ100 堅樋 SGP管φ100 SOP塗り 笠 木：アルミ製笠木 W=225 軒天井：シージング石こうボード t=9捨張り ロックウール化粧吸音板 t=12張 ※ミネラボード キューブ軒天同等 床：モルタル下地、150角磁器質タイル貼り ステンレスラインマット(枠共) 500×2,000 その他：施設名称板(ブロンズ) 1,000×300 定礎石(黒御影石) 600×450			既存	パラベット：コンクリート打放し補修下地、透湿性弾性タイル吹付 屋 根：軽量コンクリート t=80、防水モルタル t=30下地 シート防水 ※サンロイドDN-S-13D 同等 縦形ルーフドレン φ75 堅樋 SGP管φ75 SOP塗り 笠 木：アルミ製笠木 W=225 軒天井：けい酸カルシウム板 t=5、目透し張り VP塗り ※ニチアスラックス同等 床：モルタル下地、100角磁器質タイル貼り			既存	外壁スラブ下：外壁面より900まで、ウレタン吹付 t=25 最上階スラブ下・ポーチ屋根スラブ下：ウレタン吹付 t=25 3階スラブ下：ウレタン吹付 t=25 外壁面：ウレタン吹付 t=25 浴室壁全面・外壁面にてモルタル下地面：木毛セメント板 t=25 断熱サッシ廻り：発泡ウレタンフォーム充填			既存	テラス床：モルタル金ごて仕上、段鼻ノンスリップタイル 外壁換気口：アルミ製丸形フード(網付) φ75 ＜バルコニー＞ 床：防水モルタル t=30下地、塗膜防水 t=1.5 ※アロンコート同等 縦形ルーフドレンφ75 堅樋 SGP管φ75 SOP塗り 巾木：ラス入りモルタル金ごて下地、塗膜防水 ※アロンコート同等 笠木：アルミ製笠木 W=250 手摺：アルミ製 H=1,100 空調機械架台：アングル加工7台アンカーボルト止め 空調配管：銅管			既存	＜靴洗い(玄関前・建物南側)＞ 床：防水モルタル金ごて仕上 壁：コンクリート打放し 錆鉄製グレーチング 1,200×500、600×500 花壇：コンクリート打放し、客土入れ 進入反射ステッカー：3階 7か所 ＜堅樋＞ SGP管 φ100 SOP3		
改修	パラベット：既存塗膜除去、下地調整のうえ、防水形複層塗材E吹付 屋 根：既存防水層撤去、ケレン・清掃のうえ、 合成高分子系ルーフィングシート防水(機械固定工法・塩化ビニル樹脂) 既存ルーフドレン撤去、改修用ドレンφ100新設 堅樋 DP塗り 笠 木：既存笠木撤去、アルミ製笠木W=225新設 軒天井：既存仕上撤去、シージング石こうボード t=12.5下張り ロックウール化粧吸音板(凹凸) t=12張り 床：既存のまま その他：施設名称板 撤去 定礎石 既存のまま			改修	パラベット：既存塗膜除去、下地調整のうえ、防水形複層塗材E吹付 屋 根：既存防水層撤去、ケレン・清掃のうえ、 合成高分子系ルーフィングシート防水(機械固定工法・塩化ビニル樹脂) 既存ルーフドレン撤去、改修用ドレンφ75新設 堅樋 DP塗り 笠 木：既存笠木撤去、アルミ製笠木W=225新設 軒天井：既存仕上撤去、化粧けい酸カルシウム板(塗装品) t=6張り 床：既存のまま			改修	既存のまま			改修	テラス床：劣化部既存仕上撤去、ボリマセメント床塗り金ごて仕上、 新設段鼻ノンスリップタイル張り 外壁換気口：既存フード撤去、ステンレス製丸形フード(網付) φ75新設 ＜バルコニー＞ 床：既存塗膜除去・下地調整のうえ、ウレタンゴム系塗膜防水 既存ルーフドレン撤去、改修用ドレンφ75新設 堅樋 DP塗り 巾木：既存塗膜除去・下地調整のうえ、ウレタンゴム系塗膜防水 笠木：既存のまま 手摺：既存のまま 空調機械架台：撤去(機械設備工事)ののち、7か所11頭の防水パッチ処理 空調配管：引抜き撤去(機械設備工事)ののち、配管穴の防水パッチ処理			改修	＜靴洗い＞ (玄 関 前) 既存のまま ＝(建物南側) 既存のまま＝ 花壇：既存のまま 進入反射ステッカー：3階 7か所 貼り替え ＜堅樋＞ SGP管 φ100 既存下地調整(RB種)の上、DP塗装		

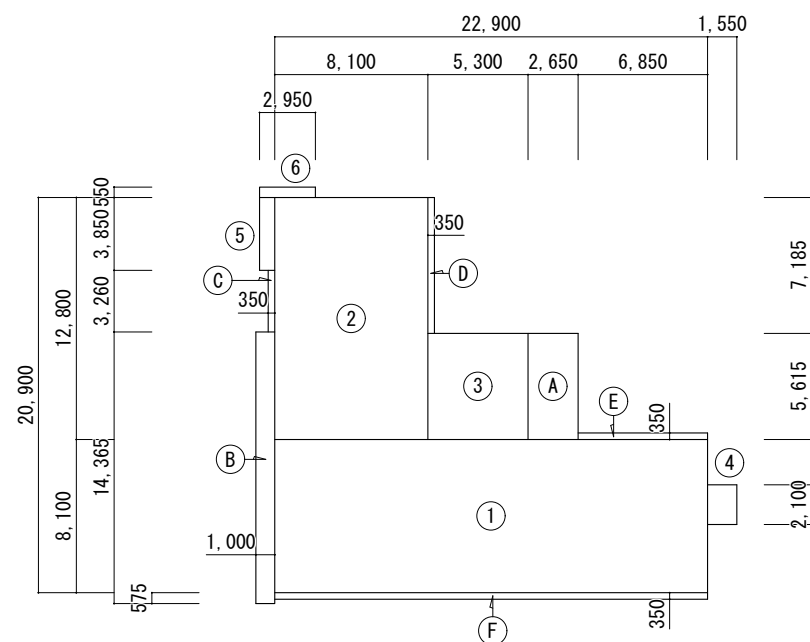
■ 内 部 仕 上 表													
□：石綿含有みなし建材を示す(Ⅱ'Ⅱ1除去工法：ミクライトAP吹付、Ⅱ'Ⅱ3除去工法：フレキシブル板t=5)													
階	改修前室名	種別	床	高さ	幅 木	壁	天 井	廻 縁	天井高	備 考			
1	玄関	既存	モルタル塗下地、150角磁器質タイル貼り	-150	床同材	ジョイントボード t=12(GL工法)張り下地 プレックストーン吹付 一部、コンクリート打放し補修下地 プレックストーン吹付	軽量鉄骨天井下地、プラスターボード t=9捨張り ロックウール化粧吸音板 t=12張 ※ソーラトンキューブ12クロス6T同等 ボーダーW=300 ロックウール化粧吸音板 t=9張り	塩ビ製	2,650				
	玄関	改修	既存のまま	-150	既存のまま	ボード面：既存ボード撤去のうえ PB12.5(GL工法)下地、ビニルクロス貼り RC面：既存塗膜はく離除去、下地調整のうえ ビニルクロス貼り	既存仕上撤去(天井下地共)、 軽量鉄骨天井下地、化粧石こうボード t=9.5張り	塩ビ製	2,650				
	風除室	既存	モルタル金ごて下地、ルーフパイルカーペット 下地フェルト敷き	±0	ソフト幅木 H=100	ジョイントボード t=12(GL工法)張り下地 プレックストーン吹付 一部、コンクリート打放し補修下地 プレックストーン吹付	軽量鉄骨天井下地、プラスターボード t=9捨張り ロックウール化粧吸音板 t=12張 ※ソーラトンキューブ12クロス6T同等 ボーダーW=300 ロックウール化粧吸音板 t=9張り	塩ビ製	2,500	既存のまま：上り框(黒御影石)			
	風除室	改修	既存カーペット撤去、下地調整のうえ 複層ビニル床シート t=2.0貼り	±0	ビニル幅木 H=100	ボード面：既存ボード撤去のうえ PB12.5(GL工法)下地、ビニルクロス貼り RC面：既存塗膜はく離除去、下地調整のうえ ビニルクロス貼り 新設壁：軽量鉄骨壁下地、石こうボード t=12.5張り ビニルクロス貼り	既存仕上撤去(天井下地共)、 軽量鉄骨天井下地、化粧石こうボード t=9.5張り	塩ビ製	2,500				
	下足室	既存	モルタル金ごて下地、ルーフパイルカーペット 下地フェルト敷き	±0	ソフト幅木 H=100	ジョイントボード t=12(GL工法)張り下地 プレックストーン吹付 一部、コンクリート打放し補修下地 プレックストーン吹付	軽量鉄骨天井下地、プラスターボード t=9下地 <u>ミクライトAP吹付</u>	塩ビ製	2,400	撤去：下足入、洗濯物入			
	男子更衣室	改修	既存カーペット撤去、下地調整のうえ 複層ビニル床シート t=2.0貼り	±0	ビニル幅木 H=100	ボード面：既存ボード撤去のうえ PB12.5(GL工法)下地、ビニルクロス貼り RC面：既存塗膜はく離除去、下地調整のうえ ビニルクロス貼り 新設壁：軽量鉄骨壁下地、石こうボード t=12.5張り ビニルクロス貼り	既存塗膜除去(石綿含有)、既存仕上撤去(天井下地共)、 軽量鉄骨天井下地、化粧石こうボード t=9.5張り	塩ビ製	2,500				
	書庫 (旧談話室・食堂・厨房)	既存	モルタル金ごて下地、ビニル床シート t=2.0張り	±0	ソフト幅木 H=100	ジョイントボード t=12(GL工法) 外壁面 コンクリート打放しモルタル薄塗り工法下地 樹脂コートクロス貼り モルタル塗り下地 耐凍害性100角タイル貼り	軽量鉄骨天井下地、石こうボード t=9.5素地仕上	塩ビ製	2,500 2,700～2,950	既存のまま：木製カーテンボックス、カーテンレール(ダブル)、 カーテン(遮光1級)、書棚 撤去：室名札 新設：室名札			
	書庫	改修	既存のまま	±0	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま				
	書庫(旧食品庫)	既存	モルタル金ごて下地、ビニル床シート t=2.0張り	±0	ソフト幅木 H=100	モルタル塗り金ごて仕上	軽量鉄骨天井下地、 <u>フレキシブル板 t=5</u> 目透し張り VP塗り	塩ビ製	2,500	撤去：書棚			
	休養室	改修	既存仕上撤去、下地調整のうえ 複層ビニル床シート t=2.0貼り	±0	ビニル幅木 H=100	既存壁、下地調整のうえ ビニルクロス貼り 新設壁：軽量鉄骨壁下地、石こうボード t=12.5張り ビニルクロス貼り	既存仕上撤去(天井下地共)、 軽量鉄骨天井下地、化粧石こうボード t=9.5張り	塩ビ製	2,400	新設：室名札			
	寮母室1	既存	ころばし床組下地、合板 t=12下張り スタイロ量 t=55 一部、縁甲板 松塗装品 t=12.5張り	+200	畳寄 45×45	木胴縁組下地、ジョイントボード t=12のうえ 砂壁状じゅらく吹付	軽量鉄骨天井下地、化粧石こうボード t=9 目透し張り	木製 30×40	2,400				
	縁側	既存	ころばし床組下地、縁甲板 ケヤキ塗装品 t=12張り	+170	雑巾摺 15×15	木胴縁組下地、ジョイントボード t=12のうえ 砂壁状じゅらく吹付	軽量鉄骨天井下地、化粧石こうボード t=9 目透し張り	木製 30×40	2,430	撤去：木製カーテンボックス、カーテンレール(ダブル)			
	台所	既存	モルタル金ごて下地 天然木化粧複合フローリング t=11 直張り	+170	木製 H=75 SOP塗り	ジョイントボード t=12(GL工法) ビニルクロス貼り 一部、木胴縁組下地	軽量鉄骨天井下地、化粧石こうボード t=9 張り	塩ビ製	2,430	撤去：室名札、流し台L=1800、コンロ台L=600(BL品)、ステンレス水切 吊戸棚 1200×500×370、600×500×370 (タカラBL品同等) ユニットバス (TOTO 1100×1600 フルパネル同等)			
	踏込	既存	モルタル金ごて下地、ルーフパイルカーペット 下地フェルト敷き	±0	ソフト幅木 H=100	ジョイントボード t=12(GL工法) ビニルクロス貼り	軽量鉄骨天井下地、化粧石こうボード t=9 張り	塩ビ製	2,600				
	寮母室2	既存	ころばし床組下地、合板 t=12下張り スタイロ量 t=55	+200	畳寄 45×45	木胴縁組下地、ジョイントボード t=12のうえ 砂壁状じゅらく吹付	軽量鉄骨天井下地、化粧石こうボード t=9 目透し張り	木製 30×40	2,400	撤去：カーテンレール(ダブル)			
	押入	既存	ころばし床組下地、ラワンベニヤ t=12張り	+200	雑巾摺 15×15	木胴縁組下地、ラワンベニヤ t=5.5張り	軽量鉄骨天井下地、押入ボード t=9張り	木製 30×30	2,400	撤去：中棚、枕棚			
		第2制御室	改修	既存仕上撤去(下地共)、一部木床組下地 フリーアクセスフロア(木質材+溶融亜鉛メッキ銅板製) H=50のうえ 帯電防止置敷きビニル床タイル t=5.0 敷込	+205	ビニル幅木 H=100	既存仕上撤去(GL工法) 既存仕上撤去(木胴縁組下地共) 軽量鉄骨壁下地t=50、石こうボード t=12.5張り ビニルクロス貼り	既存仕上撤去(天井下地共)、 軽量鉄骨天井下地、化粧石こうボード t=9.5張り	塩ビ製	2,395	新設：ブラインドボックス、ブラインド、天井点検口450角、室名札 木製上り框		

設計番号	工 事 名				検 査	担 当	特 記		図 面 名		縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事								仕上表 (1)		A1:N/S A3:N/S	A-02

階	改修前室名		種別	床	高さ	幅 木	壁	天 井	廻 縁	天井高	備 考													
	改修後室名																							
1	奈母室 玄関	既存	モルタル下地、100角磁器質タイル貼り モルタル金ごて下地 天然木化粧複合フローリング t=11 直張り	±0 +170	ソフト幅木 H=100	ジョイントボード t=12 (GL工法) ビニルクロス貼り	軽量鉄骨天井下地、化粧石膏ボード t=9 張り	塩ビ製	2,470 2,300	撤去：下足入、木製上り框														
		第 2 制御室 通用口	改修	タイル部は既存のまま 既存仕上撤去、木下地、合板 t=12下地、 複層ビニル床シート t=2.0貼り	±0 +205	ビニル幅木 H=100	既存仕上撤去 (GL工法) 軽量鉄骨壁下地t=50、石膏ボード t=12.5張り ビニルクロス貼り	既存仕上撤去 (天井下地共)、 軽量鉄骨天井下地、化粧石膏ボード t=9.5張り	塩ビ製	2,450 2,300	新設：下足入、木製上り框													
	控室	既存	モルタル金ごて下地、ループバイルカーペット 下地フェルト敷き	±0	ソフト幅木 H=100	ジョイントボード t=12 (GL工法) ビニルクロス貼り	軽量鉄骨天井下地、プラスターボード t=9下地 ウォールコートM吹付	塩ビ製	2,400	既存のまま：木製カーテンボックス (外壁側ボックスのみ) 撤去：木製カーテンボックス、カーテンレール(ダブル)、天井点検口450角、室名札														
	女子更衣室	改修	既存仕上撤去、下地調整のうえ 複層ビニル床シート t=2.0貼り	±0	ビニル幅木 H=100	既存仕上撤去 (GL工法) 軽量鉄骨壁下地t=50、石膏ボード t=12.5張り ビニルクロス貼り	既存塗膜除去、既存仕上撤去 (天井下地共)、 軽量鉄骨天井下地、化粧石膏ボード t=9.5張り	塩ビ製	2,400	新設：アルミ製間仕切壁、天井点検口450角、室名札 ブラインド														
	電気室	既存	モルタル金ごて下地、長尺塩ビシート t=2.5貼り	-200	モルタル金ごて VP塗り H=100	モルタル金ごて下地、シャッタークリート吹付	コンクリート打放し補修下地 ウォールコートM吹付	—	2,770	撤去：室名札														
	電気室	改修	既存のまま	-200	既存のまま	既存のまま	コンクリート下地、既存塗膜除去の上、下地調整、E P 塗装	—	既存のまま	新設：室名札														
	倉庫	既存	モルタル金ごて下地、長尺塩ビシート t=2.5貼り	-200	モルタル金ごて VP塗り H=100	モルタル金ごて下地、シャッタークリート吹付	軽量鉄骨天井下地、プラスターボード t=9下地 ウォールコートM吹付 一部 コンクリート打放し補修下地 ウォールコートM吹付	塩ビ製	2,770・2,820	既存のまま：木製棚 撤去：天井点検口450角、室名札														
	倉庫	改修	既存のまま	-200	既存のまま	既存のまま	既存塗膜除去、既存仕上撤去 (天井下地共)、 軽量鉄骨天井下地、化粧石膏ボード t=9.5張り コンクリート下地、既存塗膜除去の上、下地調整、E P 塗装	塩ビ製	既存のまま	新設：天井点検口450角、室名札														
	男子トイレ	既存	モルタル金ごて下地、長尺塩ビシート t=2.5貼り 沓摺 大理石 t=25	-100	大理石 H=100	モルタル塗下地、耐凍害性100角タイル貼り	軽量鉄骨天井下地、フレキシブル板 t=5 目透し張り VP塗り	塩ビ製	2,300	撤去：膳板 大理石20×120、隔て板、トイレブース、天井点検口450角、 室名札														
	男子トイレ	改修	既存仕上撤去、乾式二重床、合板 t=12下地 複層ビニル床シート t=2.0貼り	±0	ビニル幅木 H=100	既存タイル撤去 (下地共)、シージング石膏ボード t=12.5 (GL工法) 下地 化粧けい酸カルシウム板 t=6 接着貼り	既存仕上撤去 (天井下地共)、 軽量鉄骨天井下地、化粧石膏ボード t=9.5張り	塩ビ製	2,400	既存のまま：床点検口600角 新設：ライニング壁、隔て板、トイレブース、天井点検口450角、 ビクトサイン														
	女子トイレ	既存	モルタル金ごて下地、長尺塩ビシート t=2.5貼り 沓摺 大理石 t=25	-100	大理石 H=100	モルタル塗下地、耐凍害性100角タイル貼り	軽量鉄骨天井下地、フレキシブル板 t=5 目透し張り VP塗り	塩ビ製	2,300	撤去：膳板 大理石20×120、トイレブース、天井点検口450角、室名札														
	給湯室兼洗濯室	改修	既存仕上撤去、乾式二重床、合板 t=12下地 複層ビニル床シート t=2.0貼り	±0	ビニル幅木 H=100	既存タイル撤去 (下地共)、シージング石膏ボード t=12.5 (GL工法) 下地 化粧けい酸カルシウム板 t=6 接着貼り 既存 R C 壁一部撤去、軽量鉄骨壁下地、シージング石膏ボード t=12.5張り 化粧けい酸カルシウム板 t=6 接着貼り	既存仕上撤去 (天井下地共)、 軽量鉄骨天井下地、化粧石膏ボード t=9.5張り	塩ビ製	2,400	新設：ライニング壁、天井点検口450角、室名札、洗濯機パン 1 台 (機械設備) システムキッチンL=2100														
	階段下物入	既存	モルタル金ごて仕上	±0	モルタル金ごて H=100	コンクリート打放し補修	コンクリート下地、ウォールコートM吹付	—	1,750～															
	階段下物入	改修	既存のまま	±0	既存のまま	既存のまま	コンクリート下地、既存塗膜除去の上、下地調整、E P 塗装	—	既存のまま															
2	執務室 (1)		コンクリート補修+ニードルパンチ2mm敷き (両面テープ止め)	±0	壁同材	軽量鉄骨壁下地、石膏ボード t=12.5素地仕上 一部、コンクリート打放し補修下地 ブレックストーン吹付 一部ジョイントボード t=12 (GL工法) 張り下地 ブレックストーン吹付	軽量鉄骨天井下地、石膏ボード t=9.5素地仕上	塩ビ製	2,530	撤去：室名札、ステンレス流し台 1 台 既存のまま：木製カーテンボックス、ブラインド 一部ブラインド取外し														
	執務室 (1)	改修	既存仕上撤去、 フリーアクセスフロア (木質材+溶融亜鉛メッキ銅板製) H=50のうえ 帯電防止置敷きビニル床タイル t=5.0 敷込	+55	ビニル幅木 H=100	既存 軽量鉄骨壁下地、石膏ボード t=12.5素地仕上の上、 下地調整 ビニルクロス貼り コンクリート打放し面に軽量鉄骨壁下地の上PB12.5、ビニルクロス貼り ジョイントボード撤去 軽量鉄骨壁下地の上PB12.5、ビニルクロス貼り 一部 (キッチン周囲) 化粧けい酸カルシウム板 t=6 接着貼り	既存 軽量鉄骨天井下地、石膏ボード t=9.5素地仕上の上、 下地調整、E P 塗装	塩ビ製	2,475	新設：ブラインドボックス、天井点検口450角、室名札 ライニング壁、システムキッチンL=2250 一部ブラインド再取付														
	会議室 (1)	既存	コンクリート補修+ニードルパンチ2mm敷き (両面テープ止め)	±0	壁同材	軽量鉄骨壁下地、石膏ボード t=12.5素地仕上	軽量鉄骨天井下地、石膏ボード t=9.5素地仕上	塩ビ製	2,530	撤去：室名札 既存のまま：木製カーテンボックス、ブラインド														
	会議室 (1)	改修	既存仕上撤去、下地調整のうえ 複層ビニル床シート t=2.0貼り	±0	ビニル幅木 H=100	一部ジョイントボード t=12 (GL工法) 張り下地 ブレックストーン吹付 既存 軽量鉄骨壁下地、石膏ボード t=12.5素地仕上の上、 下地調整 ビニルクロス貼り ジョイントボード撤去 軽量鉄骨壁下地の上PB12.5、ビニルクロス貼り	既存 軽量鉄骨天井下地、石膏ボード t=9.5素地仕上の上、 下地調整、E P 塗装	塩ビ製	2,530	新設：天井点検口450角、室名札														
	大浴室	既存	軽量コンクリート t=120、ワイヤーメッシュ φ3.2×100×100敷き スタイロフォーム t=25、塗膜防水・防水モルタル塗り下地 50角磁器質タイル貼り	±0	—	防水モルタル塗下地、耐凍害性100角タイル貼り 丸柱：モルタル下地、磁器質ポーダータイル貼り 膳板：黒御影石 t=30	軽量鉄骨天井下地、バスリブ張り	専用見切縁	2,600～2,750	撤去：和風大型ポリバス (5 人用)、銷物ホーロー気泡浴槽 1200タイプ、 ホームサウナ (ビルトインタイプ 1 人用)														
	踏込	既存	モルタル金ごて下地、ループバイルカーペット 下地フェルト敷き	±0	木製 H=75 SOP塗り	シージング石膏ボード t=12 (GL工法) ビニルクロス貼り	軽量鉄骨天井下地、シージング石膏ボード t=9捨張り ロックウール化粧吸音板 t=9張り ※ソーラトンフィッシャー同等	塩ビ製	2,650	撤去：室名札														
	脱衣室 (大浴室)	既存	モルタル金ごて下地 天然木化粧複合フローリング t=11 直張り	+150	木製 H=75 SOP塗り	シージング石膏ボード t=12 (GL工法) ビニルクロス貼り	軽量鉄骨天井下地、シージング石膏ボード t=9捨張り ロックウール化粧吸音板 t=9張り ※ソーラトンフィッシャー同等	塩ビ製	2,500	撤去：脱衣棚、洗面カウンター、カーテンボックス、カーテンレール														
	小浴室	既存	軽量コンクリート t=120、ワイヤーメッシュ φ3.2×100×100敷き スタイロフォーム t=25、塗膜防水・防水モルタル塗り下地 50角磁器質タイル貼り	±0	—	防水モルタル塗下地、耐凍害性100角タイル貼り	軽量鉄骨天井下地、バスリブ張り	専用見切縁	2,500～2,600	撤去：和風銷物ホーロー気泡浴槽 1200タイプ														
	踏込	既存	モルタル金ごて下地、ループバイルカーペット 下地フェルト敷き	±0	木製 H=75 SOP塗り	シージング石膏ボード t=12 (GL工法) ビニルクロス貼り	軽量鉄骨天井下地、シージング石膏ボード t=9捨張り ロックウール化粧吸音板 t=9張り ※ソーラトンフィッシャー同等	塩ビ製	2,650	撤去：室名札														
	脱衣室 (小浴室)	既存	モルタル金ごて下地 天然木化粧複合フローリング t=11 直張り	+150	木製 H=75 SOP塗り	シージング石膏ボード t=12 (GL工法) ビニルクロス貼り	軽量鉄骨天井下地、シージング石膏ボード t=9捨張り ロックウール化粧吸音板 t=9張り ※ソーラトンフィッシャー同等	塩ビ製	2,500	撤去：木製目隠しスクリーン、室名札														
	機械室	既存	防水モルタル金ごて仕上	-400	モルタル金ごて仕上 H=150	モルタル金ごて下地、シャッタークリート吹付	軽量鉄骨天井下地、フレキシブル板 t=5 目透し張り VP塗り	塩ビ製	2,500	撤去：天井点検口450角 3 か所、室名札														
	執務室 (2)	改修	既存仕上撤去 (下地共)、浴槽 R C 立上り撤去、 下地調整、一部木床組下地 フリーアクセスフロア (木質材+溶融亜鉛メッキ銅板製) H=50のうえ 帯電防止置敷きビニル床タイル t=5.0 敷込	+205	ビニル幅木 H=100	膳板：黒御影石 t=30 撤去 (下地共) 既存仕上撤去 (下地共)、R C ・C B 壁 (一部残置) 撤去の上、 軽量鉄骨壁下地、石膏ボード t=12.5張り ビニルクロス貼り 新設壁：軽量鉄骨壁下地、石膏ボード t=12.5張り ビニルクロス貼り 丸柱：既存仕上の上、LGS下地、繊維混入石膏板 t=6張り、ビニルクロス 貼り 一部 (キッチン周囲) 化粧けい酸カルシウム板 t=6 接着貼り	既存仕上撤去 (天井下地共)、 軽量鉄骨天井下地、化粧石膏ボード t=9.5張り	塩ビ製	2,500	新設：ブラインドボックス、ブラインド、天井点検口450角、室名札 (旧機械室) 床高さ調整 木床組下地 H=550 (旧浴室及び踏込) 床高さ調整 木床組下地 H=150 ライニング壁、システムキッチンL=2250 集成材カウンター t=30 UC塗装														
	男子トイレ	既存	モルタル金ごて下地、長尺塩ビシート t=2.5貼り 沓摺 大理石 t=25	-100	大理石 H=100	モルタル塗下地、耐凍害性100角タイル貼り	軽量鉄骨天井下地、フレキシブル板 t=5 目透し張り VP塗り	塩ビ製	2,300	撤去：膳板 大理石20×120、隔て板、トイレブース、天井点検口450角、 室名札														
	男子トイレ	改修	既存仕上撤去、乾式二重床、合板 t=12下地 複層ビニル床シート t=2.0貼り	±0	ビニル幅木 H=100	既存タイル撤去 (下地共)、シージング石膏ボード t=12.5 (GL工法) 下地 化粧けい酸カルシウム板 t=6 接着貼り	既存仕上撤去 (天井下地共)、 軽量鉄骨天井下地、化粧石膏ボード t=9.5張り	塩ビ製	2,400	新設：ライニング壁、隔て板、トイレブース、天井点検口450角、 ビクトサイン														
	女子トイレ	既存	モルタル金ごて下地、長尺塩ビシート t=2.5貼り 沓摺 大理石 t=25	±0	大理石 H=100	モルタル塗下地、耐凍害性100角タイル貼り	軽量鉄骨天井下地、フレキシブル板 t=5 目透し張り VP塗り	塩ビ製	2,300	撤去：膳板 大理石20×120、トイレブース、天井点検口450角、室名札														
	女子トイレ	改修	既存仕上撤去、乾式二重床、合板 t=12下地 複層ビニル床シート t=2.0貼り	±0	ビニル幅木 H=100	既存タイル撤去 (下地共)、シージング石膏ボード t=12.5 (GL工法) 下地 化粧けい酸カルシウム板 t=6 接着貼り	既存仕上撤去 (天井下地共)、 軽量鉄骨天井下地、化粧石膏ボード t=9.5張り	塩ビ製	2,400	新設：ライニング壁、トイレブース、天井点検口450角、ビクトサイン														
	設計番号			工 事 名			検 図			担 当			特 記			図 面 名			縮 尺			図 面 番 号		
				施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事												仕上表 (2)			A1:N/S A3:N/S			A-03		

階	改修前室名		種別	床	高さ	幅 木	壁	天 井	廻 縁	天井高	備 考
	改修後室名										
3	執務室（２）		既存	コンクリート補修＋ニードルパンチ2mm敷き（両面テープ止め）	±0	壁同材	軽量鉄骨壁下地、石こうボード t=12.5素地仕上	軽量鉄骨天井下地、石こうボード t=9.5素地仕上	塩ビ製	2,500	撤去：室名札 既存のまま：木製カーテンボックス、ブラインド、避難はしご 一部ブラインド取外し
	会議室（２）		改修	既存仕上撤去、下地調整のうえ 複層ビニル床シート t=2.0貼り	±0	ビニル幅木 H=100	一部ジョイントボード t=12(GL工法)張り下地 ブレックストーン吹付 既存 軽量鉄骨壁下地、石こうボード t=12.5素地仕上の上、 下地調整 ビニルクロス貼り ジョイントボード撤去 軽量鉄骨壁下地の上PB12.5、ビニルクロス貼り 一部(キッチン周囲)化粧けい酸カルシウム板 t=6 接着貼り	既存 軽量鉄骨天井下地、石こうボード t=9.5素地仕上の上、 下地調整、ＥＰ塗装	塩ビ製	2,500	新設：ブラインドボックス、天井点検口450角、室名札 ライニング壁、システムキッチンL=2250 一部ブラインド再取付
	会議室（２）		既存	コンクリート補修＋ニードルパンチ2mm敷き（両面テープ止め）	±0	壁同材	軽量鉄骨壁下地、石こうボード t=12.5素地仕上	軽量鉄骨天井下地、石こうボード t=9.5素地仕上	塩ビ製	2,500	撤去：室名札 既存のまま：木製カーテンボックス、ブラインド
	会議室（３）		改修	既存仕上撤去、下地調整のうえ 複層ビニル床シート t=2.0貼り	±0	ビニル幅木 H=100	一部ジョイントボード t=12(GL工法)張り下地 ブレックストーン吹付 既存 軽量鉄骨壁下地、石こうボード t=12.5素地仕上の上、 下地調整 ビニルクロス貼り ジョイントボード撤去 軽量鉄骨壁下地の上PB12.5、ビニルクロス貼り	既存 軽量鉄骨天井下地、石こうボード t=9.5素地仕上の上、 下地調整、ＥＰ塗装	塩ビ製	2,500	新設：ブラインドボックス、ブラインド、天井点検口450角、室名札
	男子トイレ		既存	モルタル金ごて下地、長尺塩ビシート t=2.5貼り 沓摺 大理石 t=25	-100	大理石 H=100	モルタル塗下地、耐凍害性100角タイル貼り	軽量鉄骨天井下地、 <u>フレキシブル板 t=5</u> 目透し張り VP塗り	塩ビ製	2,300	撤去：膳板 大理石20×120、隔て板、トイレブース、天井点検口450角、 室名札
	男子トイレ		改修	既存仕上撤去、乾式二重床、合板 t=12下地 複層ビニル床シート t=2.0貼り	±0	ビニル幅木 H=100	既存タイル撤去(下地共)、シージング石こうボード t=12.5(GL工法)下地 化粧けい酸カルシウム板 t=6 接着貼り	既存仕上撤去(天井下地共)、 軽量鉄骨天井下地、化粧石こうボード t=9.5張り	塩ビ製	2,400	新設：ライニング壁、隔て板、トイレブース、天井点検口450角、 ビクトサイン
	洗濯室		既存	モルタル金ごて下地、ルーパイルカーペット 下地フェルト敷き	±0	ソフト幅木 H=100	外壁面・トイレ面：ジョイントボード t=12(GL工法)張り下地 他面：軽鉄壁下地、石こうボード t=12+15 両面張り下地 ブレックストーン吹付	軽量鉄骨天井下地、プラスターボード t=9下地 <u>ミクライトAP吹付</u>	塩ビ製	2,400	撤去：天井点検口450角、室名札 撤去：膳板 大理石20×120、ライニング壁、木枠：タモ集成材 撤去：洗濯機パン1台、ステンレス流し台1台、S K 1台
	女子トイレ		改修	既存カーペット撤去、下地調整のうえ 複層ビニル床シート t=2.0貼り	±0	ビニル幅木 H=100	外壁面・トイレ面：既存仕上撤去、シージング石こうボード t=12.5(GL工法)下地 他面：既存仕上撤去(下地共)、軽量鉄骨壁下地、シージング石こうボード t=12.5下地 化粧けい酸カルシウム板 t=6 接着貼り	既存塗膜除去(石綿含有)、既存仕上撤去(天井下地共)、 軽量鉄骨天井下地、化粧石こうボード t=9.5張り	塩ビ製	2,400	新設：ライニング壁、トイレブース、天井点検口450角、 ビクトサイン
共通	廊下(玄関ホール含む)		既存	モルタル金ごて下地、ルーパイルカーペット 下地フェルト敷き	±0	ソフト幅木 H=100	外壁面：ジョイントボード t=12(GL工法)張り下地 ブレックストーン吹付 コンクリート打放し補修下地 ブレックストーン吹付	軽量鉄骨天井下地、プラスターボード t=9下地 <u>ミクライトAP吹付</u>	塩ビ製	2,500	撤去：天井点検口450角、ステンレス見切(3 F)
	廊下(玄関ホール含む)		改修	既存カーペット撤去、下地調整のうえ 複層ビニル床シート t=2.0貼り スロープ(1F第2制御室、2F執務室(2))：木下地、合板 t=12下地 複層ビニル床シート t=2.0貼り	±0	ビニル幅木 H=100	ボ-ード面：既存ボード撤去のうえ PB12.5(GL工法)下地、ビニルクロス貼り R C面：既存塗膜はく離除去、下地調整のうえ ビニルクロス貼り 新設壁：軽量鉄骨壁下地、石こうボード t=12.5張り ビニルクロス貼り	既存塗膜除去(石綿含有)、既存仕上撤去(天井下地共)、 軽量鉄骨天井下地、化粧石こうボード t=9.5張り	塩ビ製	2,500	新設：天井点検口450角
	階段室		既存	モルタル金ごて下地、ルーパイルカーペット 下地フェルト敷き ステンレスノンスリップ W=35 ゴムタイヤ入	±0	ソフト幅木 H=100	コンクリート打放し補修下地 ブレックストーン吹付	コンクリート下地、ウォールコートM吹付 3階：軽量鉄骨天井下地、プラスターボード t=9下地 ウォールコートM吹付	—	—	既存のまま：階数表示板
	階段室		改修	既存カーペット撤去、下地調整のうえ 複層ビニル床シート t=2.0貼り ステンレス製階段滑り止め金具 W=35	±0	ビニル幅木 H=100	既存塗膜はく離除去、下地調整のうえ E P塗装	既存塗膜除去、既存仕上撤去(天井下地共)、 コンクリート下地、既存塗膜除去の上、下地調整、E P塗装 軽量鉄骨天井下地、化粧石こうボード t=9.5張り	—	—	新設：階段用樹脂手摺設置(Y M工業ハンドレール同等品)

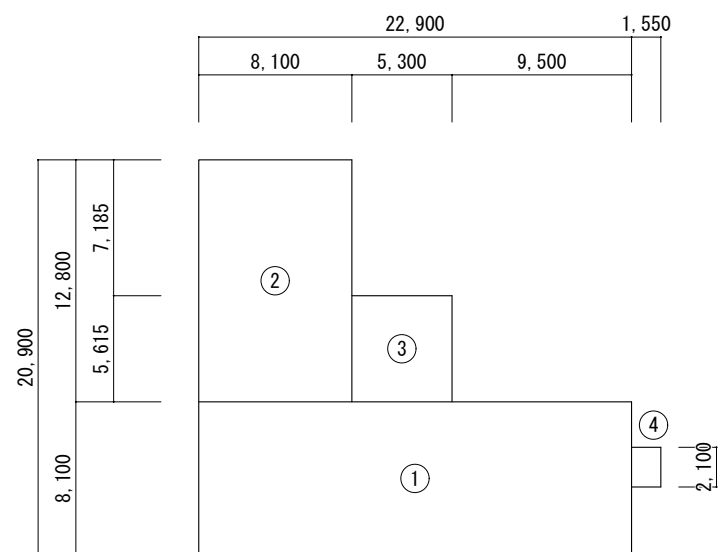
設計番号	工 事 名				検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事									
								仕上表（3）	A1:N/S A3:N/S	A-04



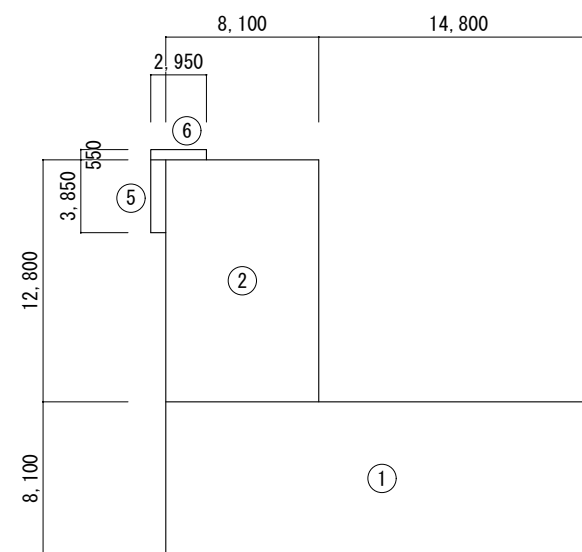
建築面積求積図

床面積表	
符 号	計 算 式
①	$22.900 \times 8.100 = 185.49000$
②	$8.100 \times 12.800 = 103.68000$
③	$5.300 \times 5.615 = 29.75950$
④	$1.550 \times 2.100 = 3.25500$
⑤	$0.800 \times 3.850 = 3.08000$
⑥	$2.950 \times 0.550 = 1.62250$
1階床面積	$① + ② + ③ + ④$ 322.18450
2階床面積	$① + ② + ⑤ + ⑥$ 293.87250
3階床面積	$① + ②$ 289.17000
面積 計	905.22700
延床面積	905.22 m ²

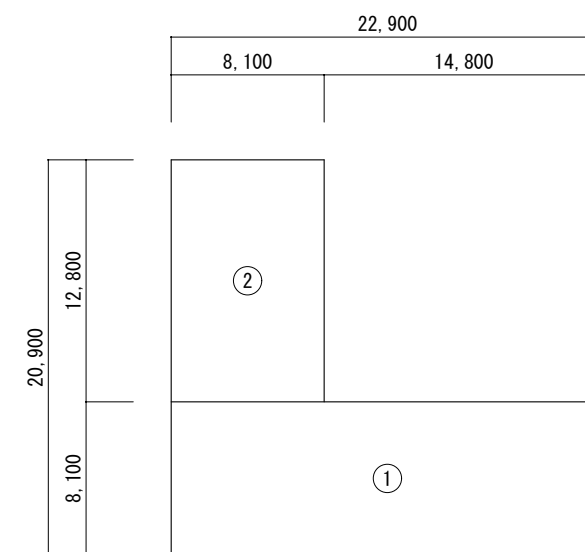
建築面積表		
符 号	計 算 式	
Ⓐ	$2.650 \times 5.615 =$	14.87975
Ⓑ	$1.000 \times 14.365 =$	14.36500
Ⓒ	$0.350 \times 3.260 =$	1.14100
Ⓓ	$0.350 \times 7.185 =$	2.51475
Ⓔ	$6.850 \times 0.350 =$	2.39750
Ⓕ	$22.900 \times 0.350 =$	8.01500
建築面積表	Ⓐ ~ Ⓕ	計 43.31300
床面積表	① ~ ⑥	計 326.88700
面積 計		370.20000
建築面積		370.20 m ²



1 階床面積求積図

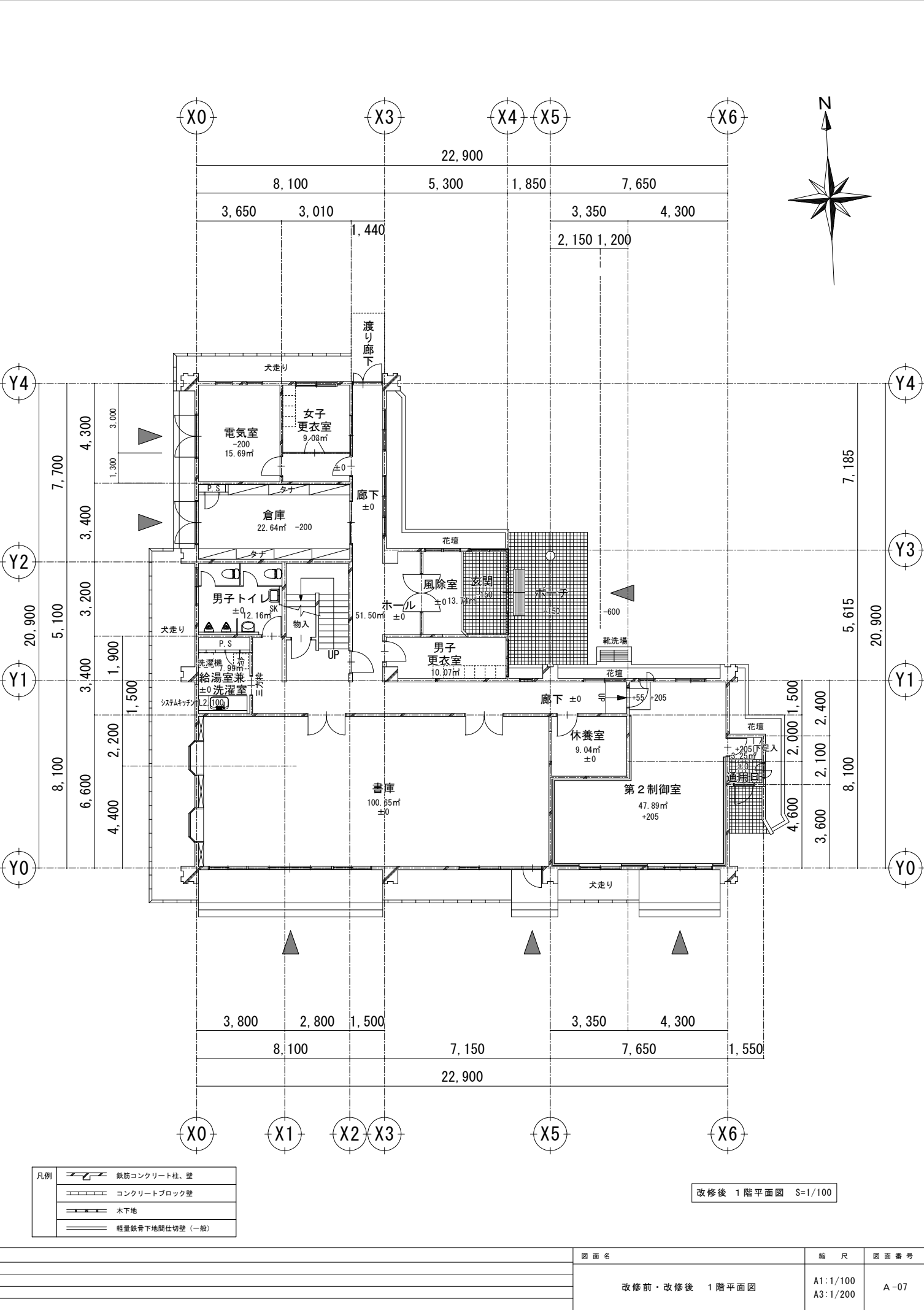
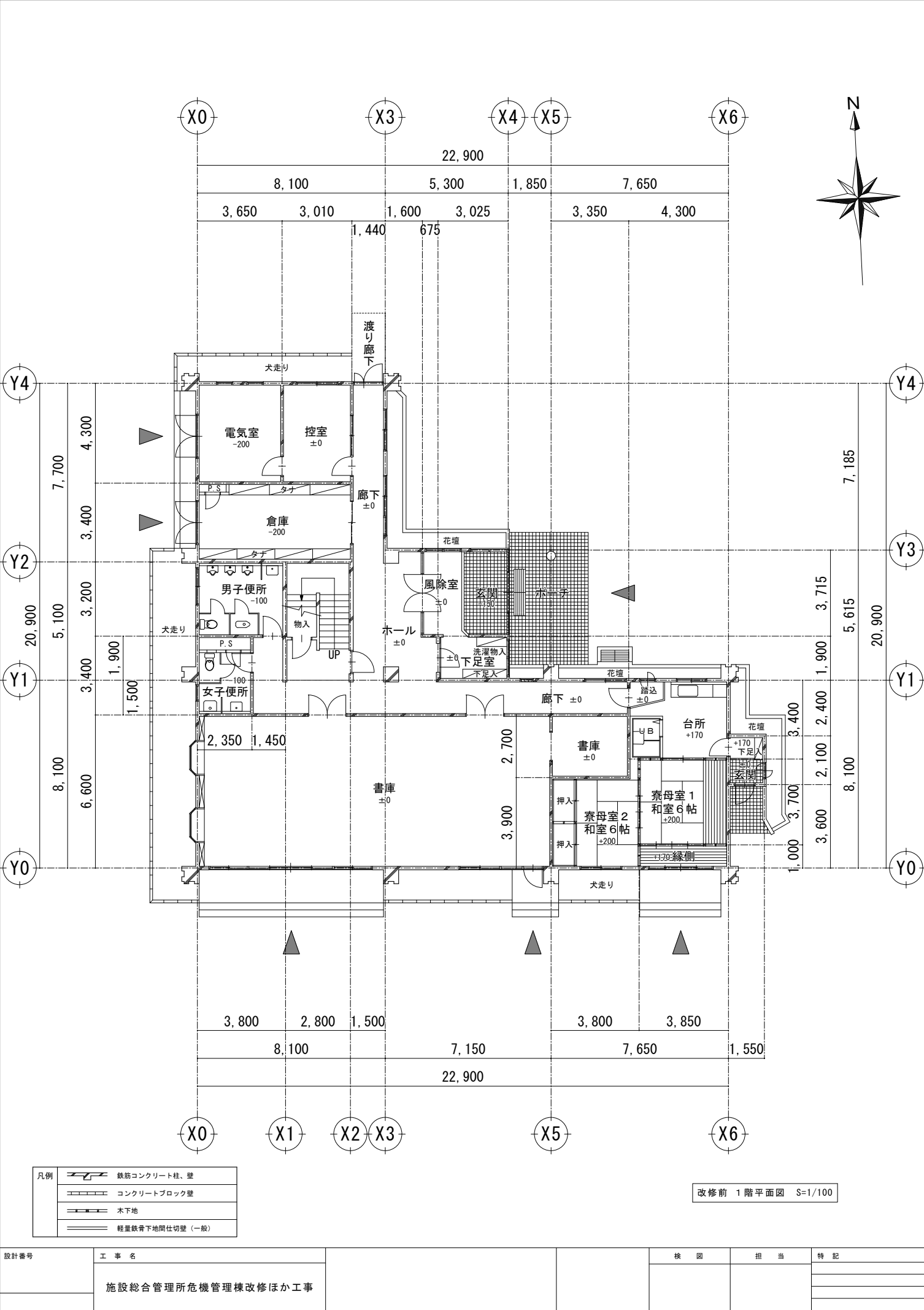


2 階床面積求積図

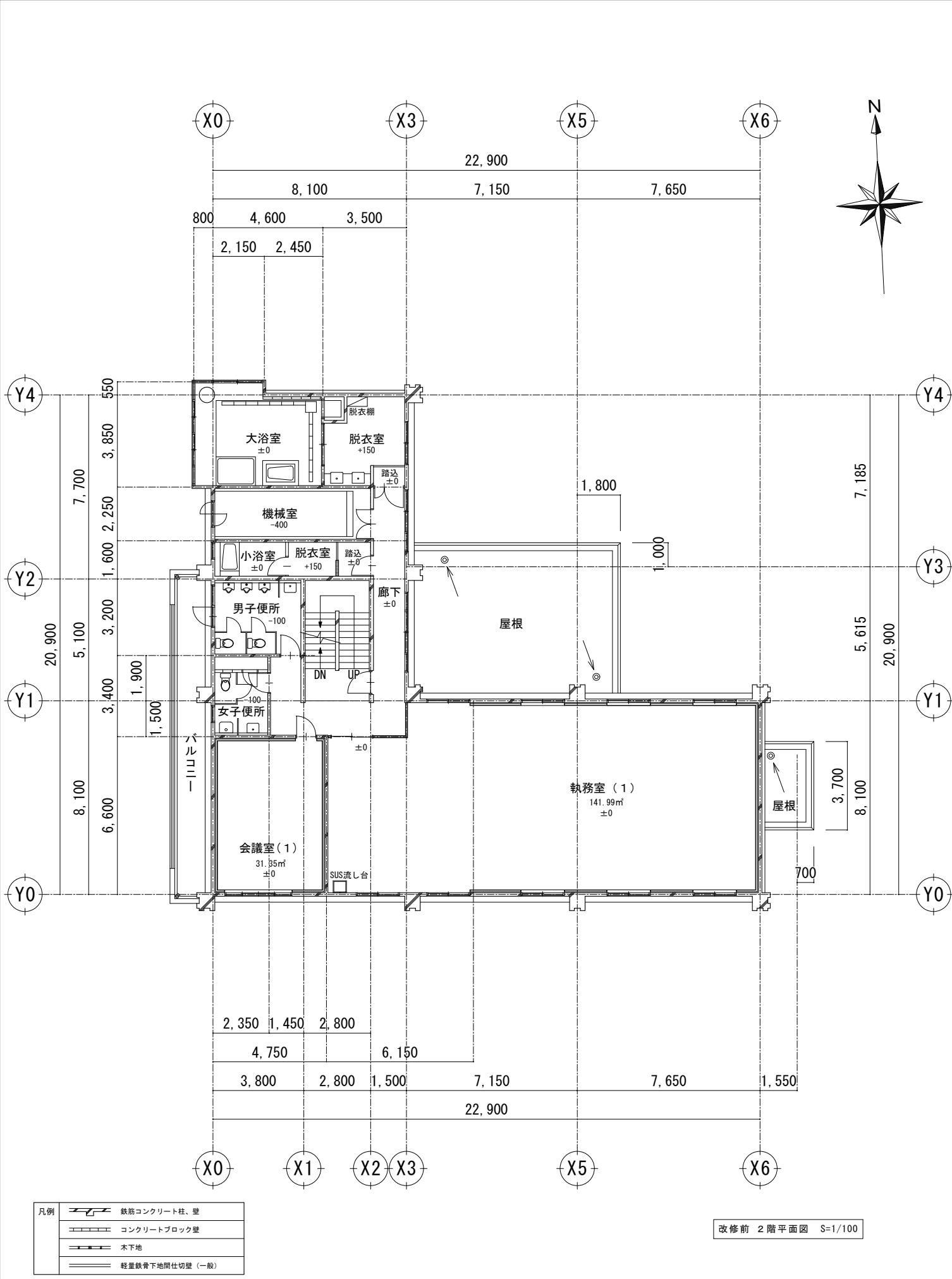


3 階床面積求積図

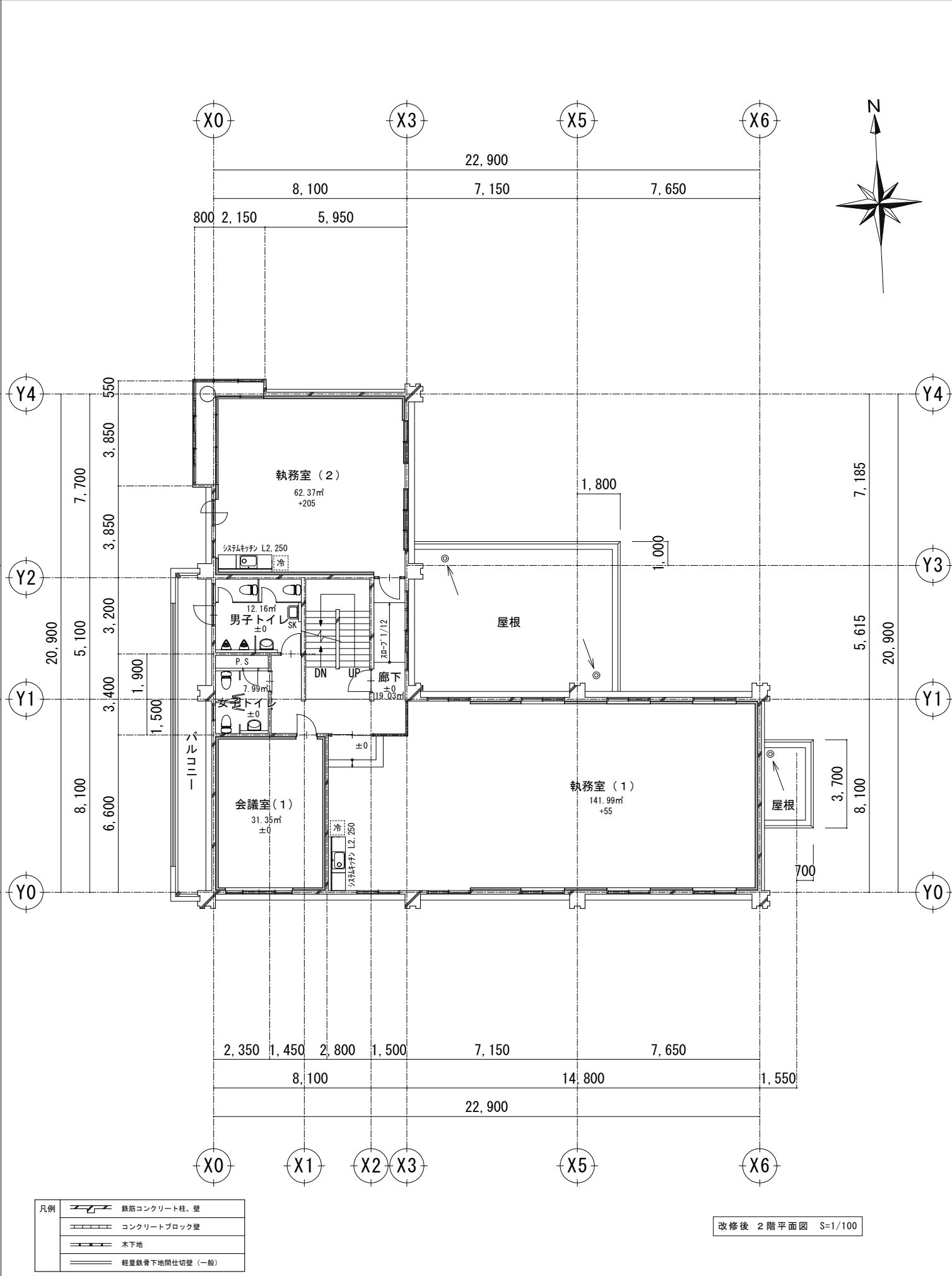
設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記	図 面 名	施 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事						面精表及び求精図	A1:1/200 A3:1/400	A-05



設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修前・改修後 1階平面図	A1:1/100 A3:1/200	A-07

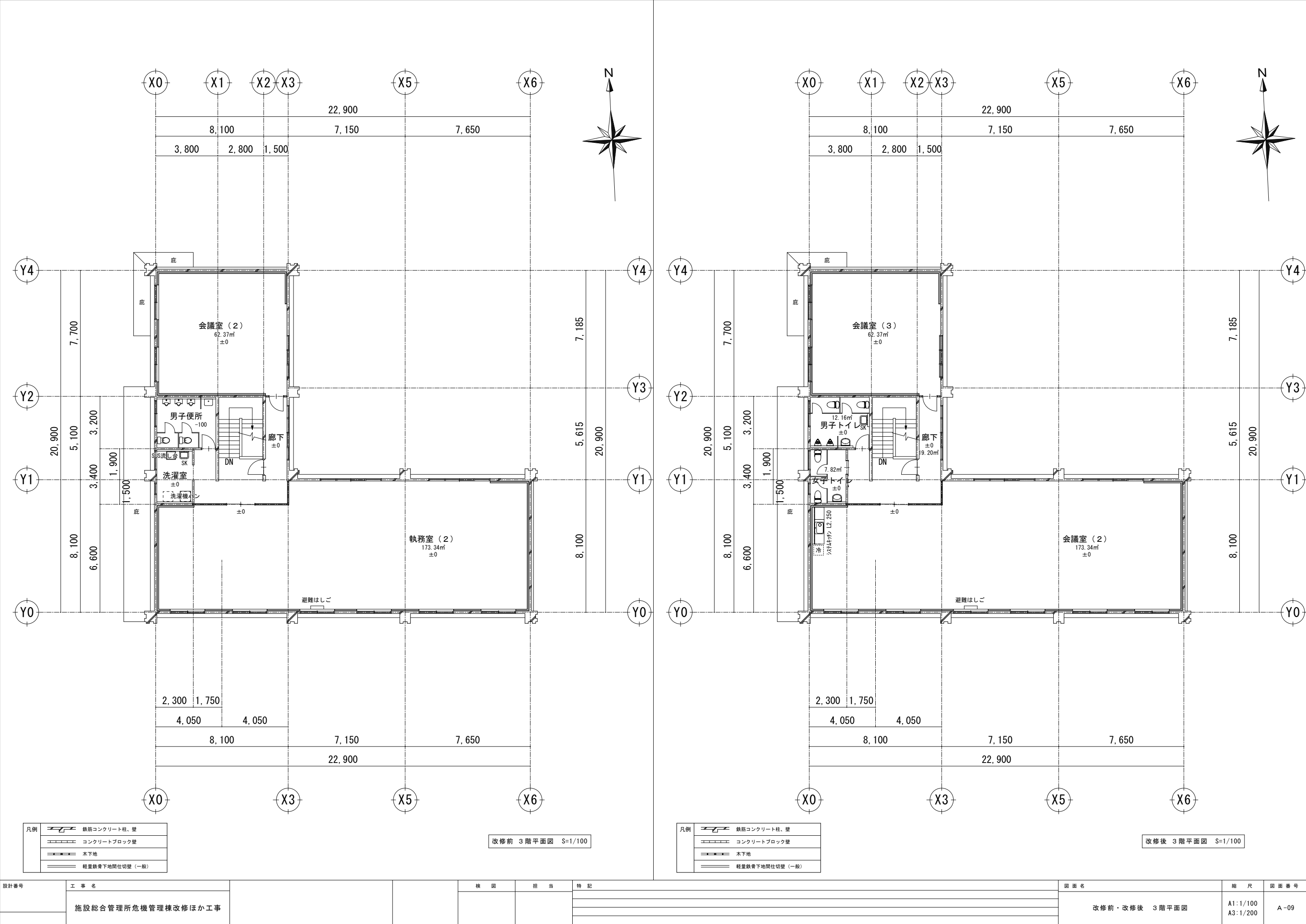


改修前 2階平面図 S=1/100

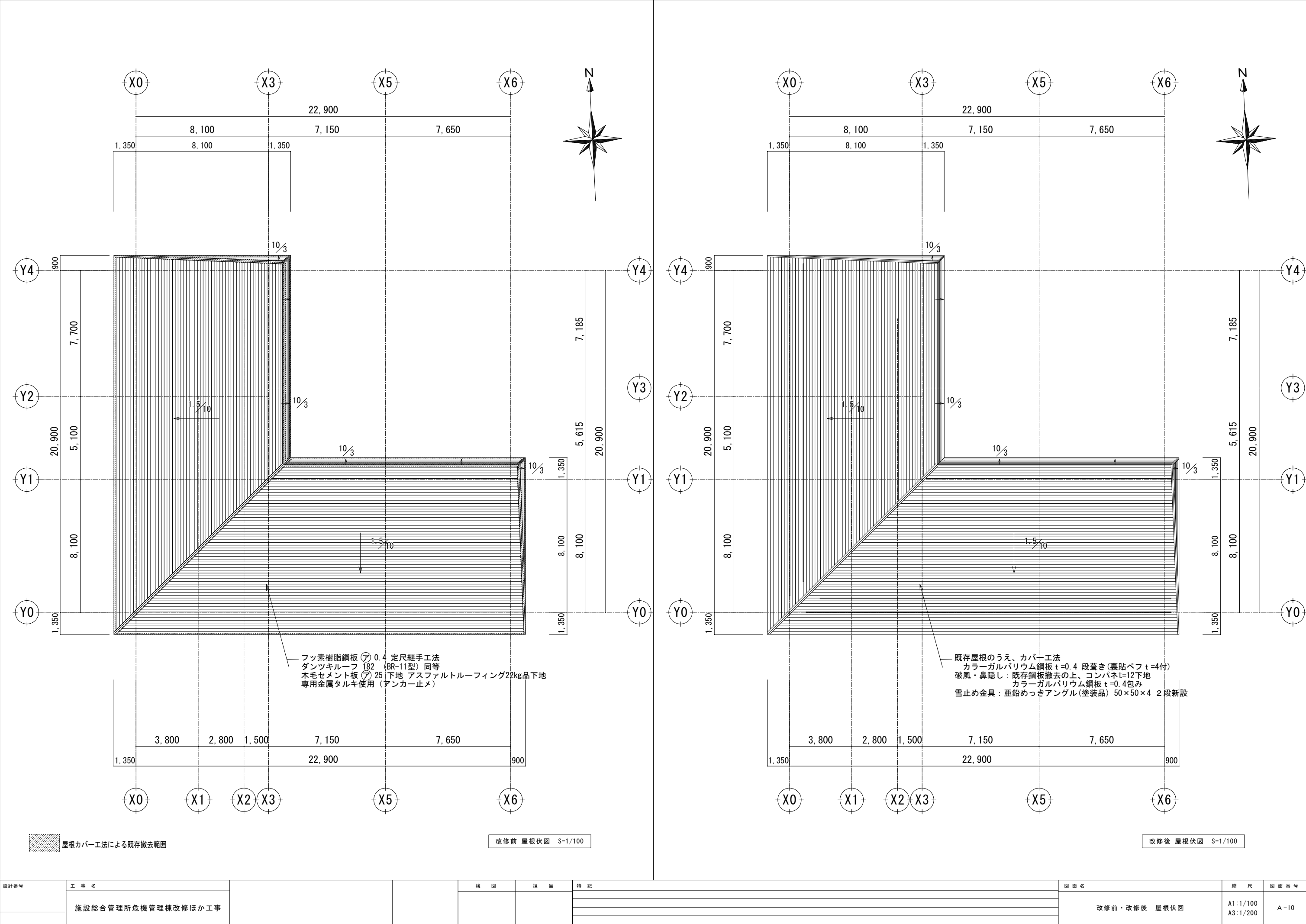


改修後 2階平面図 S=1/100

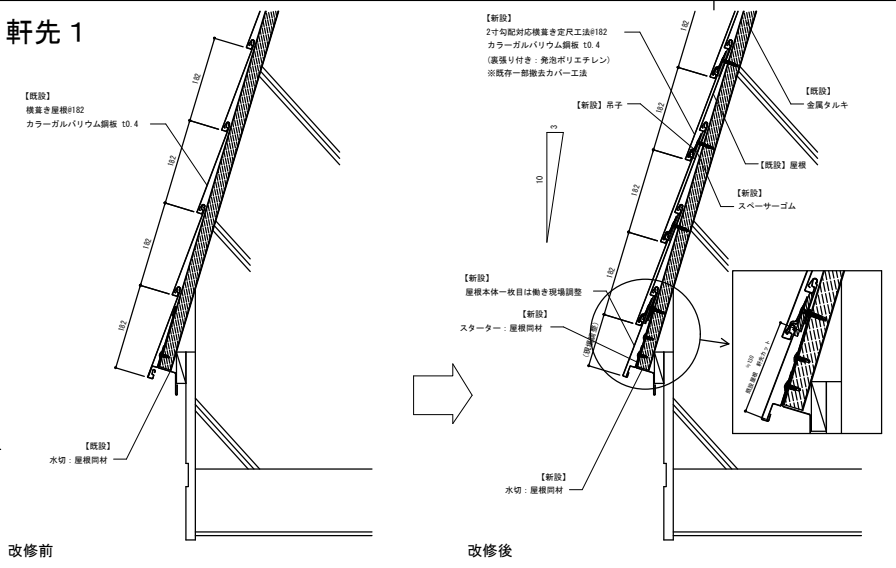
設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修前・改修後 2階平面図	A1:1/100 A3:1/200	A-08



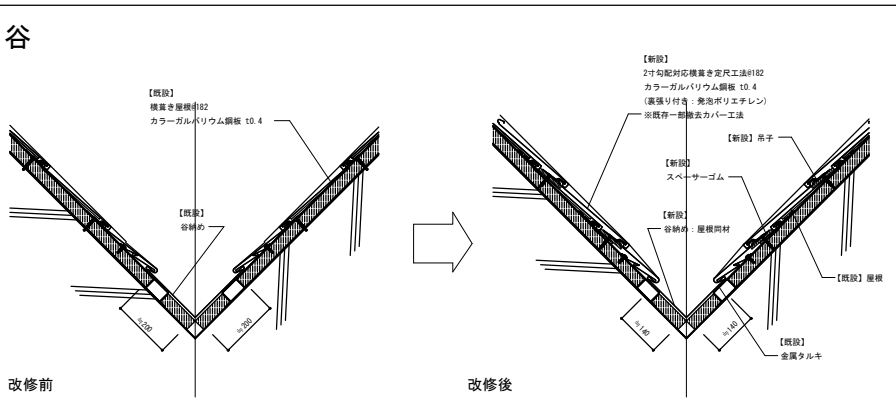
設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事						改修前・改修後 3階平面図	A1:1/100 A3:1/200	A-09



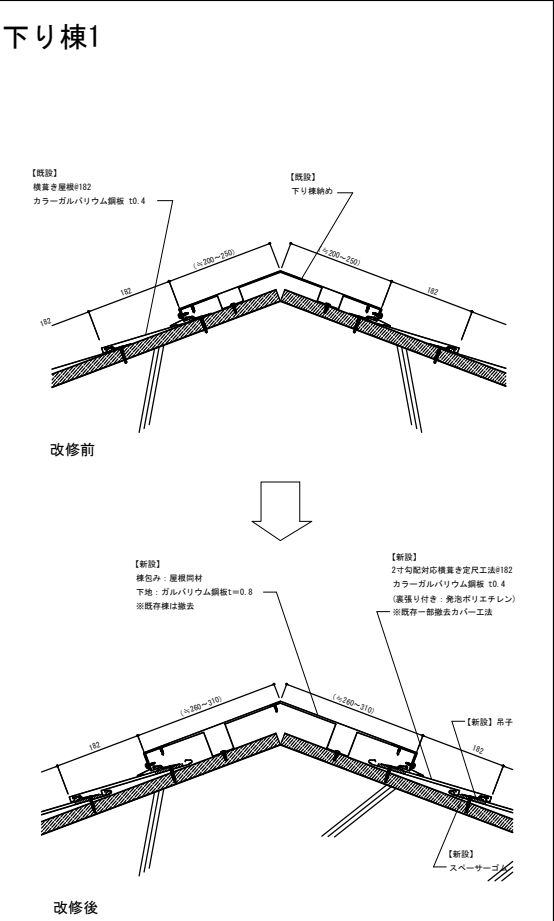
軒先 1



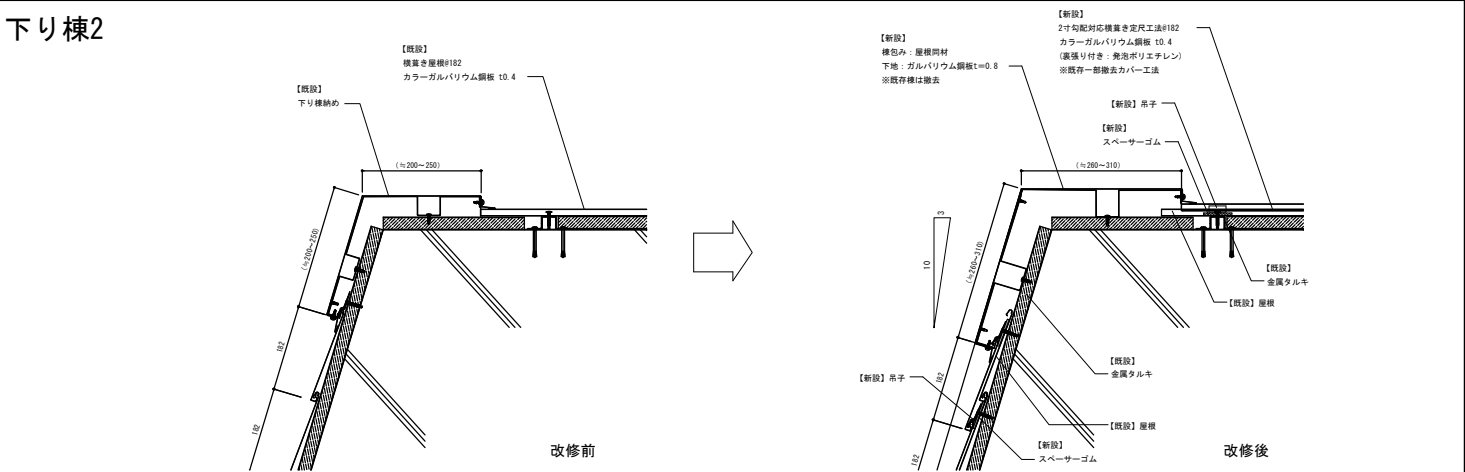
谷



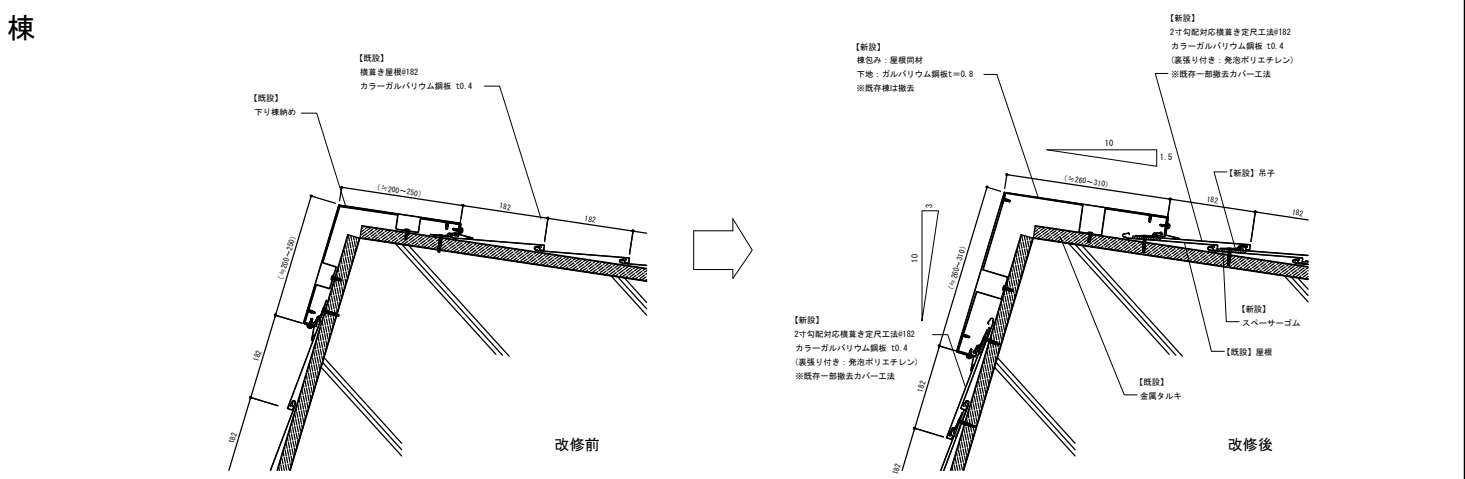
下り棟1



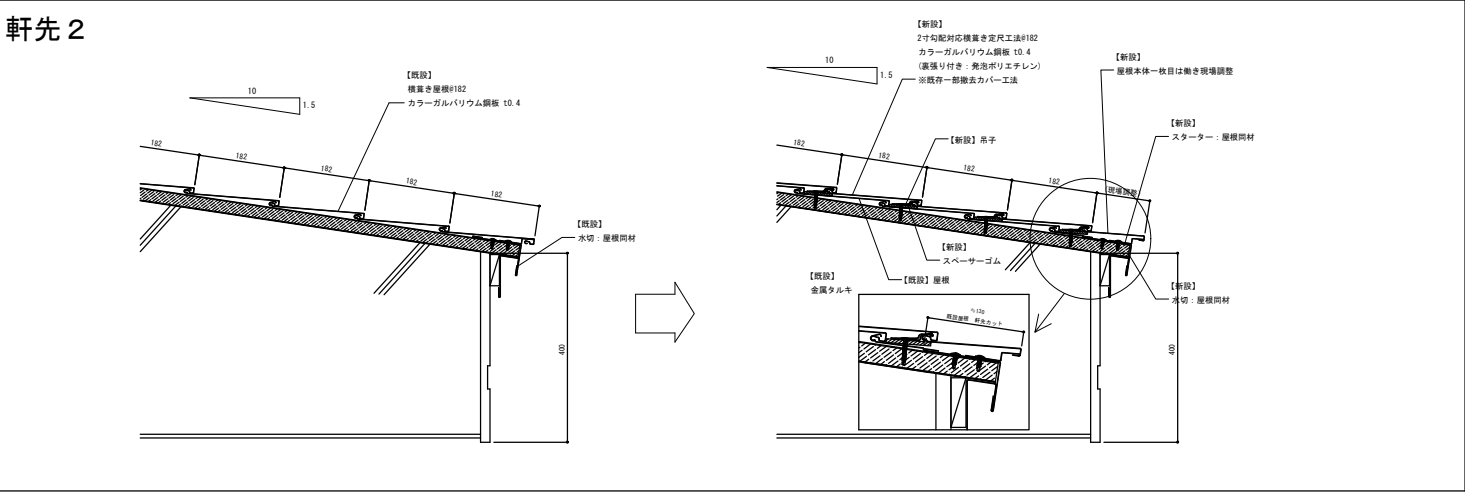
下り棟2



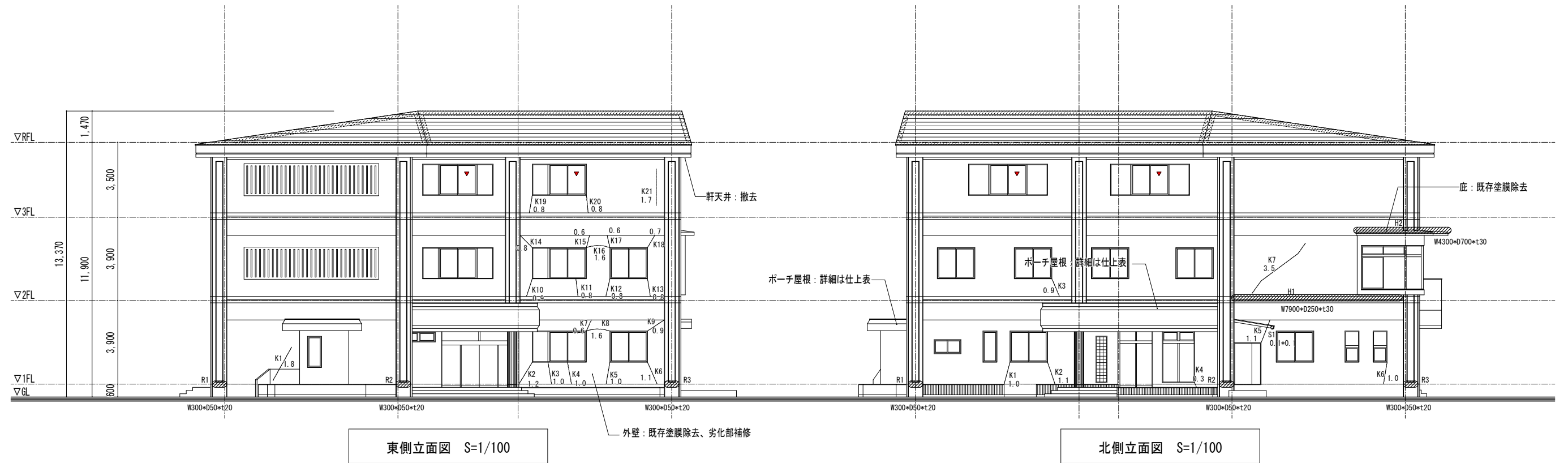
棟



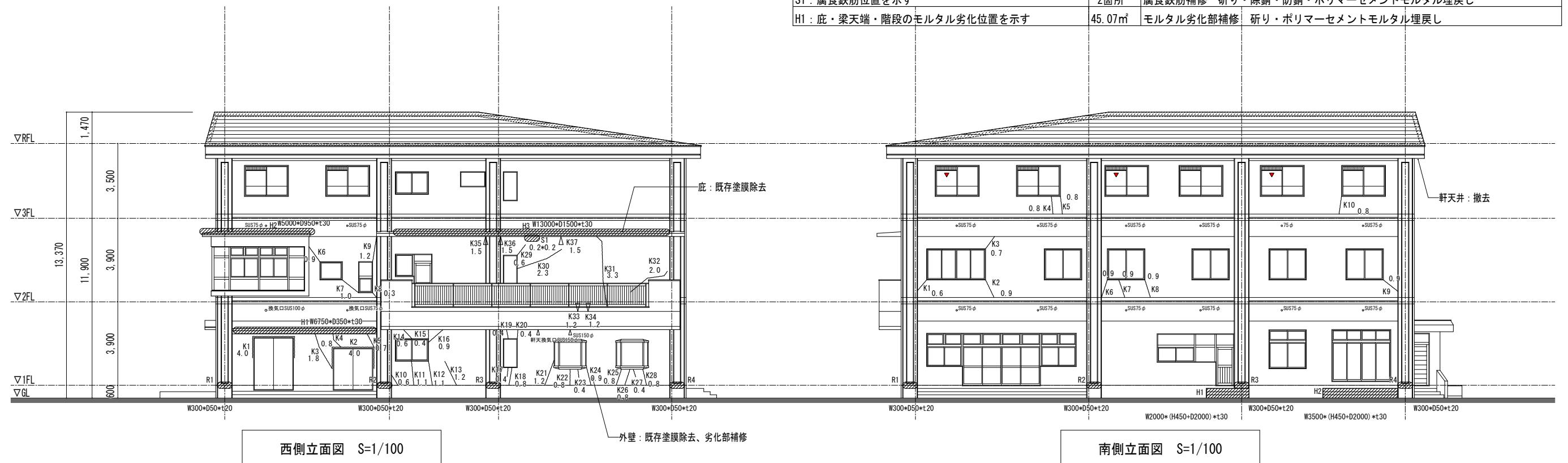
軒先 2



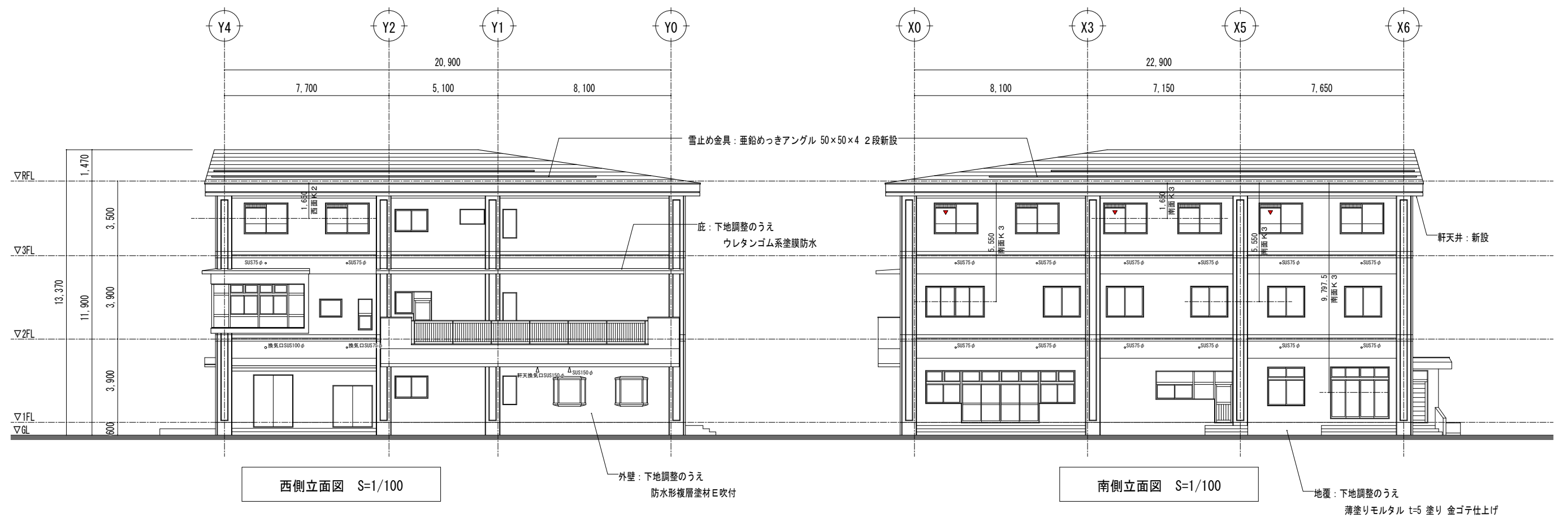
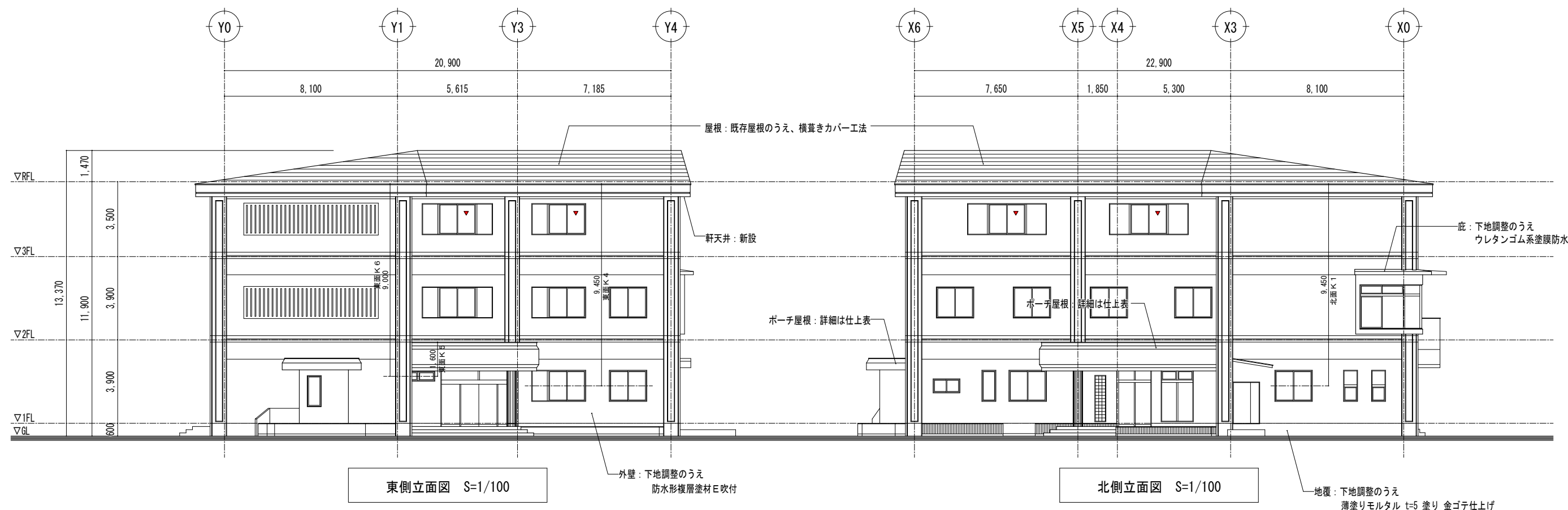
設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事						屋根改修参考断面図	A1:1/8 A3:1/16	A-11



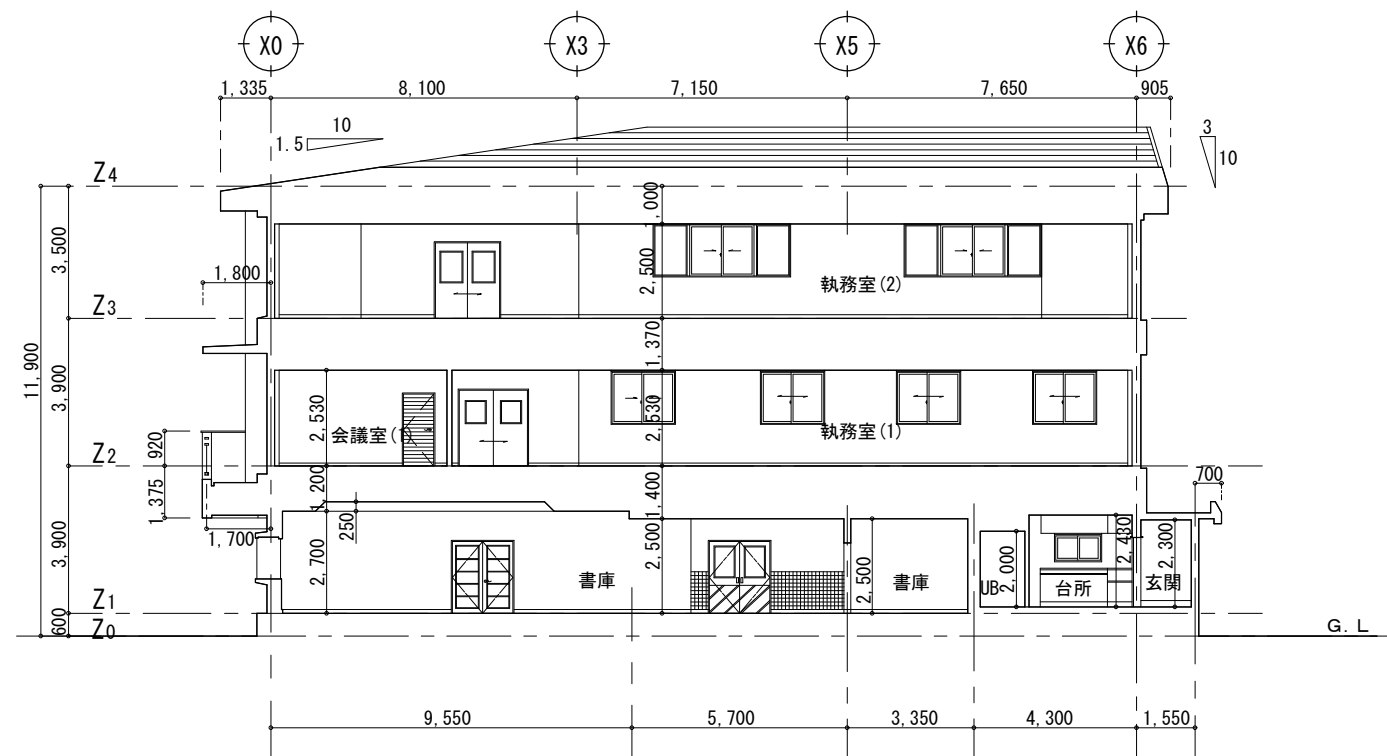
R1：モルタル劣化位置	14箇所	モルタル劣化部補修 砕り・ポリマーセメントモルタル埋戻し
K1：亀裂位置を示す	82.00m	亀裂注入補修 超微粒子セメント系注入材
S1：腐食鉄筋位置を示す	2箇所	腐食鉄筋補修 砕り・除錆・防錆・ポリマーセメントモルタル埋戻し
H1：庇・梁天端・階段のモルタル劣化位置を示す	45.07㎡	モルタル劣化部補修 砕り・ポリマーセメントモルタル埋戻し



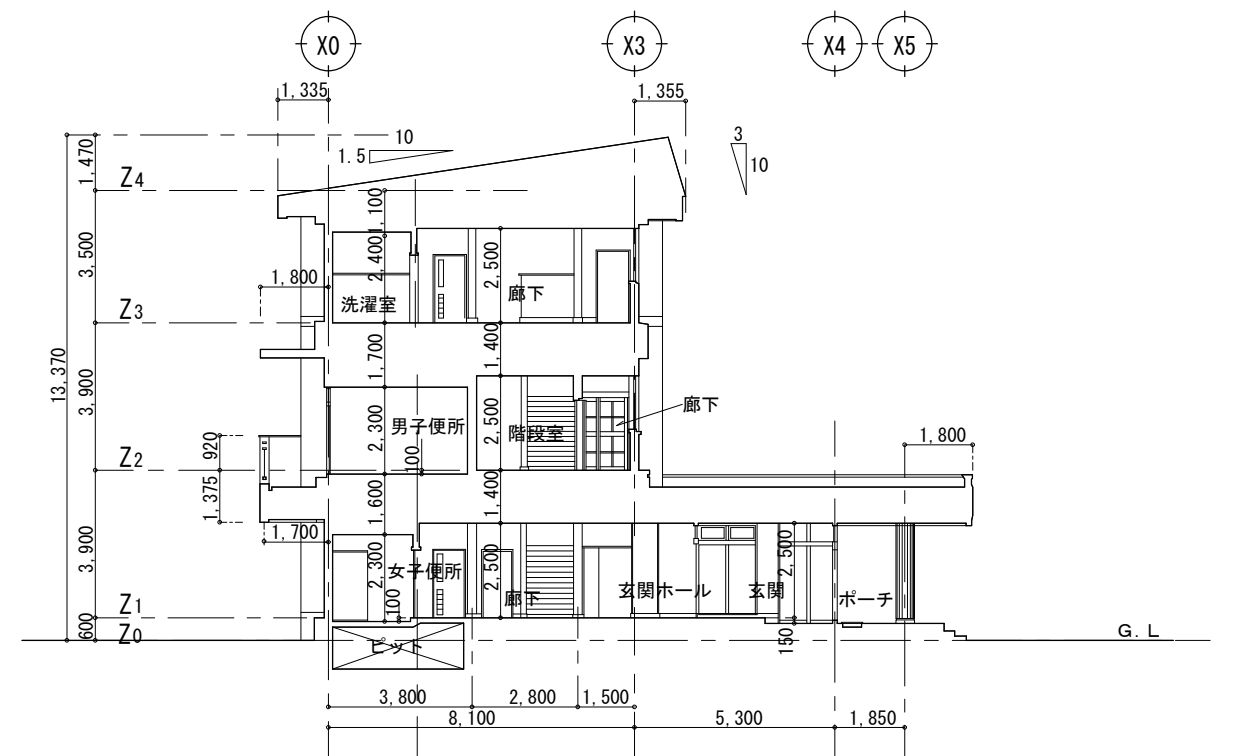
設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修前 立面図	A1:1/100 A3:1/200	A-12-1



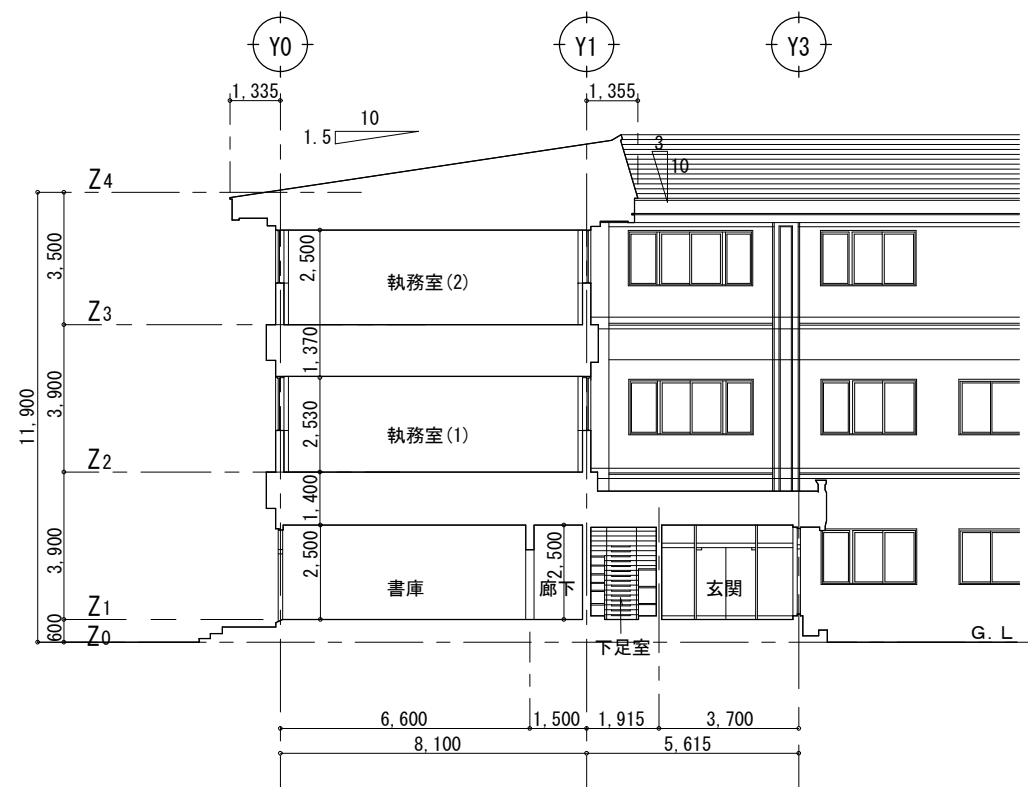
設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修後 立面図	A1:1/100 A3:1/200	A-12-2



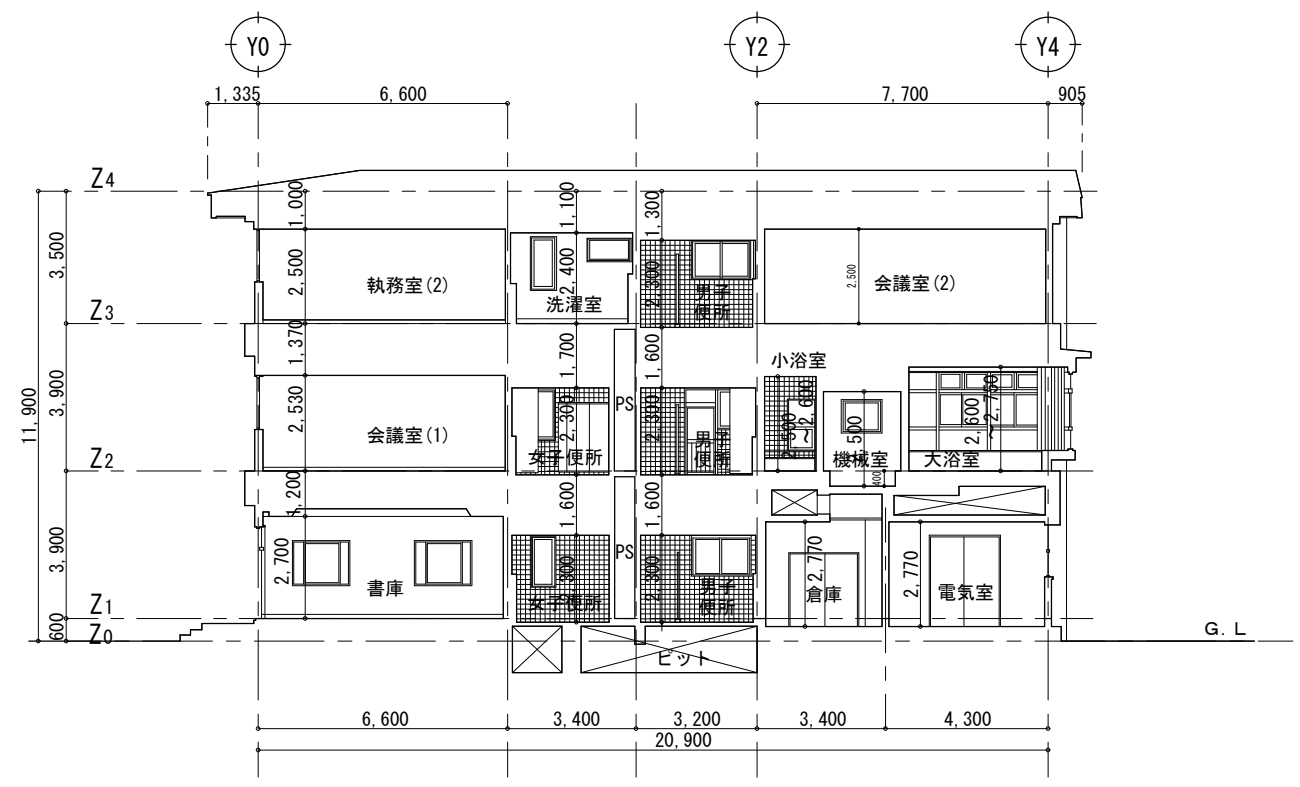
A-A 断面図 S=1/100



B-B 断面図 S=1/100

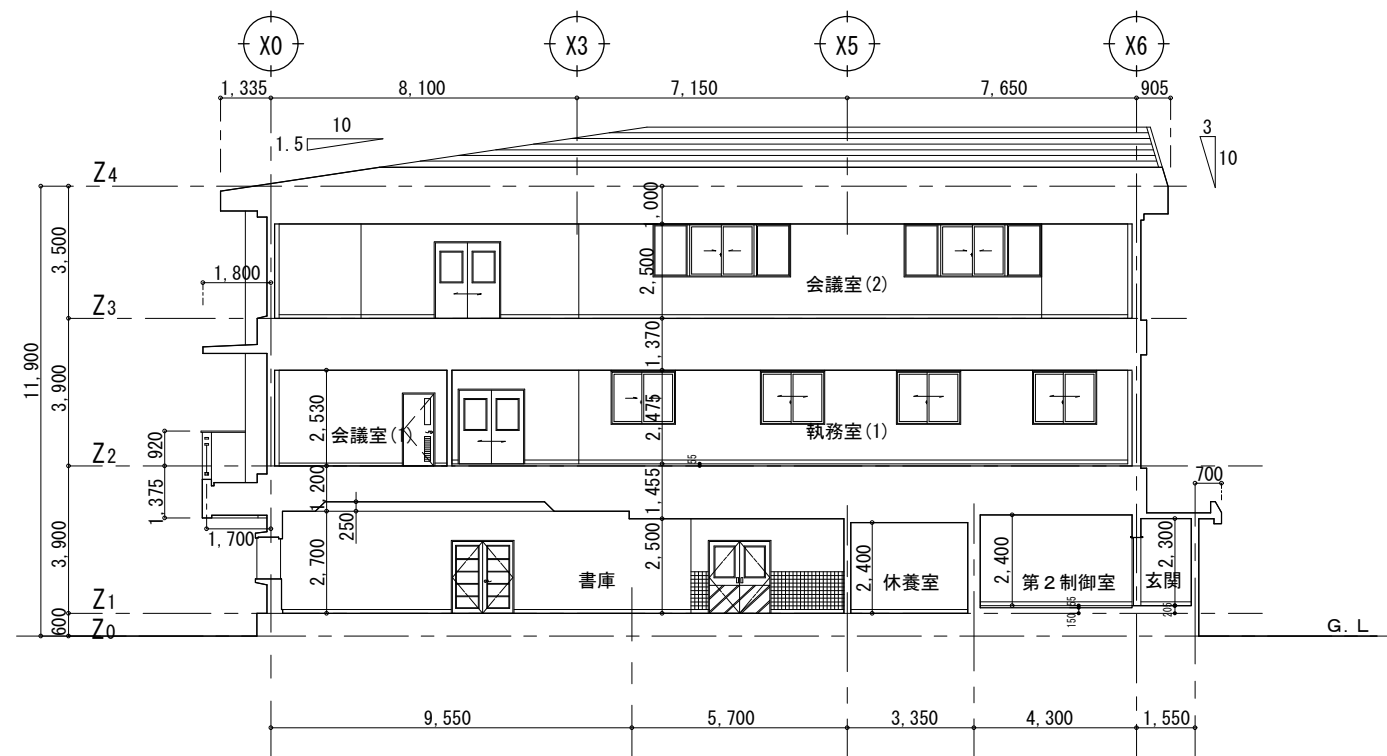


C-C 断面図 S=1/100

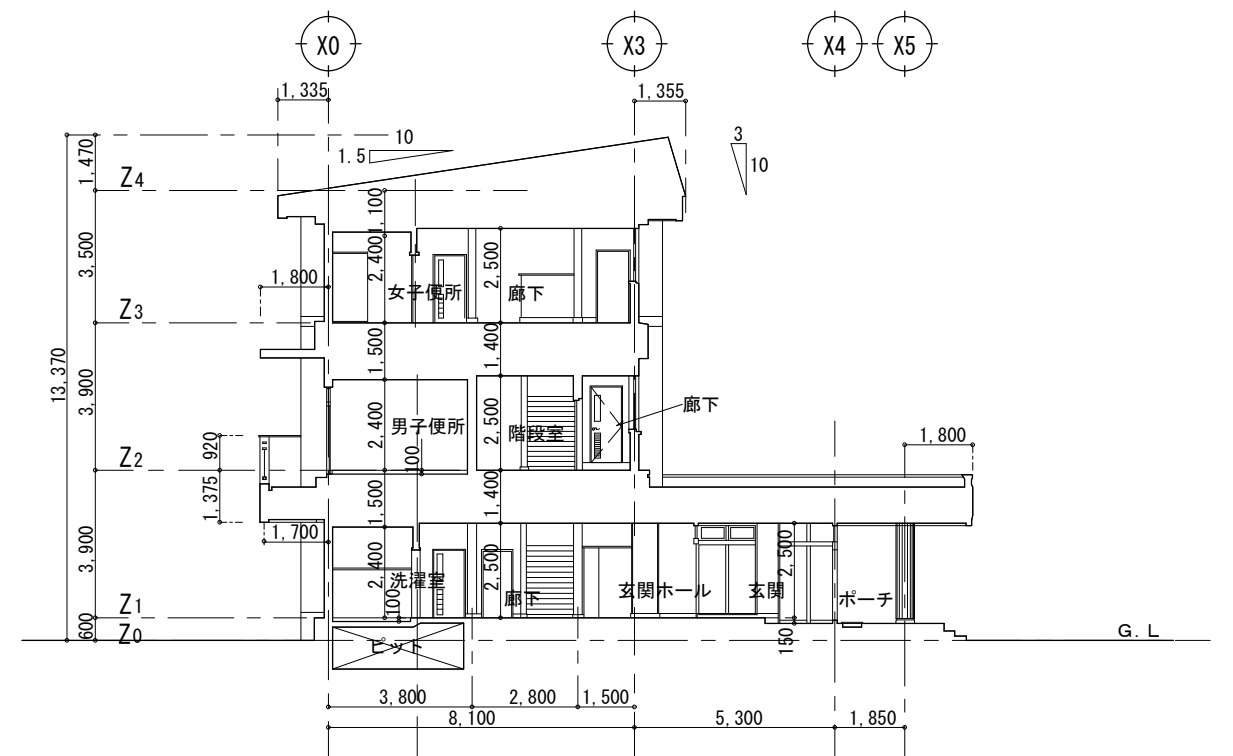


D-D 断面図 S=1/100

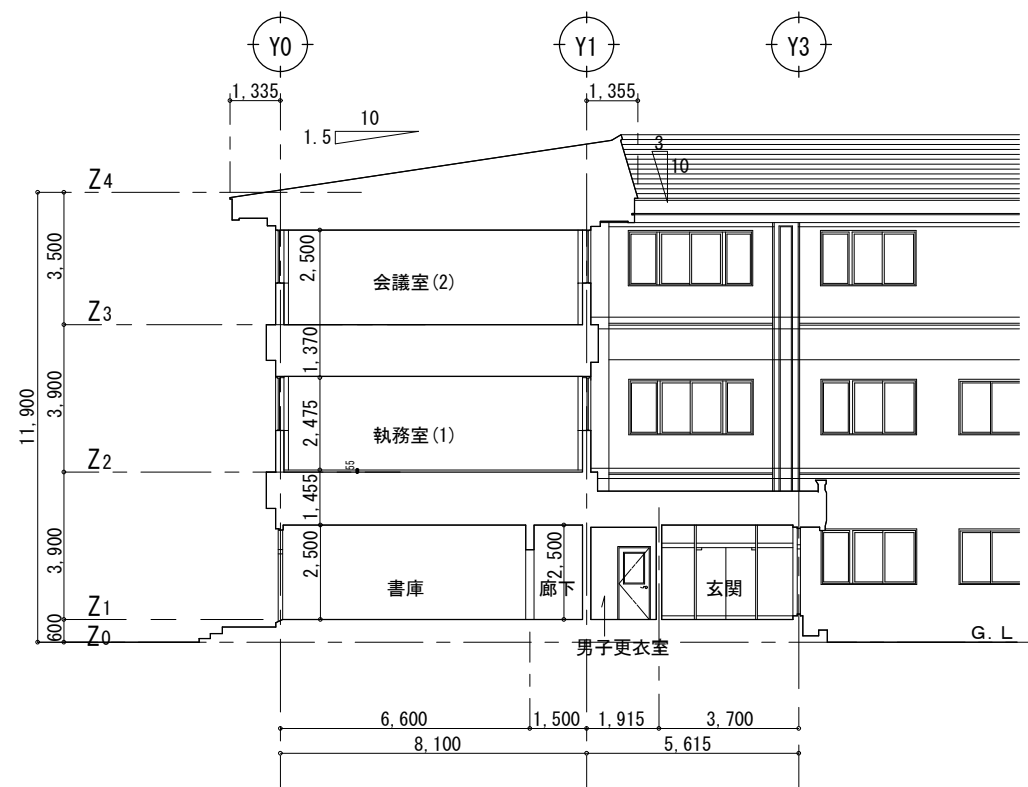
設計番号	工事名	検図	担当	特記	図面名	縮尺	図面番号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修前 断面図	A1:1/100 A3:1/200	A-13-1



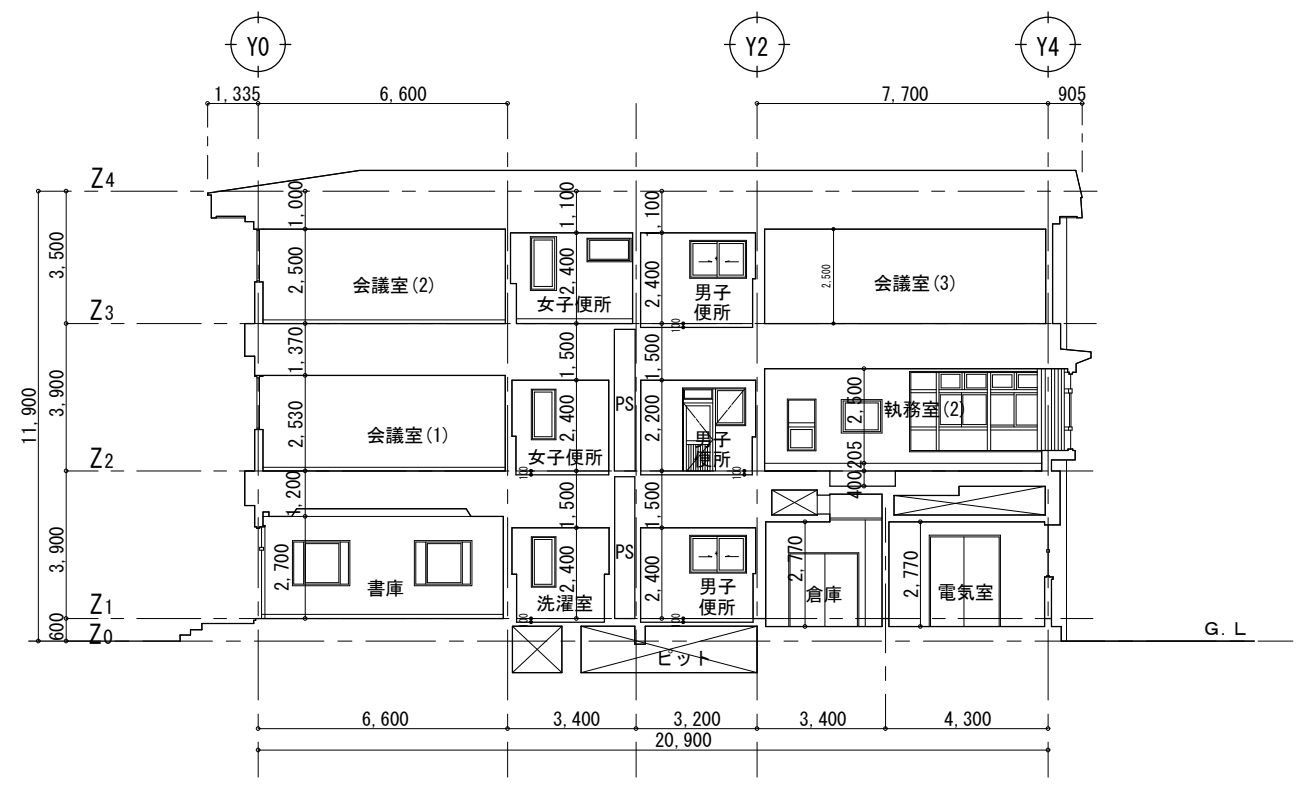
A-A 断面図 S=1/100



B-B 断面図 S=1/100

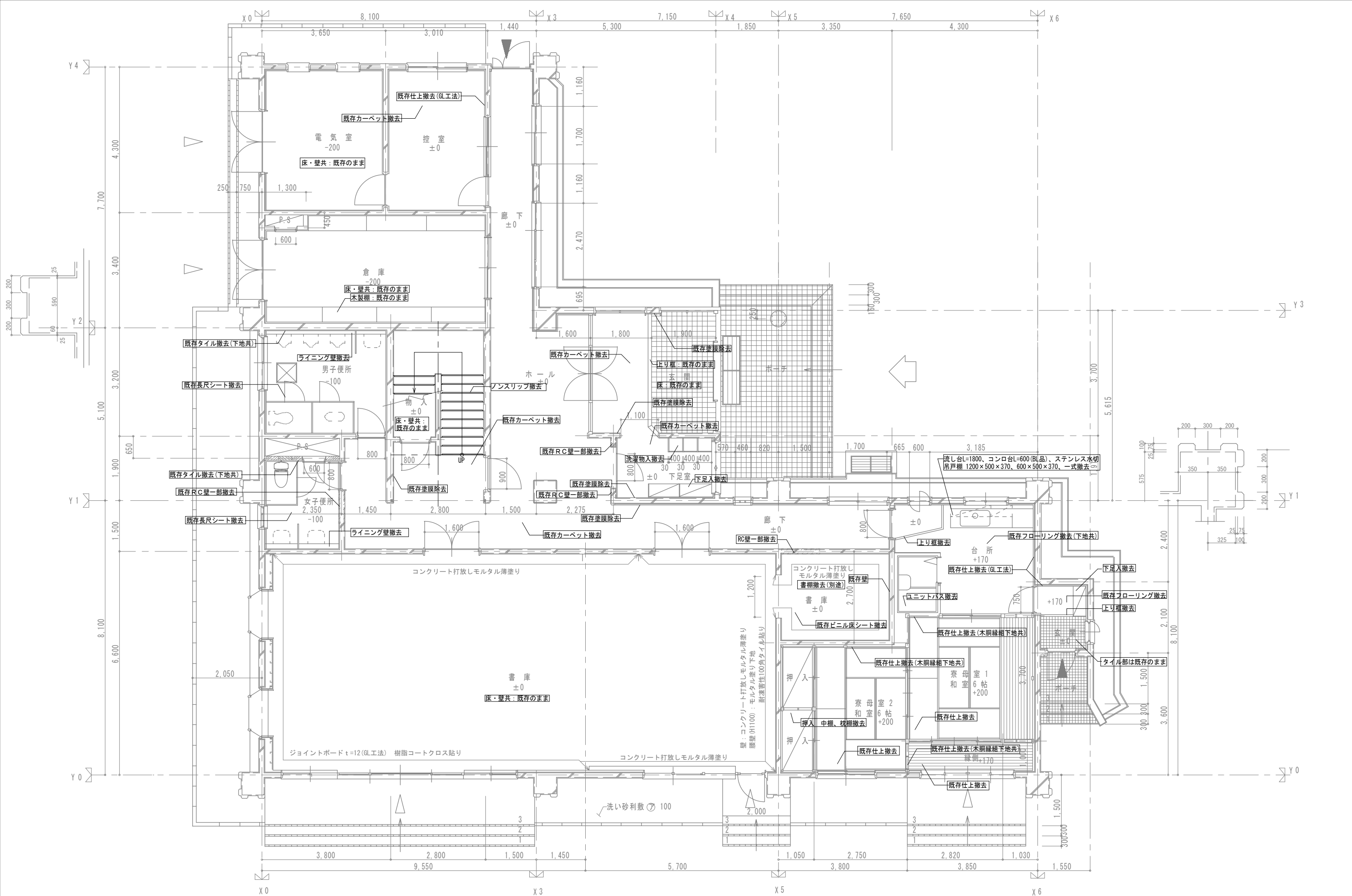


C-C 断面図 S=1/100

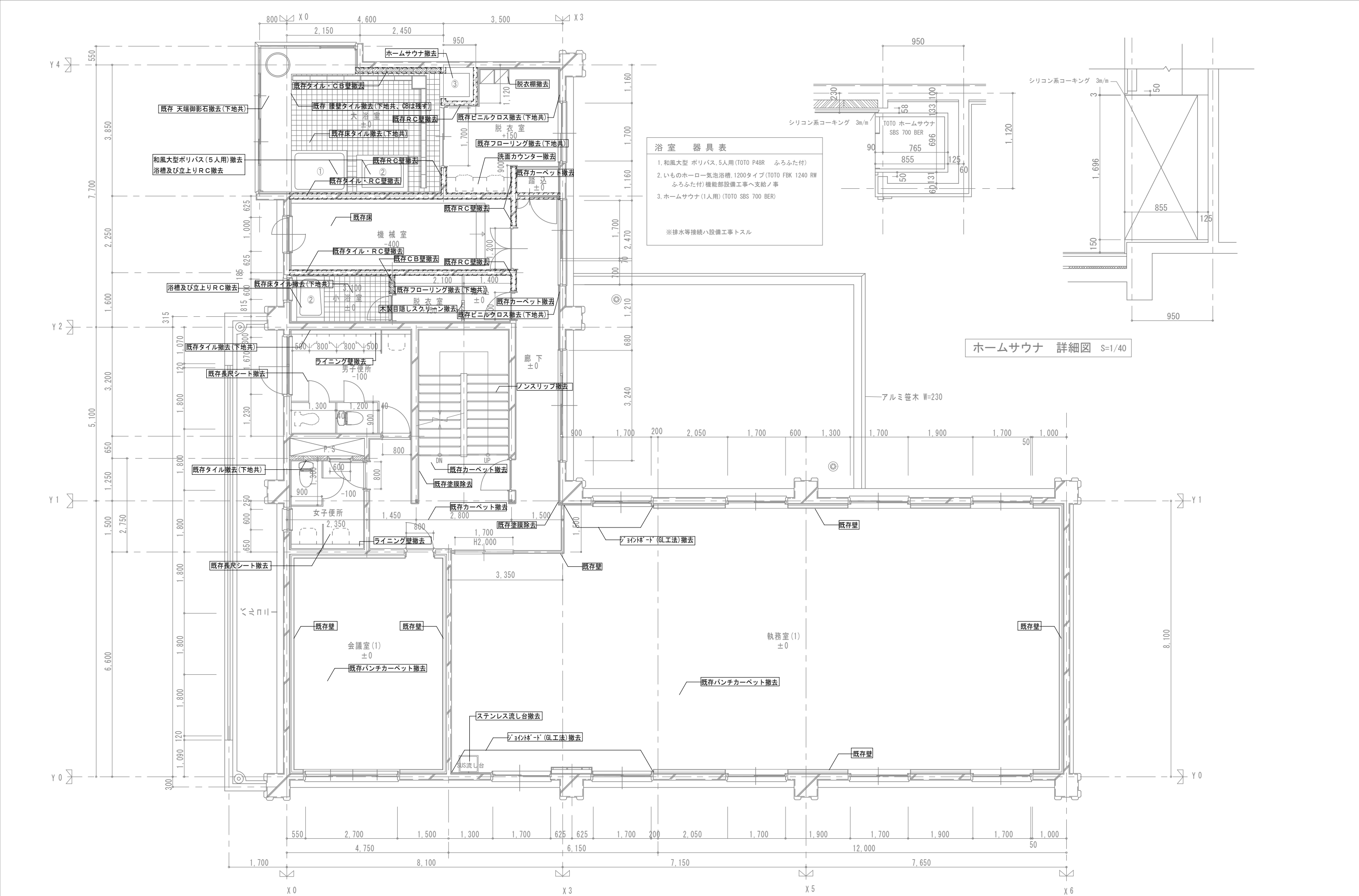


D-D 断面図 S=1/100

設計番号	工事名	検図	担当	特記	図面名	縮尺	図面番号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修後 断面図	A1:1/100 A3:1/200	A-13-2



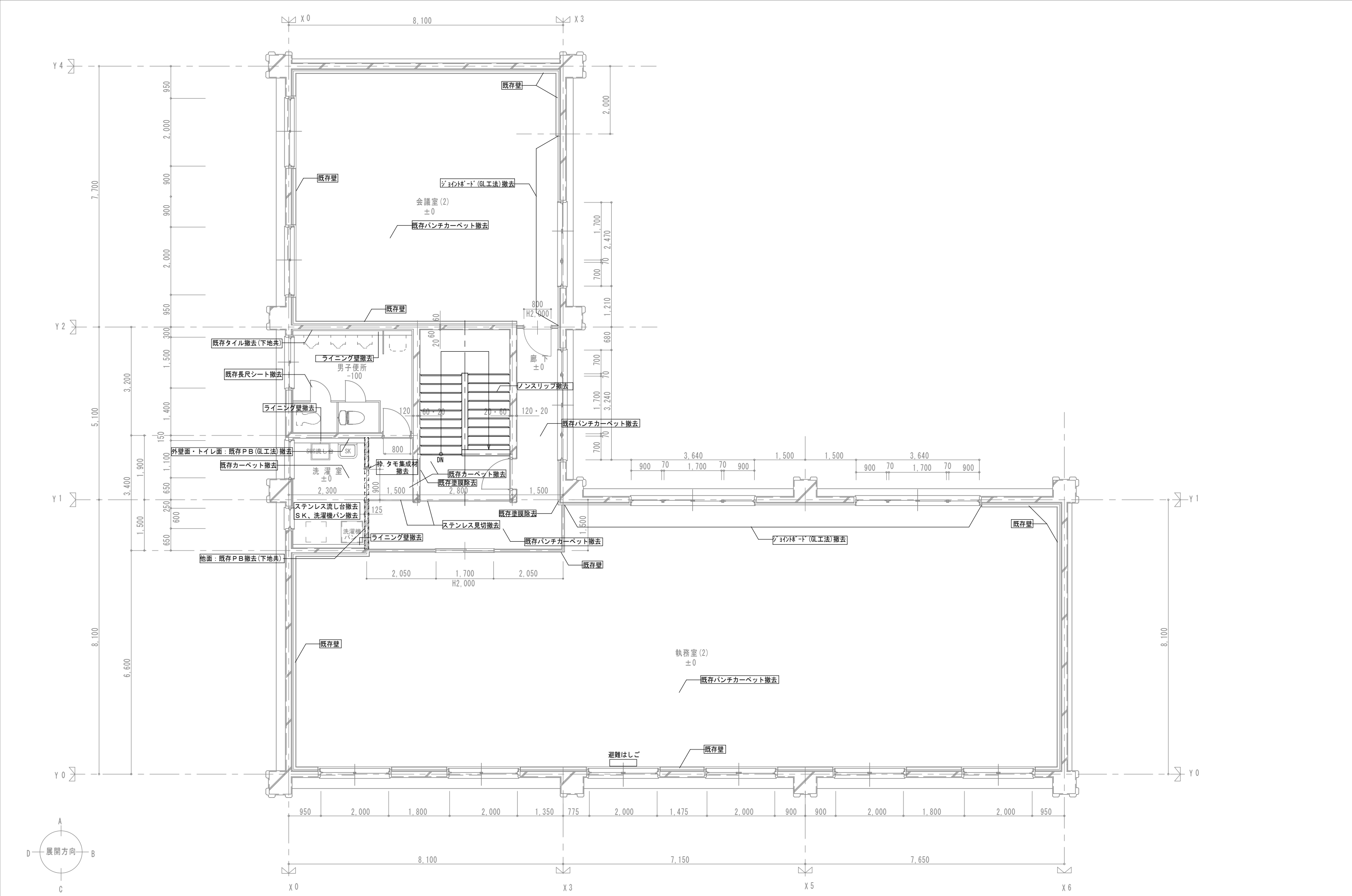
設計番号	工 事 名		検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事					改 修 前 1 階 平 面 詳 細 図	A1:1/50 A3:1/100	A-14



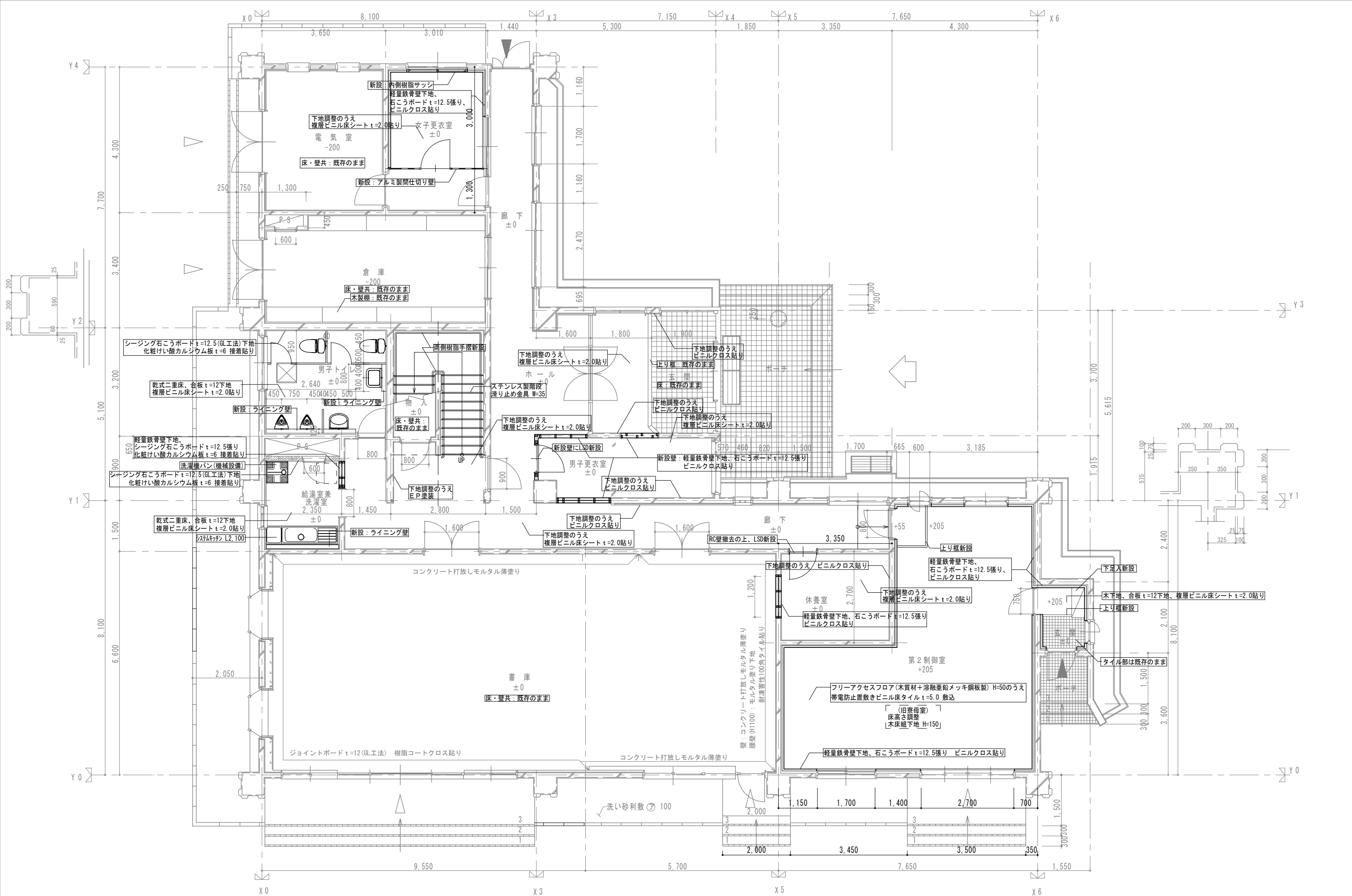
浴室 器具表	
1.	和風大型 ポリバス, 5人用 (TOTO P48R ふろふた付)
2.	いものホーロー気泡浴槽, 1200タイプ (TOTO FBK 1240 RW ふろふた付) 機能部設備工事へ支給ノ事
3.	ホームサウナ (1人用) (TOTO SBS 700 BER)
※排水等接続ハ設備工事トスル	

ホームサウナ 詳細図 S=1/40

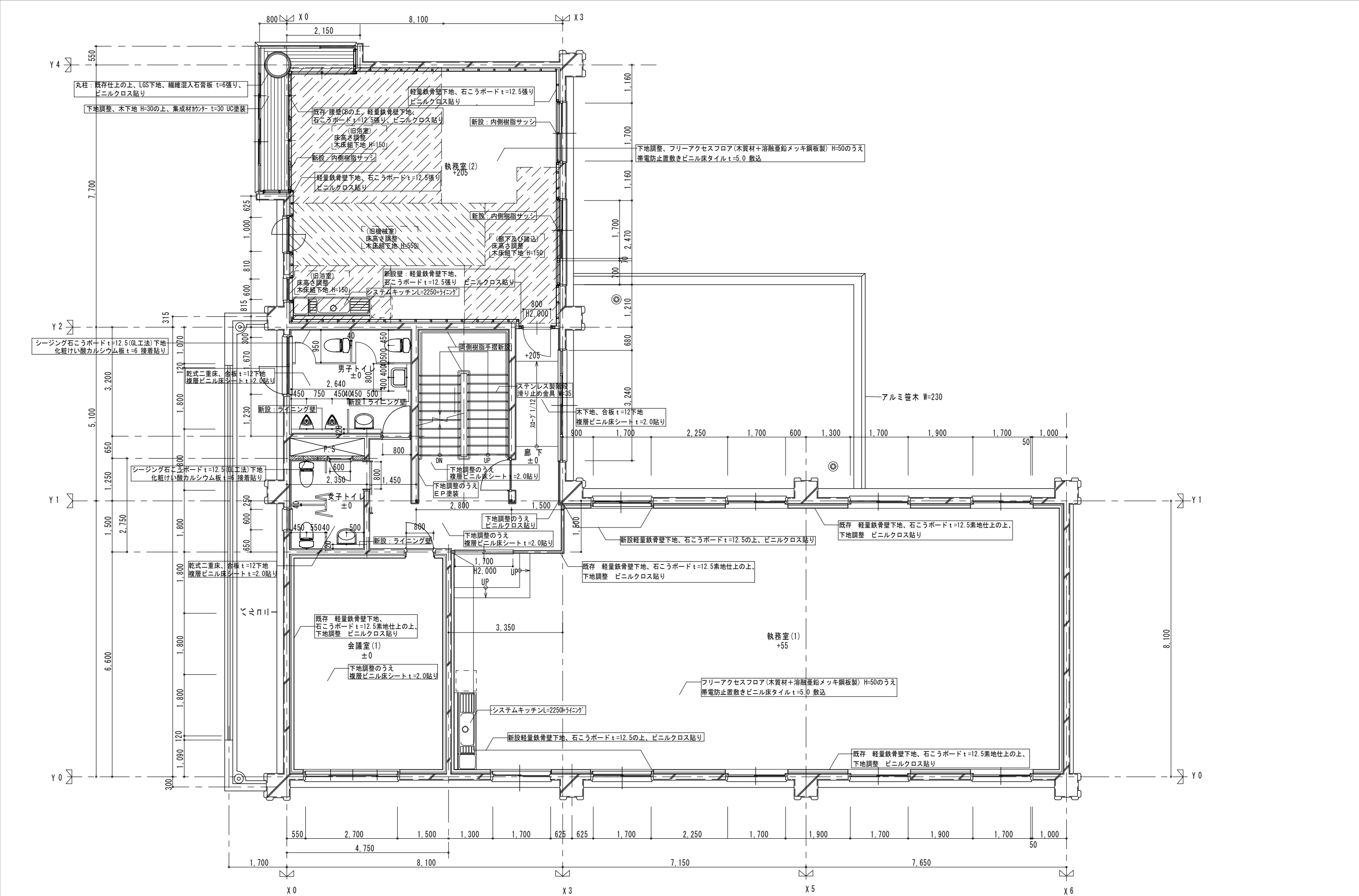
設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修前 2階 平面詳細図	A1:1/50 A3:1/100	A-15



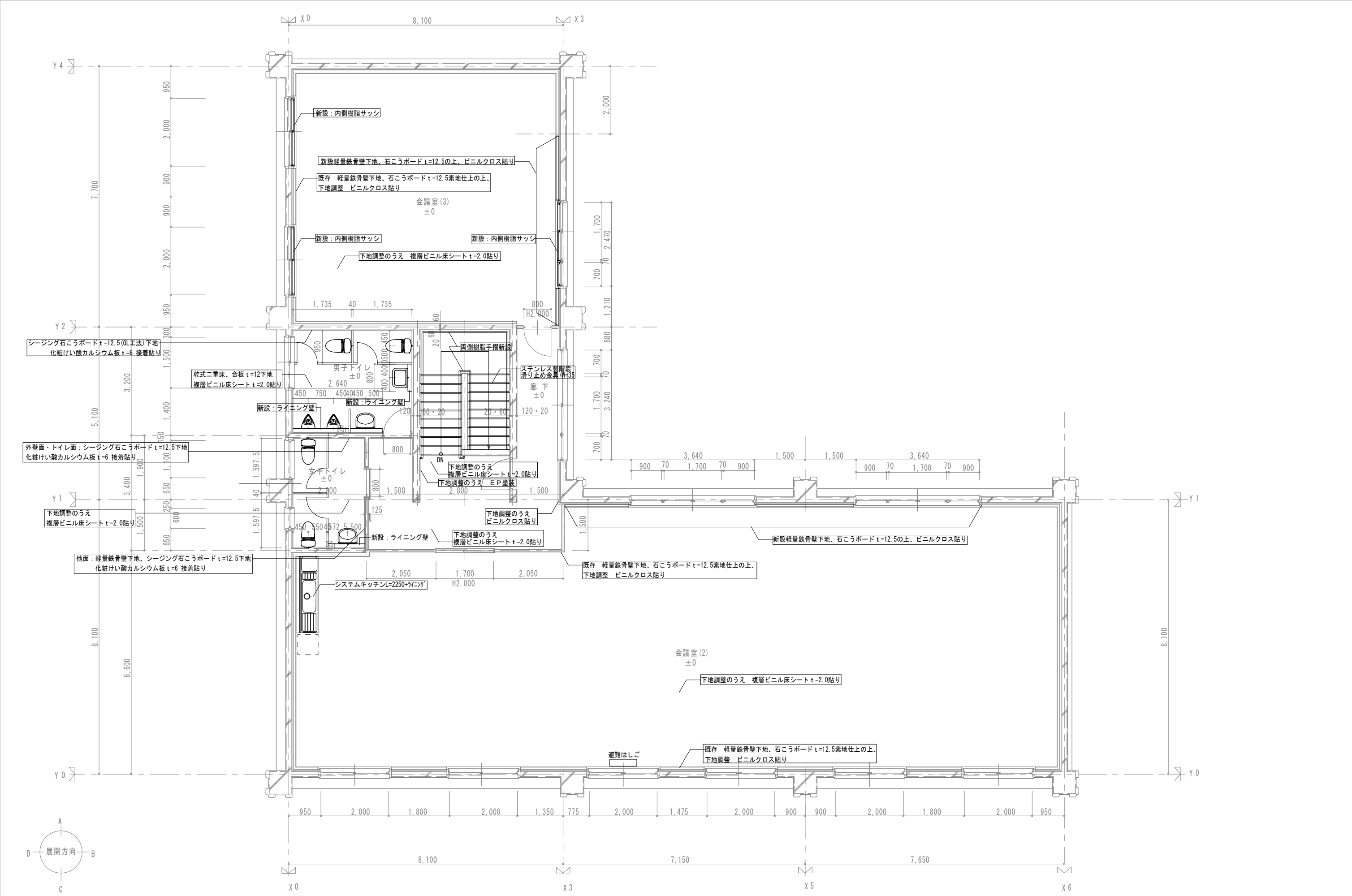
設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事						改修前 3階 平面詳細図	A1:1/50 A3:1/100	A-16



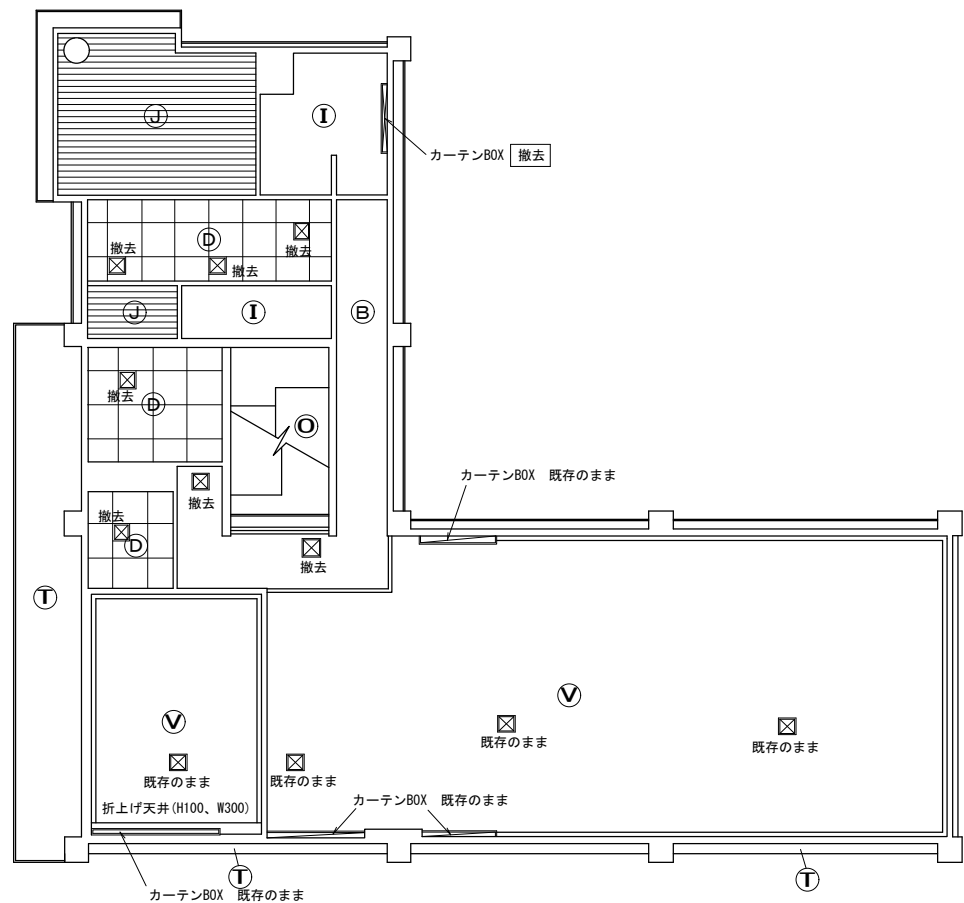
設計番号	工事名	検図	担当	特記	図面名	縮尺	図面番号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修後 1階 平面詳細図	A1:1/50 A3:1/100	A-17



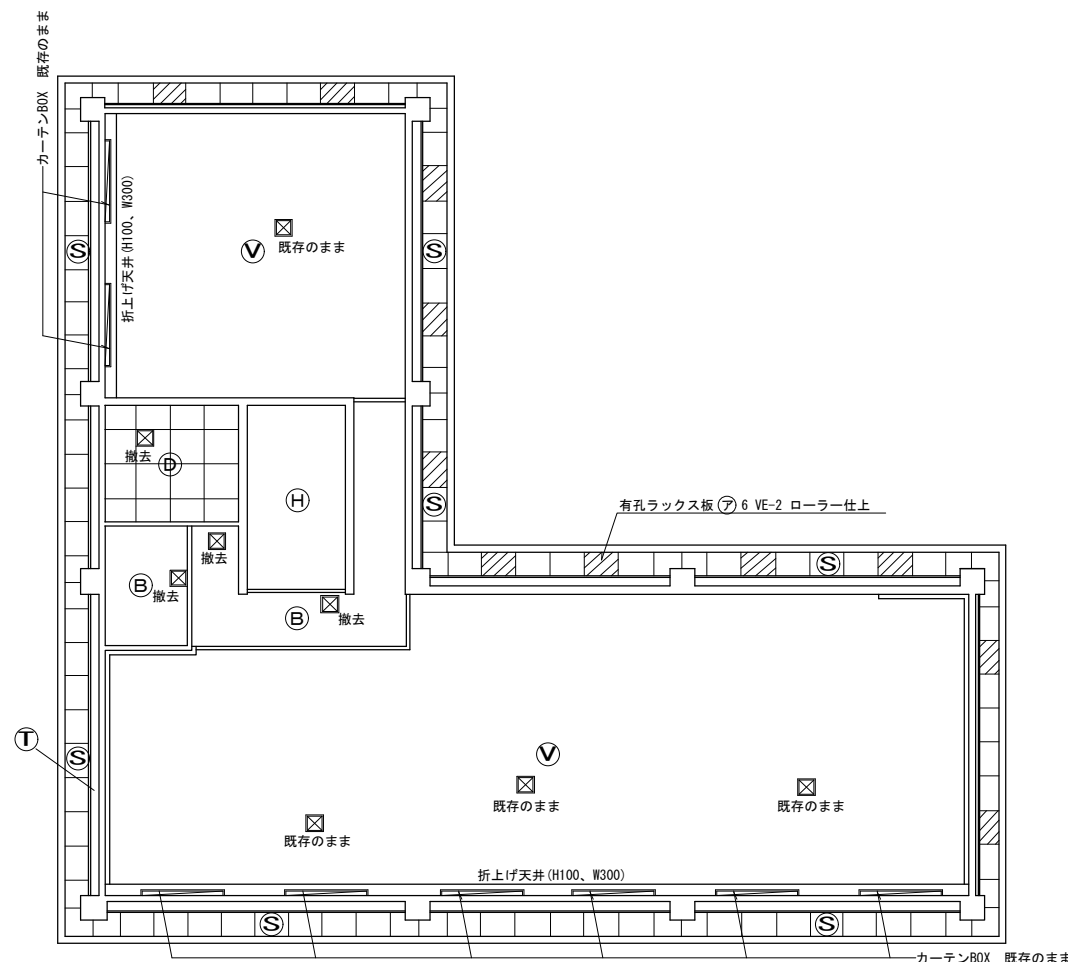
設計番号	工事名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修後 2階 平面詳細図	A1:1/50 A3:1/100	A-18



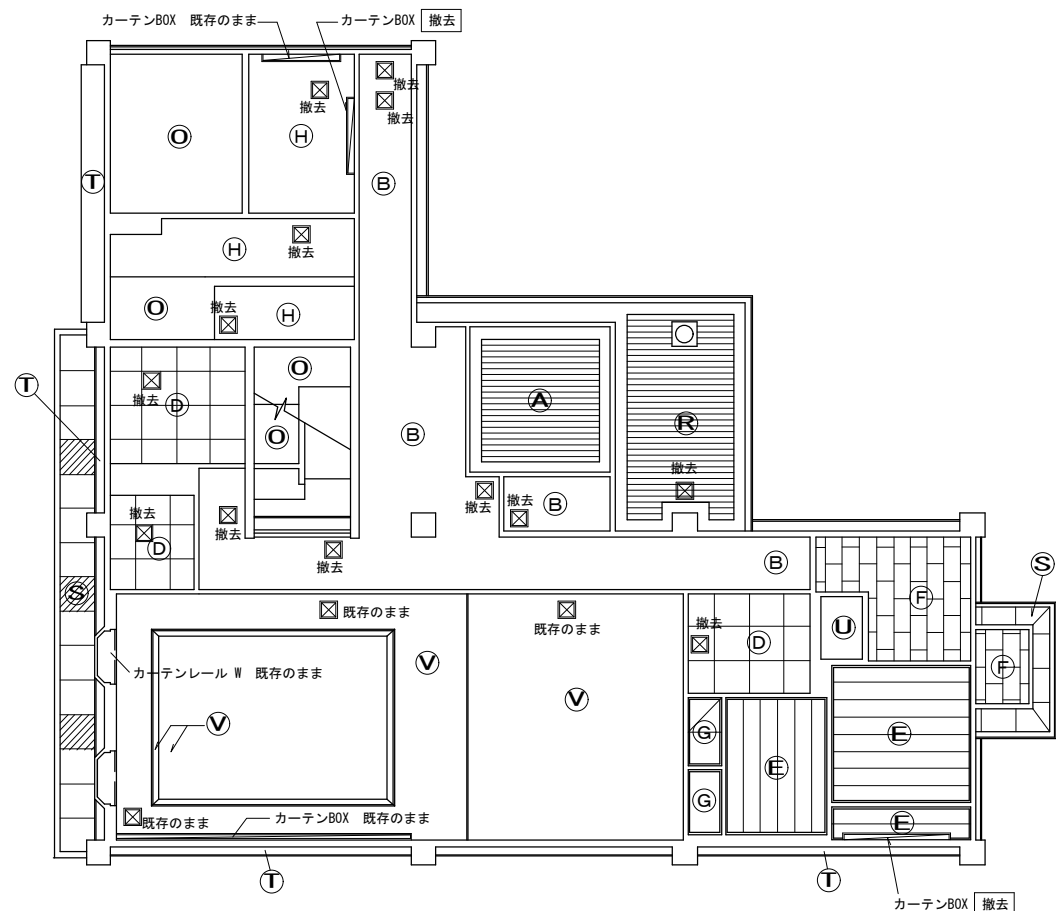
設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修後 3階 平面詳細図	A1:1/50 A3:1/100	A-19



2階 天井伏図 S=1/100



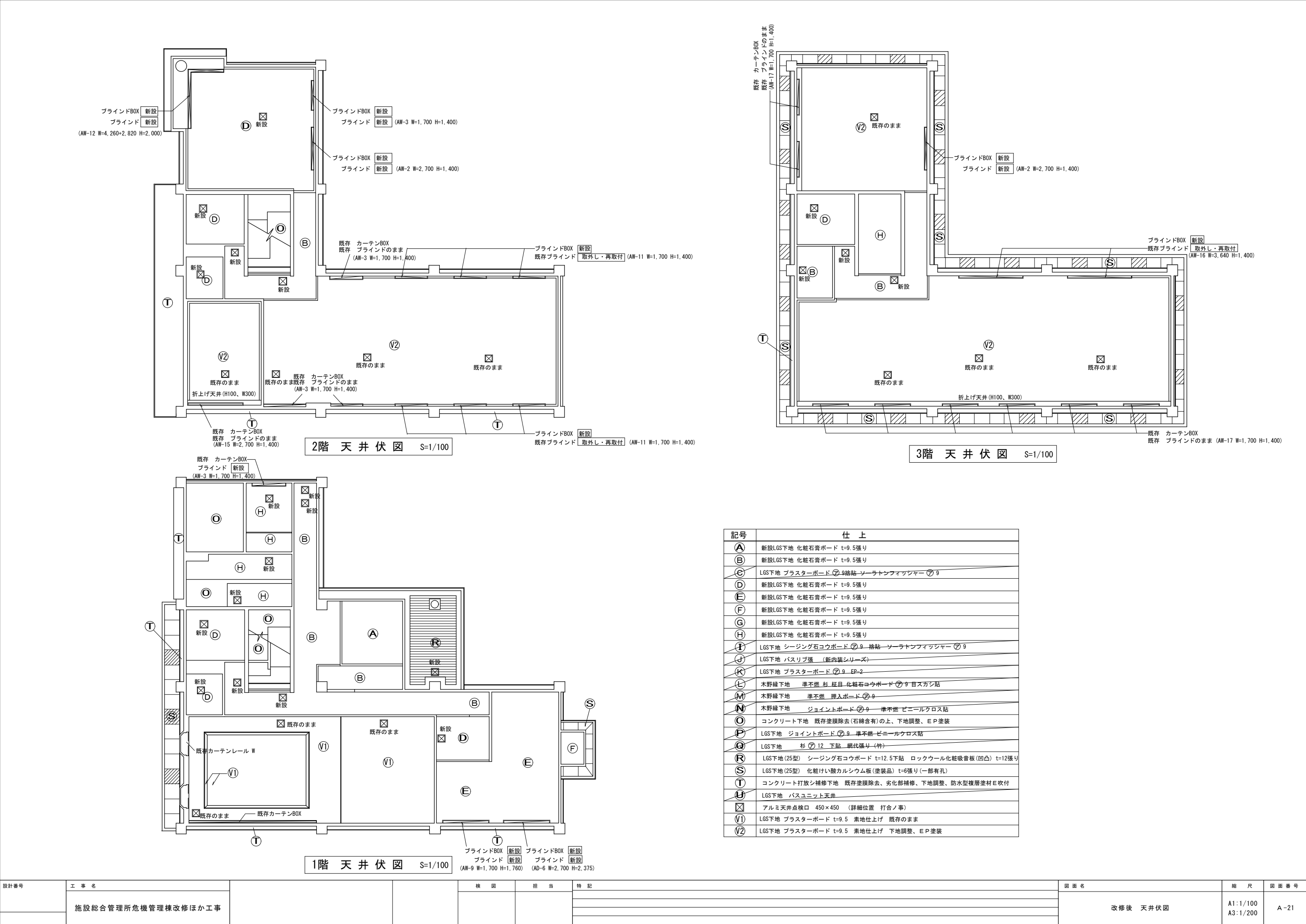
3階 天井伏図 S=1/100

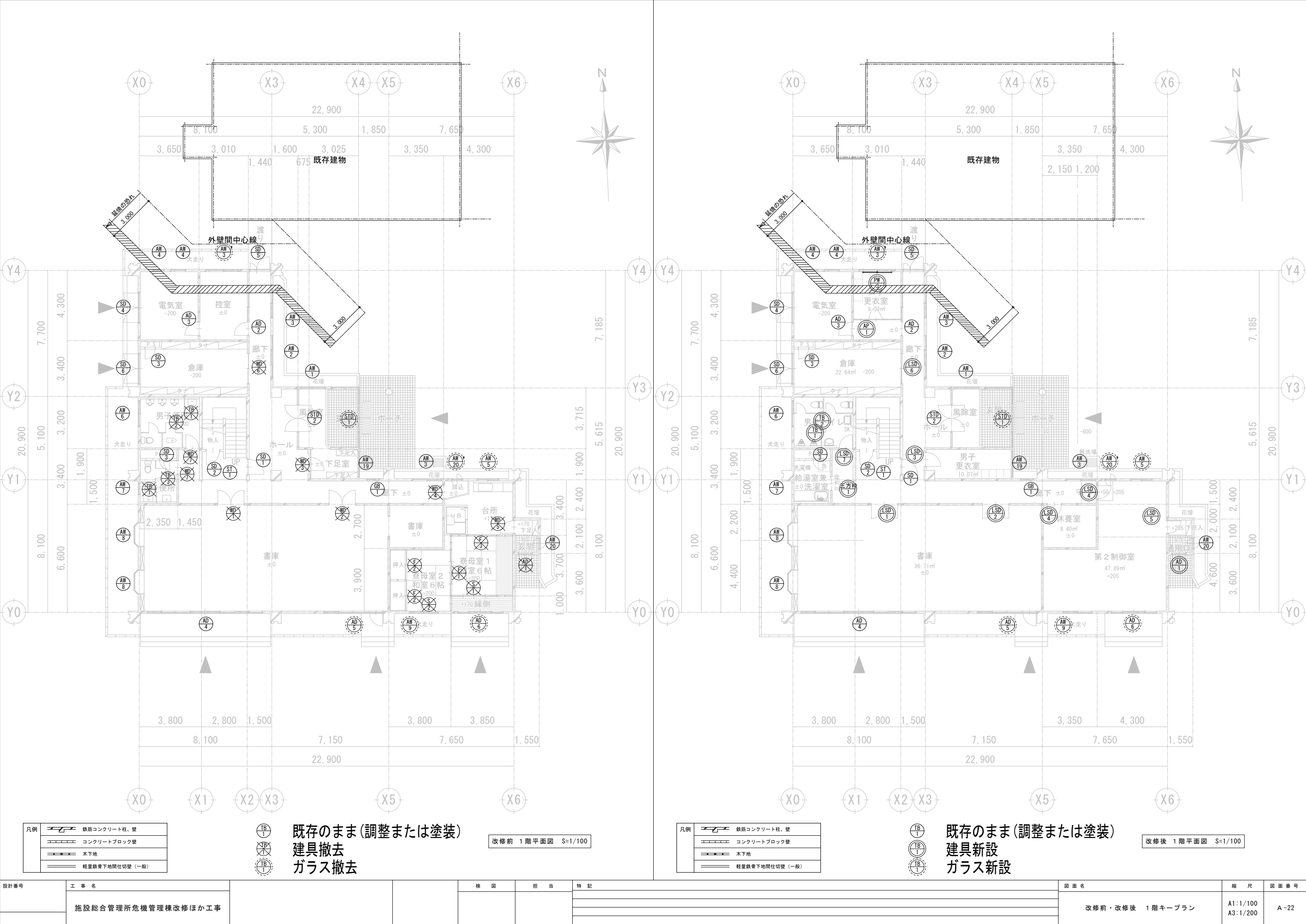


1階 天井伏図 S=1/100

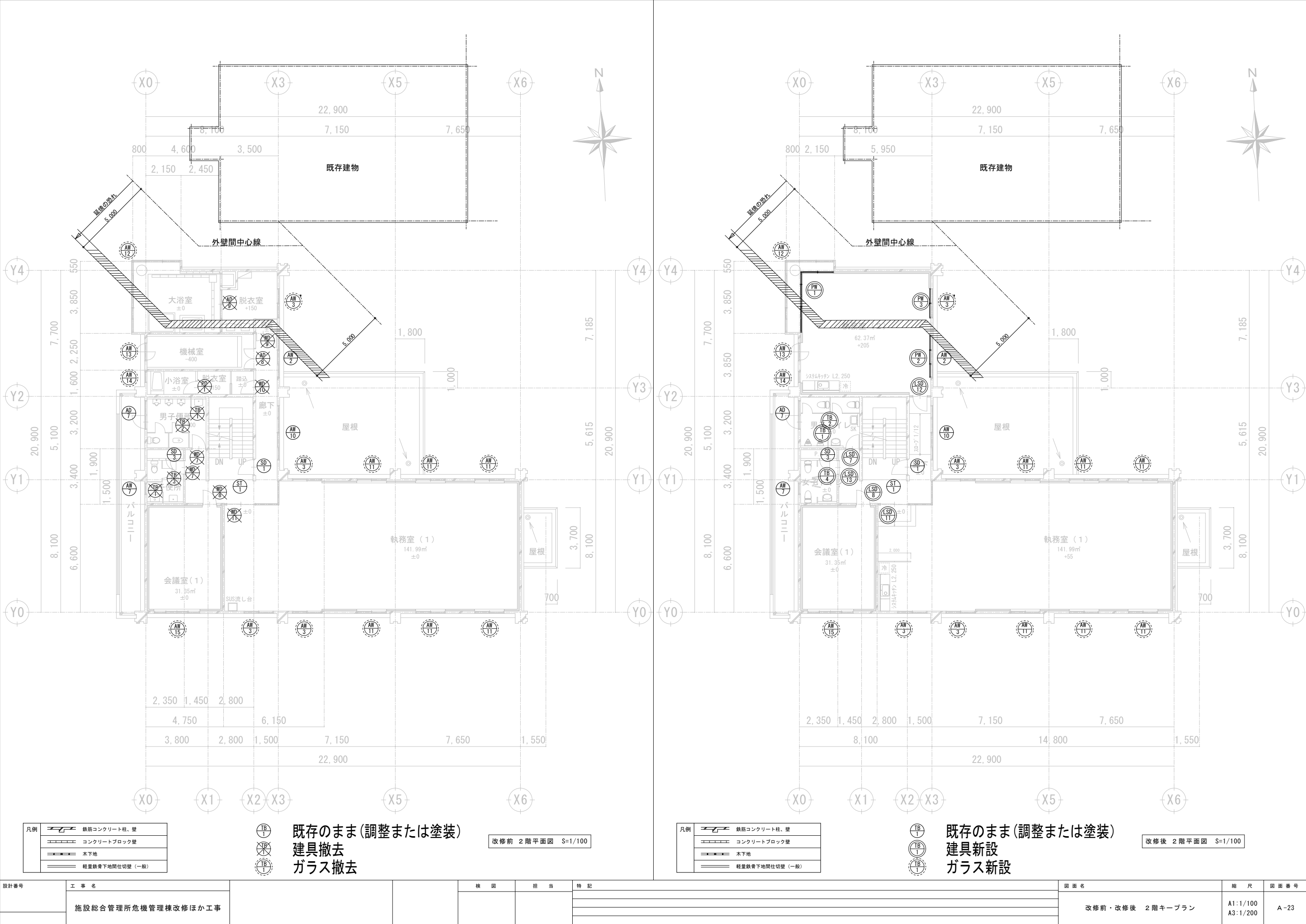
記号	仕 上	
A	LGS下地 プラスターボード (7) 9 捨貼 ソーラトンキューブ (7) 12 クロス6T (白色塗装品)	既存仕上撤去 (天井下地共)
B	LGS下地 プラスターボード (7) 9 ミクライトAP吹付	既存塗膜除去 (LEV A1石綿含有)、既存仕上撤去 (天井下地共)
C	LGS下地 プラスターボード (7) 9 捨貼 ソーラトンフィッシャー (7) 9	
D	LGS下地 F.B (7) 5 3' x 3' 目スカシ貼 VP-2	既存仕上撤去 (LEV A3石綿含有、天井下地共)
E	LGS下地 化粧石コウボード (7) 9 目スカシ貼 (テンバック程度)	既存仕上撤去 (天井下地共)
F	LGS下地 化粧石コウボード (7) 9 (ジブトーン程度)	既存仕上撤去 (天井下地共)
G	LGS下地 準不燃 押入ボード (7) 9	既存仕上撤去 (天井下地共)
H	LGS下地 プラスターボード (7) 9 ウォールコートM吹付	既存塗膜のまま、既存仕上撤去 (天井下地共)
I	LGS下地 シーシング石コウボード (7) 9 捨貼 ソーラトンフィッシャー (7) 9	既存仕上撤去 (天井下地共)
J	LGS下地 バスリブ張 (新内装シリーズ)	既存仕上撤去 (天井下地共)
K	LGS下地 プラスターボード (7) 9 EP-2	
L	木野縁下地 準不燃 杉 柱目 化粧石コウボード (7) 9 目スカシ貼	
M	木野縁下地 準不燃 押入ボード (7) 9	
N	木野縁下地 ジョイントボード (7) 9 準不燃 ビニールクロス貼	
O	コンクリート下地 ウォールコートM吹付	既存塗膜除去
P	LGS下地 ジョイントボード (7) 9 準不燃 ビニールクロス貼	
Q	LGS下地 杉 (7) 12 下貼 網代張り (竹)	
R	LGS下地 (25型) シーシング石コウボード (7) 9 捨貼 ミネラボード キューブ軒天12 クロス6T ボーダー ミネラボード 軒天 (7) 9 W=300	既存仕上撤去
S	LGS下地 (25型) ラックス板 (7) 5 目スカシ貼 (一部有孔) VP-2 ローラー仕上	既存仕上撤去 (LEV A3石綿含有)
T	コンクリート打放シ補修 透湿性弾性タイル吹付	既存塗膜除去
U	LGS下地 バスユニット天井	既存仕上撤去 (天井下地共)
X	アルミ天井点検口 450 x 450 (詳細位置 打合ノ事)	既存撤去
V	LGS下地 プラスターボード (7) 9.5 素地仕上げ	既存のまま

設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事						改 修 前 天 井 伏 図	A1:1/100 A3:1/200	A-20





設計番号	工 事 名		検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事					改修前・改修後 1階キープラン	A1:1/100 A3:1/200	A-22



設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修前・改修後 2階キープラン	A1:1/100 A3:1/200	A-23



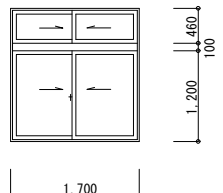
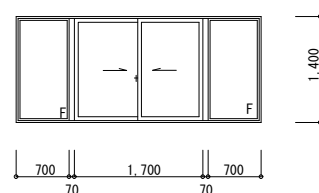
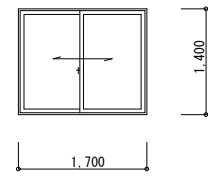
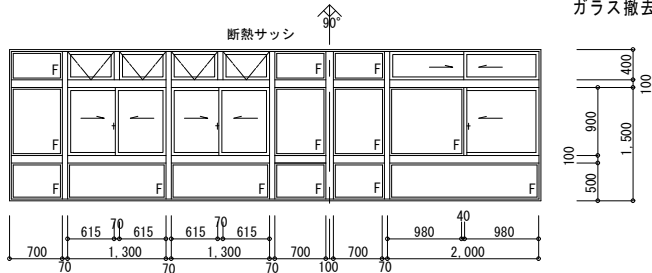
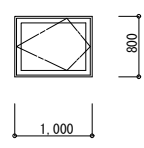
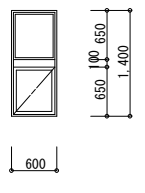
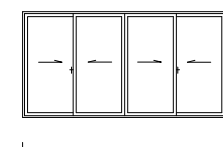
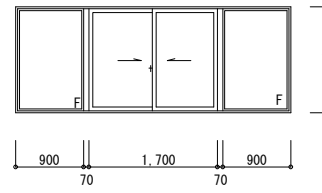
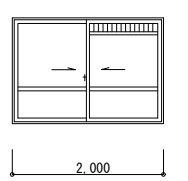
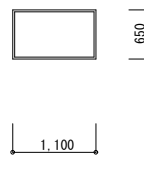
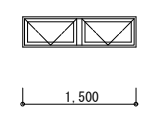
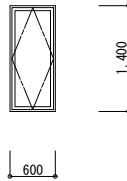
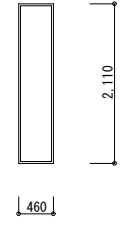
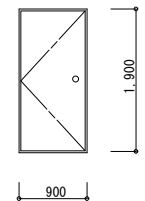
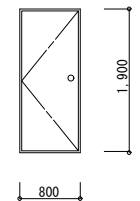
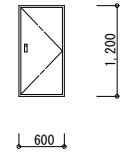
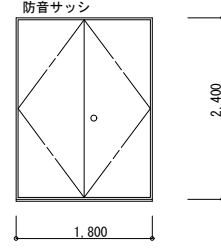
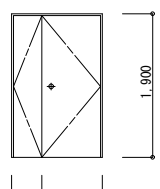
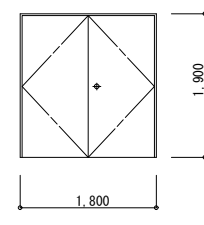
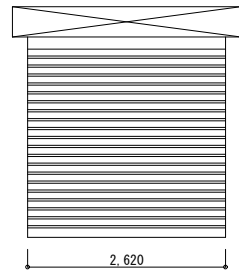
設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事						改修前・改修後 3階キープラン	A1:1/100 A3:1/200	A-24

記 号 型 式	STD ① ハメ殺シ ランマ・袖付 引き分ケ 自動ドア	STD ② ハメ殺シ ランマ・袖付 両開キドア	AD ① ハメ殺シランマ付 片開キドア	AD ② 片開キフラッシュドア 引違い窓 連窓	AD ③ 片開キ防音ドア	
取付箇所 箇所数	玄 関 1	玄 関 ホ ー ル 1	寮母室 玄関 1	控 室 1	電 気 室 1	
形状寸法						
見込	100	100	70	70	70	
建具金物	本締錠 熱線式 他標準金物一式	押板 ユニオン G2100 ビボットヒンジ 他標準金物一式	シリンドー本締錠 サムタン DC ドアアイ 他標準金物一式	シリンドー本締錠 サムタン DC 撤去 他標準金物一式	グレモン本締錠 DC 他標準金物一式	
硝子	ドア部 強化ガラス ㊦ 12 ランマ FL5 その他FL10	全 左	FL3	F-4 撤去		
材 質 仕 上	ステンレス ヘアライン	全 左	アルミ ホワイト	アルミ シルバー		
そ の 他	【撤去】 テンキー操作盤兼インターホン送信機(玄関外)、インターホン送信機(風除室)、自動ドア操作錠(風除室)、インターホン受信機(控室) 全て電気設備工事とする。	ステンレス番据 ステンレス膳板 (内、外 各3方)	水切			

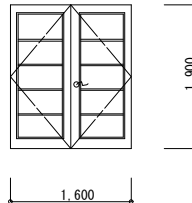
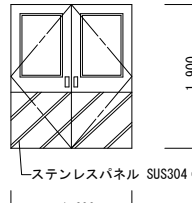
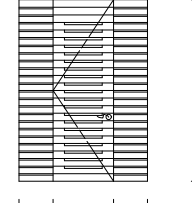
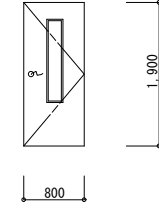
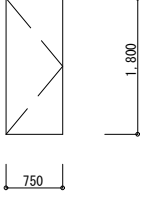
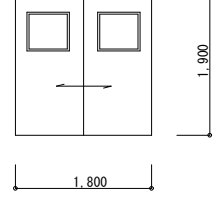
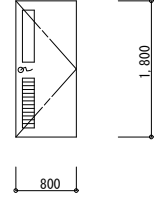
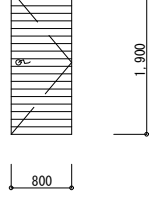
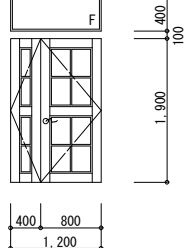
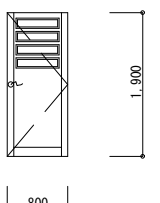
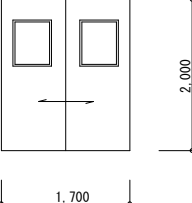
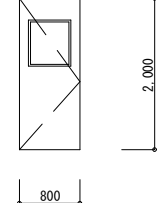
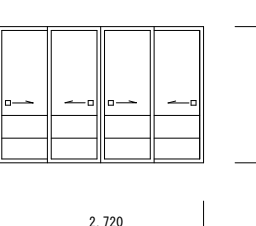
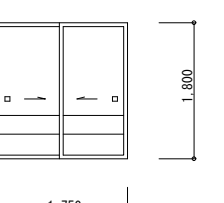
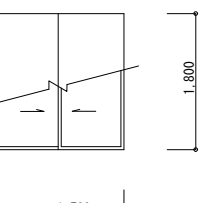
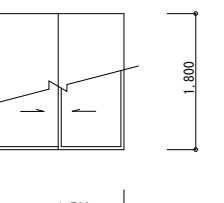
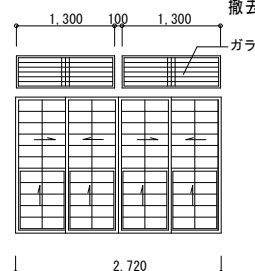
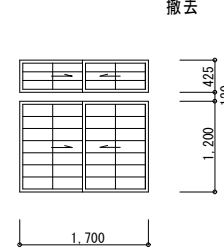
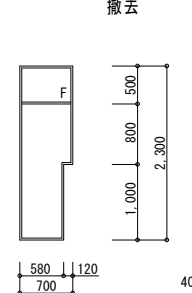
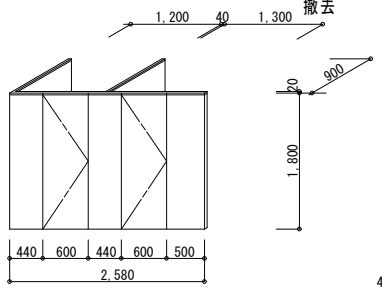
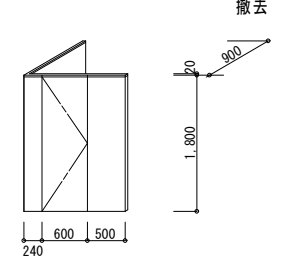
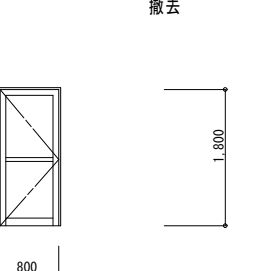
記 号 型 式	AD ④ ランマ ハメ殺シ 外倒シ排煙窓4連 両袖引違い窓付 4枚建引き違い窓	AD ⑤ ハメ殺シランマ付 引違い窓 ハメ殺シ窓 片開框ドア 連窓	AD ⑥ 四枚建ランマ引き違い排煙窓付引き違い窓	AD ⑦ ハメ殺しランマ付片開キ框ドア 二り出シ窓 連窓	AD ⑧ 両開キ防音ドア	AD ⑨ 引き違い戸
取付箇所 箇所数	書 庫 1	書 庫 1	縁 側 1	2階 男子便所 1	機械室 1	大浴室 1
形状寸法						
見込	70	70	70	70	70	70
建具金物	ワンタッチ排煙窓(フック棒) クレセント 他標準金物一式	シリンドー本締錠 サムタン DC クレセント 他標準金物一式	引違い用オペレーター クレセント 他標準金物一式	DC 他標準金物一式	グレモン本締錠 DC 他標準金物一式	クレセント 他標準金物一式
硝子	FL-3 FL-5	ペアガラス FL3 + A6 + FL3	ペアガラス FL3 + A6 + FL3	F-4	FW6.8	FL-5 下部 FL-4
材 質 仕 上	アルミ シルバー 水切 アングル	全 左 全 左	全 左 全 左	全 左 全 左	アルミ シルバー 専用下枠	全 左 全 左
そ の 他	ステンレス製網戸 撤去		ステンレス製網戸 撤去(ランマ中央)			下枠ステンレス SUS 304

記 号 型 式	AW ① ランマ外倒シ排煙窓付 ハメ殺シ窓	AW ② 片袖 ハメ殺シ付 引き違い窓	AW ③ 引き違い窓 AW/3' ハ断熱	AW ④ ハメ殺シ窓 二り出シ窓 段窓	AW ⑤ 引き違い窓	AW ⑥ 引き違い窓	AW ⑦ ハメ殺シ窓	AW ⑧ ハメ殺シ出窓
取付箇所 箇所数	玄関ホール 1	1・2F廊下・3F会議室(2) 3	大浴室脱衣室1・控室1・1階廊下2・2階執務室(1)3 7	電 気 室 2	台 所 1	男子便所 2	女子便所 2	書 庫 2
形状寸法								
見込	70	70	70	70	70	70	70	70
建具金物	ワンタッチ排煙窓(フック棒) 他標準金物一式	クレセント 他標準金物一式	全 左	全 左	クレセント 他標準金物一式	全 左	標準金物一式	全 左
硝子	FL-10 ランマ FL-5	1階 FL-5 2.3階 PW-6.8	AW/3 PW6.8 FL-5 AW/3' FL5 + A6 +FW6.8	FW-6.8	F4 + A6 + F4	F-4	F 4	FL5
材 質 仕 上	アルミ シルバー	全 左	全 左	全 左	全 左	全 左	アルミ シルバー	全 左
そ の 他	水切 アングル	全 左	全 左	全 左	全 左	全 左	アルミ水切 アルミアングル	
		ステンレス製網戸 撤去	ステンレス製網戸 撤去		ステンレス製網戸 撤去	ステンレス製網戸 撤去		

設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事			ガラス交換等の場合も、全てのサッシの調整を行うこと。 排煙オペレーターは全て調整を行うこと。	改 修 前 建 具 表 1	A1:1/50 A3:1/100	A-25

記 号 型 式	AW9 ランマ引き違い排煙窓付引き違い窓	AW10 両袖 ハメ殺シ窓付 引き違い窓	AW11 引き違い窓	AW12 ランマハメ殺シ外側シ排煙窓 引き違い窓付 ハメ殺シ引き違い片引き窓	AW13 縦軸回転窓	AW14 ハメ殺シ窓 入り出シ窓 段窓		
取付箇所	寮 母 室	廊 下 (2・3階)	執務室(1)	大浴室	機 械 室	小浴室		
箇所数	1	2	6	1	1	1		
形状寸法	断熱サッシ ガラス撤去 	既存のまま(調整) 	断熱サッシ ガラス撤去 	断熱サッシ ガラス撤去 	ガラス撤去 断熱、防音サッシ 	ガラス撤去 断熱サッシ 		
見込	70	70	70	100	70	70		
建具金物	引き違い用オペレーター クレセント 他標準金物一式	クレセント 他標準金物一式	全 左	ステンレス製オペレーター クレセント 他標準金物一式	標準金物一式	全 左		
硝子	ペアガラス FL3 + A6 + FL3	FL5	ペアガラス FL3 + A6 + FL3	下部 FL5 + A6 + FW6.8 中央・ランマ FL5 + A6 + PW6.8	F4 + A6 + F4	全 左		
材 質 仕 上	アルミ シルバー	アルミ シルバー	全 左	アルミ シルバー	全 左	全 左		
そ の 他	アルミ水切 アルミアングル	アルミ水切 アングル	全 左	アルミ水切 アルミ踏板		全 左		
	ステンレス製網戸 撤去	ステンレス製網戸 撤去	ステンレス製網戸 撤去	ステンレス製網戸 撤去				
記 号 型 式	AW15 4枚建引き違い窓	AW16 両袖 ハメ殺シ窓付 引き違い窓	AW17 AW17 引き違い窓	AW18 ハメ殺シ窓	AW19 2連外倒シ排煙窓	AW20 AW20 縦軸回転窓	AW21 ハメ殺シ窓 上げ下げ窓 段窓	GB1 ガラスブロック用アルミ枠
取付箇所	会議室(1)	廊 下 (3階)	執務室(2)、会議室(2)	洗濯室	下 足 室	寮 母 室 (台 所、玄 関)	洗濯室	1階 廊 下
箇所数	1	2	8	1	1	2	1	1
形状寸法	断熱サッシ ガラス撤去 	ガラス撤去 	断熱サッシ ガラス撤去 断熱サッシ 7 網入り断熱サッシ 1 	既存のまま 	既存のまま(調整) 	既存のまま(調整)、AW-20'はガラス撤去 断熱サッシ 1 断熱サッシ 1 	ガラス撤去 断熱サッシ 	既存のまま 
見込	70	70	70		70	70	70	100
建具金物	クレセント 他標準金物一式	全 左	全 左	全 左	ワンタッチ排煙窓 (フック棒) 他標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式
硝子	FL3 + A6 + FL3	FL5	AW/17- FL3 + A6 + FL3 AW/17'- PW6.8 + A6 + FL5	F4	FL5	F4 F4 + A6 + F4 (AW-20')	F4 + A6 + F4	カラーガラスブロック 145×145×95
材 質 仕 上	アルミ シルバー	全 左	全 左	全 左	全 左	全 左	樹脂サッシ 白	
そ の 他	アルミ水切 アルミアングル	全 左	アルミ水切 アルミアングル 換気框	アルミ水切 アルミアングル	アルミ水切 アルミアングル	アルミ水切	全 左	アルミ水切
	ステンレス製網戸 撤去	ステンレス製網戸 撤去	ステンレス製網戸 撤去				ステンレス製網戸 撤去	
記 号 型 式	SD1 SD1 片開キスチールドア	SD2 片開キスチールドア	SD3 片開キスチール点検口	SD4 両開キスチールドア	SD5 両開キ親子ドア	SD6 両開キ戸	ST1 防煙・防火 重量シャッター	
取付箇所	階 段 室	1階 階段下物入	P S(女子便所・倉庫)	電 気 室	廊 下	倉 庫	階 段 室	
箇所数	3	1	3	1	1	1	3	
形状寸法	建具既存のまま(調整) 下地調整、SOP塗装(枠とも) ハ吊本反対 甲種防火戸 SD-1 2 SD-1' 1 	建具既存のまま(調整) 下地調整、SOP塗装(枠とも) 	建具既存のまま(調整) 下地調整、SOP塗装(枠とも) 	建具既存のまま(調整) 下地調整、DP塗装(枠とも) 防音サッシ 	建具既存のまま(調整) 下地調整、DP塗装(枠とも) 	建具既存のまま(調整) 下地調整、DP塗装(枠とも) 	建具既存のまま(調整) 下地調整、SOP塗装(枠とも) 甲種防火シャッター 煙感連動 	
見込	100	100	45	100	70	70		
建具金物	空 錠、握 玉 ステンレス丁番 DC (ストッパーナシ)	シリンダー本締錠、サムタン、DC ステンレス丁番	点検口錠 ステンレス丁番	グレモン本締錠 DC ステンレス丁番 フランス落し	両シリンダー本締錠 DC(ストッパー無) フランス落シ ステンレス丁番 他標準金物一式	シリンダー本締錠 サムタン DC フランス落シ ステンレス丁番 他標準金物一式	シャッターケース天井内納メ 他標準金物一式	
硝子								
材 質 仕 上	スチール OP	全 左	全 左	全 左	スチール	全 左	全 左	
そ の 他	下枠ステンレス SUS304 スチール踏板 (3方)	全 左		下枠ステンレス SUS304 スチール踏板 (3方)	下枠ステンレス SUS304 ステンレス水切	全 左	カラスステンレスガイドレール、カラスステンレスマグサ、カラスステンレス巻座板、手動閉鎖装置 手動式開閉機	

設計番号	工 事 名		検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				ガラス交換等の場合も、全てのサッシの調整を行うこと。 排煙オペレーターは全て調整を行うこと。 SD塗装の下地調整は全てRB種で行うこと。	改 修 前 建 具 表 2	A1:1/50 A3:1/100	A-26

記 号 型 式	 両開キガラス戸	 両開キ戸	 両袖フラッシュ付 片開キ戸	 片開キ戸	 片開キ戸	 引き違い戸	 片開キ戸	 片開キ戸	
取付箇所	書 庫	書 庫	下 足 室	寮 母 室	台 所	倉 庫	男子便所・女子便所	会議室(1)	
箇所数	1	1	1	1	1	1	5	1	
形状寸法	撤去 	撤去 	撤去 	撤去 	撤去 	撤去 	撤去 	撤去 	
見込	40	36	45	36	36	36	36	45	
建具金物	レバーハンドル錠 (ユニオン UL3-10、ステンレス) フランス落シ ステンレス丁番	シリリダー本締錠 サムタン、フランス落シ ドアクローザー ステンレス丁番	レバーハンドル本締錠 (ユニオンUL3-10、ステンレス)サムタン ピボット持出ヒンジ、両袖カシボルト、ピンチブロック	レバーハンドル本締錠 サムターン ドアクローザー ステンレス丁番	レバーハンドル 空錠 (ユニオンUL16-10) プラスチック戸車	ステンレス引手 引き違い用 Uステンレール	レバーハンドル錠(ユニオンUL16-10) 空錠 ドアクローザー ステンレス丁番	レバーハンドル錠 (ユニオンUL3-10) サムターン ドアクローザー ステンレス丁番	
硝子	FL5	全 左	(スリット部)、トウメイアクリル ㊦ 13	F2		FL3	F2		
材 質 仕 上	杉 オイルフィニッシュ	シナノキベニヤ クロス貼	表面材 堅木 ㊦ 10 オイルフィニッシュ	ベニヤフラッシュ クロス貼	ベニヤフラッシュ クロス貼	ベニヤフラッシュ クロス貼	シナノキベニヤ 片面ポリ合板 ㊦ 2.7 片面クロス貼	表面材 堅木 ㊦ 10 オイルフィニッシュ	
そ の 他	ステンレス番摺	ステンレス番摺 厨房側 ステンレス膳板 (三方枠) 厨房側 腰ステンレスパネル SUS304 ㊦ 0.5 張		ステンレス番摺			ステンレス番摺 木製ガラリ (OP-2)	ステンレス番摺	
記 号 型 式	 ランマハメ殺シ窓付 両開キ親子戸	 片開キ戸	 既製品 引き違い戸	 既製品 片開キ戸	 4枚建引き違い襖戸	 引き違い襖戸	 引き違い襖		
取付箇所	脱衣室 (大浴室)	脱衣室 (小浴室)	執務室(1)・執務室(2)	会議室(2)	寮 母 室	寮 母 室 (押入)	台 所		
箇所数	1	1	2	1	1	2	1		
形状寸法	撤去 	撤去 	撤去 	撤去 	撤去 	撤去 	撤去 	撤去 	
見込	40		36	36	36	36	36		
建具金物	レバーハンドル錠 (ユニオンUL12-20) フランス落シ ステンレス丁番	レバーハンドル本締錠 サムタン ステンレス丁番	アルミ把手 引き違い用 Uステンレール プラスチック戸車	レバーハンドル ステンレス丁番	引 手	全 左	全 左		
硝子	F4 ランマFL3	F4	FL3	FL3					
材 質 仕 上	杉 オイルフィニッシュ	スプルス オイル仕上	木質面材フラッシュ	木質面材フラッシュ	全 左	全 左	片面 シナノキベニヤ クロス貼 片面新トリノコ 桧カシュウ		
そ の 他	ステンレス番摺	ステンレス番摺			敷居スベリ	全 左	全 左		
記 号 型 式	 ランマ格子組付 4本建引き違い襖り上ゲ障子	 ランマ引き違い障子付 引き違い障子	 スクリーン	 トイレブース	 トイレブース	 浴室用片開キ襖ドア			
取付箇所	寮 母 室	寮 母 室	男子便所・女子便所	男 子 便 所	女 子 便 所	2階 小浴室			
箇所数	1	1	5	3	2	1			
形状寸法	撤去 	撤去 	撤去 	撤去 	撤去 	撤去 			
見込	36	36	40	40	40	70			
建具金物	引 手	全 左	壁付ジョイナー 脚金物	ステンレス笠木 ラバトリーヒンジ ラバトリーラッチ ストライク	全 左	表示錠			
硝子	FL3		標準金物一式	表示錠 戸当り帽子掛け 脚金物 他標準金物一式	全 左	他標準金物一式			
材 質 仕 上	杉 素地 和紙貼	全 左	FL3 ポリエステル化粧合板 ㊦ 40	ポリエステル化粧合板 ㊦ 40	全 左	F-4 樹脂製 ホホワイト			
そ の 他	敷居スベリ	全 左				専用枠			

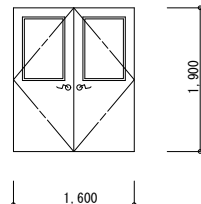
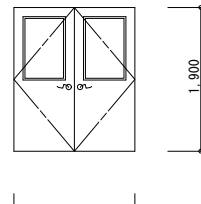
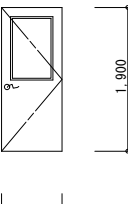
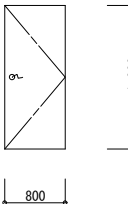
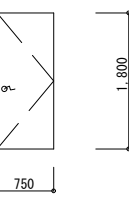
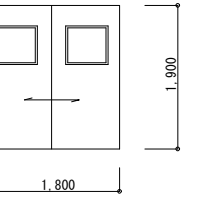
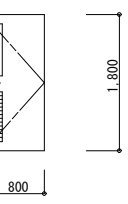
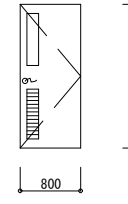
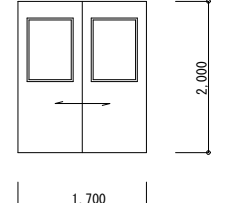
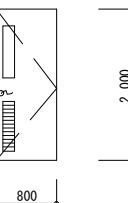
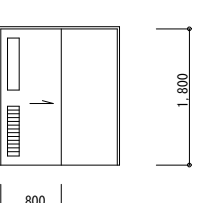
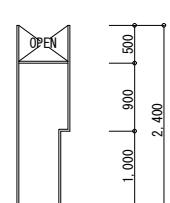
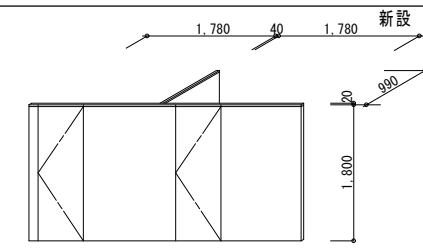
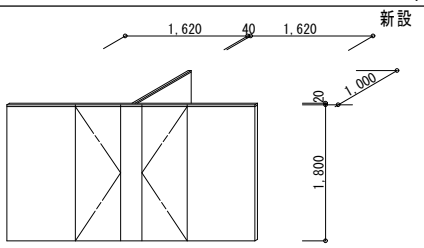
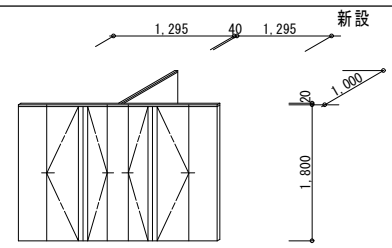
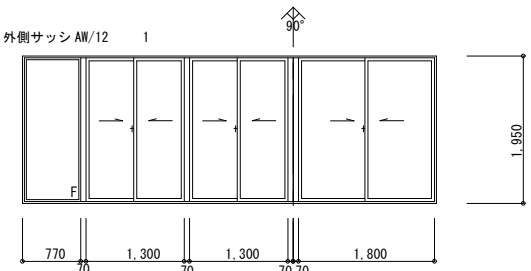
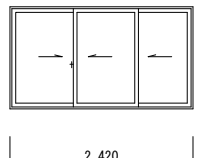
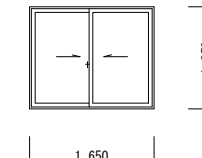
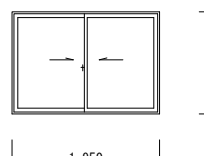
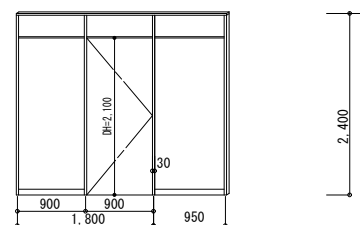
設計番号	工 事 名		検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事					改 修 前 建 具 表 3	A1:1/50 A3:1/100	A-27

記 号 型 式	STD 1 ハメ殺シ ランマ・袖付 引き分ケ 自動ドア	STD 2 ハメ殺シ ランマ・袖付 両開キドア	AD 1 ハメ殺シランマ付 片開キドア	AD 2 片開キフラッシュドア 引違い窓 連窓	AD 3 片開キ防音ドア	
取付箇所 箇所数	玄 関 1	玄関ホール 1	第2制御室 玄関 1	女子更衣室 1	電 気 室 1	
形状寸法						
見込	100	100	70	70	70	
建具金物	本締錠 熱線式 他標準金物一式	押板 ユニオン G2100 ビボットヒンジ 他標準金物一式	シリンドー本締錠 サムタン DC ドアアイ 他標準金物一式	他標準金物一式	グレモン本締錠 DC 他標準金物一式	
硝子	ドア部 強化ガラス ⑦ 12 ランマ FL5 その他FL10	全 左	FL3	アルミパネル新設		
材 質 仕 上	ステンレス ヘアライン	全 左	アルミ シルバー	全 左		
そ の 他	【新設】 テンキー操作盤(玄関外)、電気錠(自動ドア)	ステンレス寄槽 ステンレス膳板(内、外 各3方)	水切			

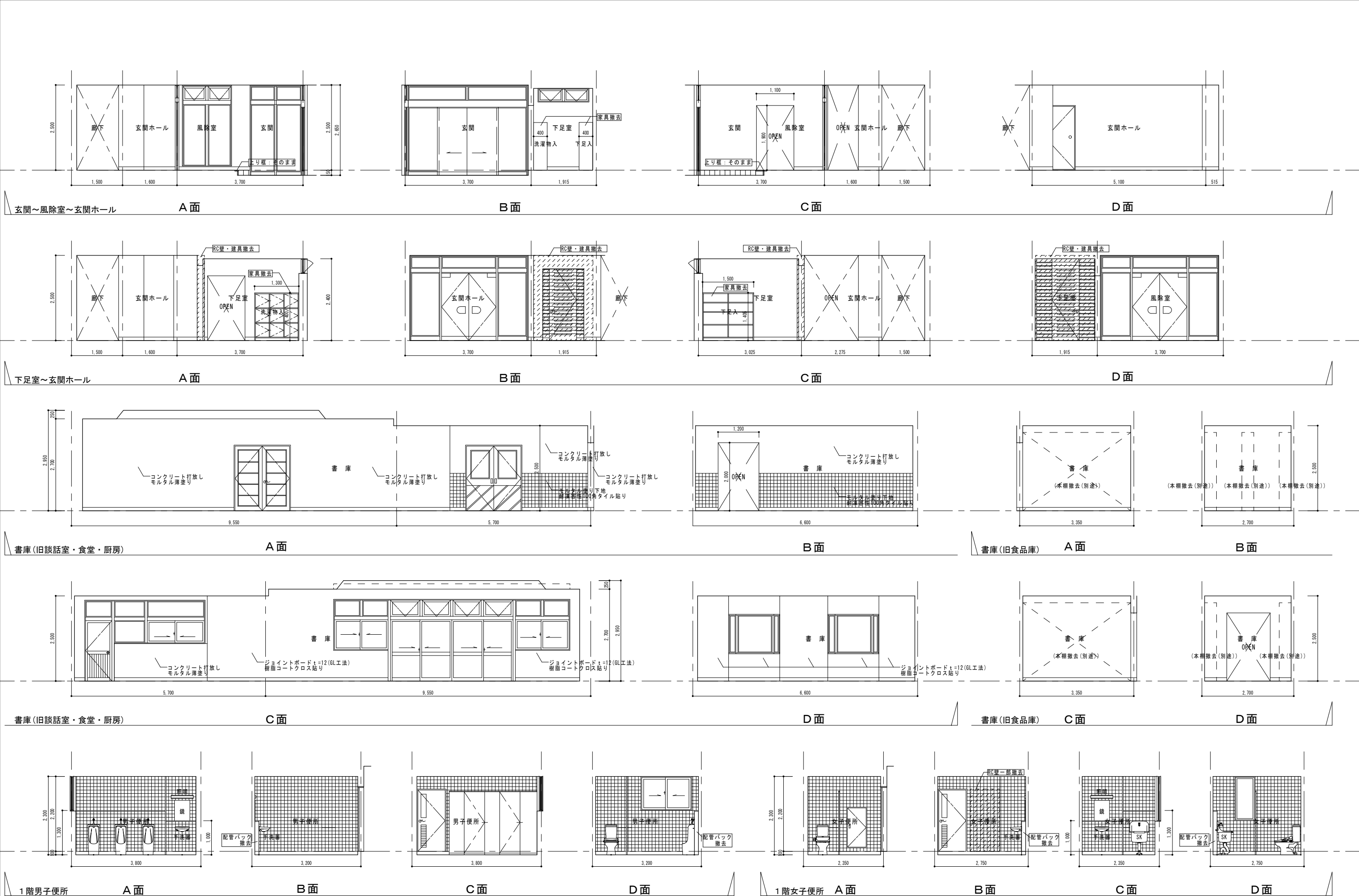
記 号 型 式	AD 4 ランマ ハメ殺シ 外倒シ排煙窓4連 両袖引違い窓付 4枚建引き違い窓	AD 5 ハメ殺シランマ付 引違い窓 ハメ殺シ窓 片開キドア 連窓	AD 6 四枚建ランマ引き違い排煙窓付引き違い窓	AD 7 ハメ殺シランマ付片開キ窓ドア 二り出シ窓 連窓	
取付箇所 箇所数	書 庫 1	書 庫 1	第2制御室 1	2階 男子トイレ 1	
形状寸法					
見込	70	70	70	70	
建具金物	ワンタッチ排煙窓(フック棒) クレセント 他標準金物一式	シリンドー本締錠 サムタン DC クレセント 他標準金物一式	引違い用オペレーター クレセント 他標準金物一式	DC 他標準金物一式	
硝子	FL-3 FL-5	真空ガラス FL3+V+FL3	真空ガラス FL3+V+FL3	F-4	
材 質 仕 上	アルミ シルバー	全 左	全 左	全 左	
そ の 他	水切 アングル ステンレス製網戸 新設	全 左	全 左 ステンレス製網戸 新設(ランマ中央)	全 左	

記 号 型 式	AW 1 ランマ外倒シ排煙窓付 ハメ殺シ窓	AW 2 片袖 ハメ殺シ付 引き違い窓	AW 3 引き違い窓 AW/3' 断熱	AW 4 ハメ殺シ窓 二り出シ窓 段窓	AW 5 引き違い窓	AW 6 引き違い窓	AW 7 ハメ殺シ窓	AW 8 ハメ殺シ出窓
取付箇所 箇所数	風除室 1	1F廊下・2F執務室(2)・3F会議室(3) 3	2F執務室(2)1・控室1・1階廊下2・2階執務室(1)3 7	電 気 室 2	第2制御室 1	男子トイレ 2	1F給湯室兼洗濯室、2F女子トイレ 2	書 庫 2
形状寸法								
見込	70	70	70	70	70	70	70	70
建具金物	ワンタッチ排煙窓(フック棒) 他標準金物一式	クレセント 他標準金物一式	全 左	全 左	クレセント 他標準金物一式	全 左	標準金物一式	全 左
硝子	FL-10 ランマ FL-5	1階 FL-5 2.3階 PW-6.8	AW/3 PW6.8 FL-5, AW/3 真空ガラス FL3+V+FL3 AW/3' PW6.8 FW6.8	FW-6.8	真空ガラス G3+V+FL3	F-4	F 4	FL5
材 質 仕 上	アルミ シルバー	全 左	全 左	全 左	全 左	全 左	アルミ シルバー	全 左
そ の 他	水切 アングル	全 左 ステンレス製網戸 新設	全 左 ステンレス製網戸 新設	全 左	全 左 ステンレス製網戸 新設	全 左 ステンレス製網戸 新設	アルミ水切 アルミアングル	

設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事			ガラス交換等の場合も、全てのサッシの調整を行うこと。 排煙オペレーターは全て調整を行うこと。	改 修 後 建 具 表 1	A1:1/50 A3:1/100	A-28

記 号 型 式	LSD 1 両開キ戸 (軽量鋼製建具)	LSD 2 両開キ戸 (軽量鋼製建具)	LSD 3 片開キ戸 (軽量鋼製建具)	LSD 4 片開き戸 (軽量鋼製建具)	LSD 5 片開き戸 (軽量鋼製建具)	LSD 6 引キ違イ戸 (軽量鋼製建具)	LSD 7 片開き戸 (軽量鋼製建具)	LSD 8 引キ違イ戸 (軽量鋼製建具)		
取付箇所	書 庫	書 庫	男子更衣室	第2制御室・休養室	第2制御室	倉 庫	男子トイレ・女子トイレ	会議室 (1)		
箇所数	1	1	1	2	1	1	5	1		
形状寸法	新設 	新設 	新設 	新設 	新設 	新設 	新設 	新設 		
見込	40	40	40	40	40	40	40	40		
建具金物	レバーハンドル本締錠、サムターン、 フランス落シ、ドアクローザー、ステンレス丁番	レバーハンドル本締錠、サムターン、 フランス落シ、ドアクローザー、ステンレス丁番	レバーハンドル本締錠 サムターン ドアクローザー ステンレス丁番	レバーハンドル本締錠 サムターン ドアクローザー ステンレス丁番	レバーハンドル 空錠 ステンレス丁番	ステンレス引手 ロック 満戸車 戸先ゴム 三角ストッパー	レバーハンドル 空錠 ドアクローザー ステンレス丁番	レバーハンドル 空錠 ドアクローザー ステンレス丁番		
硝子	FL3	FL3	F4			FL3	F4	F4		
材 質 仕 上	表面材：亜鉛メッキ鋼板 (焼付) 芯材：PVC	表面材：亜鉛メッキ鋼板 (焼付) 芯材：PVC	表面材：亜鉛メッキ鋼板 (焼付) 芯材：PVC	表面材：亜鉛メッキ鋼板 (焼付) 芯材：PVC	表面材：亜鉛メッキ鋼板 (焼付) 芯材：PVC	表面材：亜鉛メッキ鋼板 (焼付) 芯材：PVC	表面材：亜鉛メッキ鋼板 (焼付) 芯材：PVC	表面材：亜鉛メッキ鋼板 (焼付) 芯材：PVC		
そ の 他	ステンレス沓摺 ドア枠：亜鉛メッキ鋼板 (焼付塗装仕上)	ステンレス沓摺 ドア枠：亜鉛メッキ鋼板 (焼付塗装仕上)	ステンレス沓摺 ドア枠：亜鉛メッキ鋼板 (焼付塗装仕上)	ステンレス沓摺 ドア枠：亜鉛メッキ鋼板 (焼付塗装仕上)	ステンレス沓摺 ドア枠：亜鉛メッキ鋼板 (焼付塗装仕上)	ステンレス沓摺 ドア枠：亜鉛メッキ鋼板 (焼付塗装仕上)	ステンレス沓摺 アルミ製ガラリ ドア枠：亜鉛メッキ鋼板 (焼付塗装仕上)	ステンレス沓摺 アルミ製ガラリ ドア枠：亜鉛メッキ鋼板 (焼付塗装仕上)		
記 号 型 式	LSD 11 引キ違イ戸 (軽量鋼製建具)	LSD 12 片開き戸 (軽量鋼製建具)	LSD 13 片引き戸 (軽量鋼製建具)	TB 1 スクリーン	TB 2 トイレブース	TB 3 トイレブース	TB 4 トイレブース (折戸タイプ)			
取付箇所	執務室 (1)・会議室 (2)	執務室 (2)・会議室 (3)	女子トイレ	男子トイレ	男子トイレ	3階 女子トイレ	2階 女子トイレ			
箇所数	2	2	2	3	3	1	1			
形状寸法	新設 	新設 	新設 	新設 	新設 	新設 	新設 			
見込	40	40	40	40	40	40	40	40		
建具金物	ステンレス引手 ロック 満戸車 戸先ゴム 三角ストッパー	レバーハンドル ドアクローザー ステンレス丁番	ステンレス引手 ロック 満戸車 戸先ゴム 三角ストッパー	壁付ジョイナー 脚金物	ステンレス笠木 ラバトリールヒンジ ラバトリールラッチ ストライク 表示錠 戸当り帽子掛け 脚金物 他標準金物一式	全 左 全 左	ステンレス笠木 自開閉ヒンジ 打掛錠 ドアハンドル 戸当り帽子掛け 脚金物 他標準金物一式			
硝子	FL3	F4	F4							
材 質 仕 上	表面材：亜鉛メッキ鋼板 (焼付) 芯材：PVC ステンレスフラットレール	表面材：亜鉛メッキ鋼板 (焼付) 芯材：PVC ステンレス沓摺 アルミ製ガラリ	表面材：亜鉛メッキ鋼板 (焼付) 芯材：PVC ステンレスフラットレール アルミ製ガラリ	ポリエステル化粧合板 ⑦ 40	ポリエステル化粧合板 ⑦ 40	全 左	全 左			
そ の 他	ドア枠：亜鉛メッキ鋼板 (焼付塗装仕上)	ドア枠：亜鉛メッキ鋼板 (焼付塗装仕上)	ドア枠：亜鉛メッキ鋼板 (焼付塗装仕上)							
記 号 型 式	PW 1 引キ違イ窓 (高性能プラスチック断熱窓)	PW 2 3枚引キ窓 (高性能プラスチック断熱窓)	PW 3 引キ違イ窓 (高性能プラスチック断熱窓)	PW 4 引キ違イ窓 (高性能プラスチック断熱窓)	AP 1 アルミパーテーション					
取付箇所	2F執務室 (2)	2F執務室 (2)・3F会議室 (3)	女子更衣室・執務室 (2)	会議室 (3)	女子更衣室					
箇所数		1	2	2	1					
形状寸法	新設 	新設 	新設 	新設 	新設 					
見込	64	64	64	64	30					
建具金物	クレセント 他標準金物一式	クレセント 他標準金物一式	クレセント 他標準金物一式	クレセント 他標準金物一式	シリンダー本締錠、サムターン、ドアクローザー、ステンレス丁番					
硝子	FL3	FL3	FL3	FL3	開き戸 表面材：化粧合板、芯材：LVL、充填材：ペーパーコア					
材 質 仕 上	白	全 左	全 左	全 左	パネル 表面材：化粧合板、芯材：アルミニウム押出型材、充填材：ペーパーコア					
そ の 他	アルミ水切 アルミ膳板 メルツェンサッシ内窓64スタンダード同等品	全 左	全 左	全 左	ポスト、天井レール、巾木					

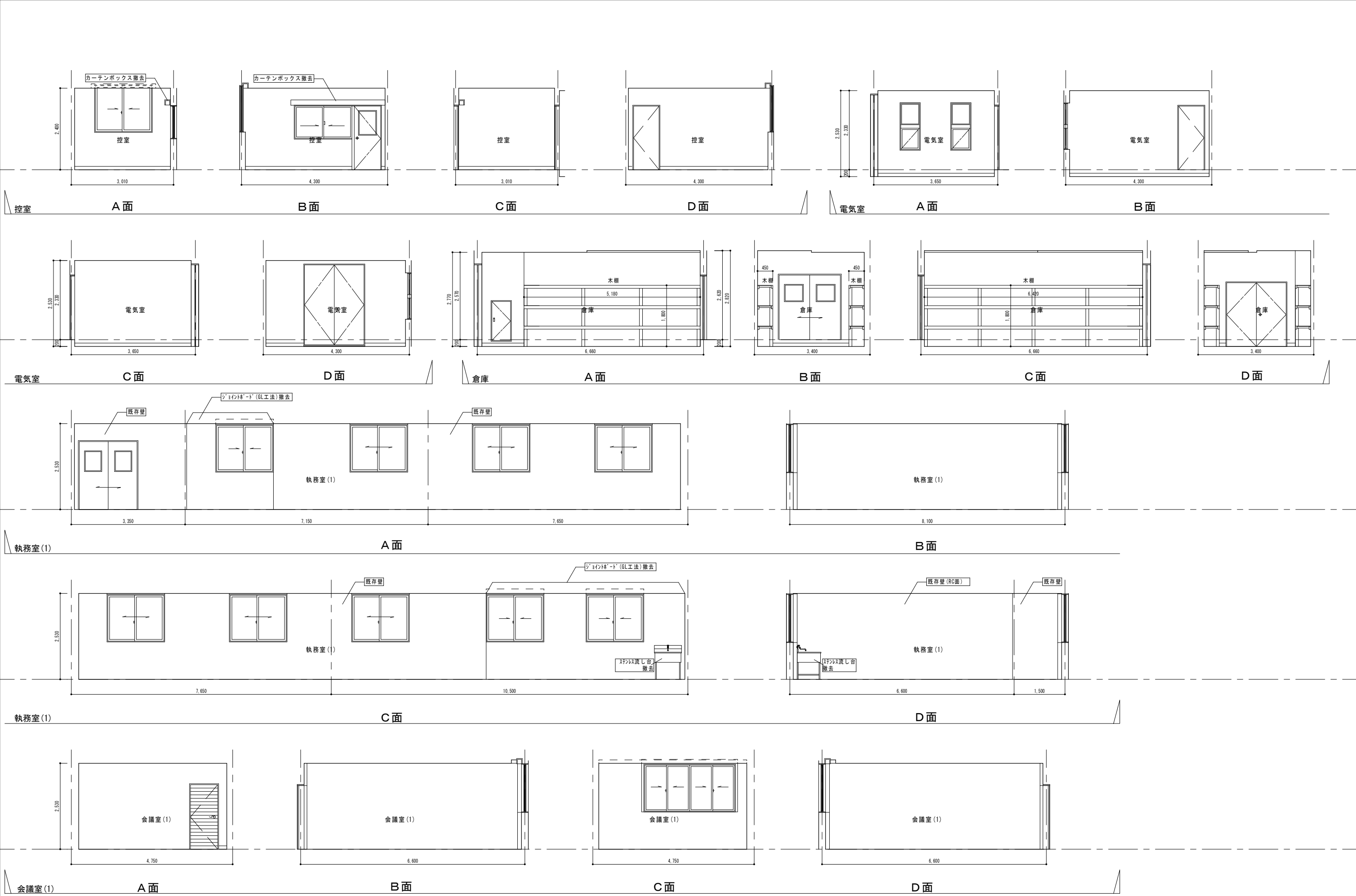
設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改 修 後 建 具 表 3	A1:1/50 A3:1/100	A-30



設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事						改修前 展開図 1	A1:1/50 A3:1/100	A-31



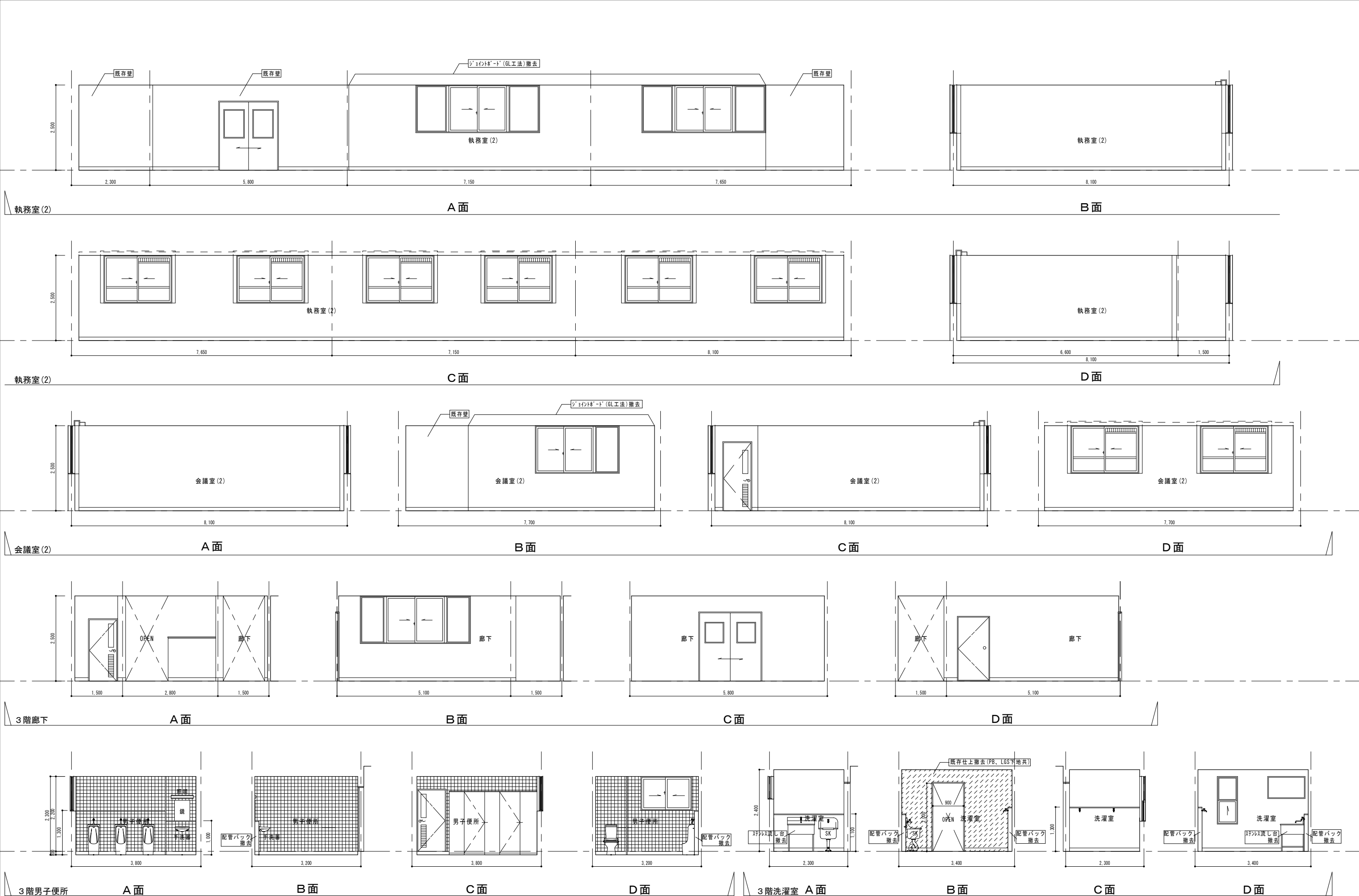
設計番号	工 事 名	検 図			担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事						改修前 展開図 2	A1:1/50 A3:1/100	A-32



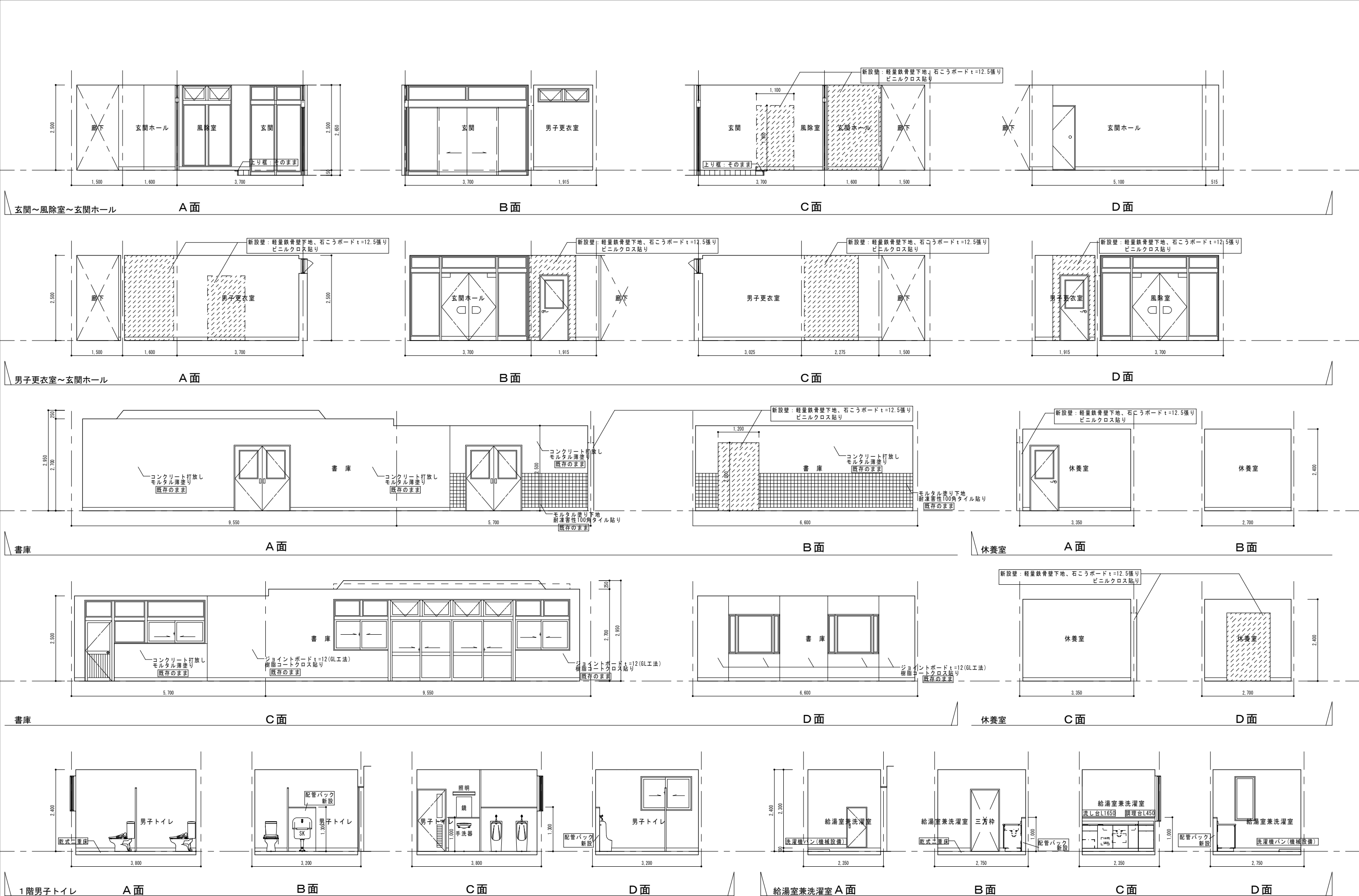
設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事						改 修 前 展 開 図 3	A1:1/50 A3:1/100	A-33



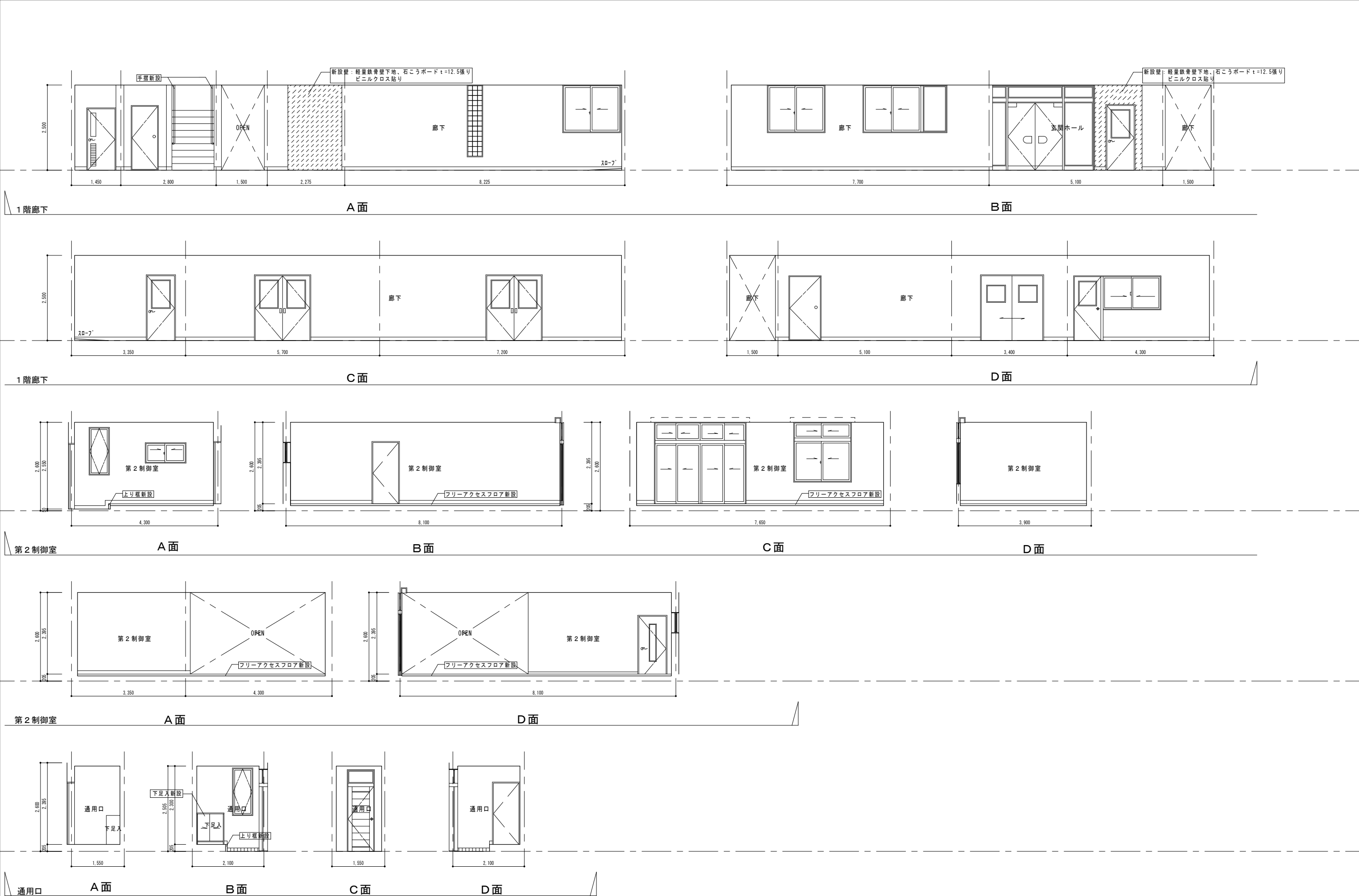
設計番号	工 事 名		検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事					改修前 展開図 4	A1:1/50 A3:1/100	A-34



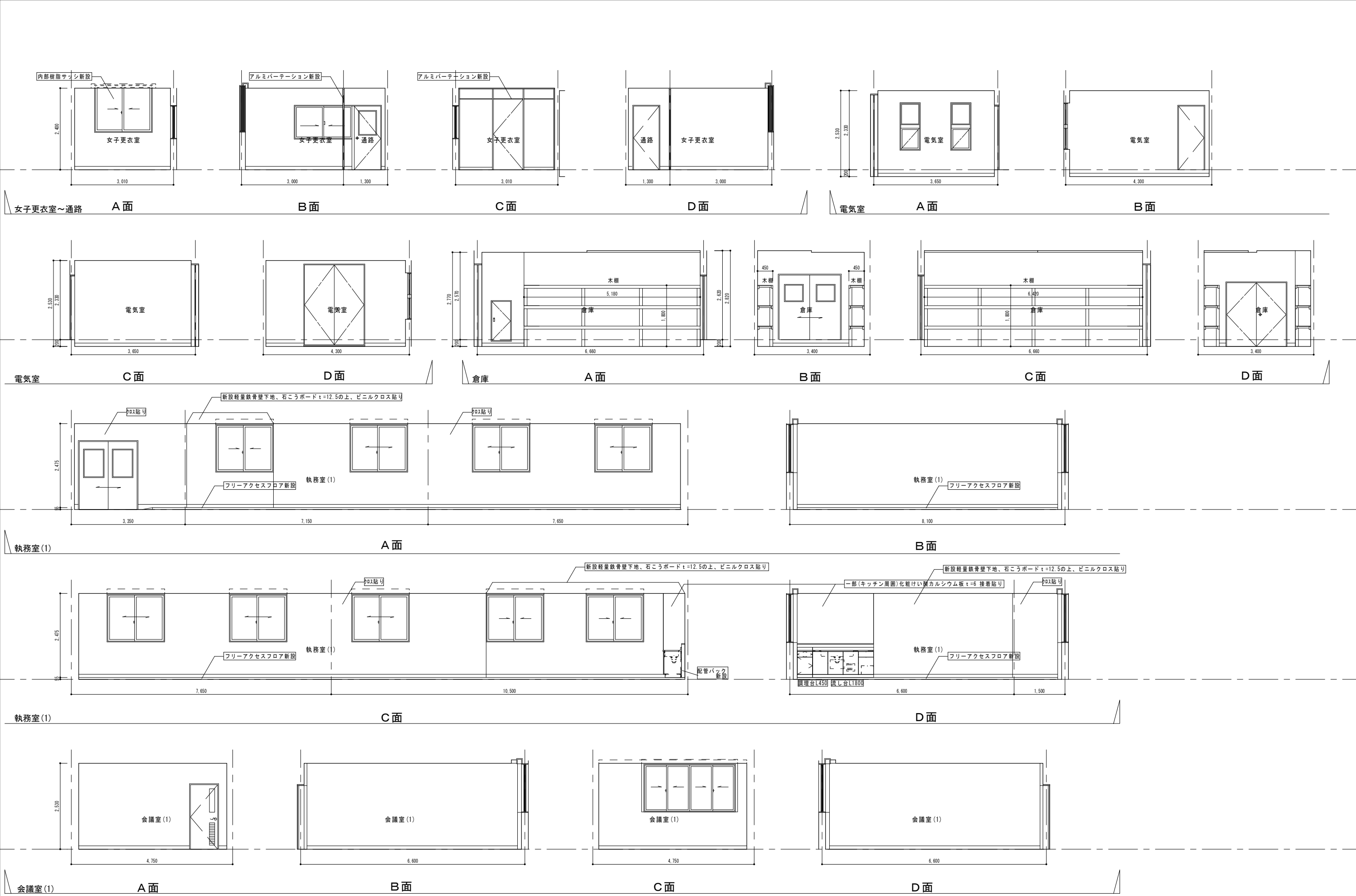
設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事						改修前 展開図 5	A1:1/50 A3:1/100	A-35



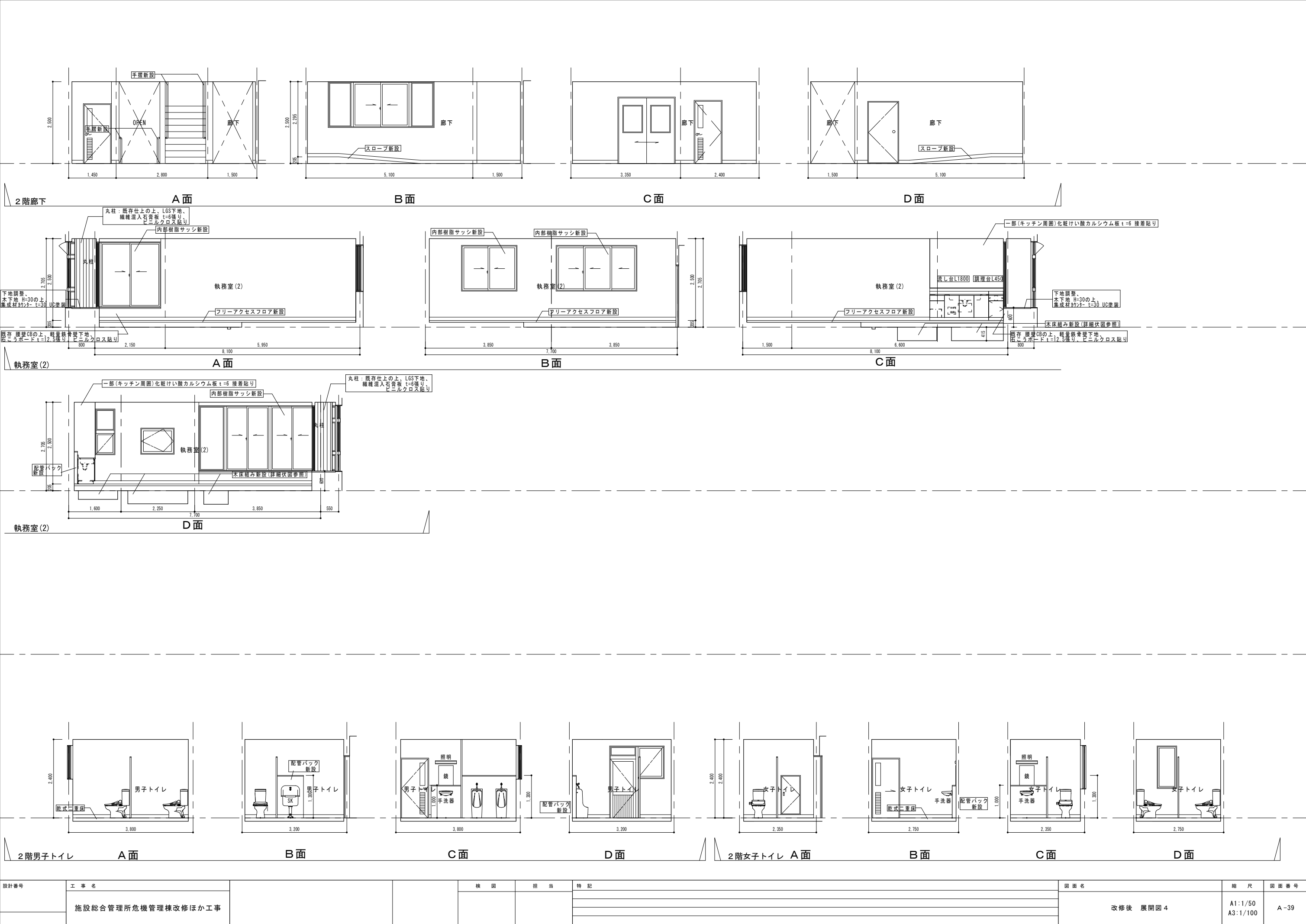
設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修後 展開図 1	A1:1/50 A3:1/100	A-36



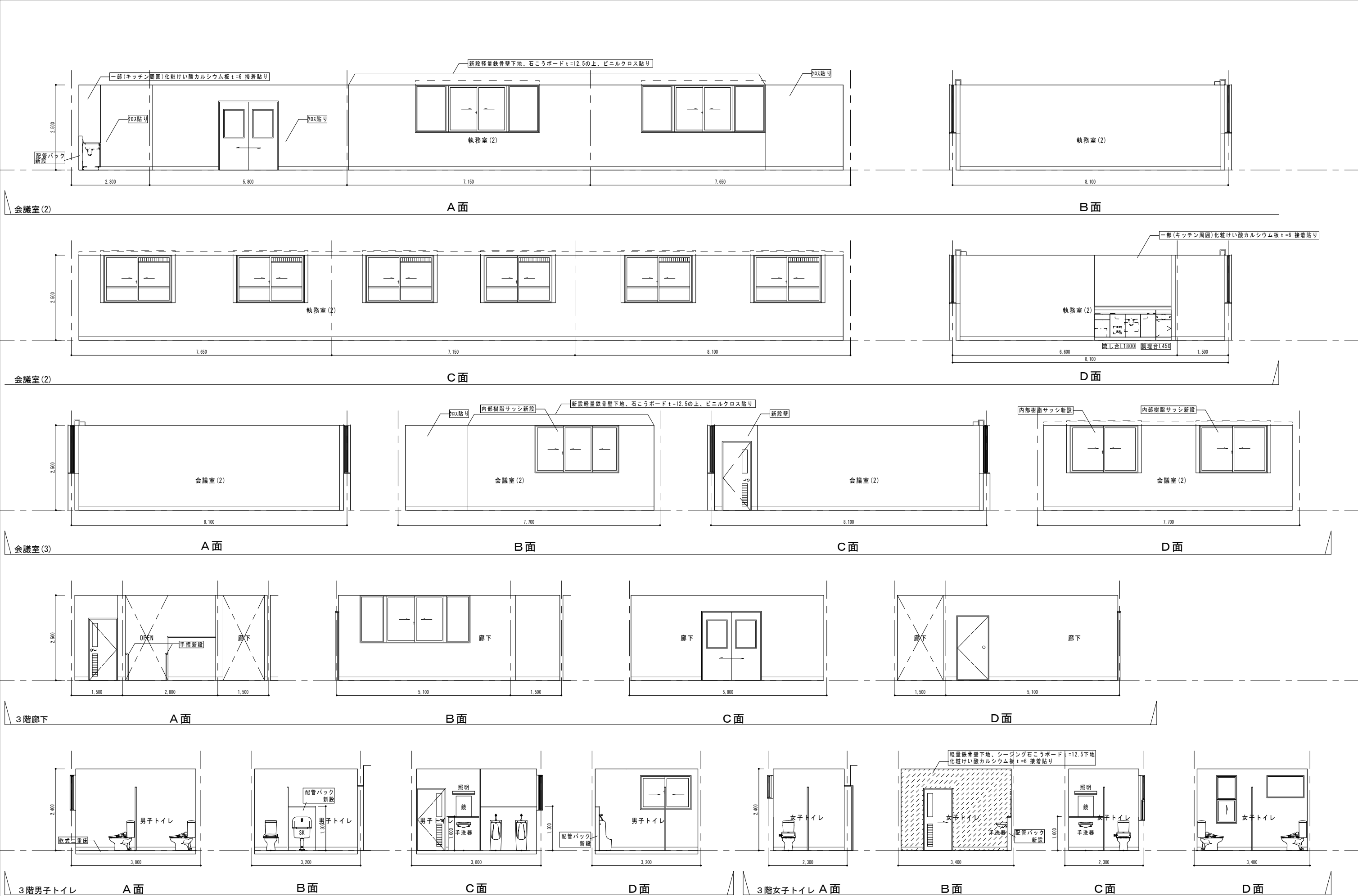
設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事						改 修 後 展 開 図 2	A1:1/50 A3:1/100	A-37



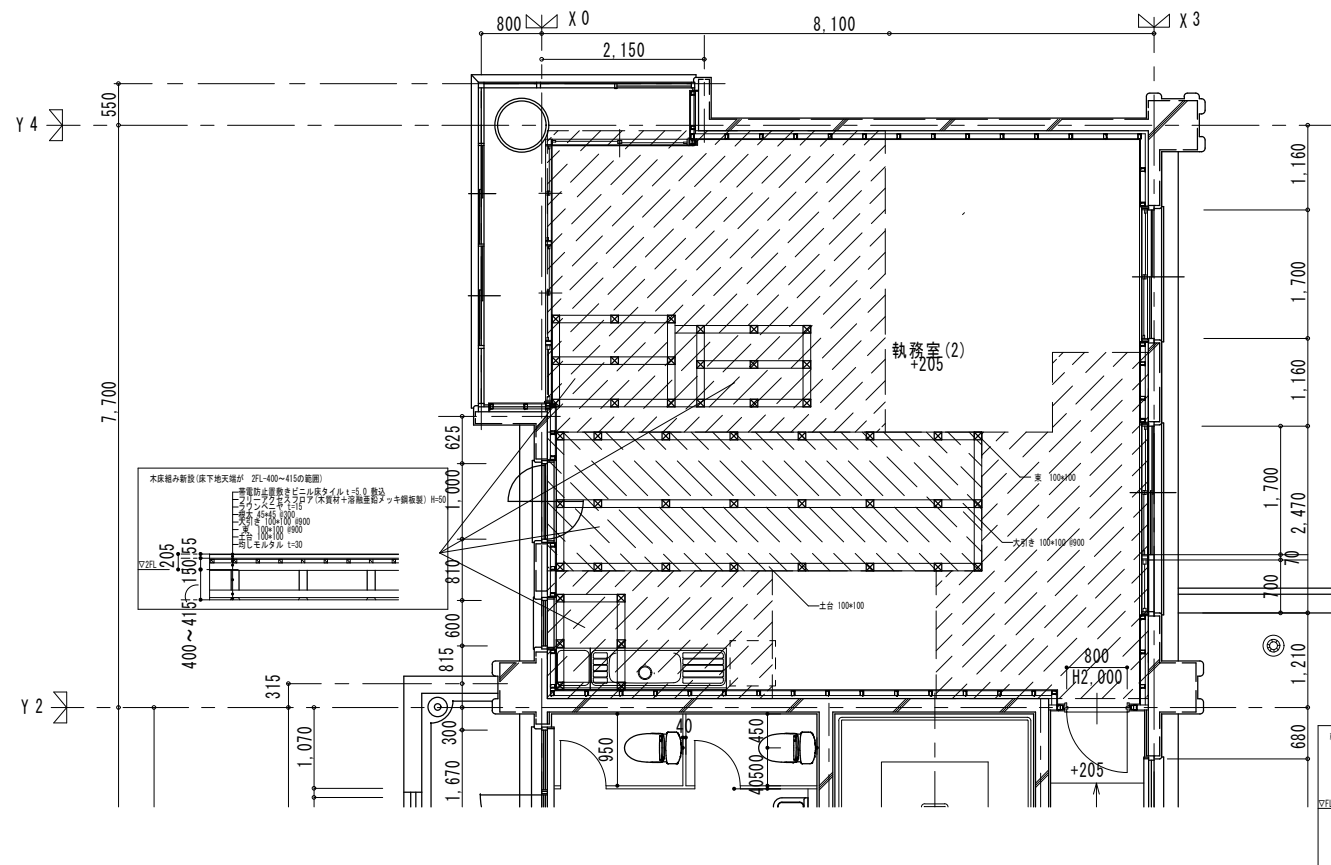
設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事						改 修 後 展 開 図 3	A1:1/50 A3:1/100	A-38



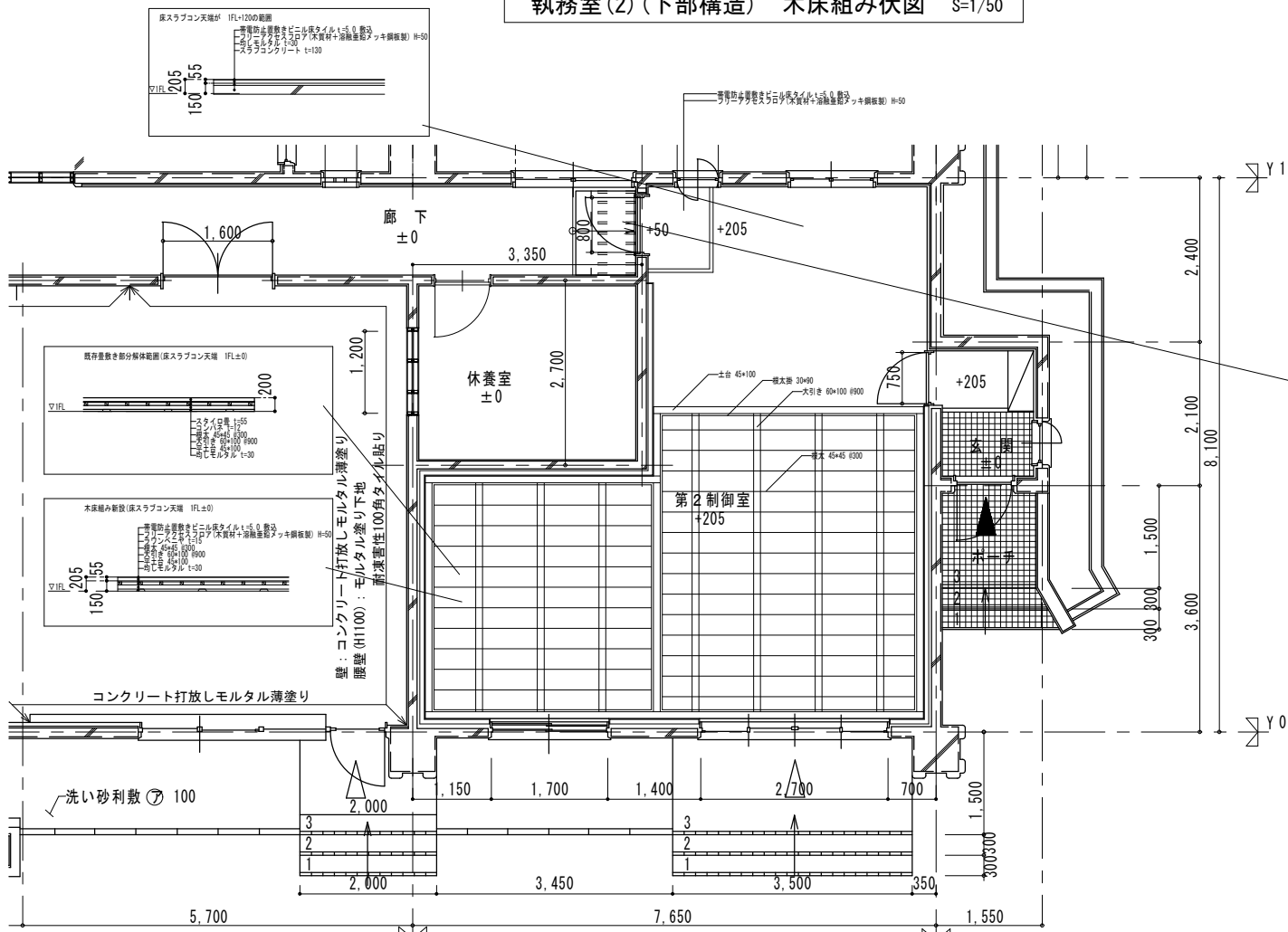
設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修後 展開図 4	A1:1/50 A3:1/100	A-39



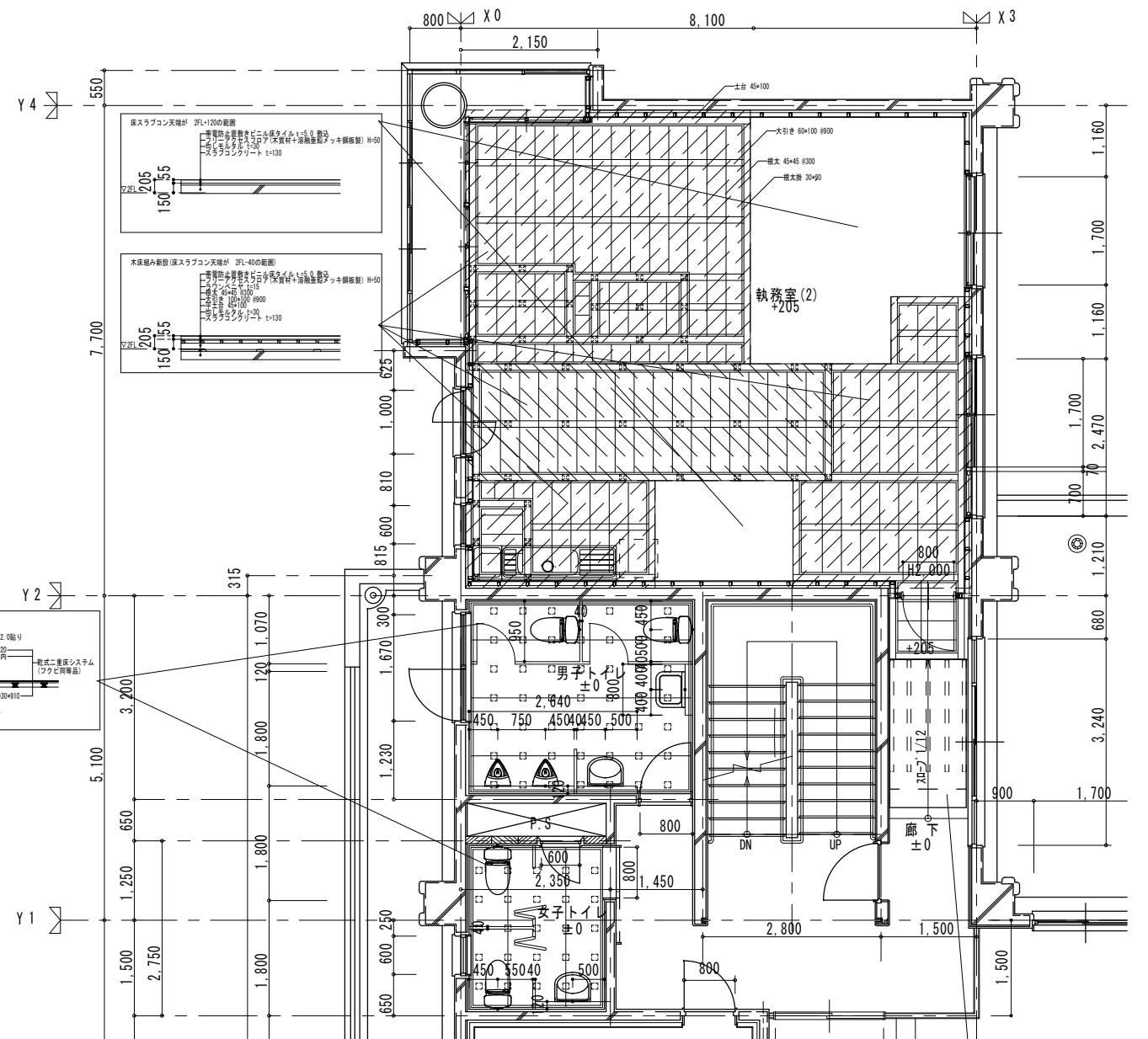
設計番号	工事名	検図	担当	特記	図面名	縮尺	図面番号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修後 展開図 5	A1:1/50 A3:1/100	A-40



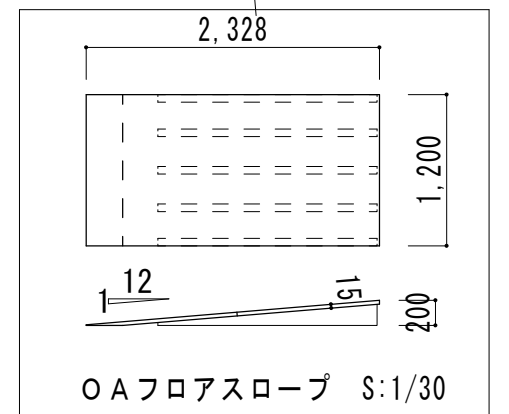
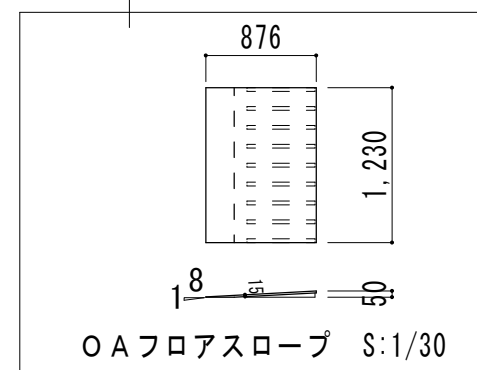
執務室(2) (下部構造) 木床組み伏図 S=1/50



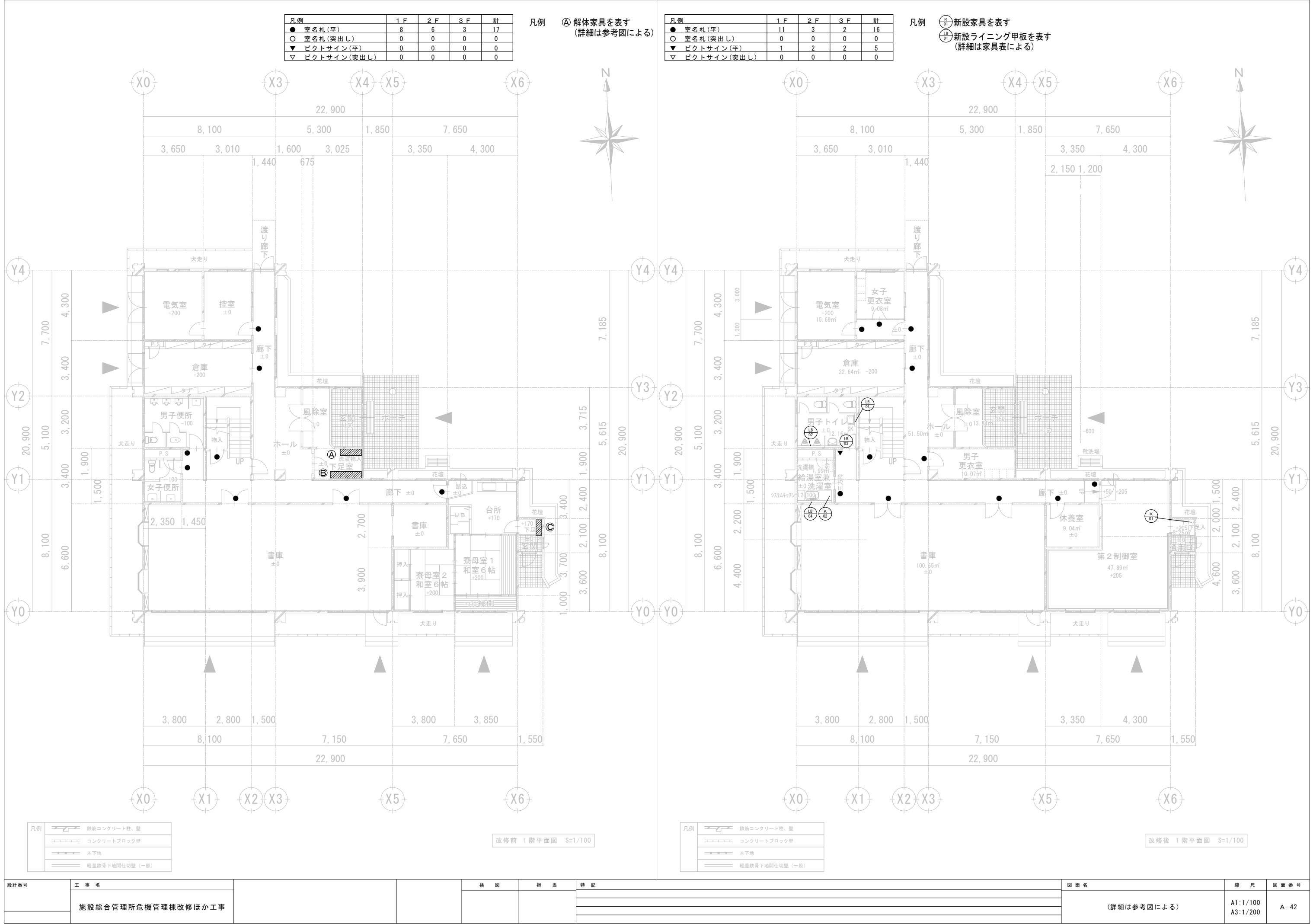
第2制御室、廊下 木床組み伏図 S=1/50

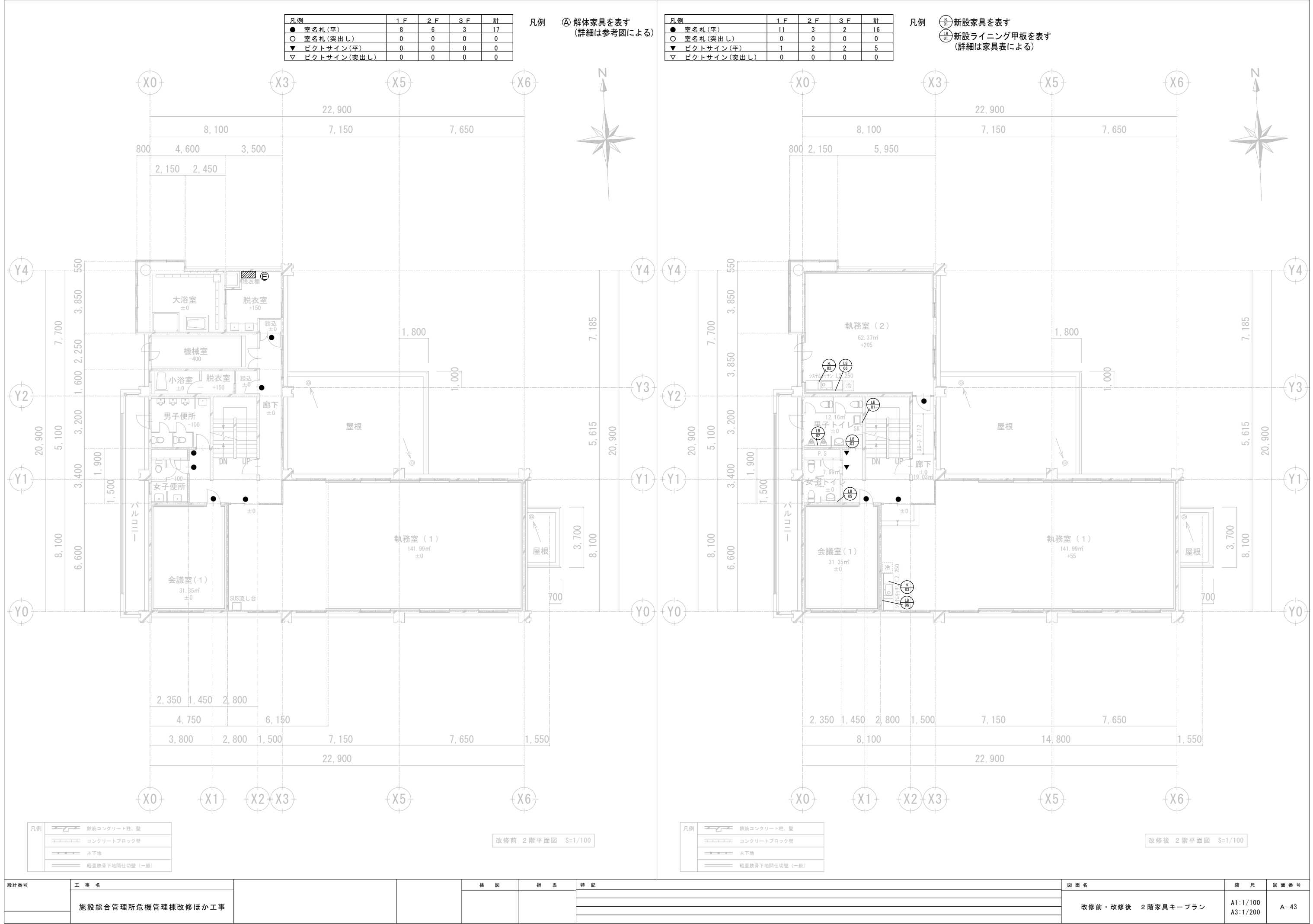


男女トイレ(1~3F共通)、執務室(2) (上部構造) 木床組み伏図 S=1/50

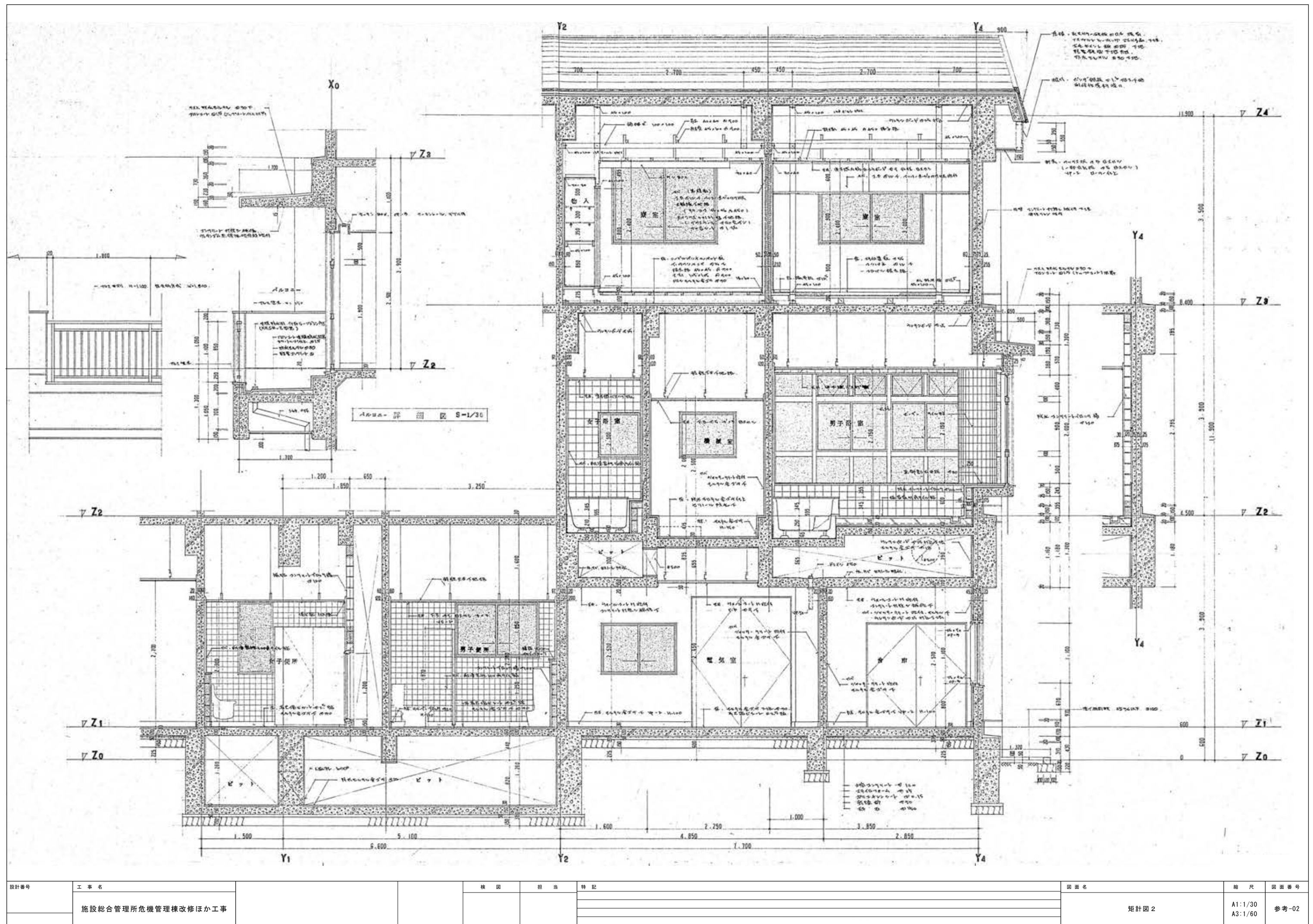


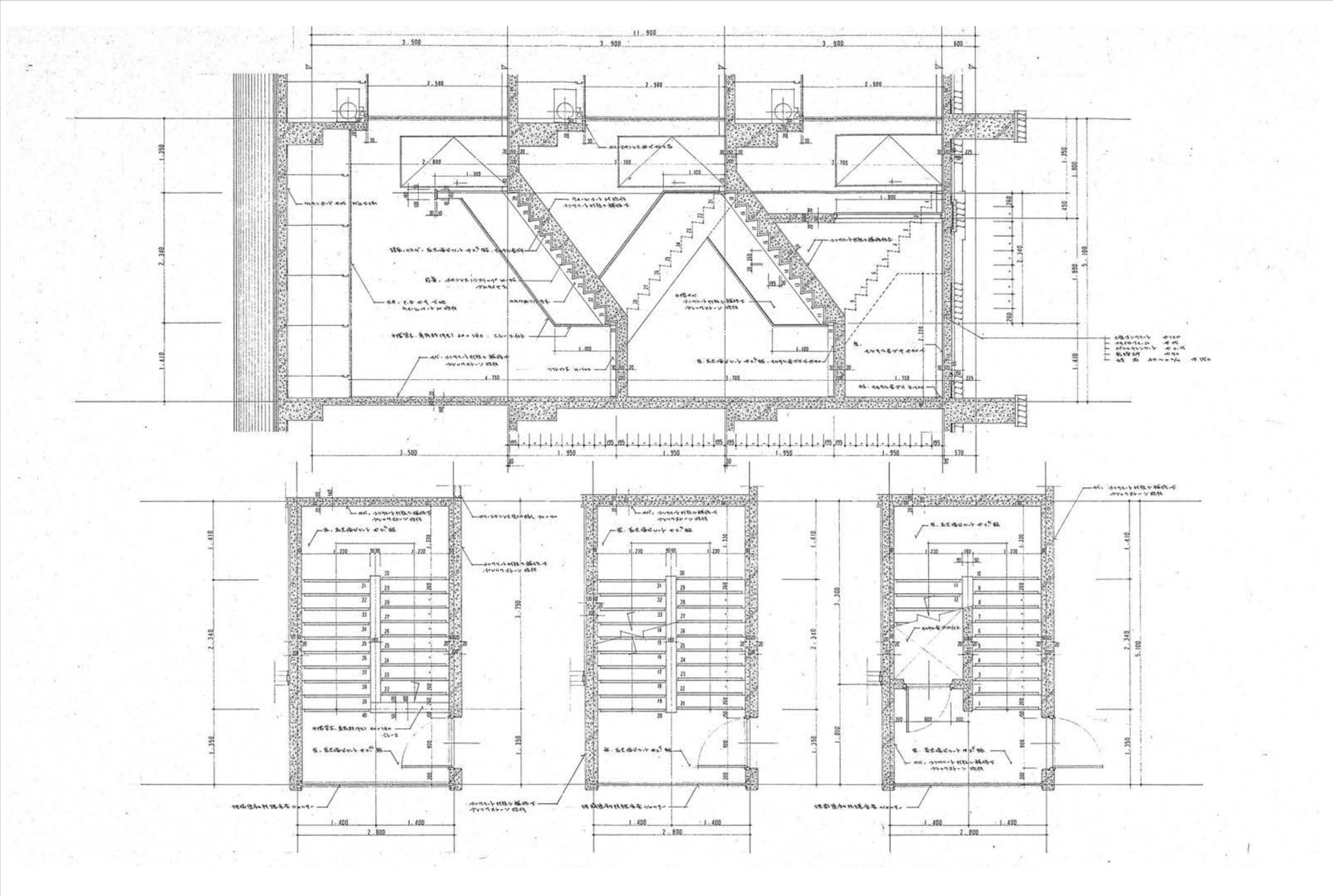
設計番号	工事名	検図	担当	特記	図面名	縮尺	図面番号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				各室 木床組み伏図	A1:1/50 A3:1/100	A-41



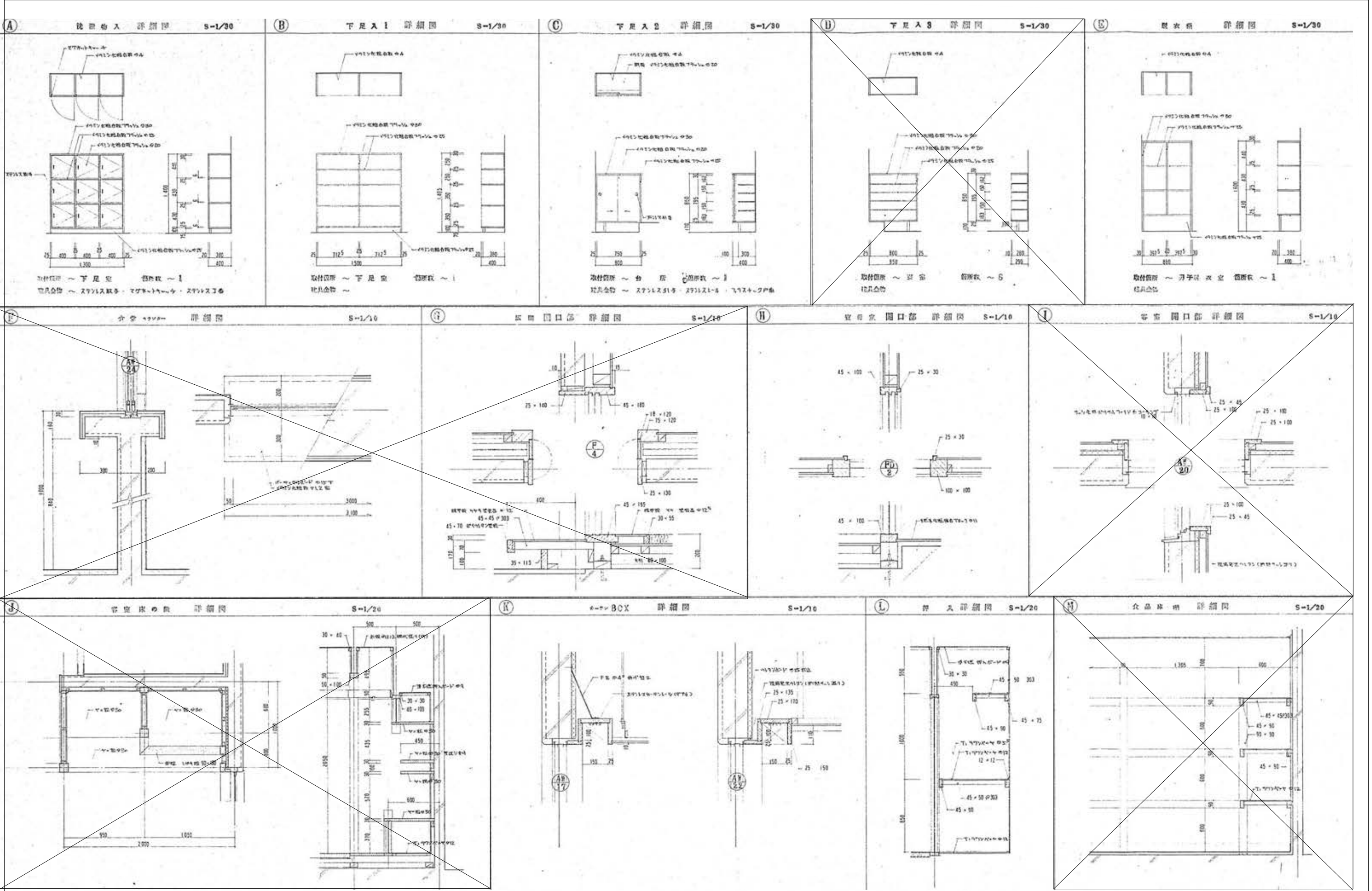


共 通 仕 様		(特記なき限り下記による)		
本 体 木 口 フラットエッジ 樹脂シート 0.45mm厚 ホットメルト接着 (見掛け全て) (指定色) 扉 メクラ戸 ガラス戸 (戸枠) 樹脂化粧合板フラッシュ 2.3mm厚 1枚物 (指定色) 引違戸 メクラ戸 ガラス戸 (戸枠) 樹脂化粧合板フラッシュ 2.3mm厚 1枚物 (指定色) 棚 板 裏 板 巾 木・台 輪 引 手・把 手 蝶 番 ワンタッチ蝶番 105° スライド蝶番 115° ポリ化粧ランバーコア t=20 (指定色) 鴨 居 レール・敷 居 樹脂成型品 ガラス押縁 樹脂成型品 棚受け ステンレス製 8φ 0.45 20 両面メラミン化粧パーティクルボード (ユニボード) 2.0mm厚 木口：樹脂 (フラットエッジ) 0.45 mmホットメルト線付		把手 (開き扉、引出用) 23 31 12 40 105 23 12 86 引手 (引き戸用) 17 23 0.4 8.8 21 90 23 0.4 8.8 53 キャッチ機構付インターマートヒンジ110° 詳細図 23 64 23 20 110° 側板 側板取り付け 23 20 110° 中仕切取り付け 23 仕切板 血ボルト φ4×16 インサートネジ 外径φ5×18 (内径φ4) タッピングネジ φ4×20		
記号・型式	Ⓚ 01 下足入 (W800×H9500×D400)	Ⓚ 02 キッチンセット (LIXIL：GK-BLシリーズ GK-S-165JYTLBL + GK-T-45YBL同等品)	Ⓚ 03 キッチンセット (LIXIL：GK-BLシリーズ GK-S-180JYTLBL + GK-T-45YBL同等品)	
取付場所	第2制御室玄関	給湯室兼洗濯室	執務室(1)(2)、会議室(2)	
数 量	1	1	3	
形状・種類・寸法	800 400 925 75 25 800 25 ステンレス引手 メラミン化粧パーティクルボード t=25 可動棚板：メラミン化粧パーティクルボード t=20 (4段) 扉板：メラミン合板 t=4 扉：メラミン化粧パーティクルボード t=20 ステンレスタテ枠	2,100 1,650 450 ※付属品一式 550 90 800	2,250 1,800 450 ※付属品一式 550 90 800	
記号・型式	ライニング甲板		室名札・ピクトサイン	
取付場所	LB-1 男子トイレ LB-2 男子トイレ LB-3 男子トイレ LB-4 給湯室兼洗濯室 LB-5 女子トイレ LB-6 執務室(1)(2)、会議室(2)			
数 量	W 800×D 120 ×3枚 H 1,300 W 1,650×D 120 ×3枚 H 1,300 W 900×D 120 ×3枚 H 1,000 W 2,100×D 120 ×1枚 H 1,000 W 1,200×D 120 ×2枚 H 1,000 W 2,250×D 120 ×3枚 H 1,000			
形状・種類・寸法	W D ポストフォーム t=20 (アイカ：KPAタイプ) ポストフォーム t=20 (アイカ：KPAタイプ) 20 20 D-20 S:1/5 ライニング甲板下地 (LGS90+P89.5) F.L ライニング甲板下地 (LGS90+P89.5)		25 150 24 24 24 150 24 24 150 24 24 100 100 100 100 壁・ドア取付タイプ 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 基板：791&板 t=5 両面テープ貼 木製枠：9& 器具：7&ミ 壁・ドア取付タイプ ※ACE：木製フレームタイプTWプレート TWY-150、TW-150 同等品 (絵・文字共カティングシート貼) 器具：7&ミ 基板：791&板 t=5 両面テープ貼	

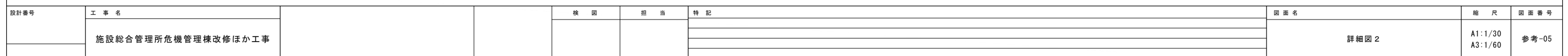
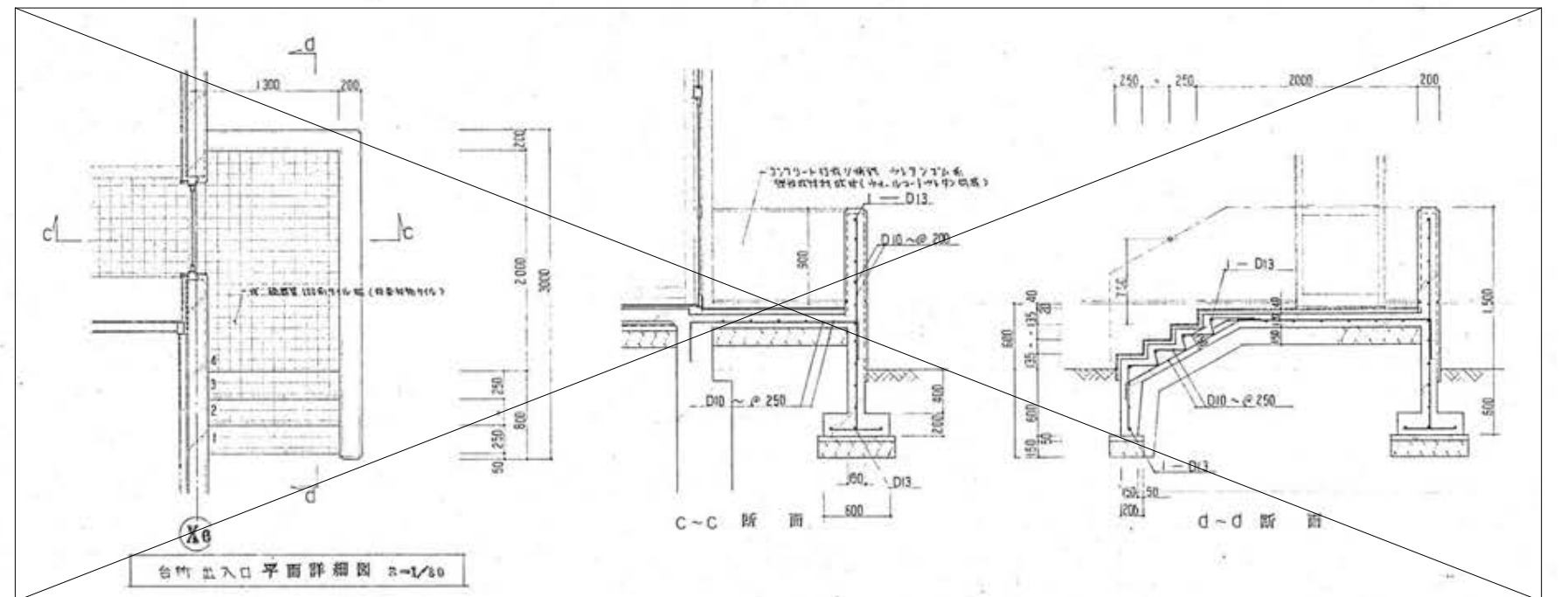


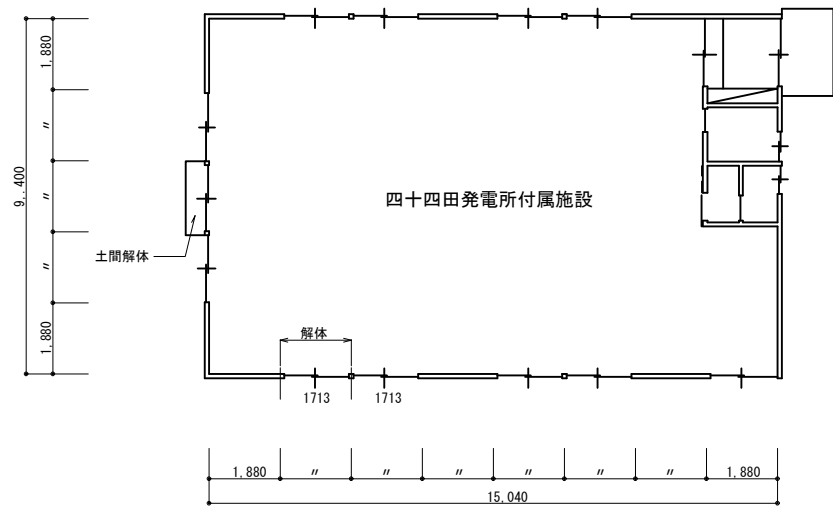


設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				階段詳細図	A1:1/30 A3:1/60	参考-03

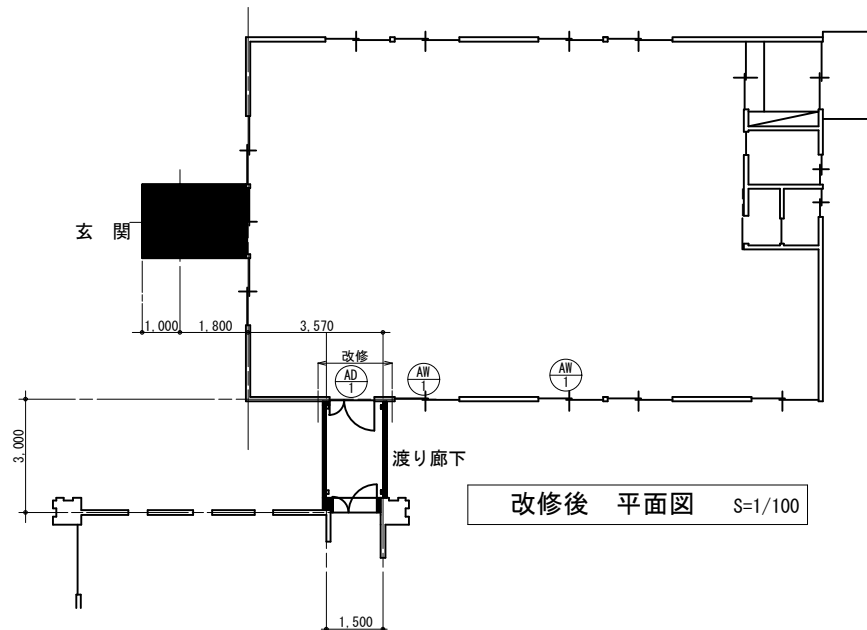


設計番号	工事名	検図	担当	特記	図面名	縮尺	図面番号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				詳細図 1	A1: 図示 A3: 図示の1/2	参考-04





既存建物 平面図 S=1/100



改修後 平面図 S=1/100

渡り廊下仕上 及び 既存改修

屋根	長尺カラー鉄板 ⑦ 0.4 横葺	アスファルトルーフィング22kg品下葺	カラー木毛セメント板 ⑦ 25 下地 (テクタム同等)
破風	長尺カラー鉄板 ⑦ 0.4		
軒天	フレキシブルボード ⑦ 5 VP	軽鉄下地	
床	モルタル金ゴテ押工 ⑦ 30		

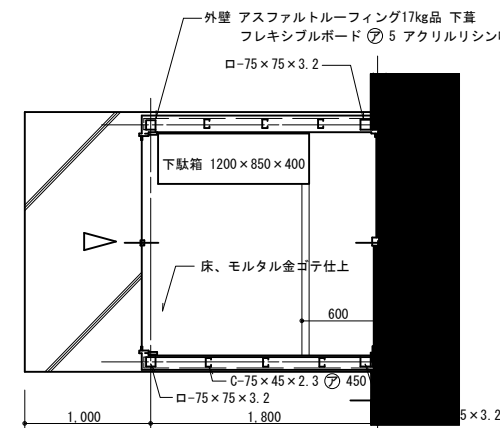
※ 渡り廊下接続部 既存アルミサッシ (1713) 解体撤去後、AD-1 新設、及び、既存建物解体部分、現況復旧
※ AW-1 既存アルミサッシ (1713) ガラス撤去後、網入リトウメイガラス ⑦ 6.8 入替

新設玄関仕上

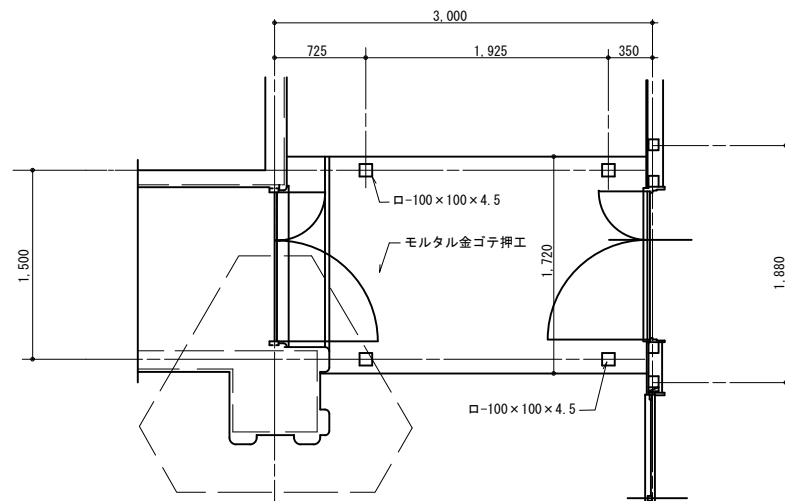
屋根	長尺カラー鉄板 ⑦ 0.4 横葺	アスファルトルーフィング22kg品下葺	木毛セメント板 ⑦ 25 下地
破風	カラー鉄板 ⑦ 0.4 加工品		
雨押工	カラー鉄板 ⑦ 0.4 加工品		
軒天	フレキシブルボード ⑦ 5 VP		
外壁	アスファルトフェルト 17kg品下葺	フレキシブルボード ⑦ 5	アクリルリシン吹付
基礎	モルタル刷毛引		
ポーチ	コンクリート金ゴテ押工		

床	巾木	壁	天井	備考
土間 コンクリート ⑦ 130 モルタル金ゴテ押工 式 台	木製 H=100 SOP-3	プリント合板 ⑦ 4 張 グラスウール ⑦ 50 充填	軽鉄天井下地 化粧石コウボード ⑦ 9 突付	下駄箱 メラミン合板フラッシュ 1200×850×400

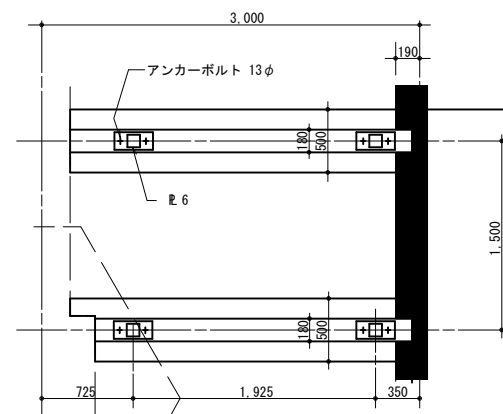
記号	AD-1 親子 フラッシュ戸	AD-2 引違い戸	AW-1 引違い窓
形状			
仕様	アルミ (シルバー) 2種防火戸	アルミ (シルバー) 腰フラッシュ	既存アルミサッシ
ガラス	—	フロート板 3m/m	網入 6.8m/mに取替
金物	シリンドー錠 サムタン	シリンドー錠 サムタン	—
その他	D.C	—	—



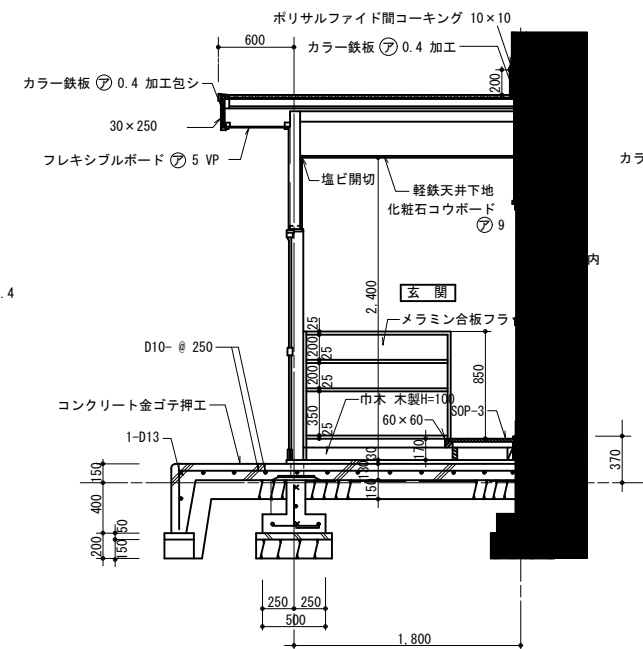
玄関 平面図 S=1/30



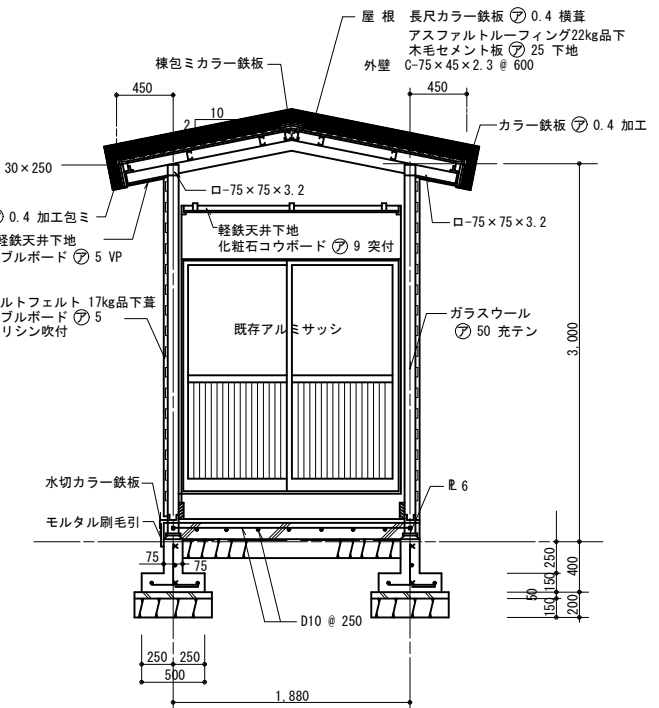
渡り廊下 平面図 S=1/30



渡り廊下 基礎伏図 S=1/30



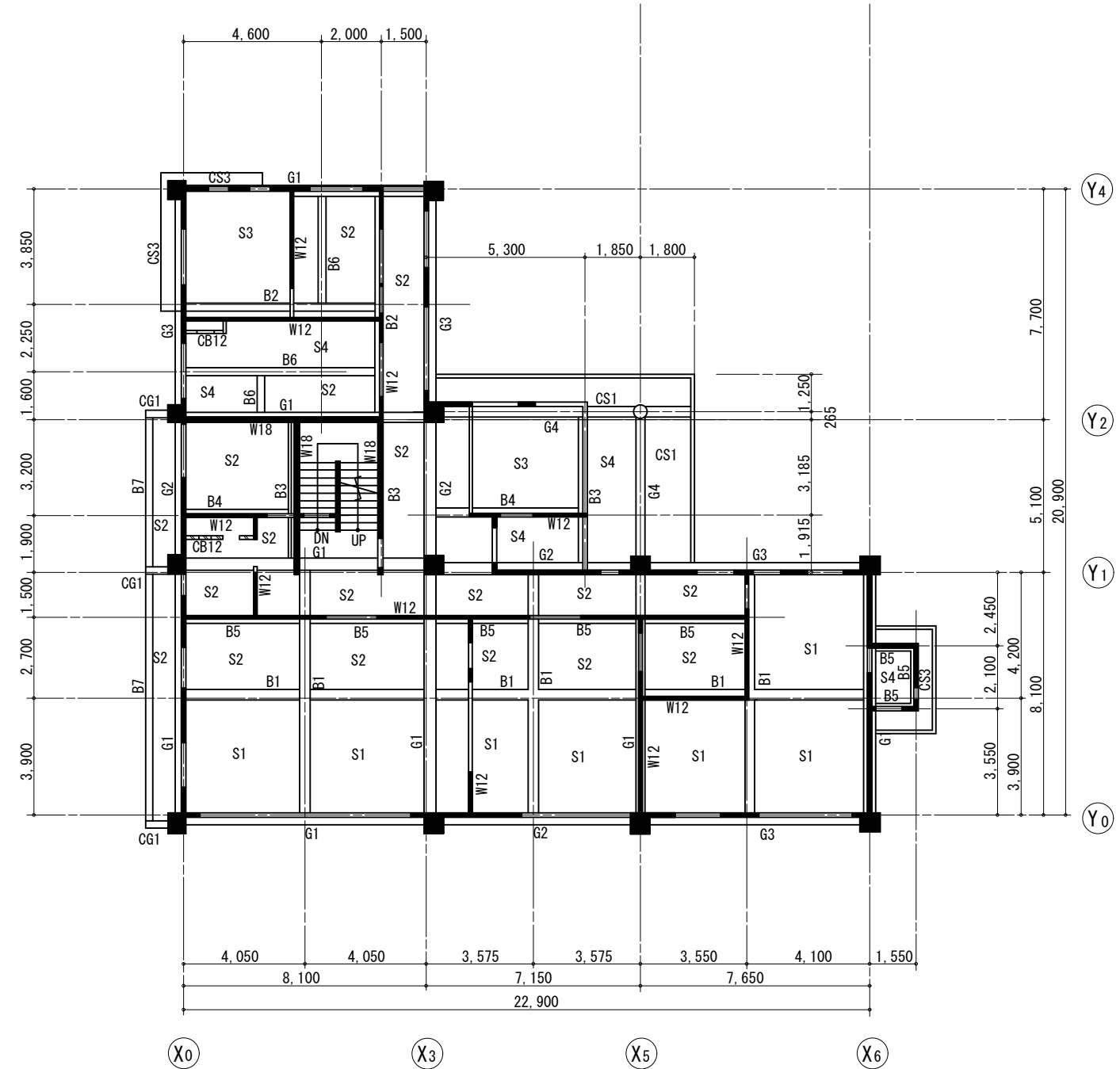
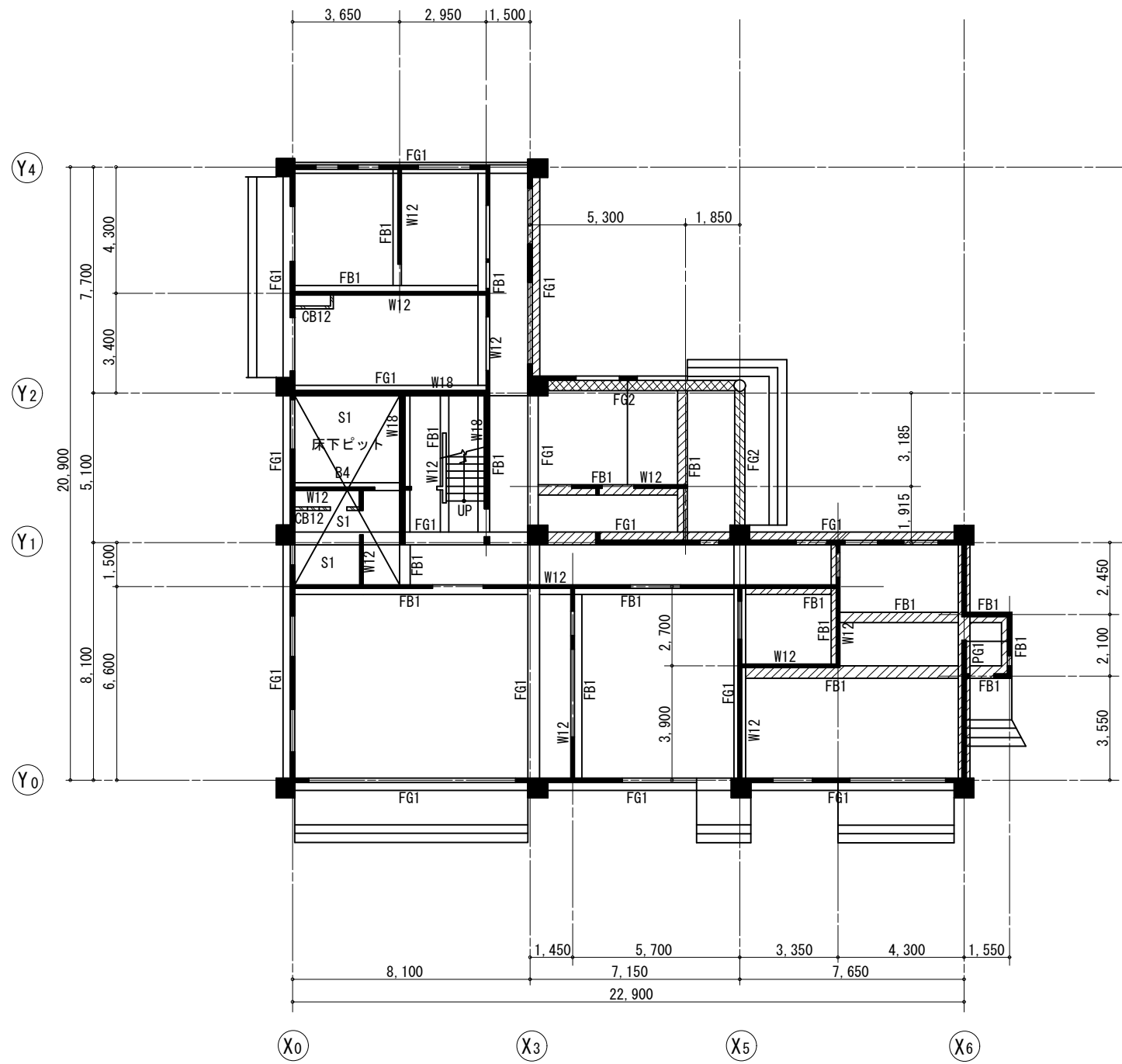
玄関 断面図 S=1/30



渡り廊下 断面図 S=1/30

渡り廊下 断面図 S=1/30

設計番号	工事名	検図	担当	特記	図面名	縮尺	図面番号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				渡り廊下 既存建物改修 各図	A1:1/100, 30 A3:1/200, 60	参考-06



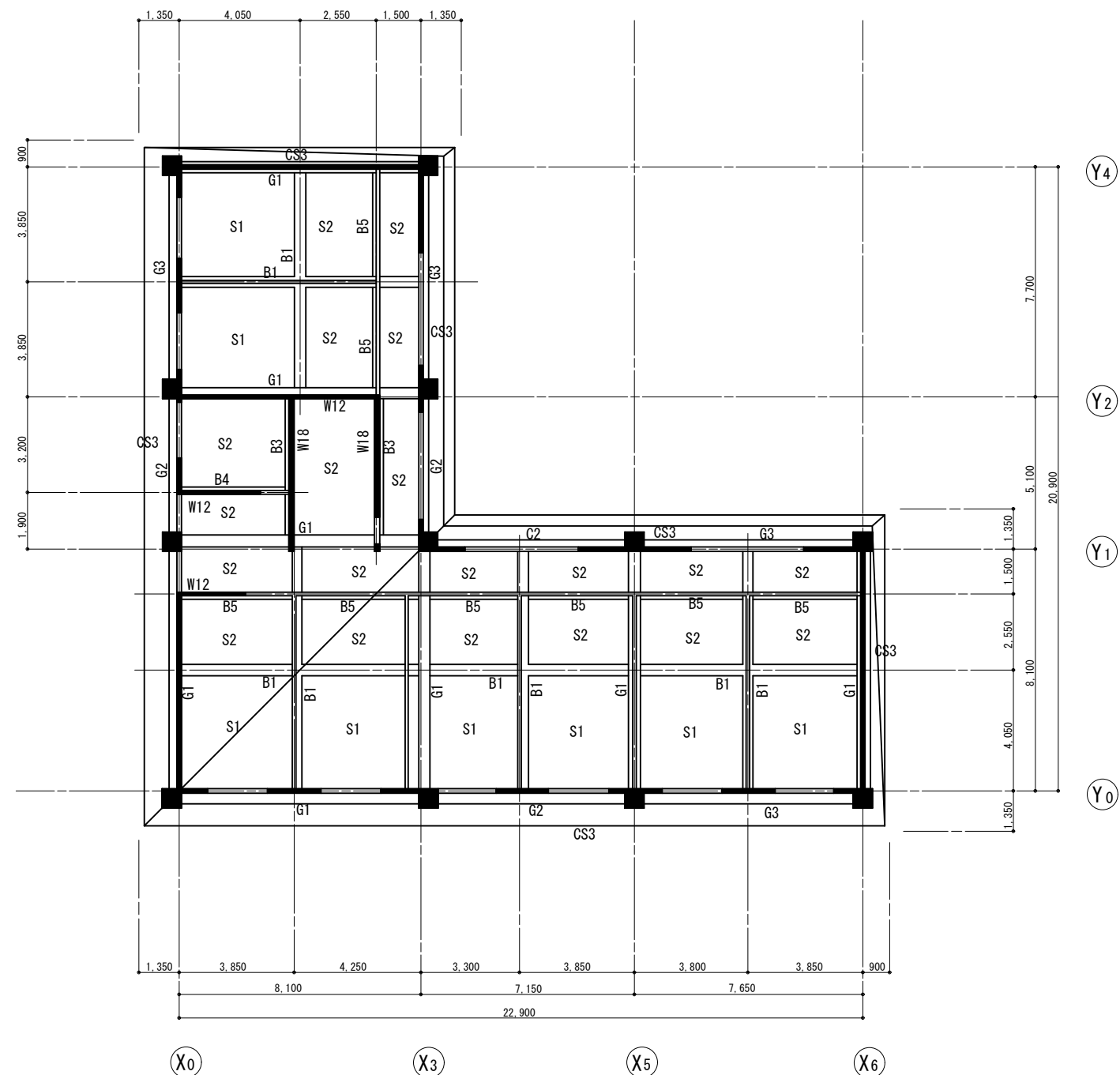
- 梁天バGL+400ヲ示ス
- ▨ 梁天バGL+350ヲ示ス
- ▩ 梁天バGL+200ヲ示ス
- ▧ 梁天バGL+100ヲ示ス

特記ナキ壁ハ W15 トスル

設計番号	工事名	検図	担当	特記	図面名	縮尺	図面番号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				1階床伏図 1階柱壁 2階梁伏図	A1:1/100 A3:1/200	参考-08

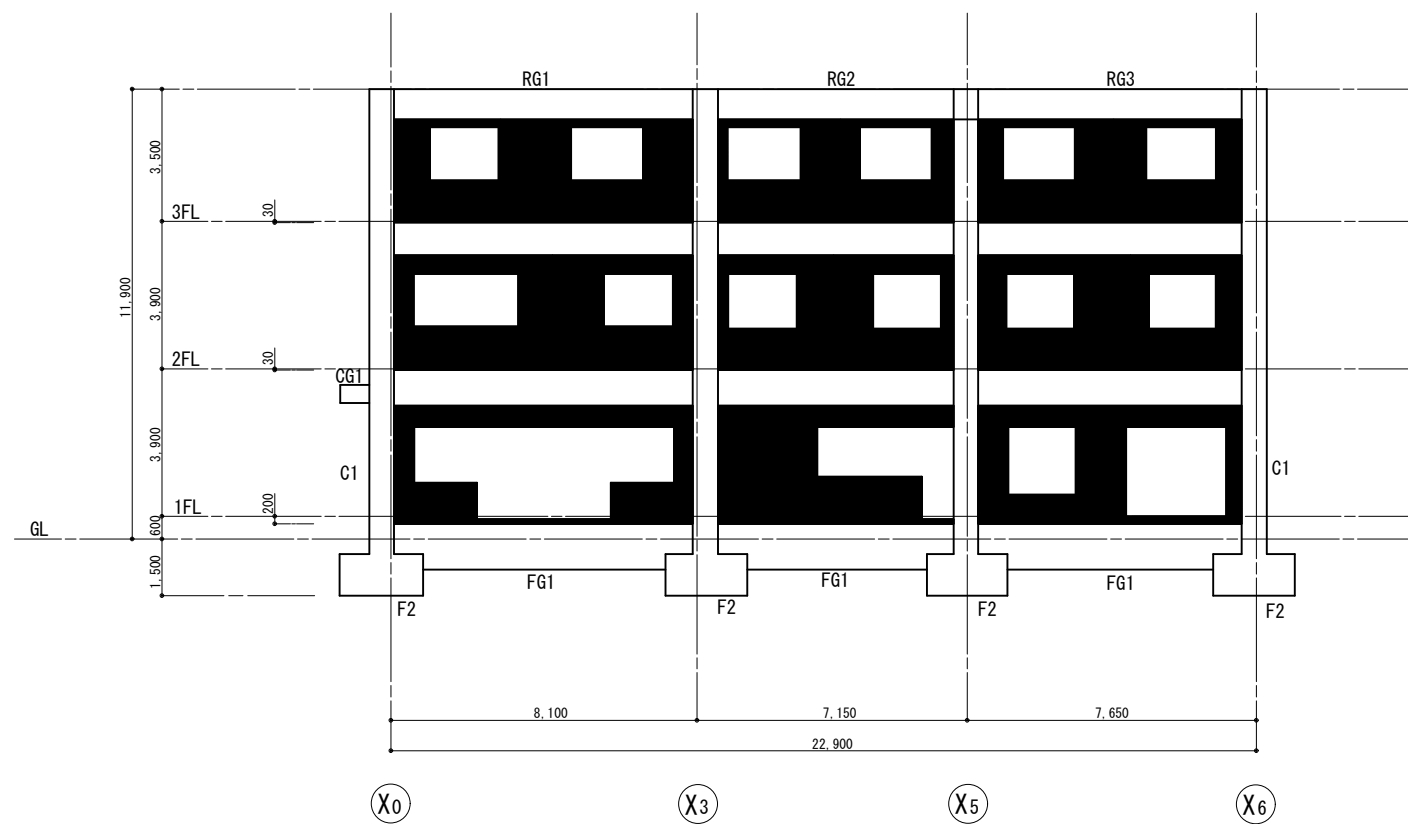


2階柱壁 3階梁伏図 S=1/100

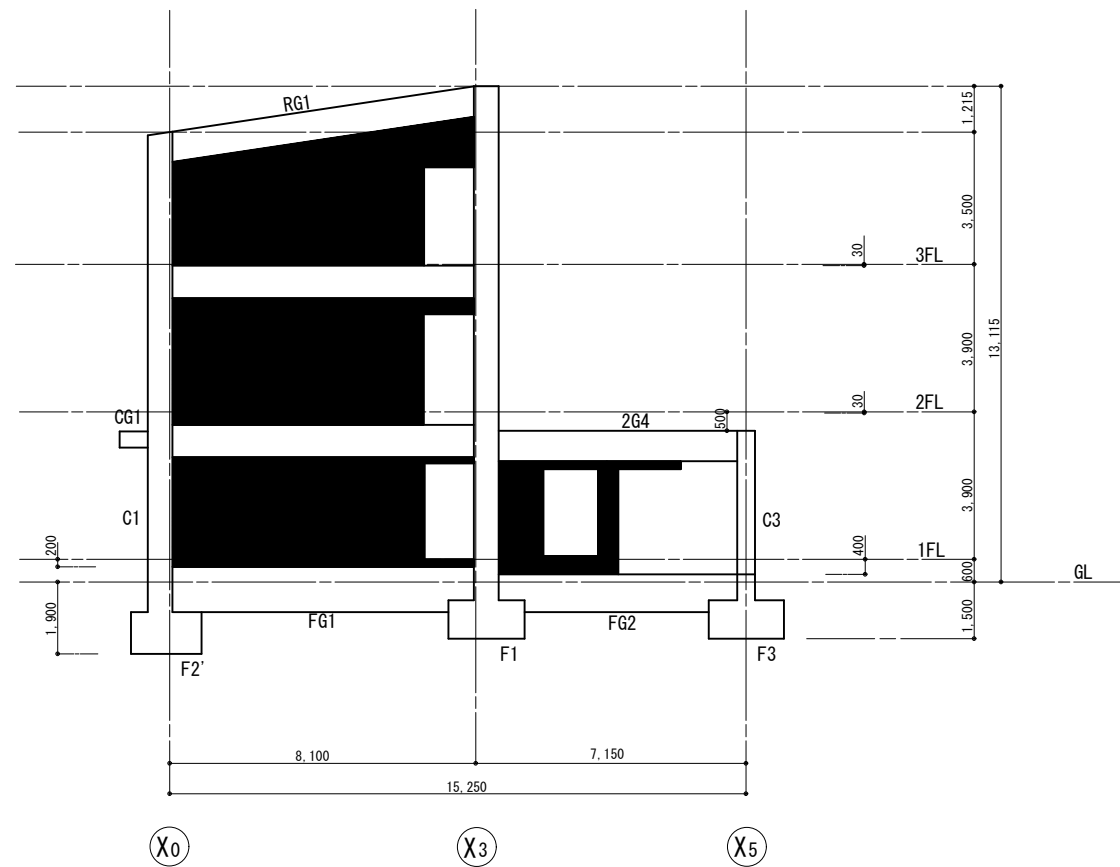


3階柱壁 R階梁伏図 S=1/100

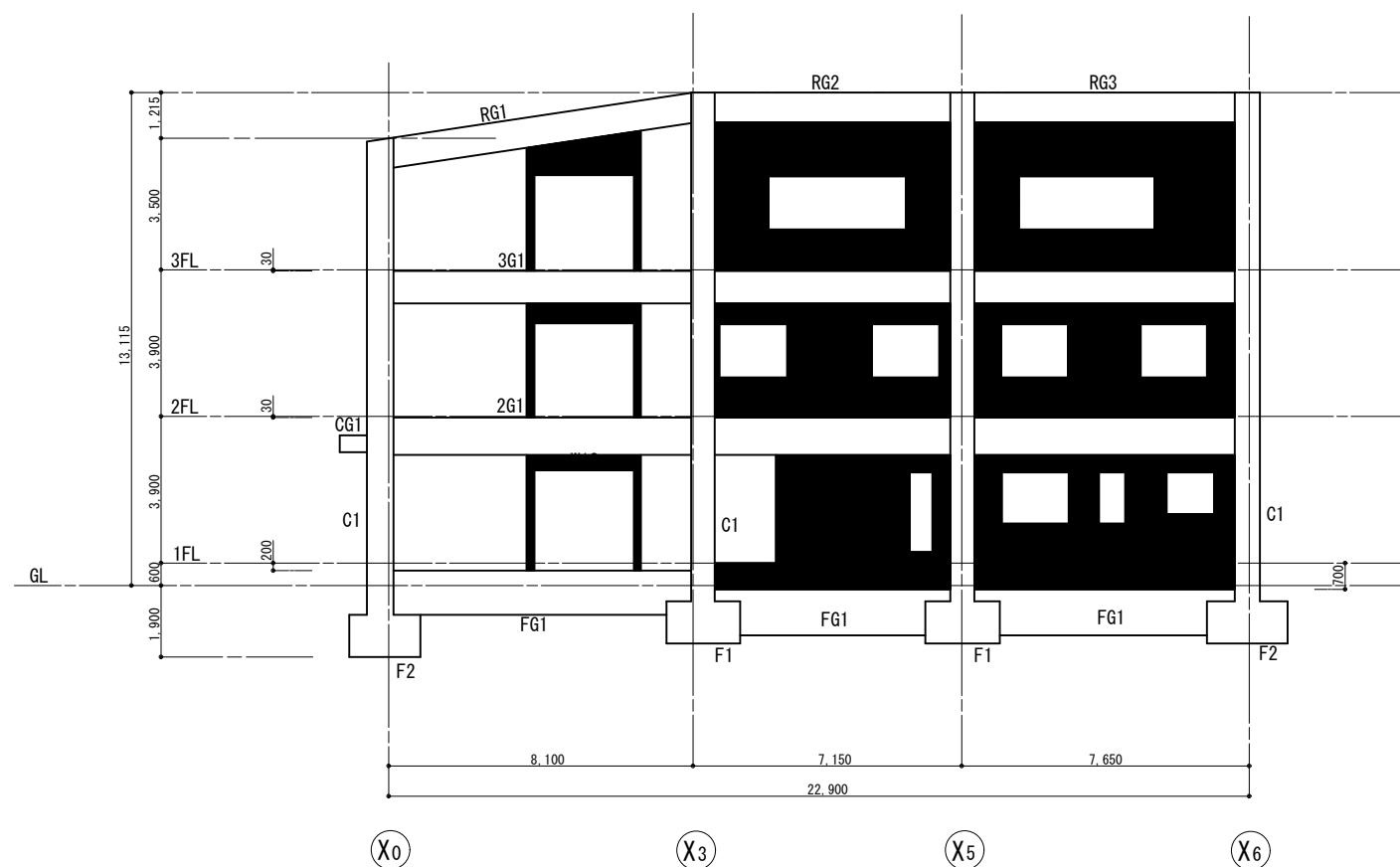
設計番号	工事名	検図	担当	特記	図面名	縮尺	図面番号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				2階柱壁 3階梁伏図 3階柱壁 R階梁伏図	A1:1/100 A3:1/200	参考-09



Y0 通り軸組図 S=1/100

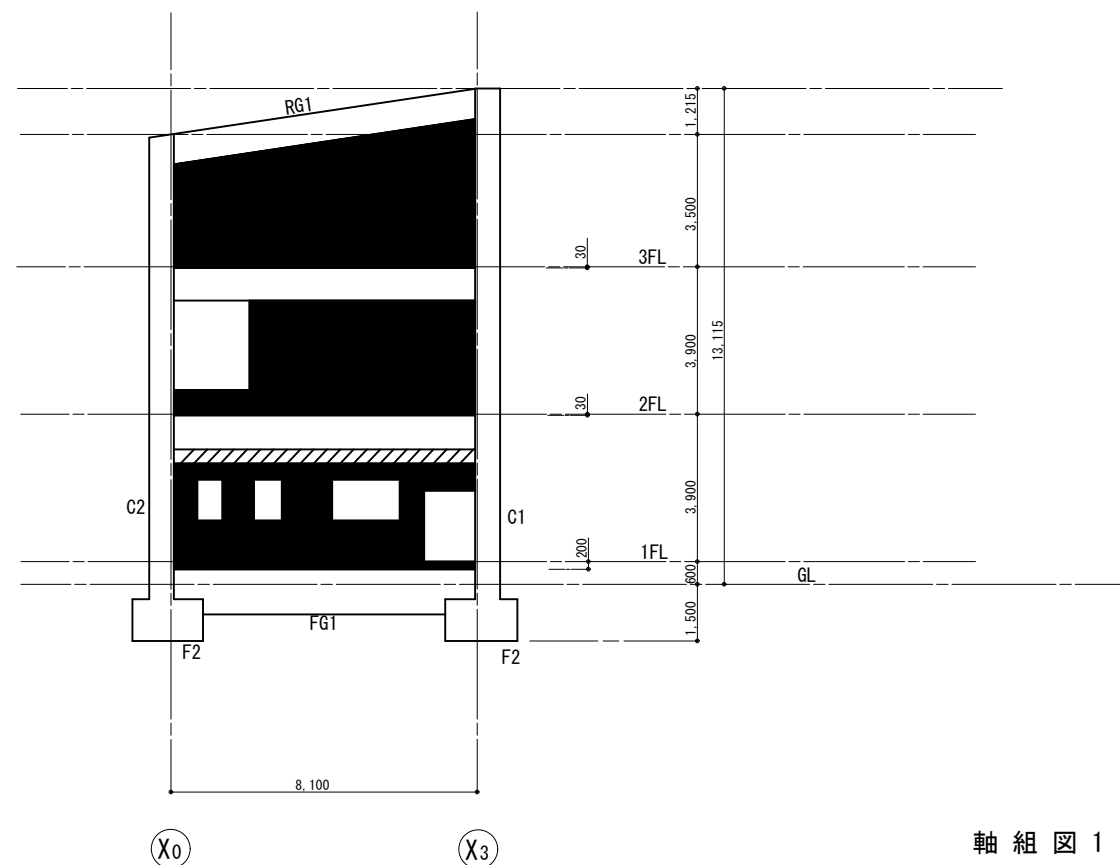


Y2 通り軸組図 S=1/100



Y1 通り軸組図 S=1/100

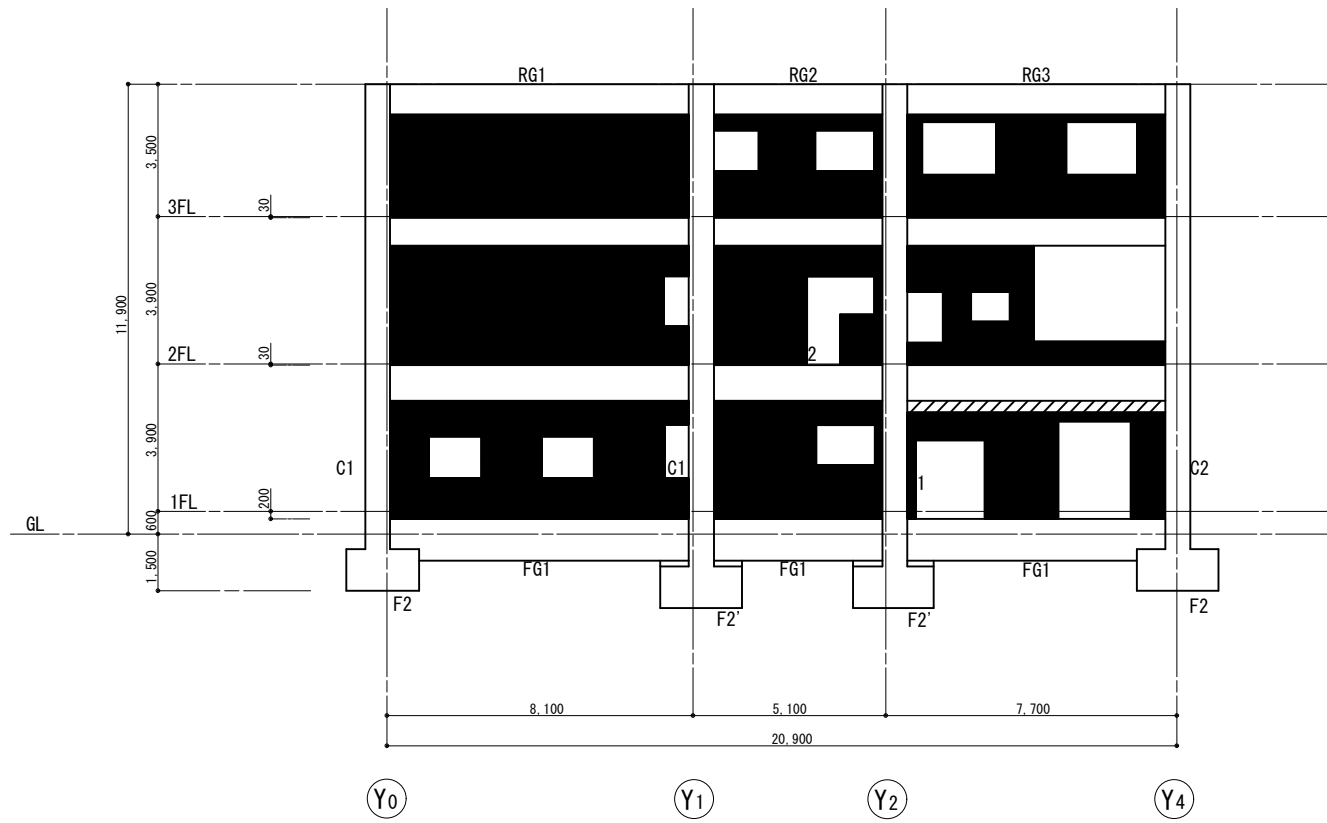
特記ナキ壁ハ W15 トスル



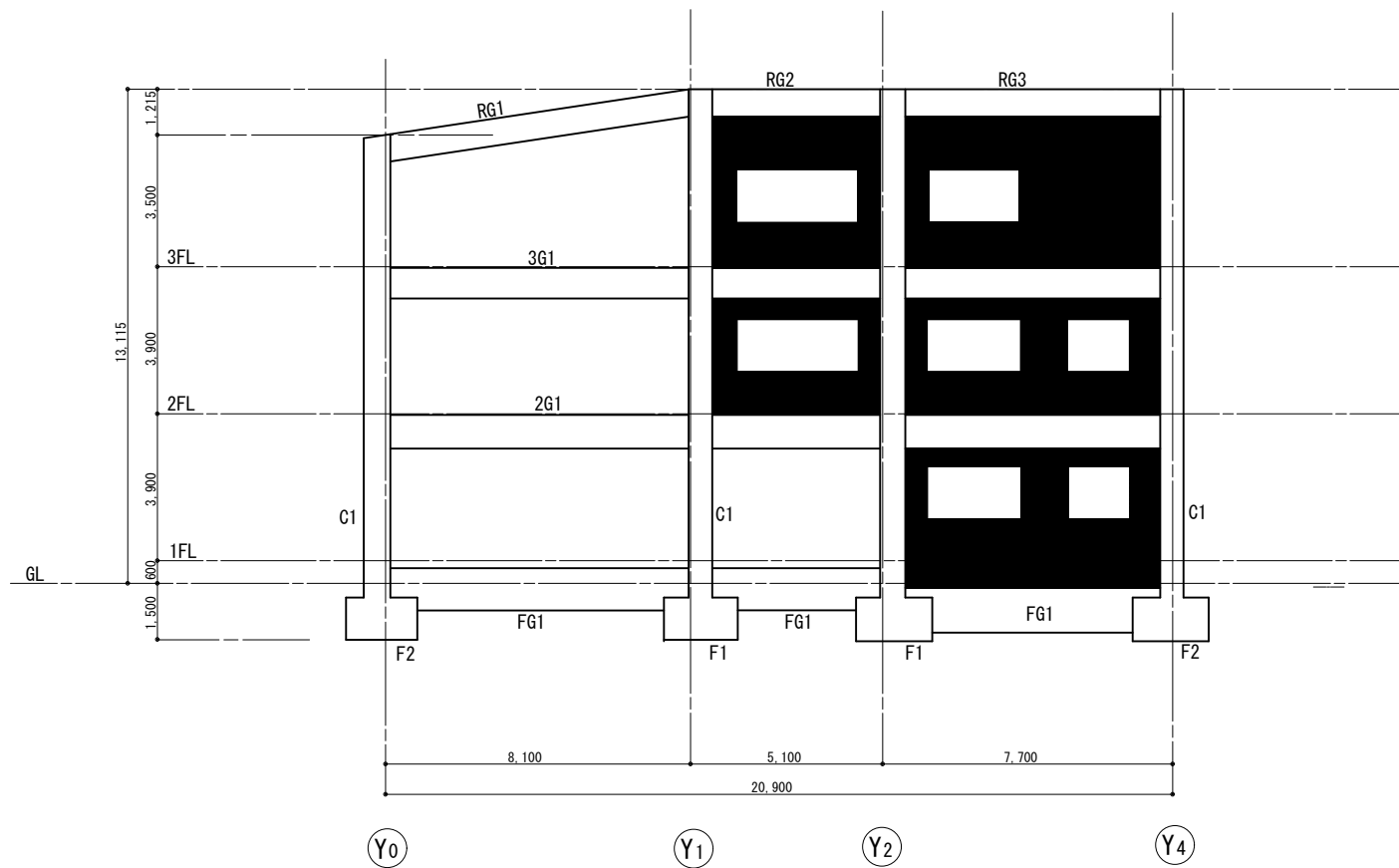
Y4 通り軸組図 S=1/100

軸組図 1

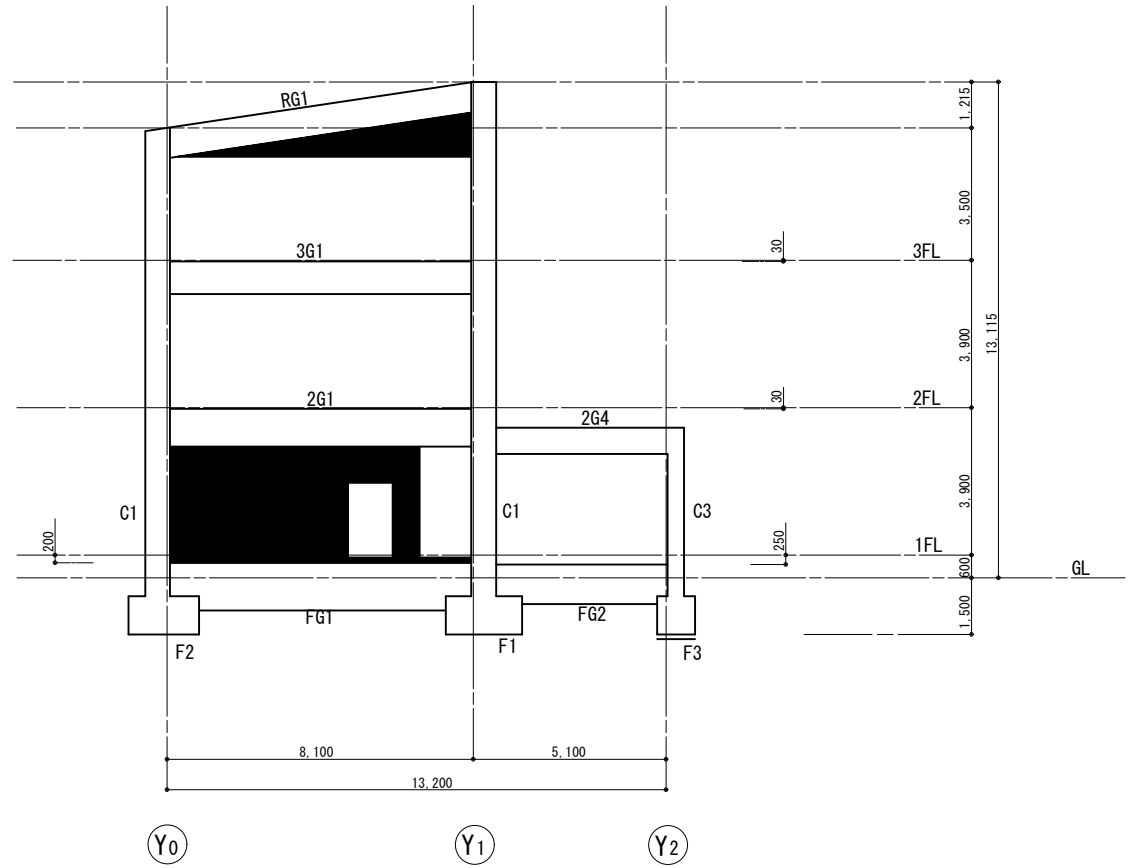
設計番号	工事名	検図	担当	特記	図面名	縮尺	図面番号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				軸組図 1	A1:1/100 A3:1/200	参考-10



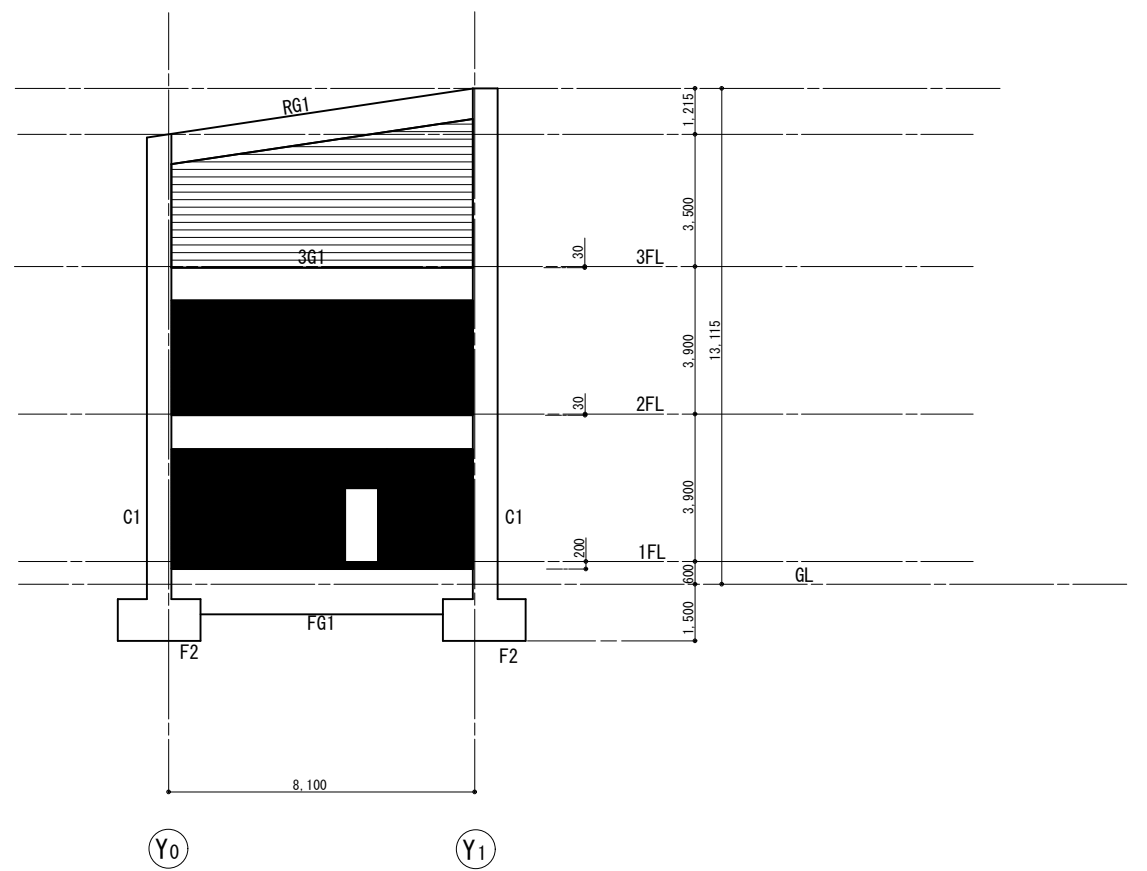
X0 通り軸組図 S=1/100



X3 通り軸組図 S=1/100



X5 通り軸組図 S=1/100

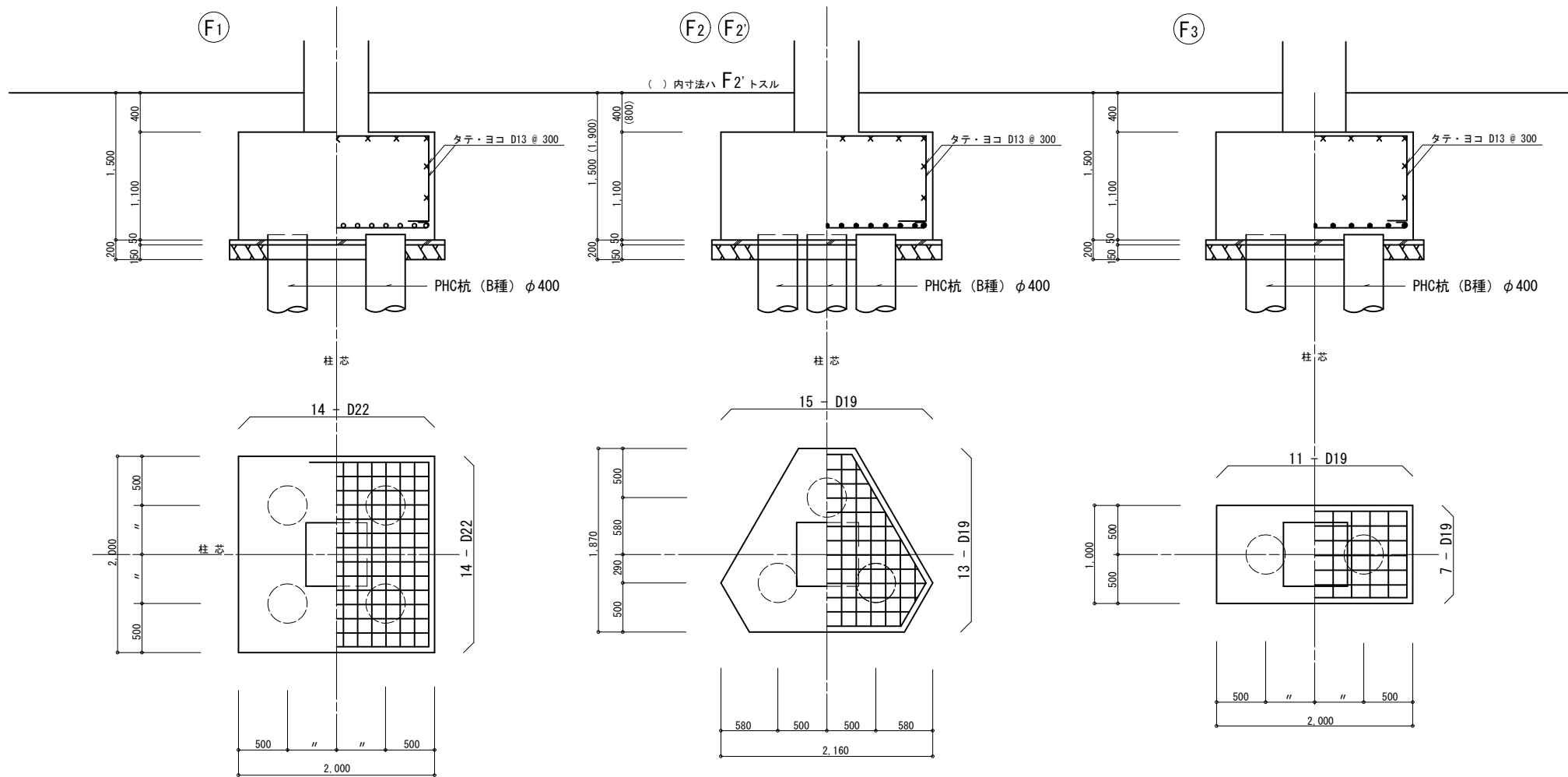


X6 通り軸組図 S=1/100

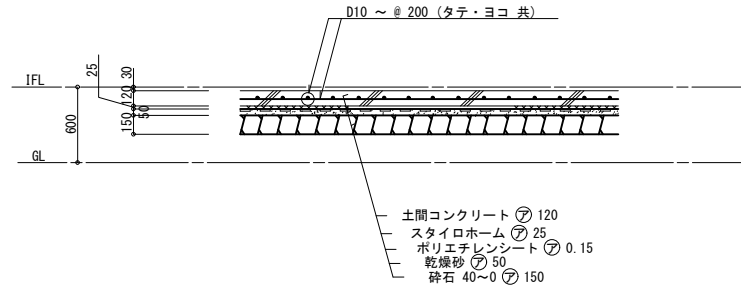
特記ナキ壁ハ W15 トスル

設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				軸 組 図 2	A1:1/100 A3:1/200	参考-11

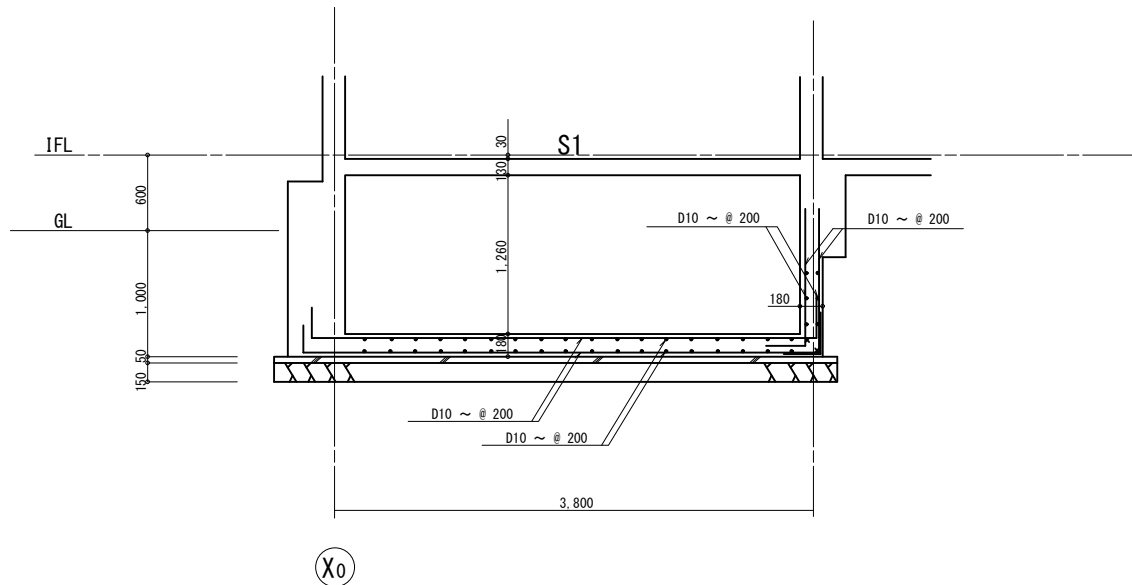
基礎 断面リスト S=1/30



土間 配筋図 S=1/30



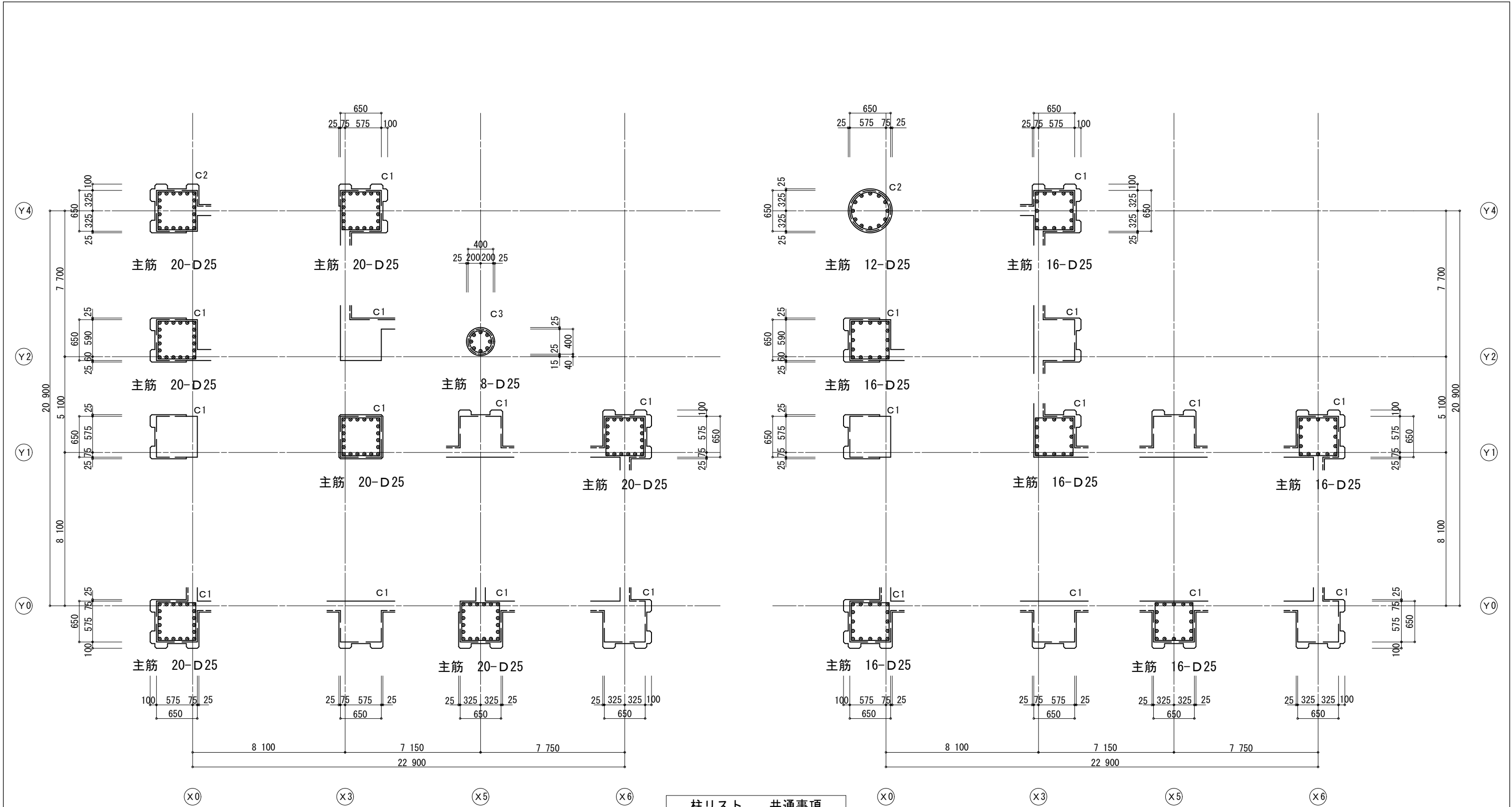
ピット 配筋図 S=1/30



基礎 梁 断面リスト S=1/60

	FG1		FG2		FB1	
	端 部	中 央 部	端 部	中 央 部	端 部	中 央 部
上 端 筋	4 - D25	4 - D25	3 - D25	3 - D25	3 - D22	3 - D22
下 端 筋	4 - D25	4 - D25	3 - D25	3 - D25	3 - D22	3 - D22
S T	D13 ~ @ 150		D13 ~ @ 150		D10 ~ @ 150	
腹筋・巾止メ	4 - D10	D10~@ 1000	4 - D10	D10~@ 1000	2 - D10	D10~@ 1000

設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				基礎 基礎梁 断面リスト ピット配筋図	A1:1/30 A3:1/60	参考-12

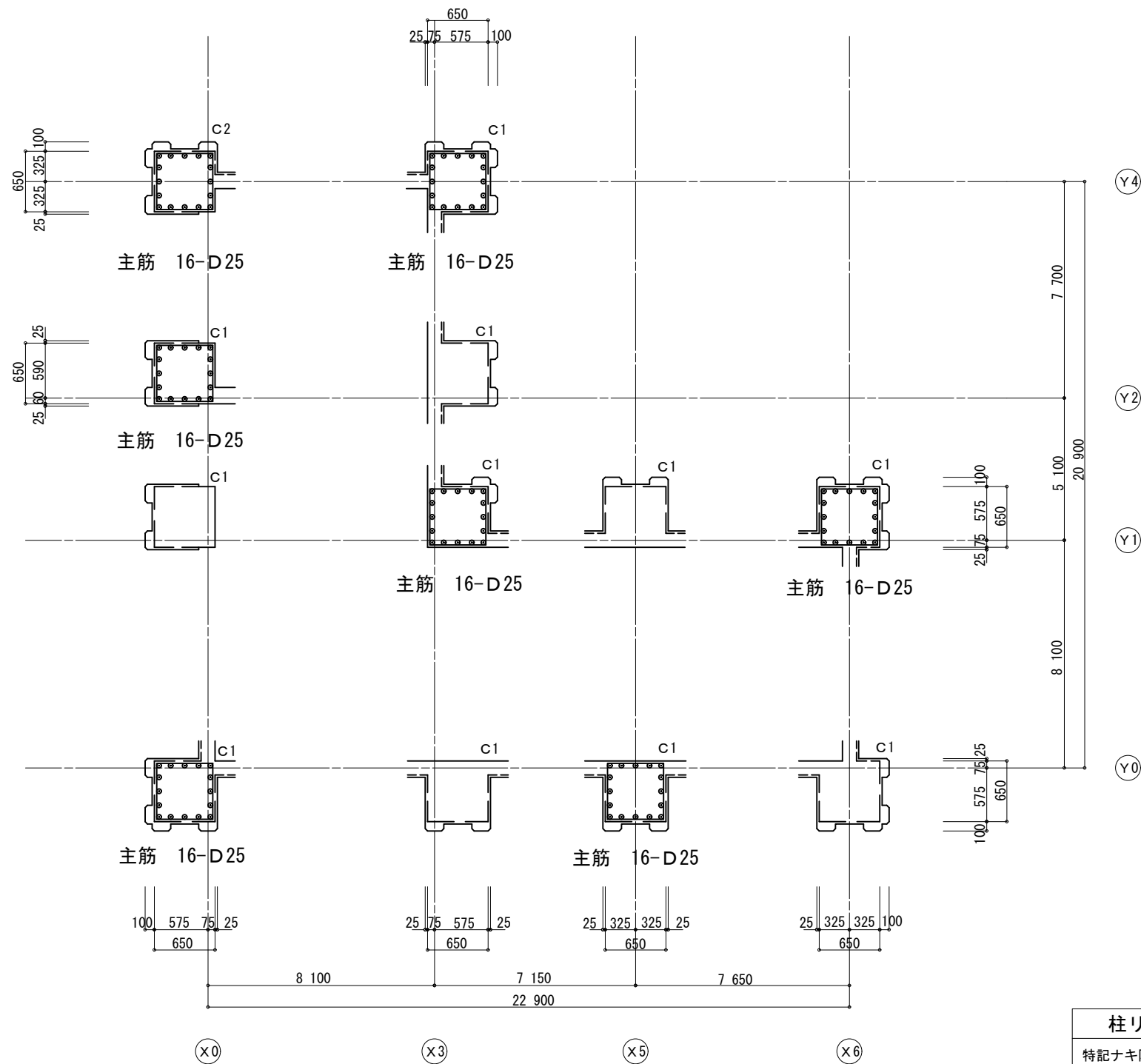


1 階 柱断面リスト S=1/30, S=1/100

柱リスト 共通事項
特記ナキ限り
フープ D13~@100 (一般)
フープ D13~@150 (梁内)

2 階 柱断面リスト S=1/30, S=1/100

設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				1階 2階 柱断面リスト	A1:1/100, 30 A3:1/200, 60	参考-13

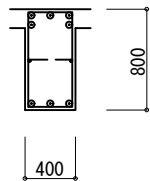
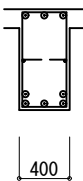
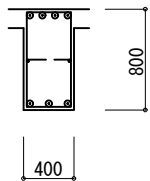
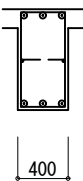
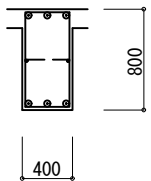
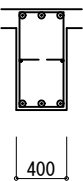
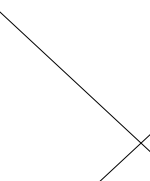
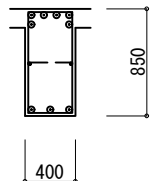
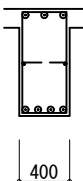
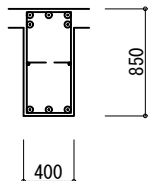
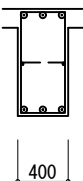
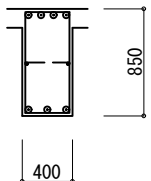
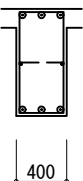
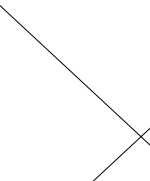
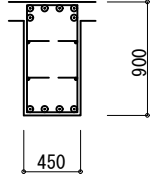
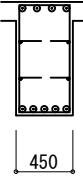
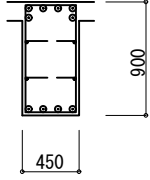
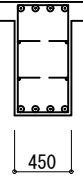
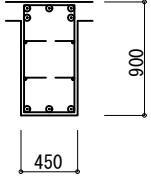
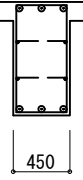
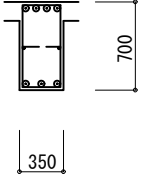
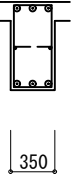


3 階 柱断面リスト S=1/30, S=1/100

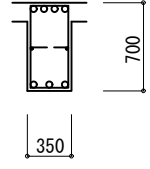
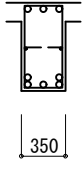
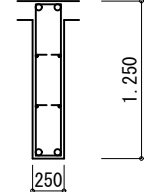
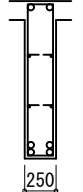
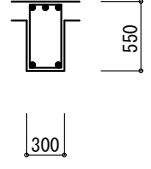
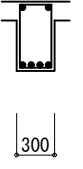
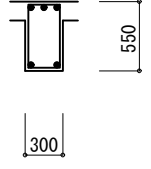
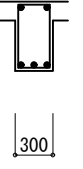
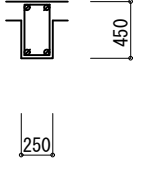
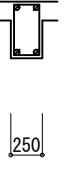
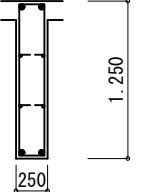
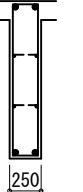
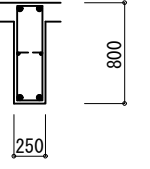
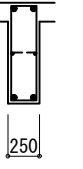
柱リスト	共通事項
特記ナキ限り	
フープ D13~@100 (一般)	
フープ D13~@150 (梁内)	

設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事						3階 柱断面リスト	A1:1/100, 30 A3:1/200, 60	参考-14

大 梁 断面リスト S=1/30

	G1		G2		G3		G4	
	端 部	中央部	端 部	中央部	端 部	中央部	端 部	中央部
R								
上端筋	5 - D25	3 - D25	4 - D25	3 - D25	3 - D25	3 - D25		
下端筋	3 - D25	5 - D25	3 - D25	3 - D25	3 - D25	3 - D25		
S T	D10 ~ @150		D10 ~ @150		D10 ~ @150			
腹筋 巾止め	2 - D10 ・ D10 ~ @1.000		2 - D10 ・ D10 ~ @1.000		2 - D10 ・ D10 ~ @1.000			
3								
上端筋	6 - D25	3 - D25	5 - D25	3 - D25	4 - D25	3 - D25		
下端筋	3 - D25	4 - D25	3 - D25	3 - D25	3 - D25	3 - D25		
S T	D10 ~ @150		D10 ~ @150		D10 ~ @150			
腹筋 巾止め	2 - D10 ・ D10 ~ @1.000		2 - D10 ・ D10 ~ @1.000		2 - D10 ・ D10 ~ @1.000			
2								
上端筋	7 - D25	4 - D25	6 - D25	4 - D25	5 - D25	3 - D25	4 - D25	3 - D25
下端筋	4 - D25	5 - D25	4 - D25	4 - D25	3 - D25	3 - D25	3 - D25	3 - D25
S T	D13 ~ @150		D13 ~ @150		D13 ~ @150		D10 ~ @150	
腹筋 巾止め	4 - D10 ・ D10 ~ @1.000		4 - D10 ・ D10 ~ @1.000		4 - D10 ・ D10 ~ @1.000		2 - D10 ・ D10 ~ @1.000	

小 梁 断面リスト S=1/30

	B1		B2		B3		B4		B5		B6		B7 ・ CG1	
	端 部	中央部	端 部	中央部	端 部	中央部	端 部	中央部	端 部	中央部	端 部	中央部	端 部	中央部
														
上端筋	4 - D22	3 - D22	2 - D22	2 - D22	3 - D19	2 - D19	3 - D19	2 - D19	2 - D16	2 - D16	2 - D19	2 - D19	2 - D19	2 - D19
下端筋	3 - D22	5 - D22	2 - D22	4 - D22	2 - D19	4 - D19	2 - D19	3 - D19	2 - D16	2 - D16	2 - D19	2 - D19	2 - D19	2 - D19
S T	D10 ~ @150		D10 ~ @200		D10 ~ @150		D10 ~ @150		D10 ~ @200		D10 ~ @200		D10 ~ @200	
腹筋 巾止め	2 - D10 ・ D10 ~ @1.000		4 - D10 ・ D10 ~ @1.000								4 - D10 ・ D10 ~ @1.000		2 - D10 ・ D10 ~ @1.000	

設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事						梁 断 面 リ ス ト	A1:1/30 A3:1/60	参 考 -15

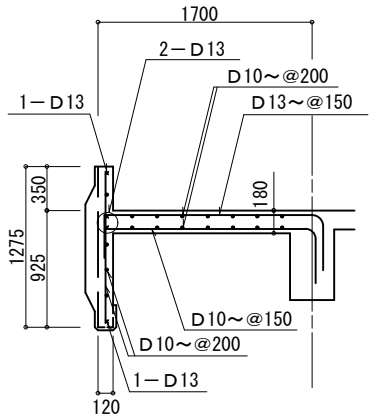
床版リスト

階	記号	厚さ	位置	短 辺 方 向			長 辺 方 向		
				中央部		両 端	中央部		両 端
				端 部	中 央		端 部	中 央	
R	S1	150	上端筋	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200
			下端筋	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200
	S2	150	上端筋	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 250	D10 ～ @ 250	D10 ～ @ 250
			下端筋	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 250	D10 ～ @ 250	D10 ～ @ 250
2・3	S1	130	上端筋	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200
			下端筋	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200
	S2	130	上端筋	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 250	D10 ～ @ 250	D10 ～ @ 250
			下端筋	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 250	D10 ～ @ 250	D10 ～ @ 250
	S3	150	上端筋	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200
			下端筋	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200
	S4	150	上端筋	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 250	D10 ～ @ 250	D10 ～ @ 250
			下端筋	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 250	D10 ～ @ 250	D10 ～ @ 250
1	S1	130	上端筋	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 250	D10 ～ @ 250	D10 ～ @ 250
			下端筋	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 200	D10 ～ @ 250	D10 ～ @ 250	D10 ～ @ 250

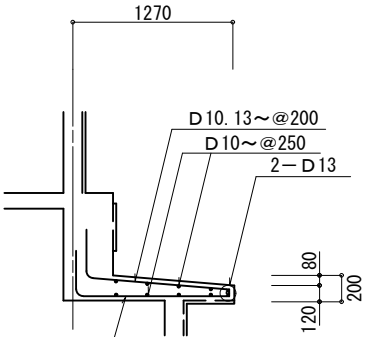
壁断面リスト

	W18	W15	W12	C B12	
断 面					
縦 筋	D10～@200（ダブル）	D10～@100（チドリ）	D10～@200（シングル）	D10～@400	
横 筋	D10～@200（ダブル）	D10～@100（チドリ）	D10～@200（シングル）	D10～@400	
補強筋	タテ筋	4 － D16	4 － D13	1 － D13	
	ヨコ筋	4 － D16	4 － D13	1 － D13	
ナナメ筋	2 － D13	2 － D13	1 － D13		

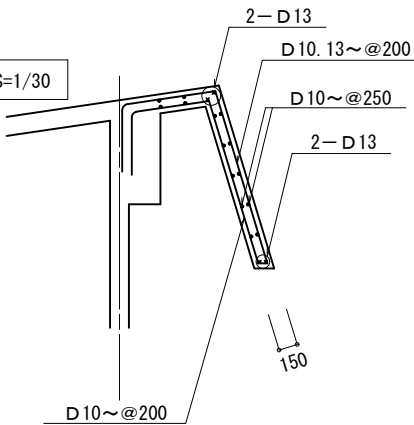
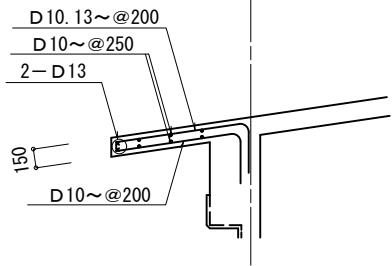
CS1 配筋図 S=1/30



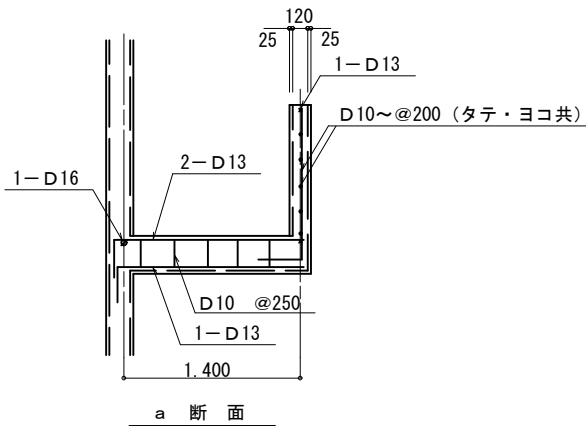
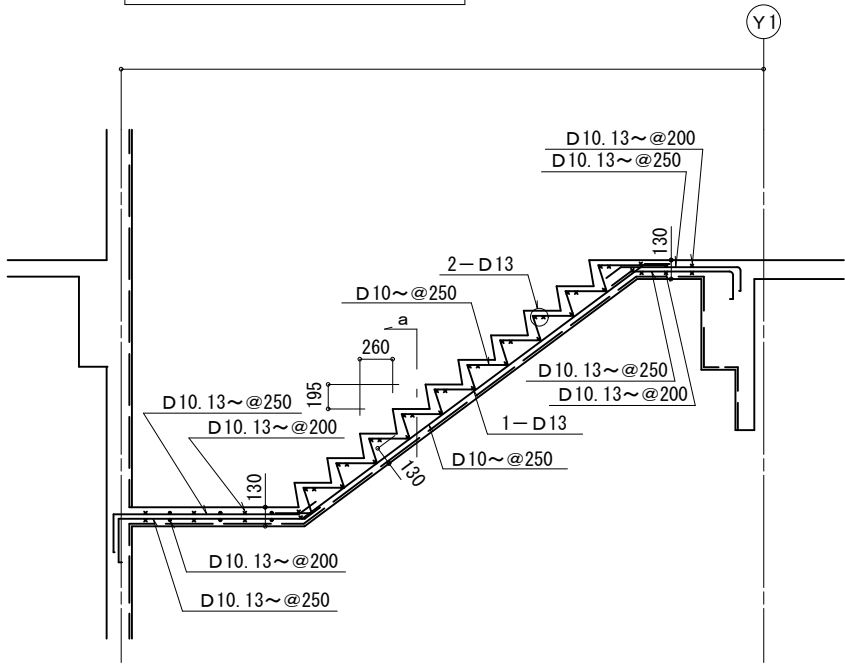
CS2 配筋図 S=1/30

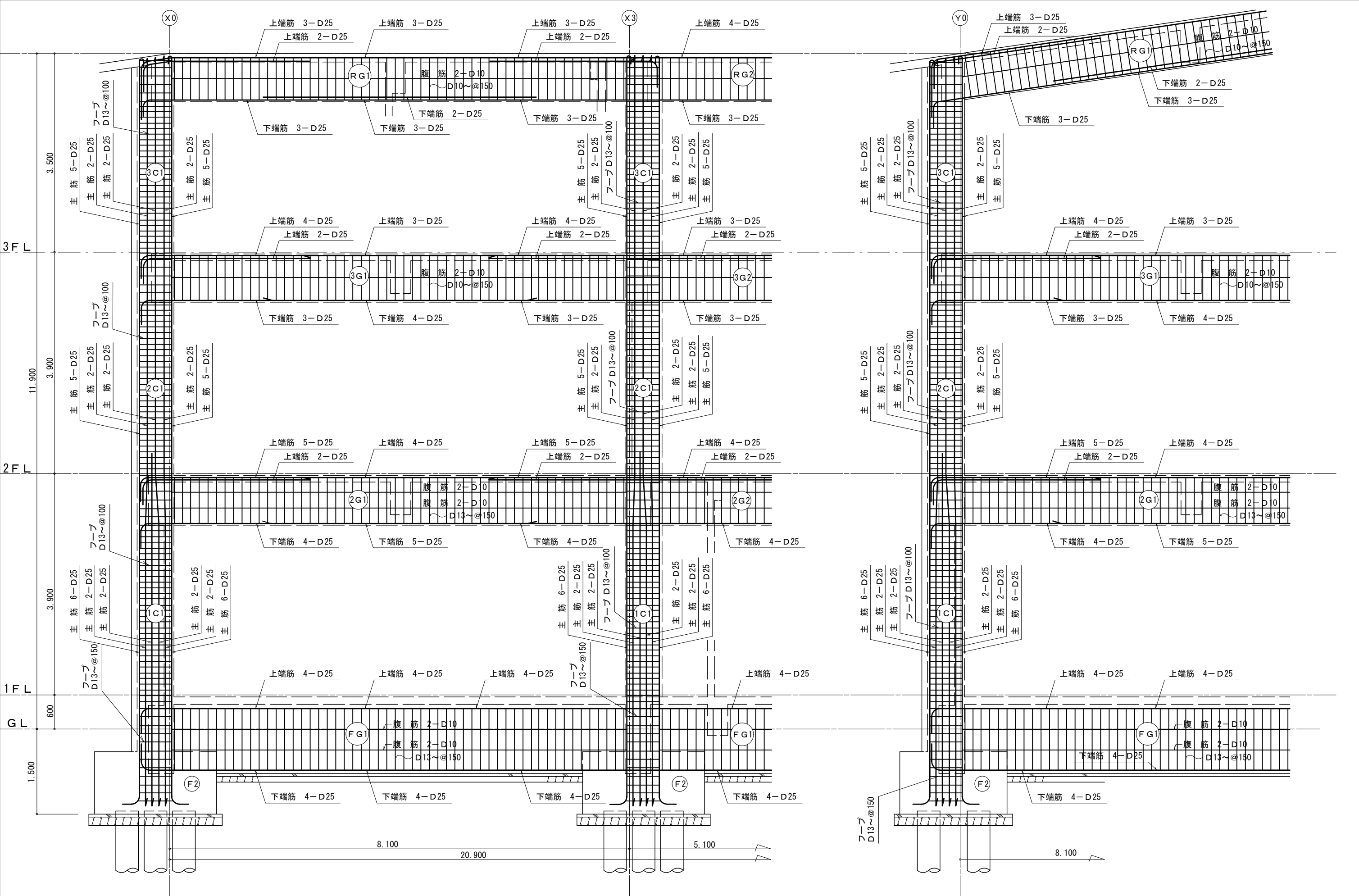


CS3 配筋図 S=1/30



階段配筋図 S=1/30



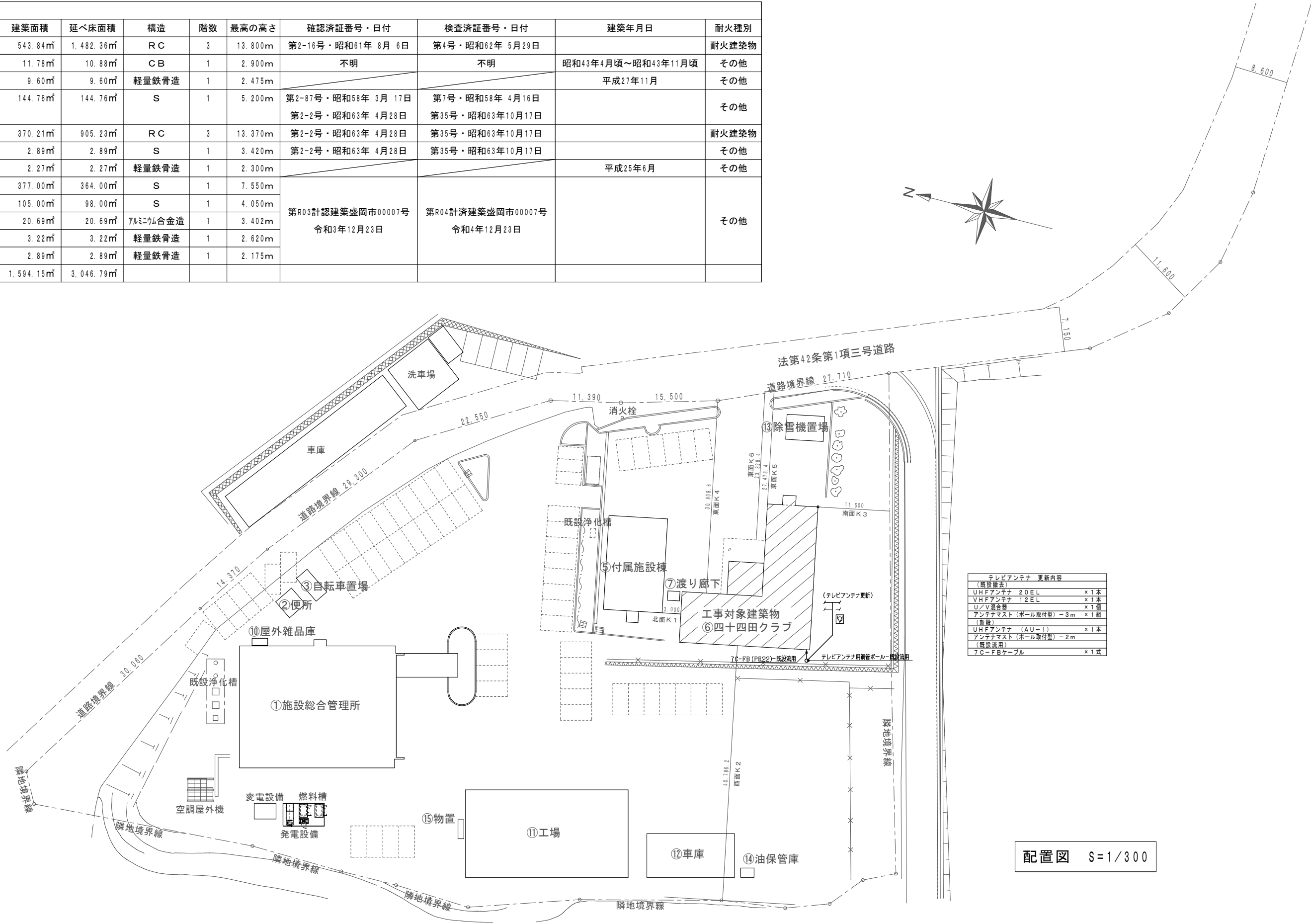


Y 0通り 架構詳細図 S=1/30

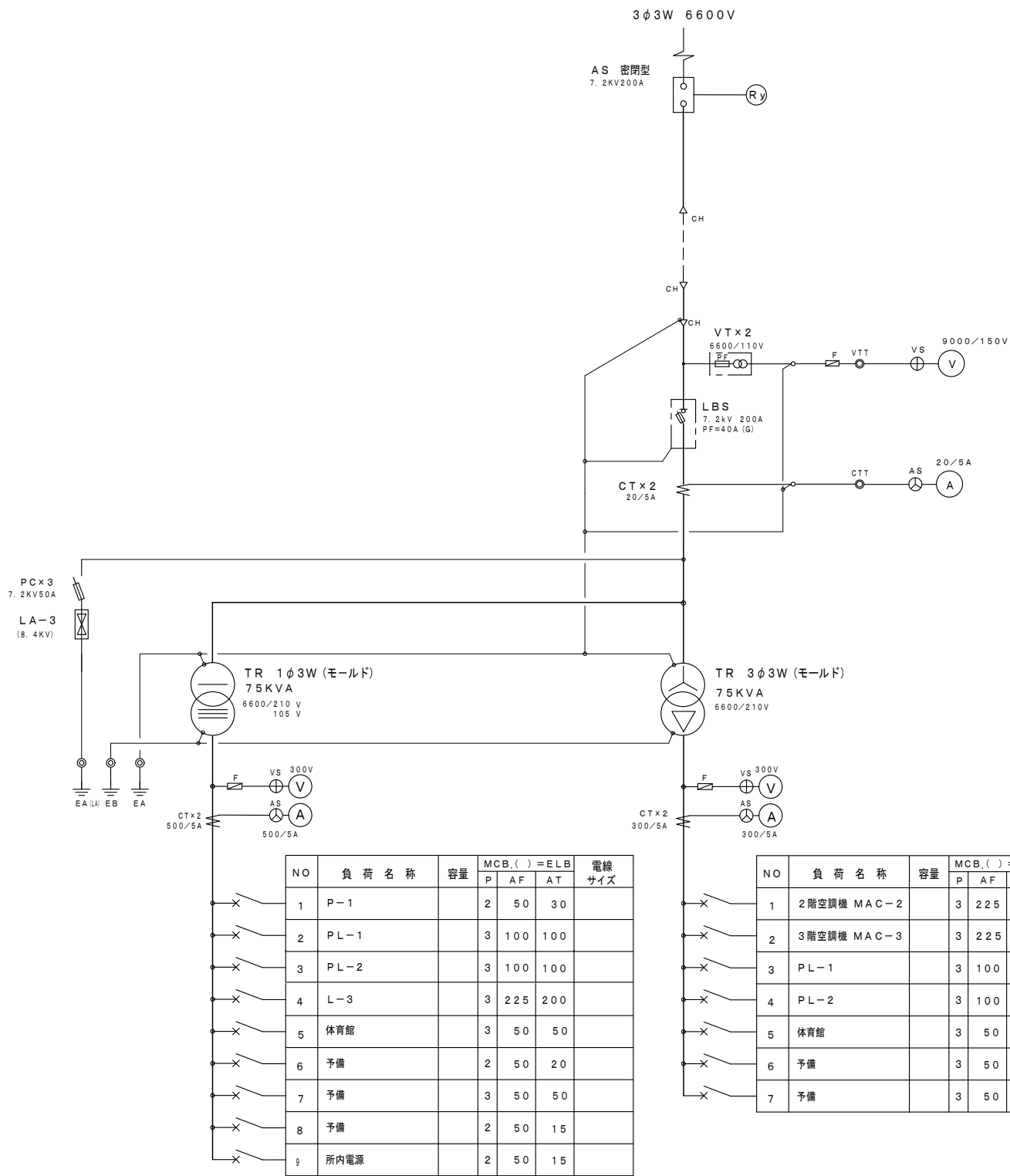
X 3通り 架構詳細図 S=1/30

設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				架構詳細図	A1:1/30 A3:1/60	参考-17

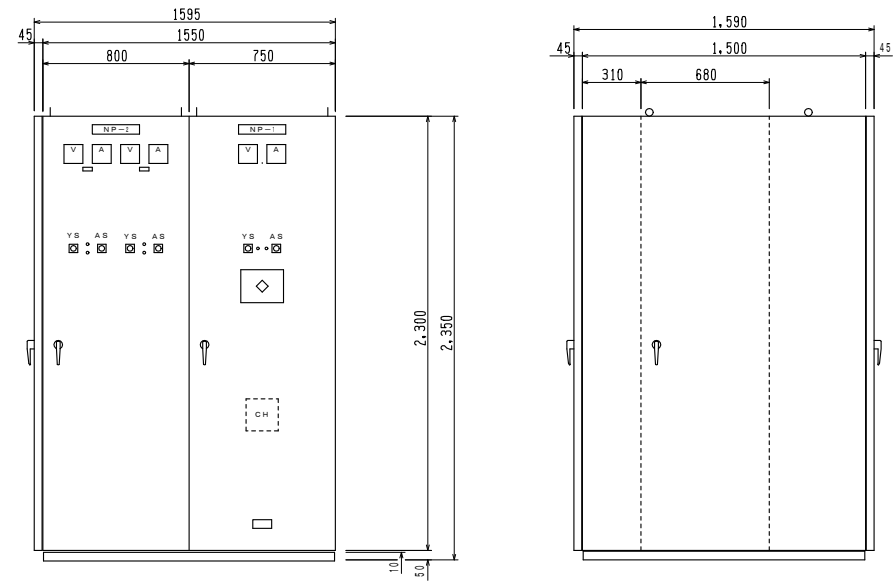
既存建物面積表										
符号	用途	建築面積	延べ床面積	構造	階数	最高の高さ	確認済証番号・日付	検査済証番号・日付	建築年月日	耐火種別
①	施設総合管理所	543.84㎡	1,482.36㎡	RC	3	13.800m	第2-16号・昭和61年 8月 6日	第4号・昭和62年 5月29日		耐火建築物
②	便所	11.78㎡	10.88㎡	CB	1	2.900m	不明	不明	昭和43年4月頃～昭和43年11月頃	その他
③	自転車置場	9.60㎡	9.60㎡	軽量鉄骨造	1	2.475m			平成27年11月	その他
⑤	付属施設棟	144.76㎡	144.76㎡	S	1	5.200m	第2-87号・昭和58年 3月 17日 第2-2号・昭和63年 4月28日	第7号・昭和58年 4月16日 第35号・昭和63年10月17日		その他
⑥	四十四田クラブ	370.21㎡	905.23㎡	RC	3	13.370m	第2-2号・昭和63年 4月28日	第35号・昭和63年10月17日		耐火建築物
⑦	渡り廊下	2.89㎡	2.89㎡	S	1	3.420m	第2-2号・昭和63年 4月28日	第35号・昭和63年10月17日		その他
⑩	屋外雑品庫	2.27㎡	2.27㎡	軽量鉄骨造	1	2.300m			平成25年6月	その他
⑪	工場	377.00㎡	364.00㎡	S	1	7.550m				
⑫	車庫	105.00㎡	98.00㎡	S	1	4.050m	第R03計認建築盛岡市00007号 令和3年12月23日	第R04計済建築盛岡市00007号 令和4年12月23日		その他
⑬	除雪機置場	20.69㎡	20.69㎡	アルミウム合金造	1	3.402m				
⑭	油保管庫	3.22㎡	3.22㎡	軽量鉄骨造	1	2.620m				
⑮	物置	2.89㎡	2.89㎡	軽量鉄骨造	1	2.175m				
	合計	1,594.15㎡	3,046.79㎡							



設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事								
							配 置 図	A1:1/300 A3:1/600	E-02

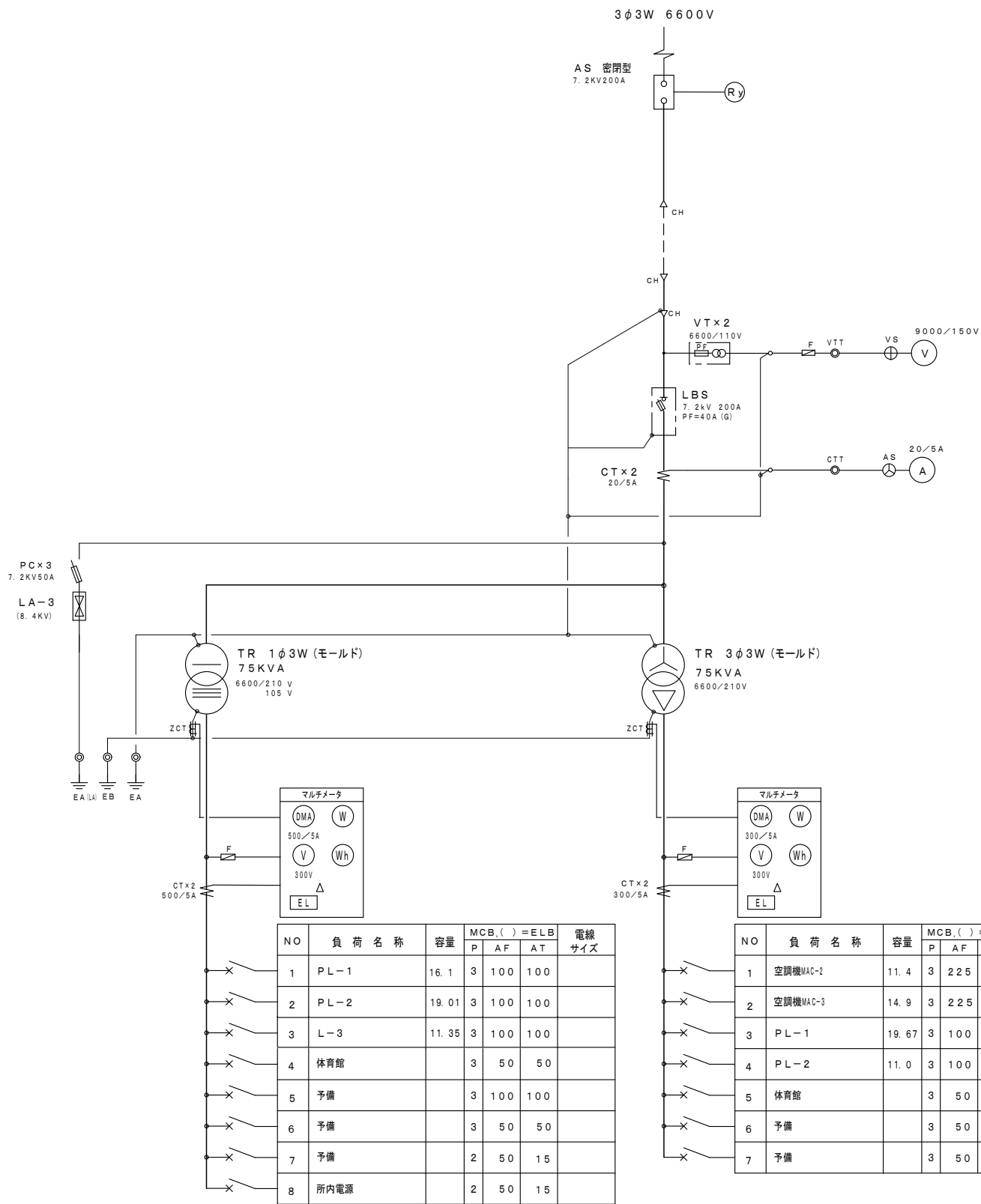


既設キュービクル 結線図

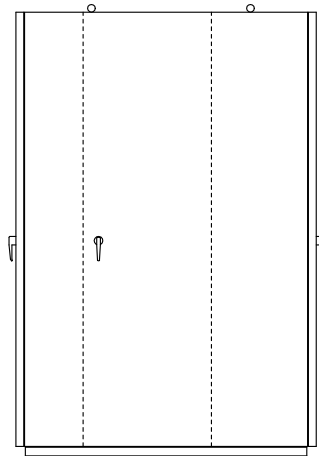
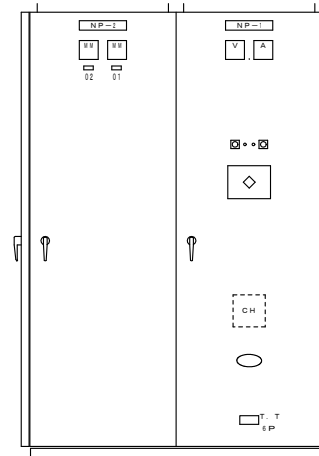


既設キュービクル 姿図

設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号	
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事							既設撤去キュービクル 結線図・姿図	NO SCALE	E-03



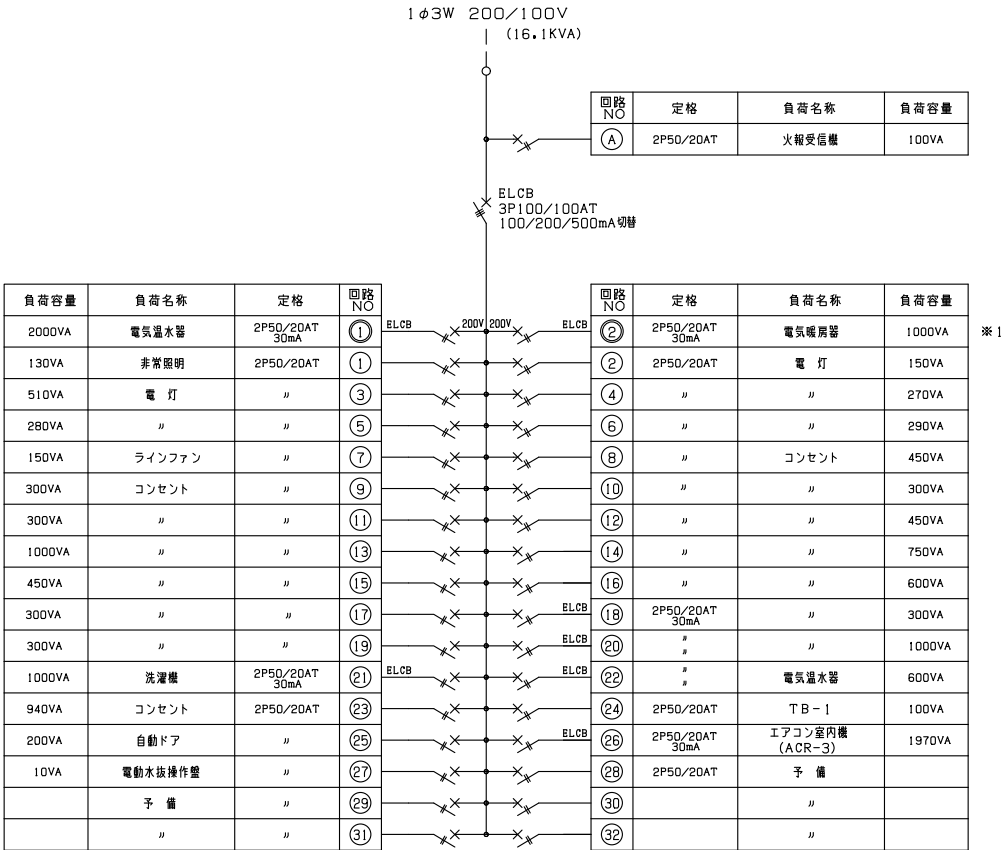
新設キュービクル 結線図



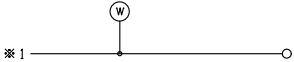
新設キュービクル 姿図

設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号	
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事							新設キュービクル 結線図・姿図	NO SCALE	E-04

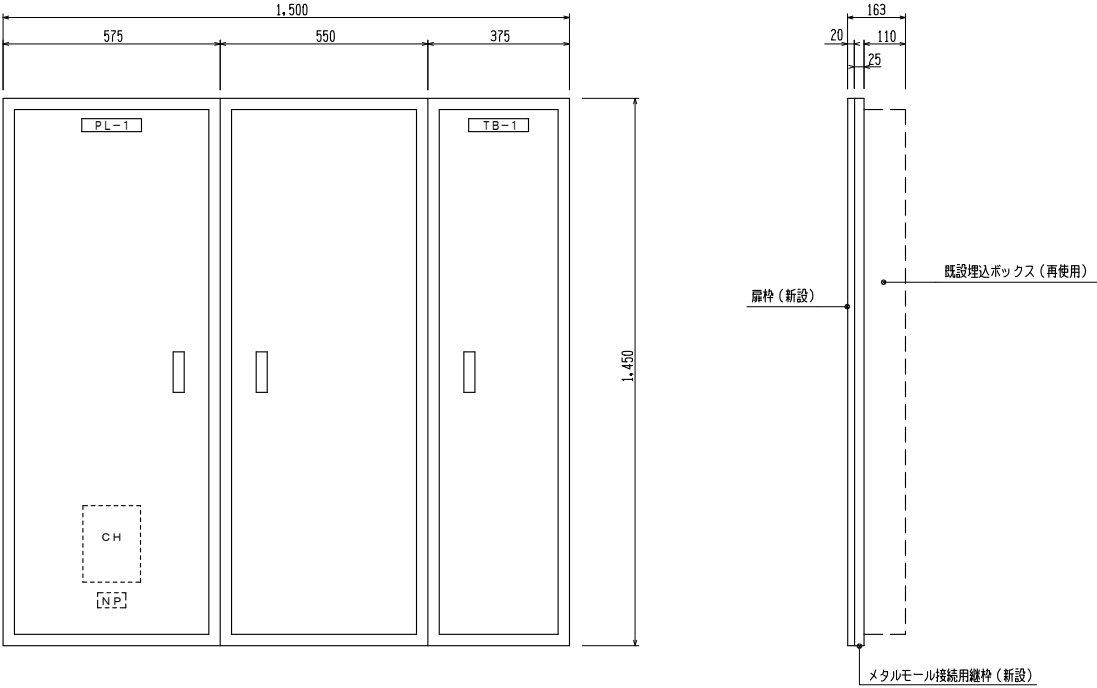
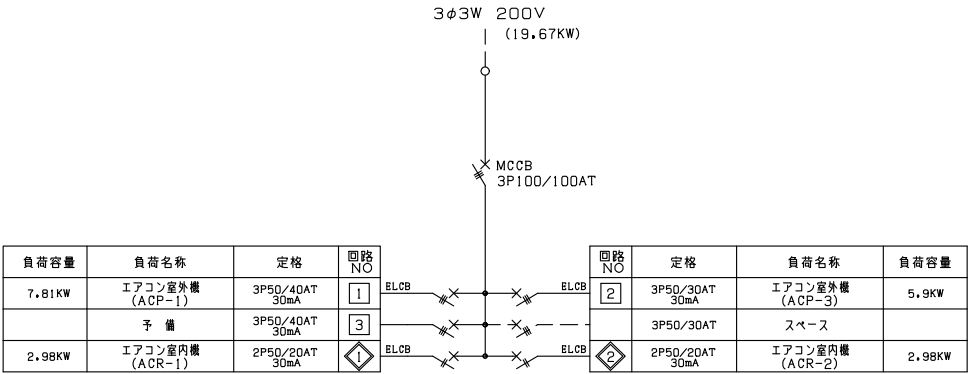
PL-1 (埋込型)



(注記) プレーカーは、J I S協約形 P モジュールとする。



(セパレーター)

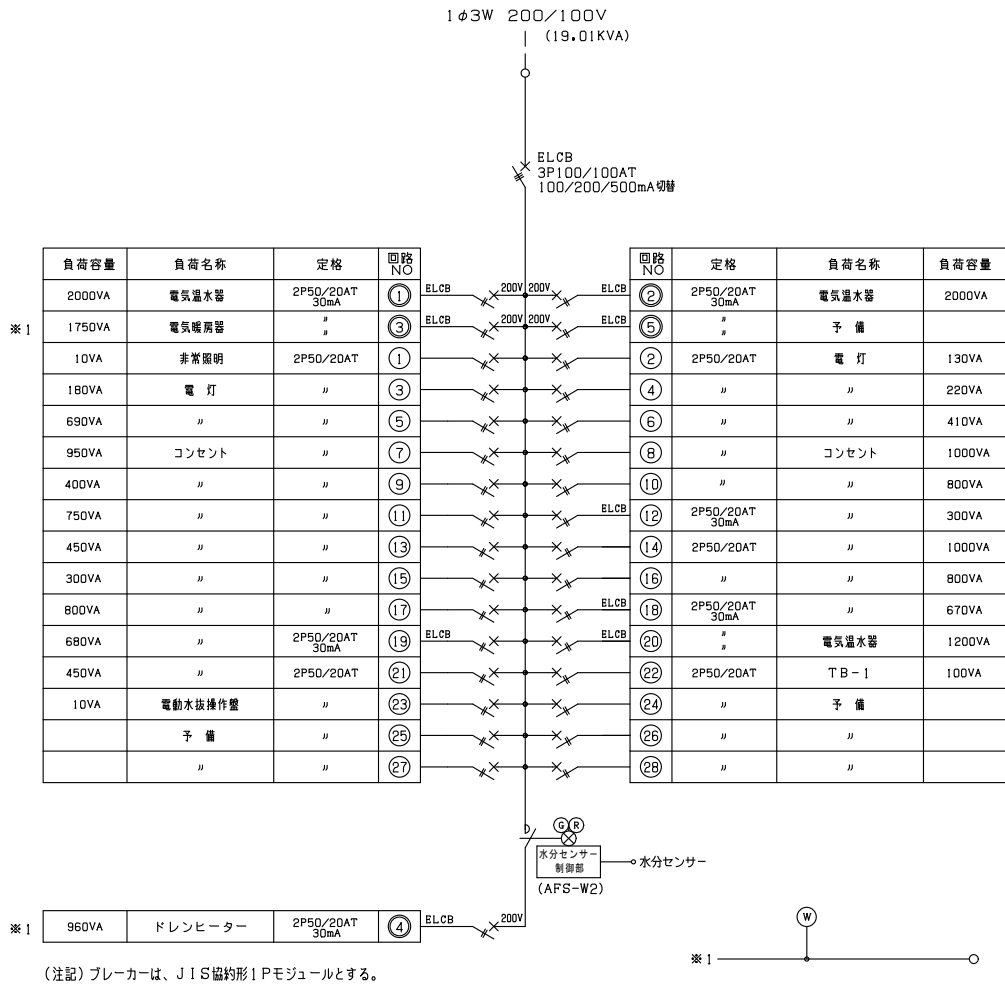


PL-1、TB-1 盤 姿図

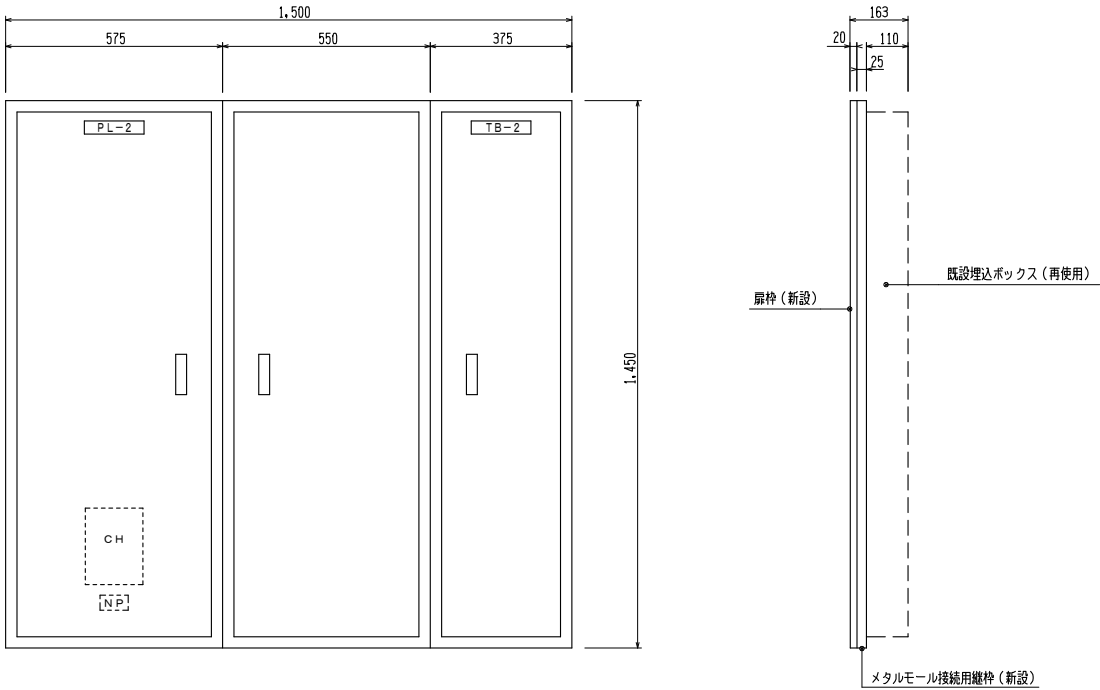
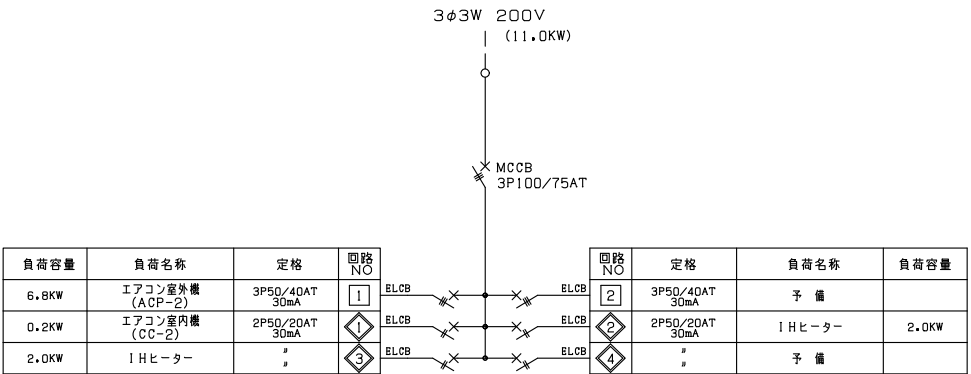
- 注 記
- 1. 既設躯体埋込型分電盤を更新するものとする。
 - 2. 埋込ボックスは、再使用とする。
 - 3. メタルモール配線引き入れ用として継棒を設ける。
 - 4. 列盤となっている TB-1 盤は、扉のみ更新とする。

設計番号	工 事 名				検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事							分電盤 結線図（１）	NO SCALE	E-05

PL-2 (埋込型)



(セパレーター)

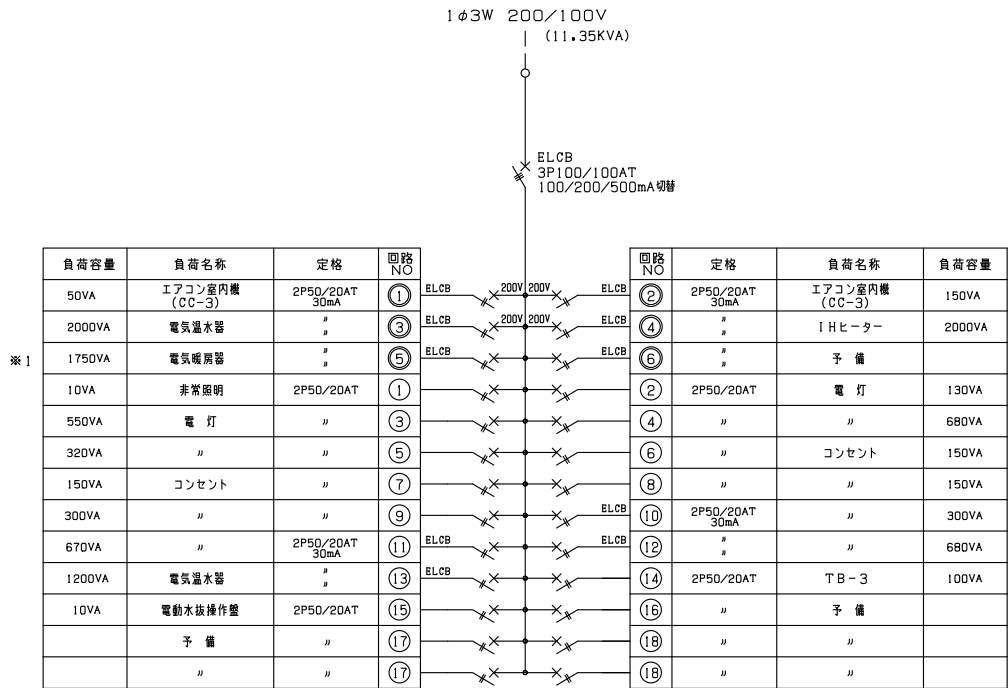


PL-2、TB-2 盤 姿図

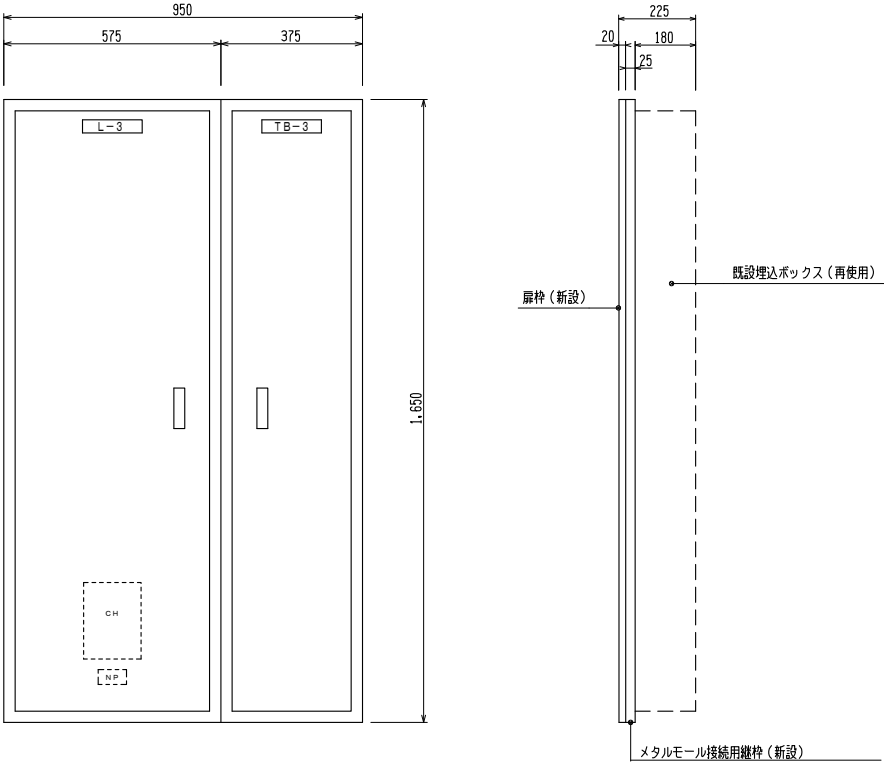
注 記
1. 既設躯体埋込型分電盤を更新するものとする。
2. 埋込ボックスは、再利用とする。
3. メタルモール配線引き入れ用として継棒を設ける。
4. 列盤となっているTB-1 盤は、扉のみ更新とする。

設計番号	工 事 名				検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事							分電盤 結線図（２）	NO SCALE	E-06

L-3 (埋込型)



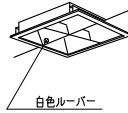
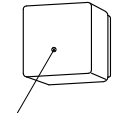
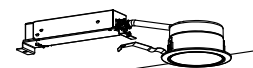
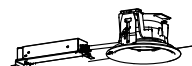
(注記) プレーカーは、J I S協約形 I Pモジュールとする。



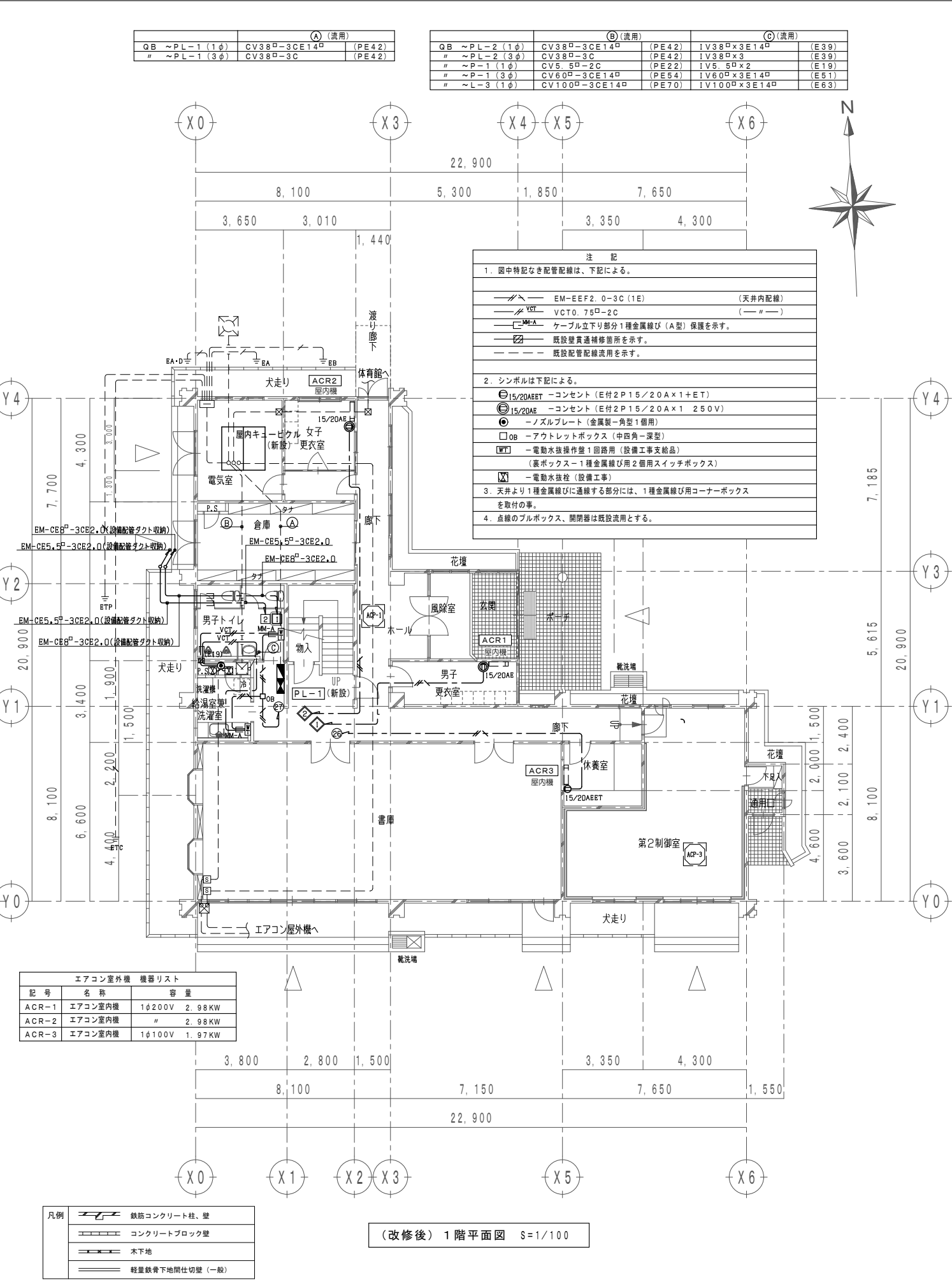
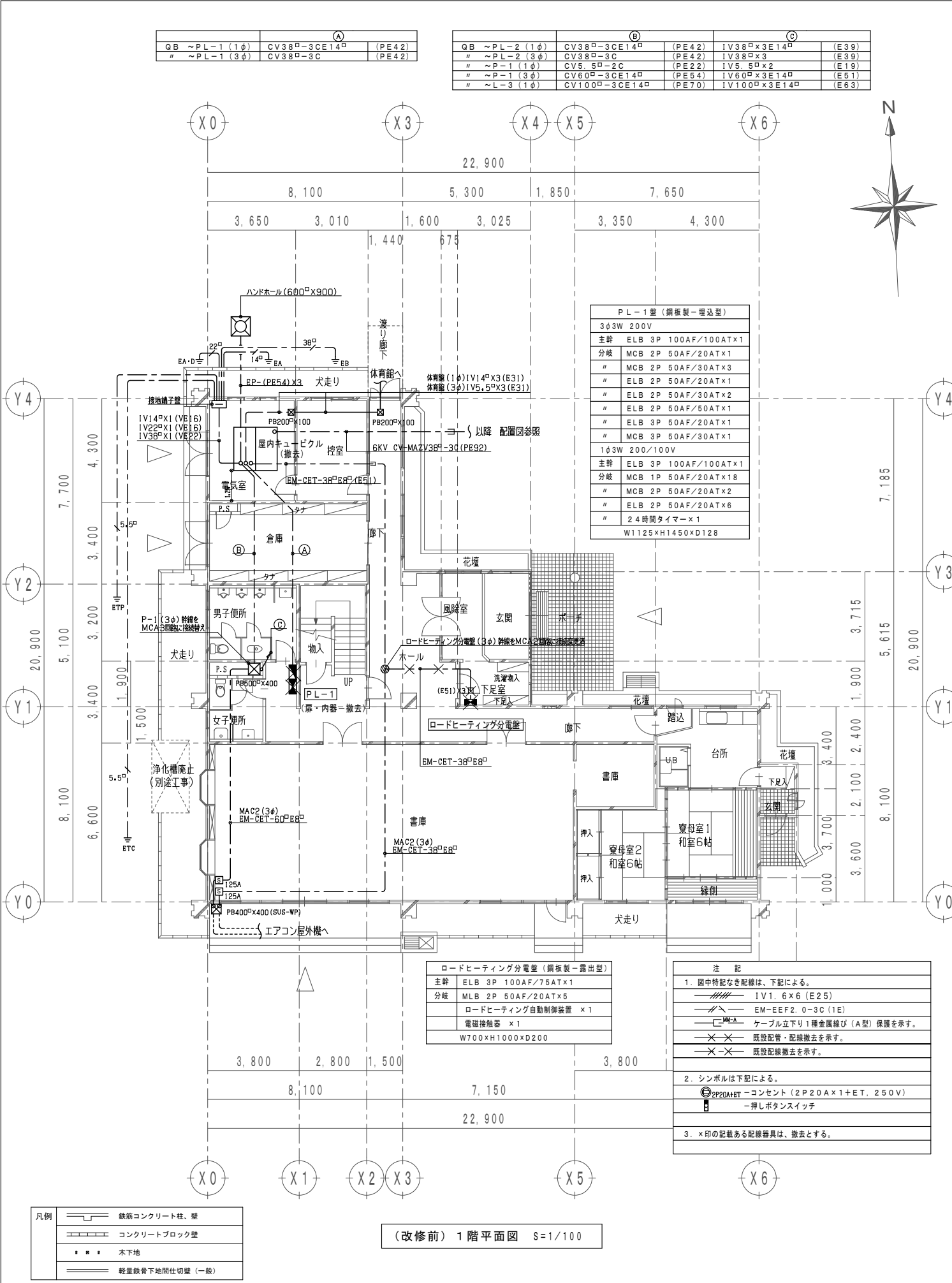
L-3、TB-3 盤 姿図

注 記
1. 既設躯体埋込型分電盤を更新するものとする。
2. 埋込ボックスは、再使用とする。
3. メタルモール配線引き入れ用として継枠を設ける。
4. 列盤となっているTB-1盤は、扉のみ更新とする。

設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事						分電盤 結線図 (3)	NO SCALE	E-07

A 1	LED 16. 3W 2500lm	C	LED 21W 2800lm	E	LED 14. 9W 1470lm	F	LED 14. 9W 1470lm	G	LED 5. 0W 339lm	H	LED 4. 2W 610lm																																																																													
A 2	LED 25. 0W 4000lm	(埋込穴 350X350)  白色ルーバー		(防雨型) (人感・E Eセンサ付) (天井取付型) 		(防雨型) (人感・E Eセンサ付) (壁面取付型) 		(防雨型) (人感・E Eセンサ付) (壁面取付型)  乳白アクリルカバー		(埋込穴 100φ) (ホワイト反射板) 																																																																														
A 3	LED 31. 9W 5200lm																																																																																							
A 4	LED 43. 1W 6900lm																																																																																							
公共施設型番 A1:LSS9-4-23 A2:LSS9-4-37 A3:LSS9-4-48 A4:LSS9-4-65 																																																																																								
I	LED 7. 0W 1040lm	J	LED 7. 1W 1020lm	K	LED 7. 0W 970lm	L	LED 7. 6W 765lm																																																																																	
(埋込穴 125φ) (ホワイト反射板) 		(埋込穴 150φ) (ホワイト反射板) (人感センサ付)  公共施設型番:LDS2-LRS1-08		(埋込穴 150φ) (軒下用防雨型)  公共施設型番:LRS1RP-08		(埋込穴 100φ) (軒下用防雨型) (人感センサ付) 																																																																																		
A	LED 1. 0W - 1	B	LED 1. 0W - 1	C	LED 17. 2W 2500lm	E	LED 15. 6W 1600lm																																																																																	
(非常照明-電池内蔵型) (リモコン自己点検機能付)  非常灯評定番号:LALB-004 公共施設型番 :K1-LRS11-1 <table><tr><td>器具取付高さ</td><td>2.1m</td><td>2.4m</td><td>2.6m</td><td>3.0m</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>3.8m</td><td>4.0</td><td>4.0</td><td>2.8</td></tr><tr><td>連続配置</td><td>A2</td><td>8.5m</td><td>9.4</td><td>9.9</td><td>10.1</td></tr><tr><td>四角配置</td><td>A4</td><td>6.9m</td><td>7.6</td><td>8.1</td><td>8.9</td></tr></table>		器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	単体配置	A1	3.8m	4.0	4.0	2.8	連続配置	A2	8.5m	9.4	9.9	10.1	四角配置	A4	6.9m	7.6	8.1	8.9	(非常照明-電池内蔵型) (リモコン自己点検機能付)  非常灯評定番号:LALB-004 公共施設型番 :K1-LRS11-2 <table><tr><td>器具取付高さ</td><td>2.1m</td><td>2.4m</td><td>2.6m</td><td>3.0m</td><td>4.0m</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>4.2m</td><td>4.6</td><td>4.7</td><td>4.9</td><td>3.3</td></tr><tr><td>連続配置</td><td>A2</td><td>9.3m</td><td>10.2</td><td>10.8</td><td>11.9</td><td>12.9</td></tr><tr><td>四角配置</td><td>A4</td><td>7.4m</td><td>8.2</td><td>8.7</td><td>9.6</td><td>11.7</td></tr></table>		器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	単体配置	A1	4.2m	4.6	4.7	4.9	3.3	連続配置	A2	9.3m	10.2	10.8	11.9	12.9	四角配置	A4	7.4m	8.2	8.7	9.6	11.7	(非常照明-電池内蔵型) (リモコン自己点検機能付)  非常灯評定番号:LALB-027 公共施設型番 C :K1-LSS9-4-23 D :K1-LSS9-4-37 <table><tr><td>器具取付高さ</td><td>2.1m</td><td>2.4m</td><td>2.6m</td><td>3.0m</td><td>4.0m</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>5.4m</td><td>5.6</td><td>5.8</td><td>6.0</td><td>4.7</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>B1</td><td>5.8m</td><td>6.1</td><td>6.2</td><td>6.4</td><td>5.6</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>B1'</td><td>4.7m</td><td>4.9</td><td>5.1</td><td>5.2</td><td>4.2</td></tr></table>		器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	単体配置	A1	5.4m	5.6	5.8	6.0	4.7	単体配置	B1	5.8m	6.1	6.2	6.4	5.6	単体配置	B1'	4.7m	4.9	5.1	5.2	4.2	(非常照明-電池内蔵型) (リモコン自己点検機能付) (人感センサ段調光型)  非常灯評定番号:LALB-015					
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m																																																																																				
単体配置	A1	3.8m	4.0	4.0	2.8																																																																																			
連続配置	A2	8.5m	9.4	9.9	10.1																																																																																			
四角配置	A4	6.9m	7.6	8.1	8.9																																																																																			
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m																																																																																			
単体配置	A1	4.2m	4.6	4.7	4.9	3.3																																																																																		
連続配置	A2	9.3m	10.2	10.8	11.9	12.9																																																																																		
四角配置	A4	7.4m	8.2	8.7	9.6	11.7																																																																																		
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m																																																																																			
単体配置	A1	5.4m	5.6	5.8	6.0	4.7																																																																																		
単体配置	B1	5.8m	6.1	6.2	6.4	5.6																																																																																		
単体配置	B1'	4.7m	4.9	5.1	5.2	4.2																																																																																		

設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記												図 面 名		縮 尺	図 面 番 号						
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事																										
照明器具 参考姿図																			NO SCALE	E-08							



設計番号	工事名	検図	担当	特記	図面名	縮尺	図面番号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修前・改修後 1階 幹線・空調電源・電動水抜配線 設備図	A1:1/100 A3:1/200	E-09

機械室 機器リスト				
記号	名称	容量	配線サイズ	保護管
A	電気温水器	1φ200V 8.4KW	1V14 [□] ×2E2.0	(E25)
B	浴槽昇温装置	3φ200V 10.0KW	1V14 [□] ×3E2.0+1V1.6×2	(E31)
C	電極機		1V1.6×4	(E19)
D	電磁弁装置		1V1.6×2	(E19)

P-1 盤 (銅板製-露出型)				
QB	~PL-2 (1φ)	1V38 [□] ×3E14 [□]	(E39)	1V38 [□] ×3E14 [□]
"	~PL-2 (3φ)	1V38 [□] ×3	(E39)	1V38 [□] ×3
"	~P-1 (1φ)	1V5.5 [□] ×2	(E19)	
"	~P-1 (3φ)	1V60 [□] ×3E14 [□]	(E51)	1V5.5 [□] ×2
"	~L-3 (1φ)	1V100 [□] ×3E14 [□]	(E63)	1V60 [□] ×3E14 [□]

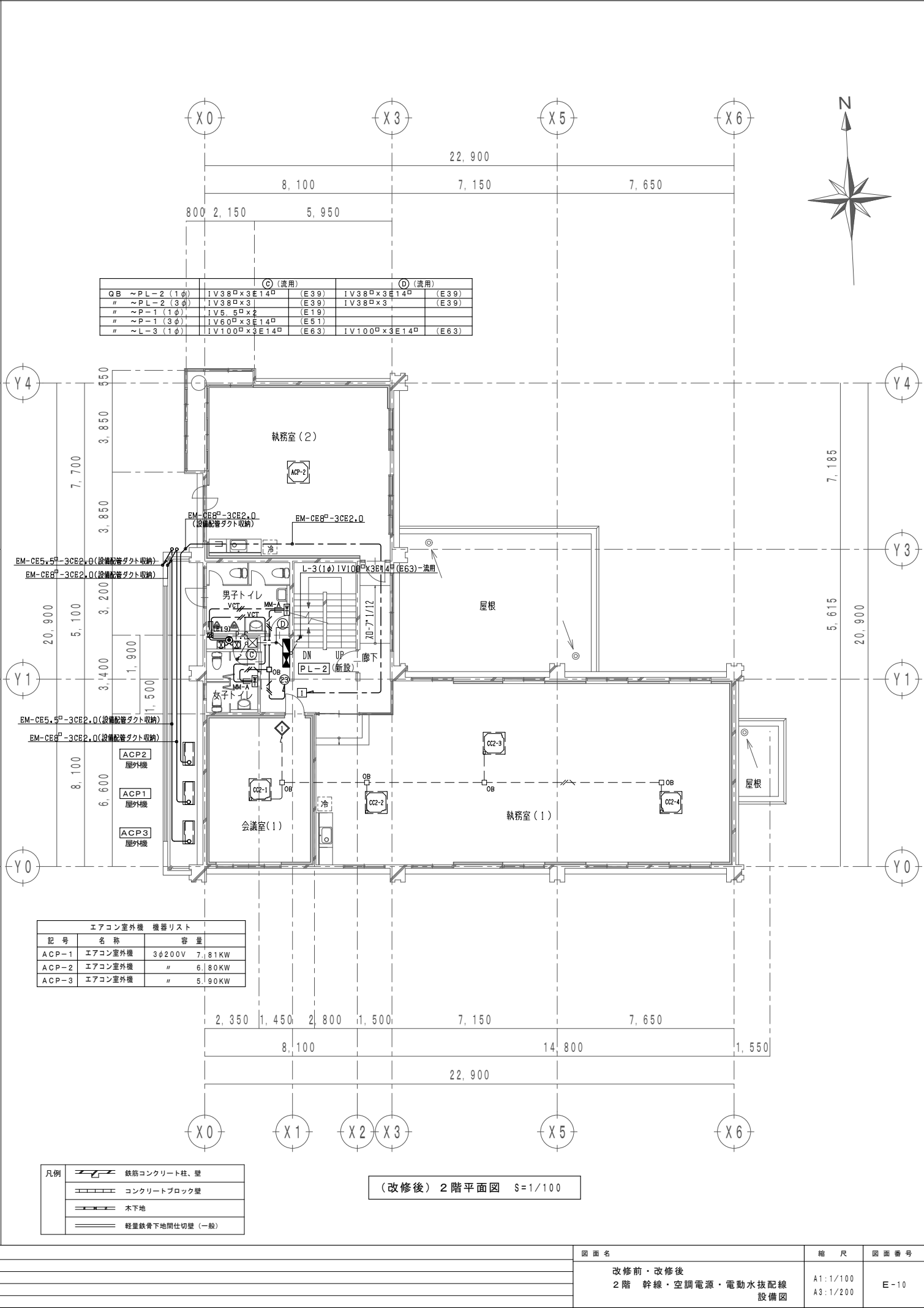
P-1 盤 (銅板製-露出型)				
3φ3W 200V				
主幹	ELB	3P	225AF/150AT×1	
分岐	MCB	2P	50AF/15AT×1	
"	MCB	2P	50AF/50AT×3	
"	MCB	3P	50AF/30AT×1	
"	制御回路	2.2KW以下	×2	
1φ2W 100V				
主幹	ELB	3P	225AF/150AT×1	
分岐	MCB	2P	50AF/20AT×1	
"	ELB	2P	50AF/20AT×1	
"	制御回路	2.2KW以下	×3	
W800×H1500×D230				

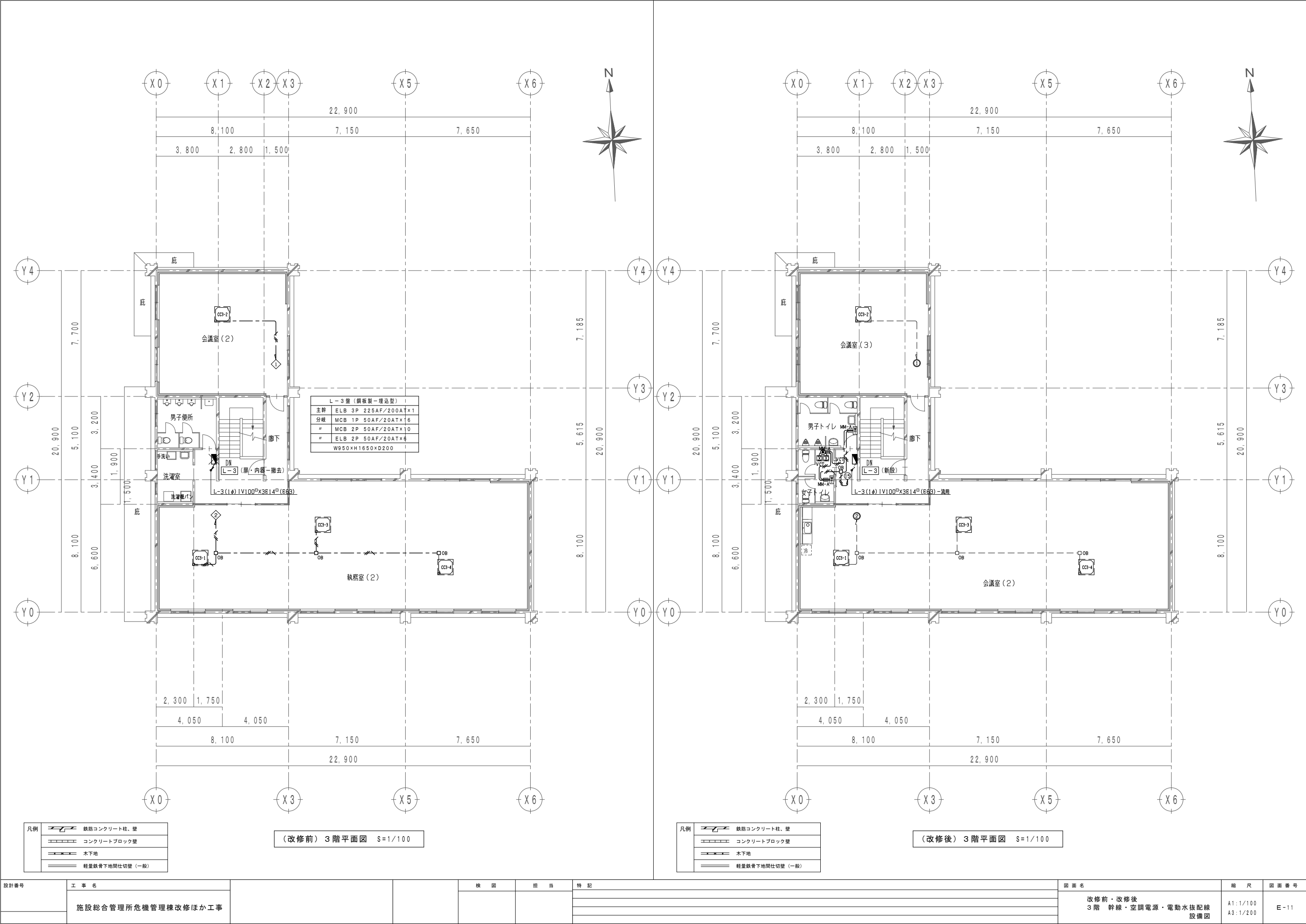
PL-2 盤 (銅板製-埋込型)				
3φ3W 200V				
主幹	ELB	3P	100AF/75AT×1	
分岐	MCB	2P	50AF/20AT×5	
"	MCB	2P	50AF/30AT×2	
1φ3W 200/100V				
主幹	ELB	3P	100AF/100AT×1	
分岐	MCB	1P	50AF/20AT×12	
"	ELB	2P	50AF/20AT×8	
"	24時間タイマー×1			
W1125×H1450×D128				

凡例	
	鉄筋コンクリート柱、壁
	コンクリートブロック壁
	木下地
	軽量鉄骨下地間仕切壁 (一般)

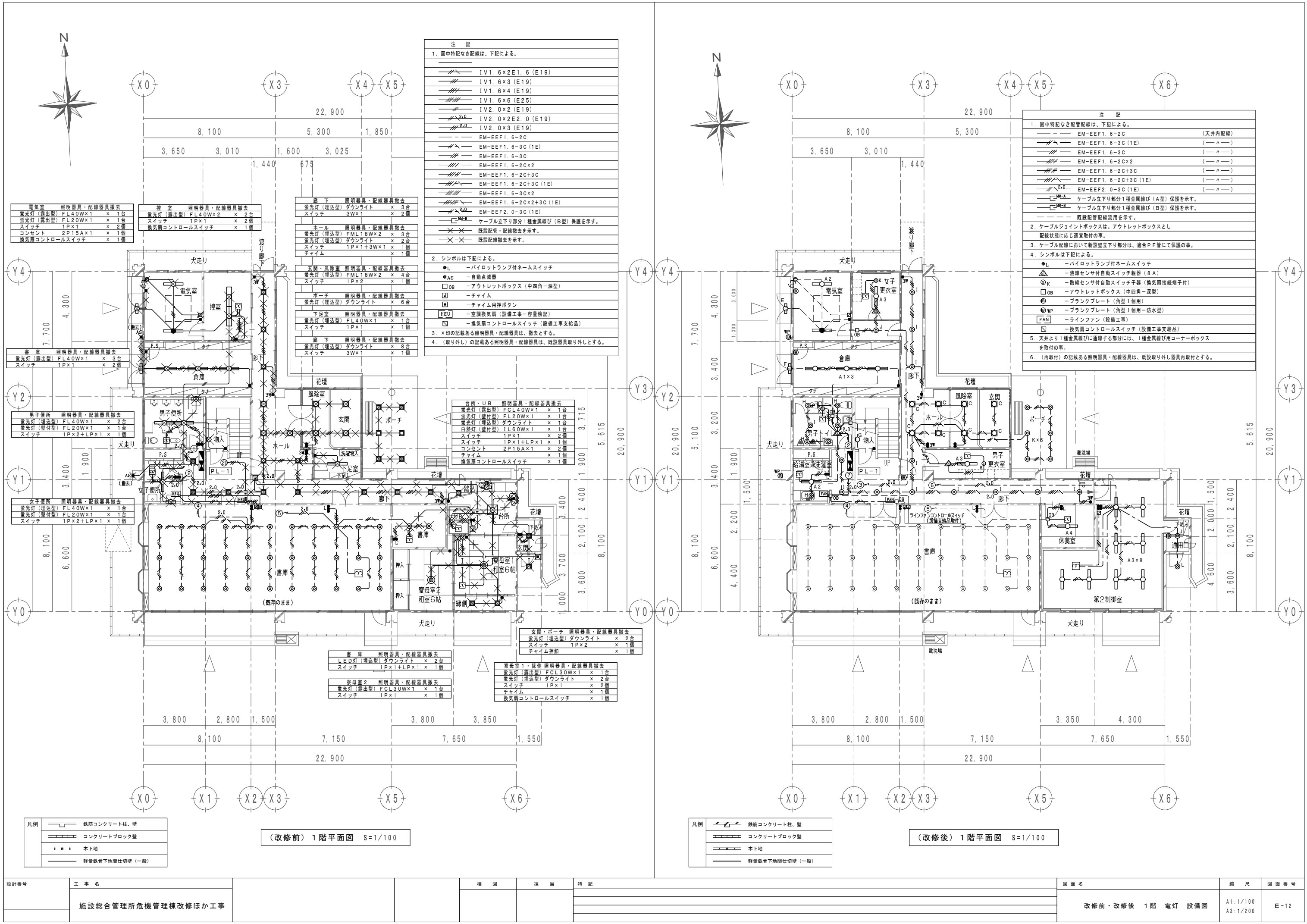
(改修前) 2 階平面図 S=1/100

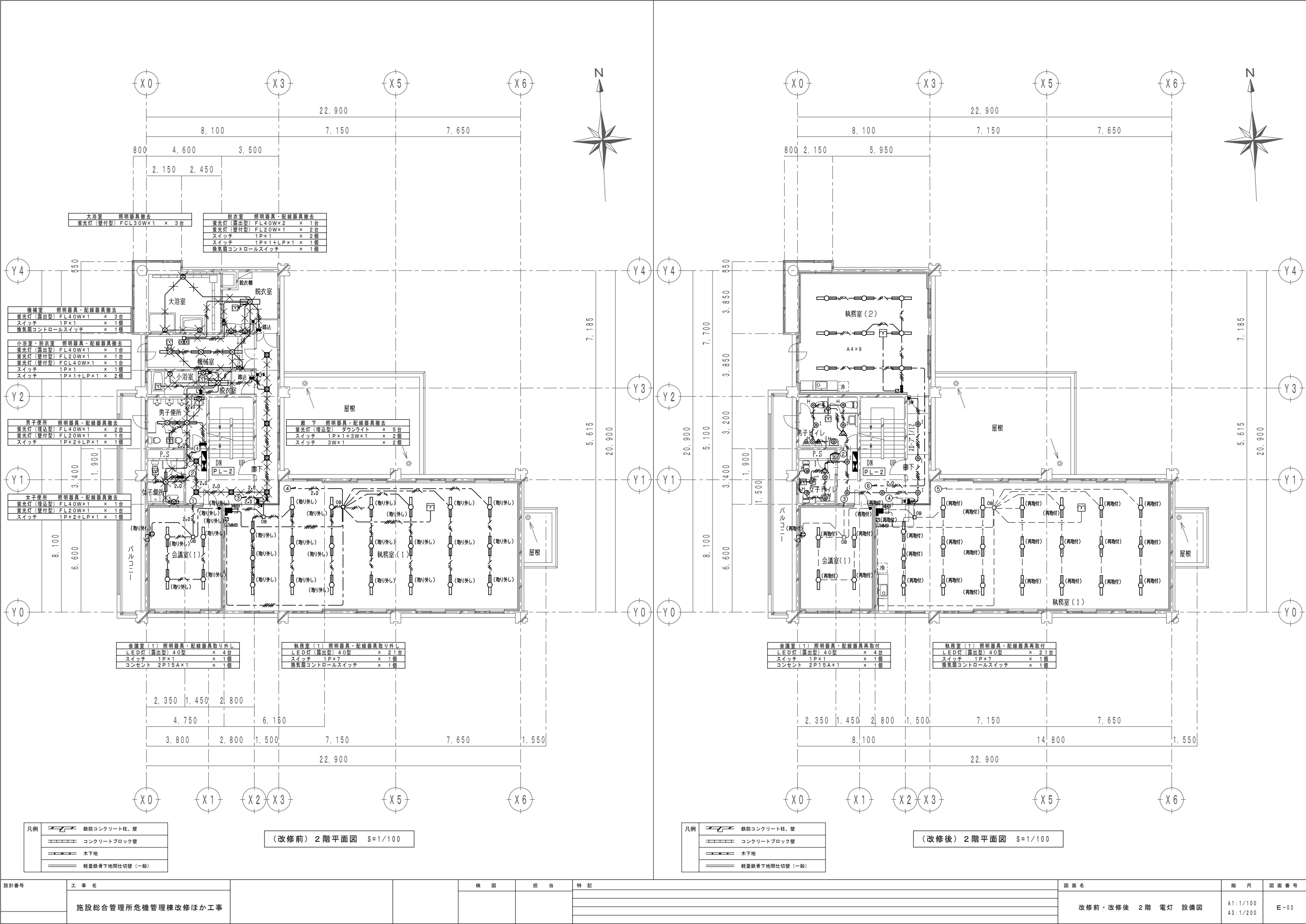
設計番号	工事名	検 図	担 当	特 記
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事			



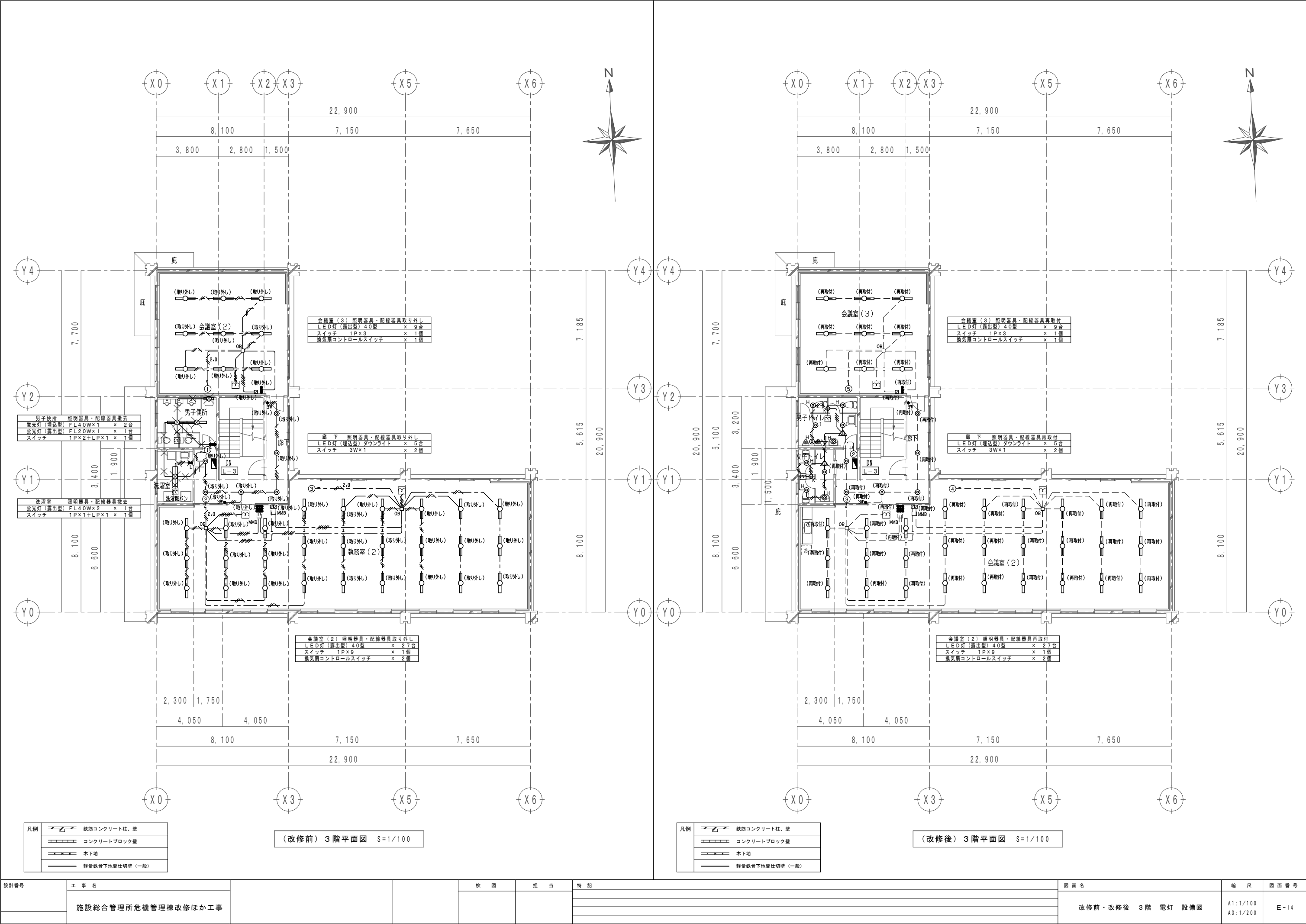


設計番号	工 事 名		検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
						改修前・改修後	A1:1/100	E-11
						3階 幹線・空調電源・電動水抜配線	A3:1/200	
						設備図		

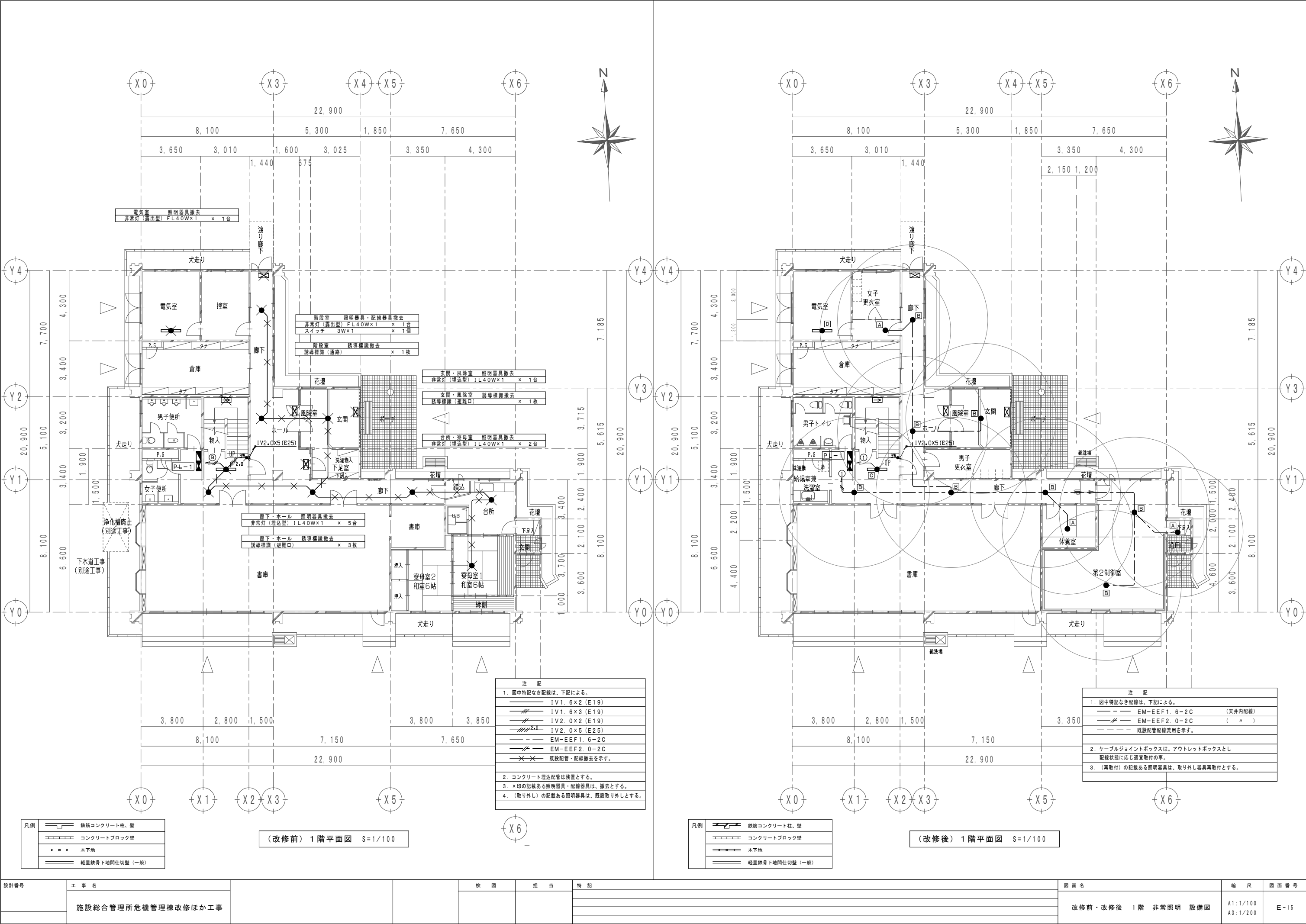


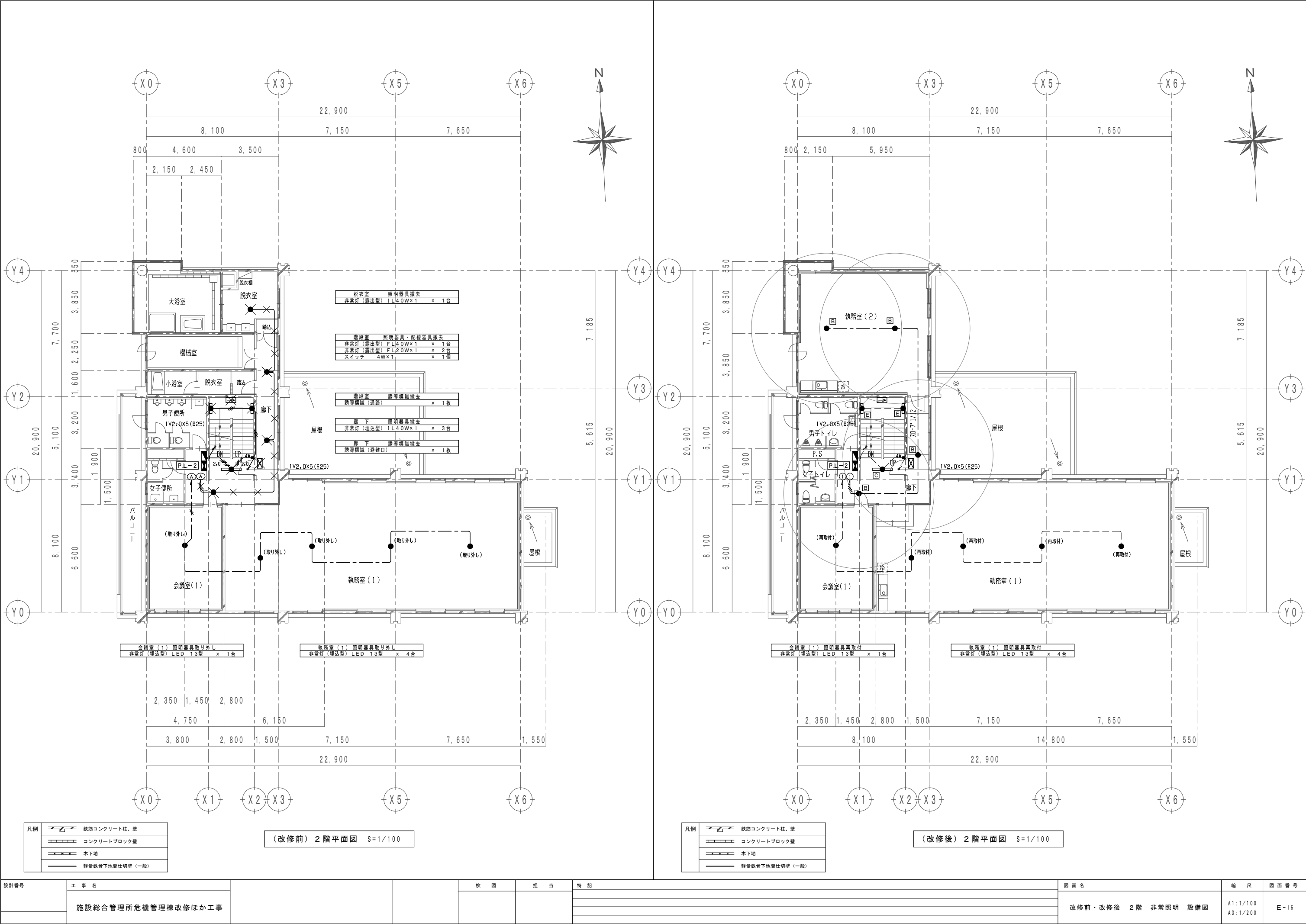


設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修前・改修後 2 階 電灯 設備図	A1:1/100 A3:1/200	E-03

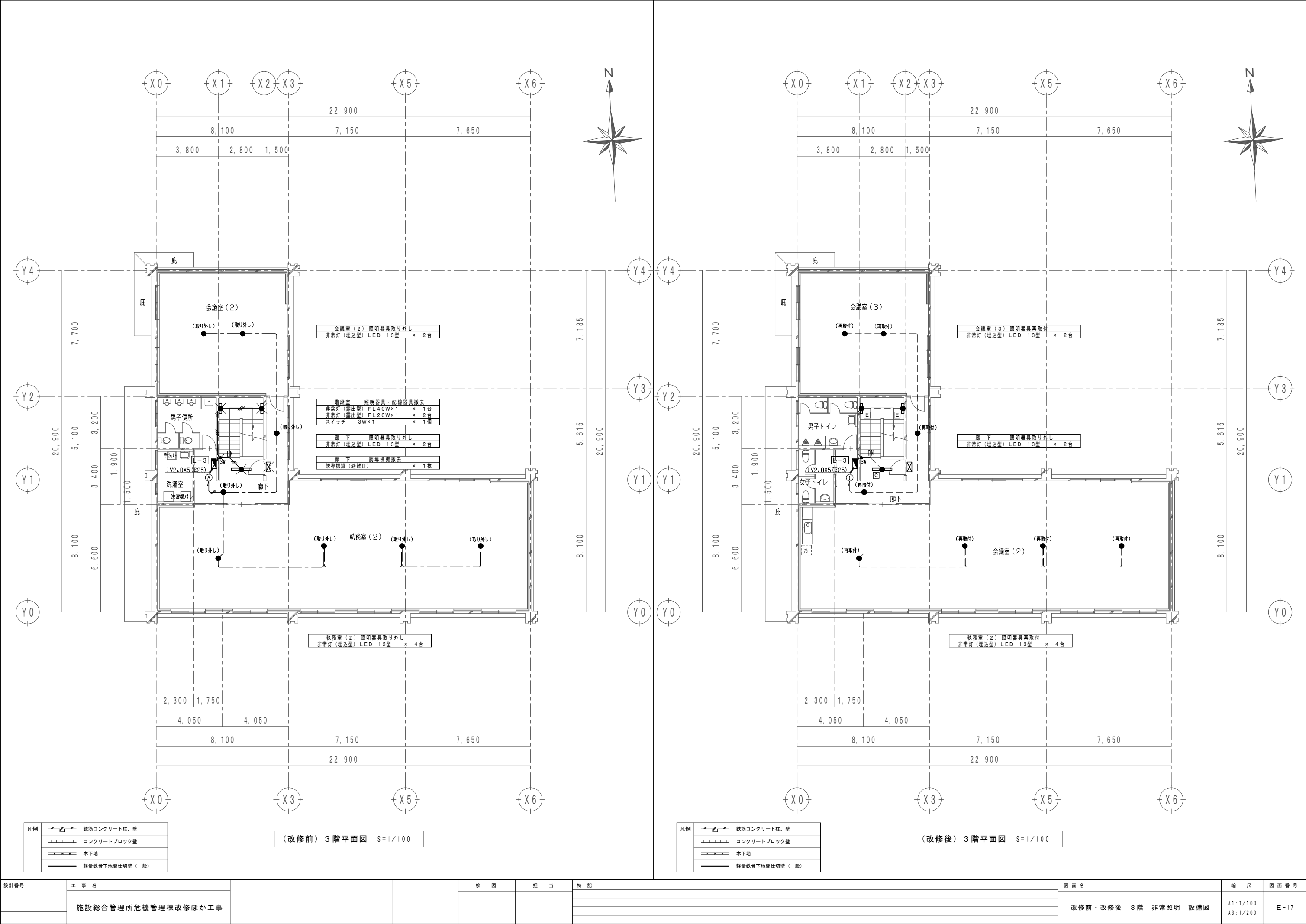


設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修前・改修後 3階 電灯 設備図	A1:1/100 A3:1/200	E-14

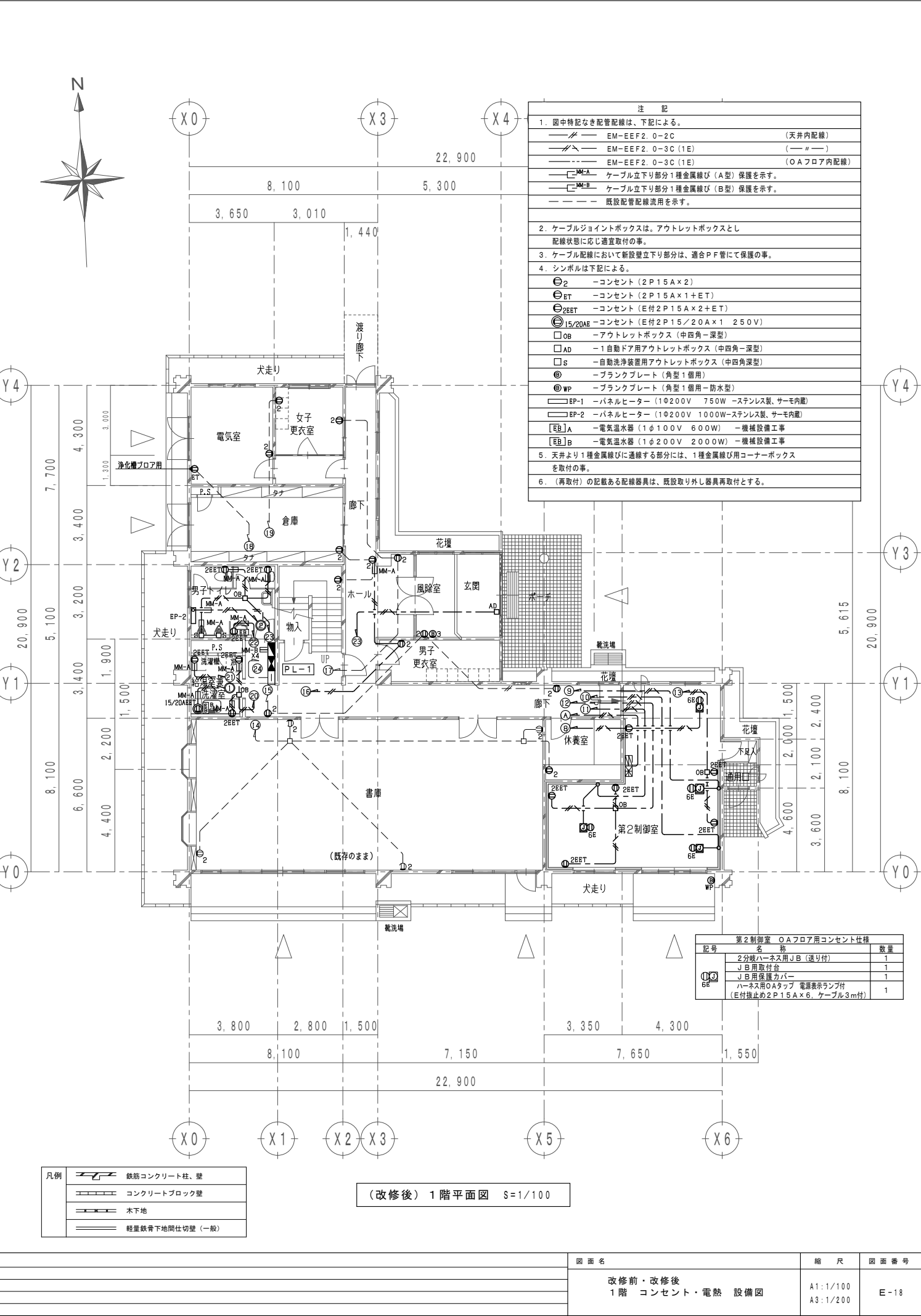
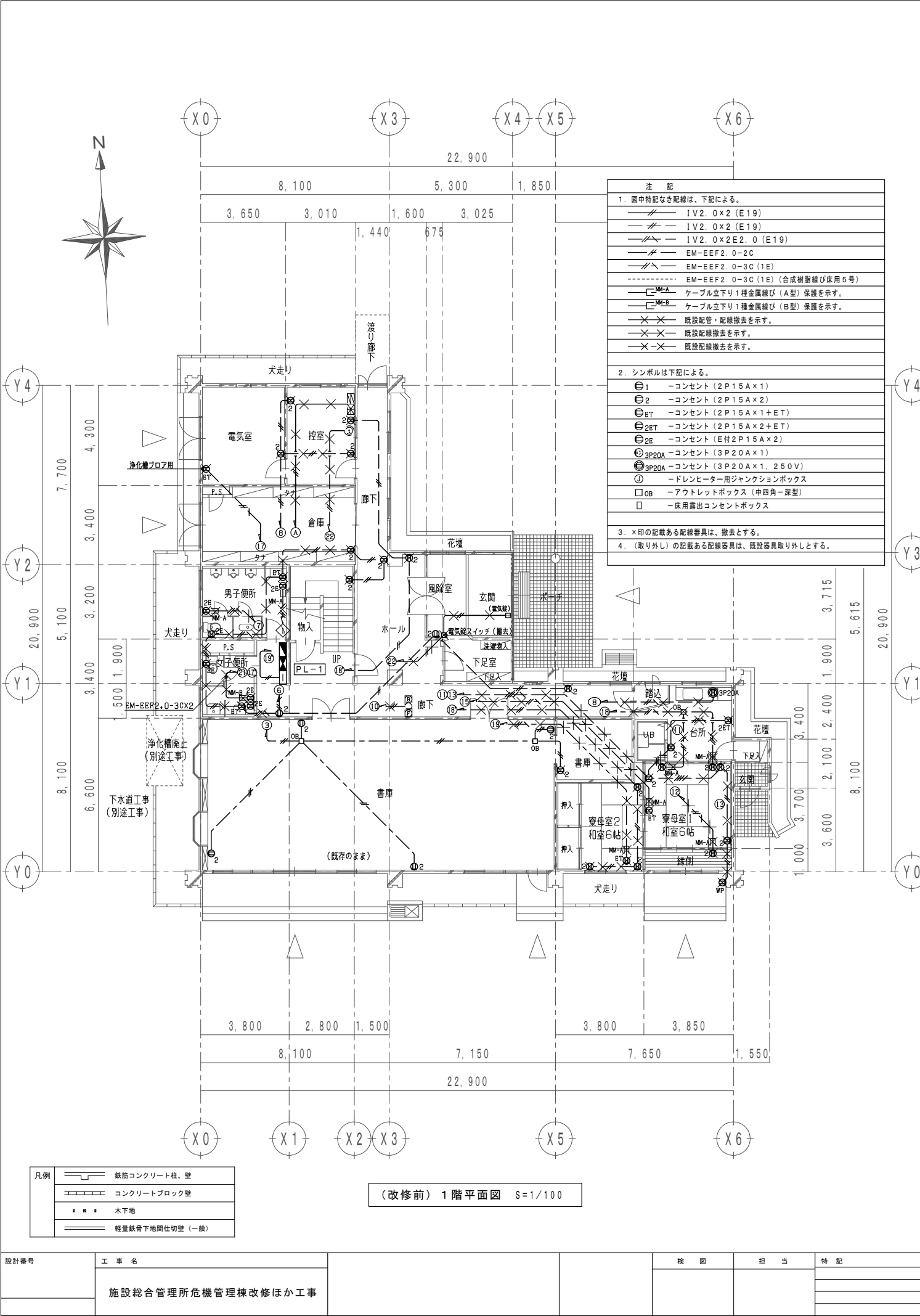




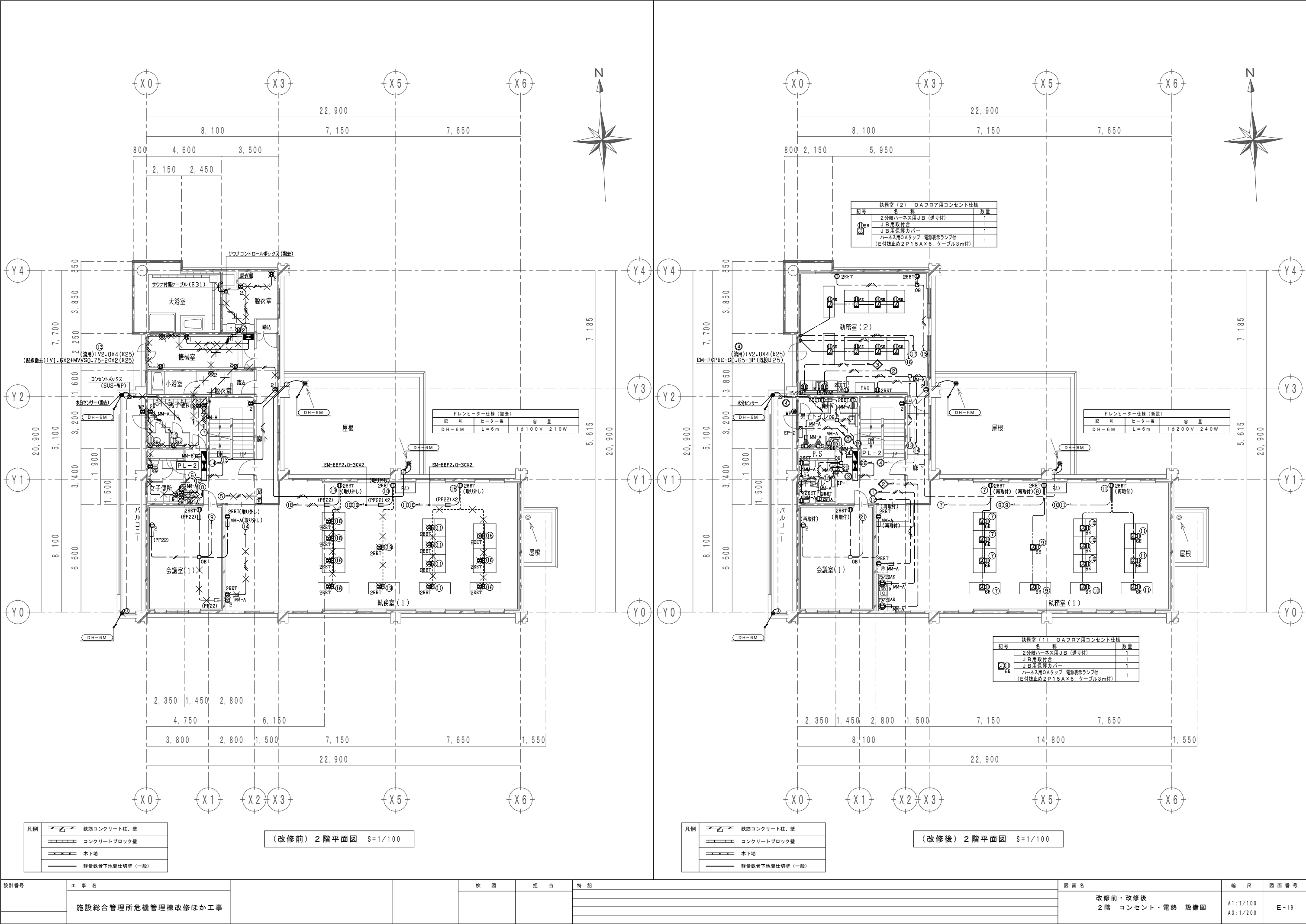
設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修前・改修後 2階 非常照明 設備図	A1:1/100 A3:1/200	E-16



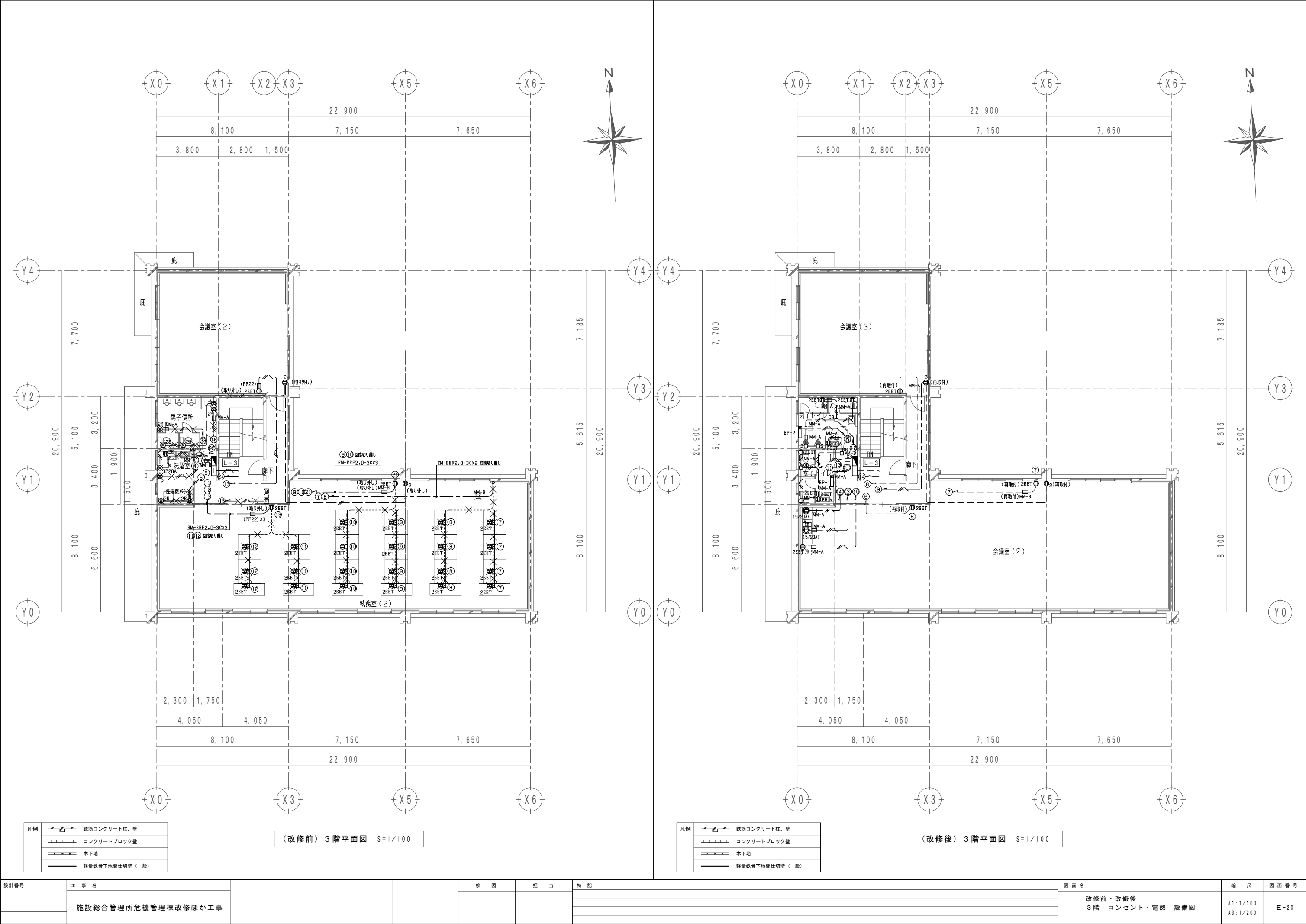
設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修前・改修後 3階 非常照明 設備図	A1:1/100 A3:1/200	E-17



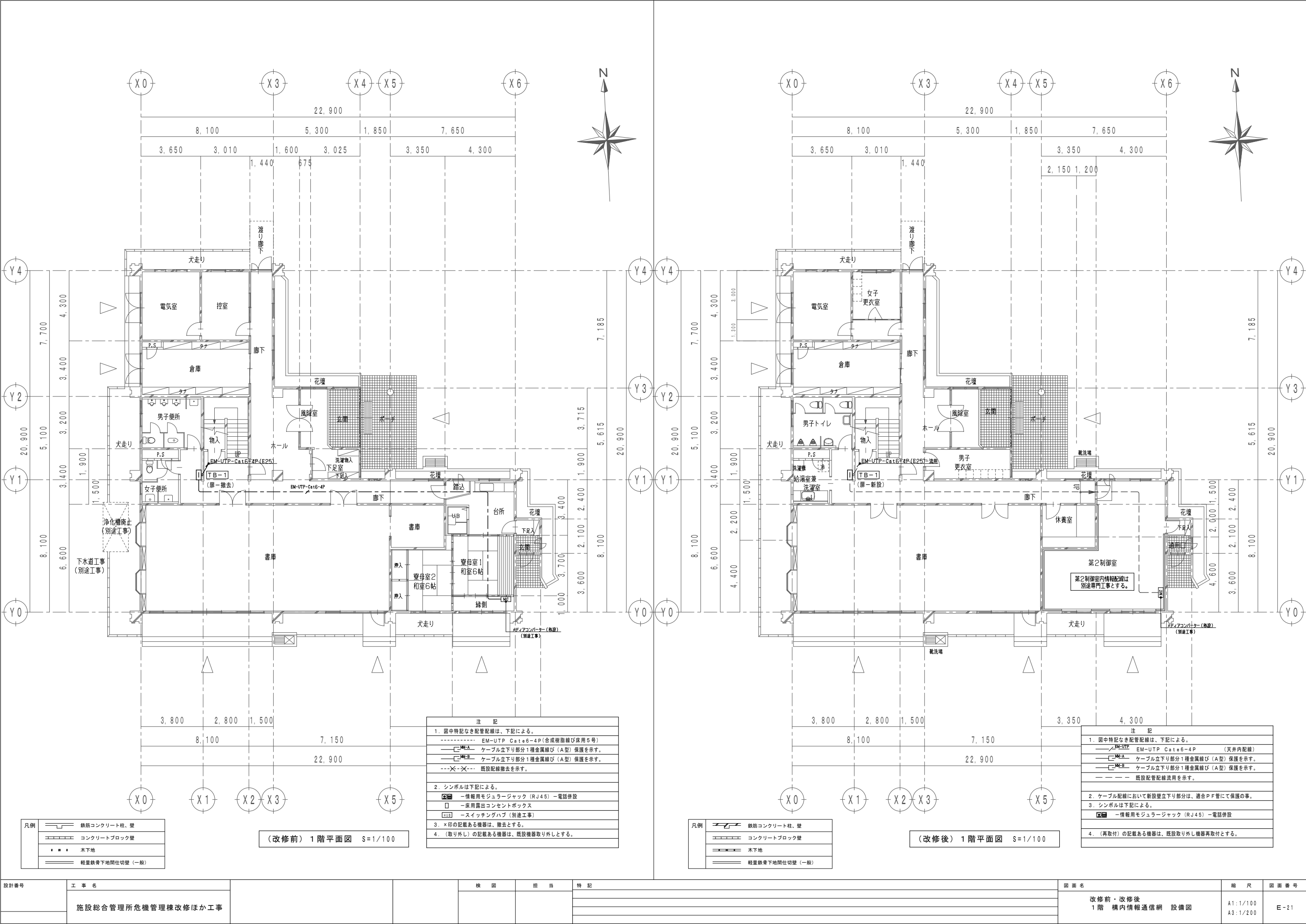
設計番号	工事名	検図	担当	特記	図面名	縮尺	図面番号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修前・改修後 1階 コンセント・電熱 設備図	A1:1/100 A3:1/200	E-18



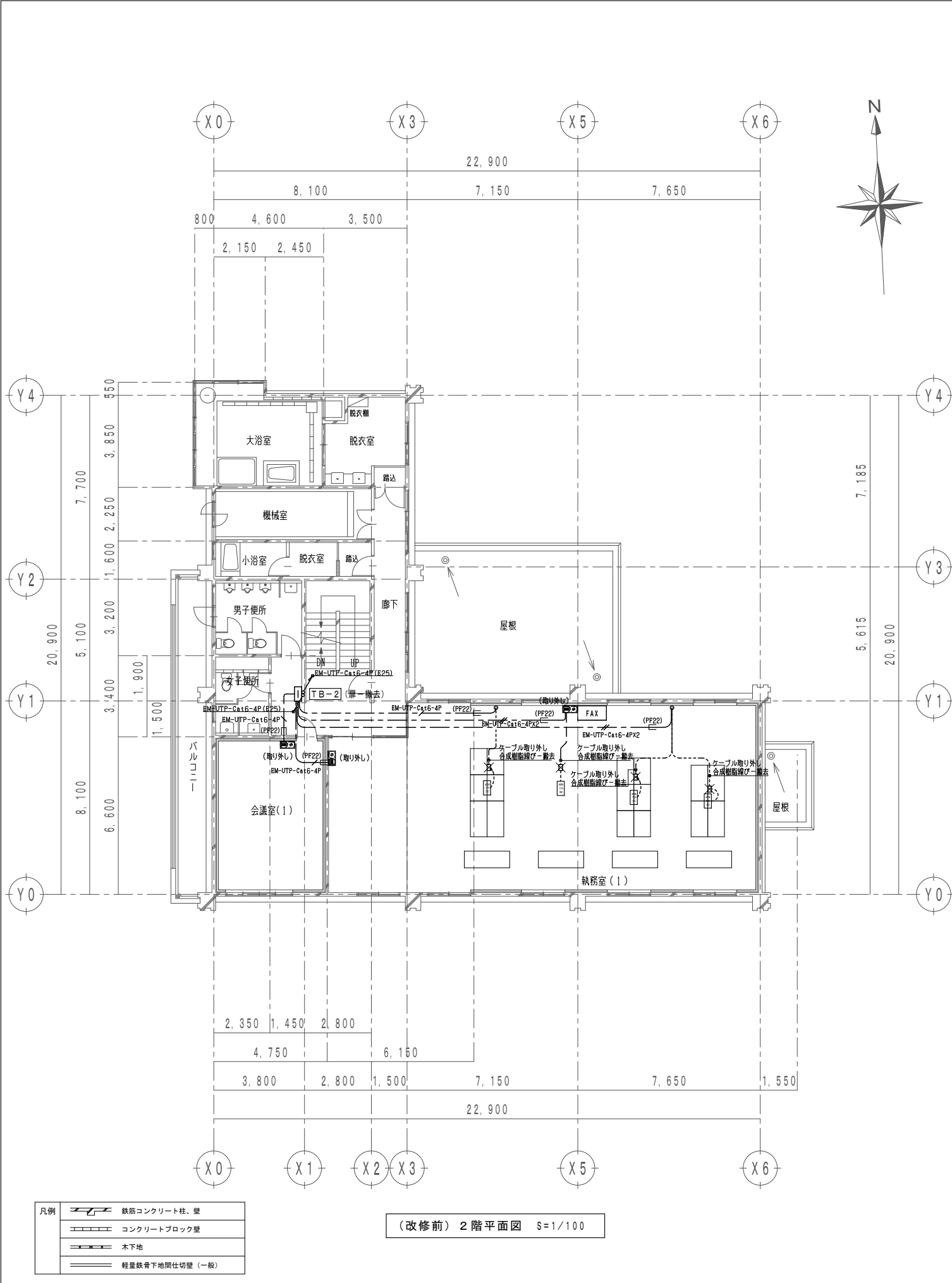
設計番号	工 事 名	施 設 総 合 管 理 所 危 機 管 理 棟 改 修 工 事	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号



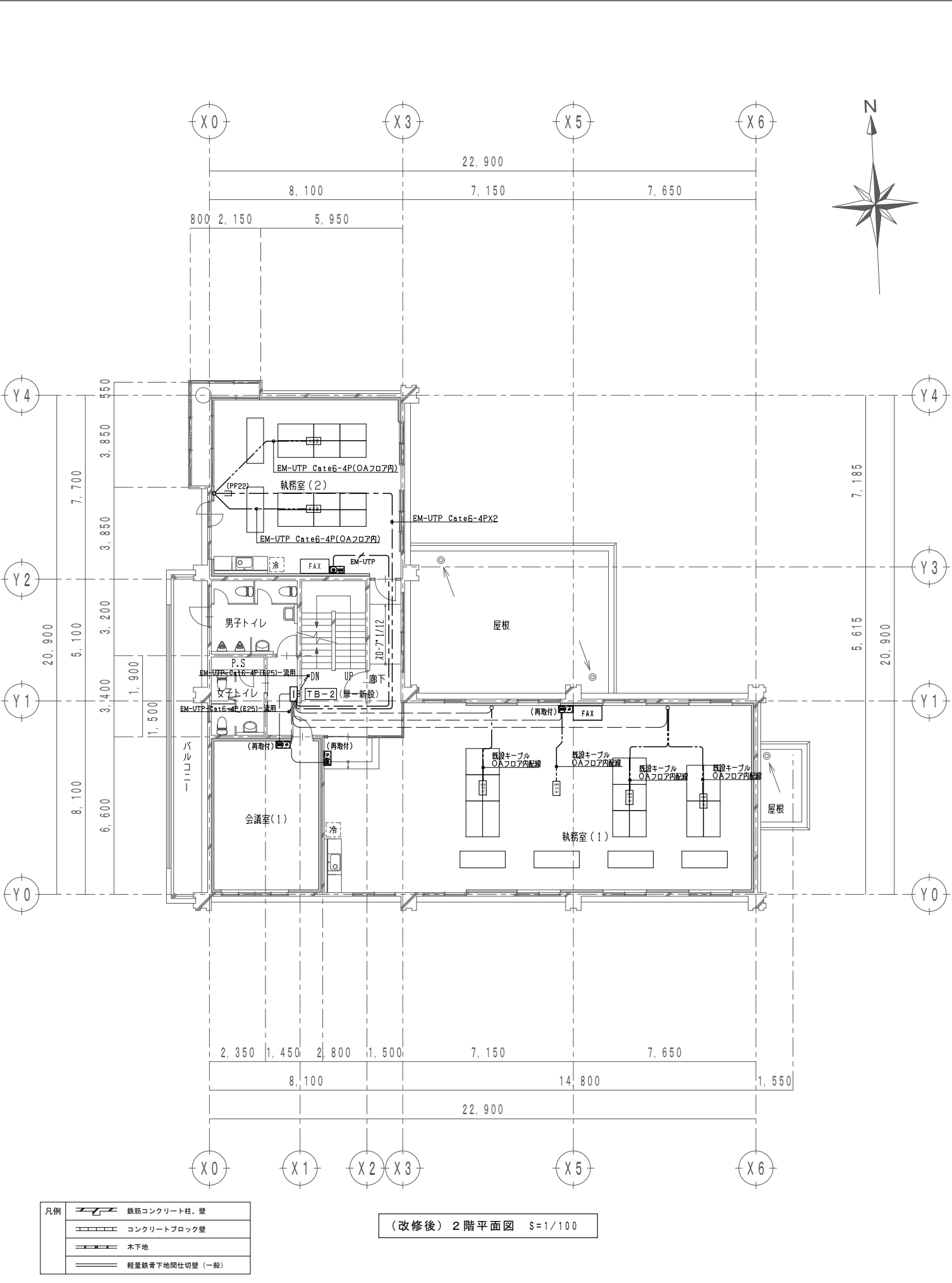
設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
					改修前・改修後 3階 コンセント・電熱 設備図		
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事					A1:1/100 A3:1/200	E-20



設計番号	工事名	検図	担当	特記	図面名	縮尺	図面番号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修前・改修後 1階 構内情報通信網 設備図	A1:1/100 A3:1/200	E-21

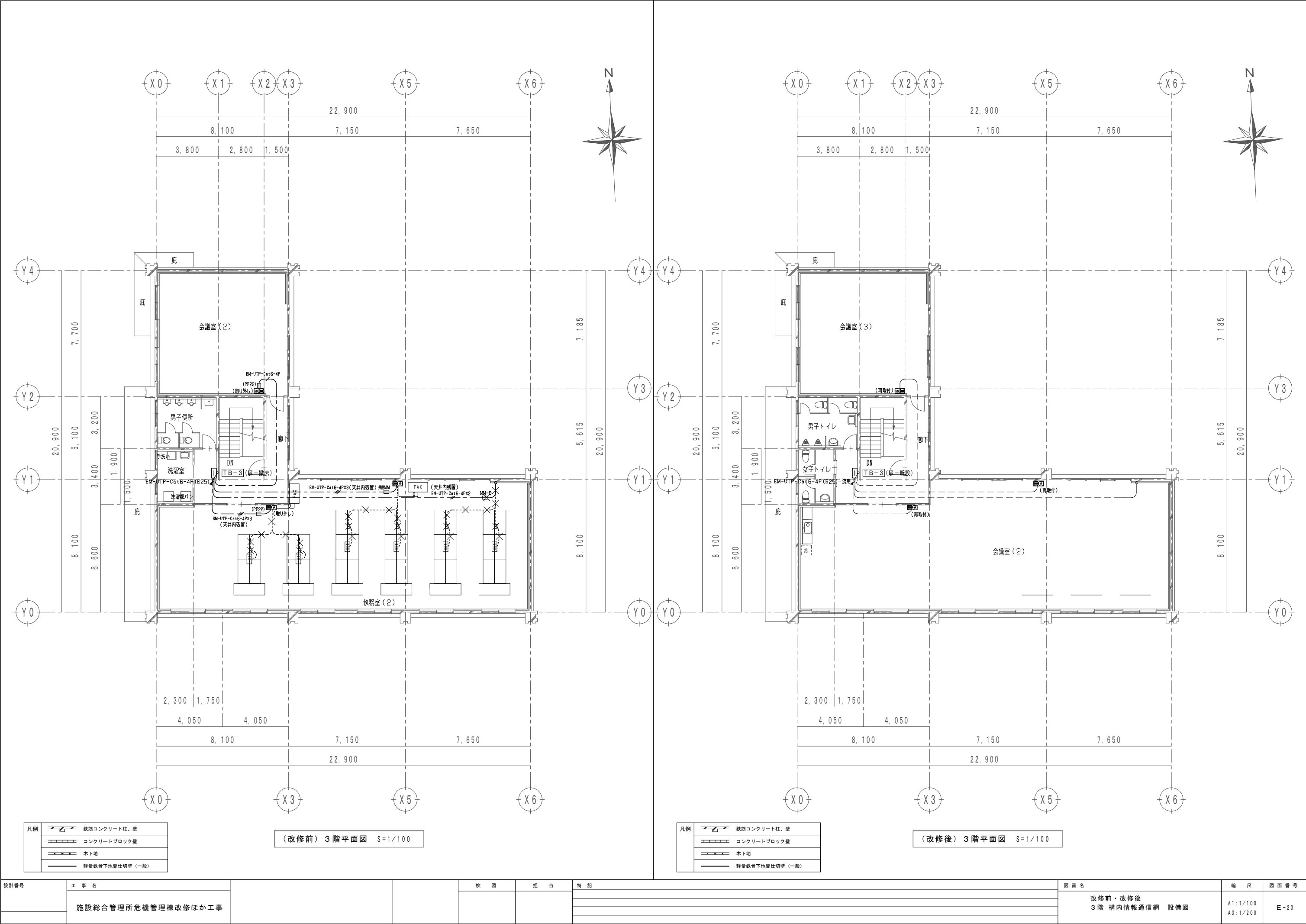


(改修前) 2階平面図 S=1/100

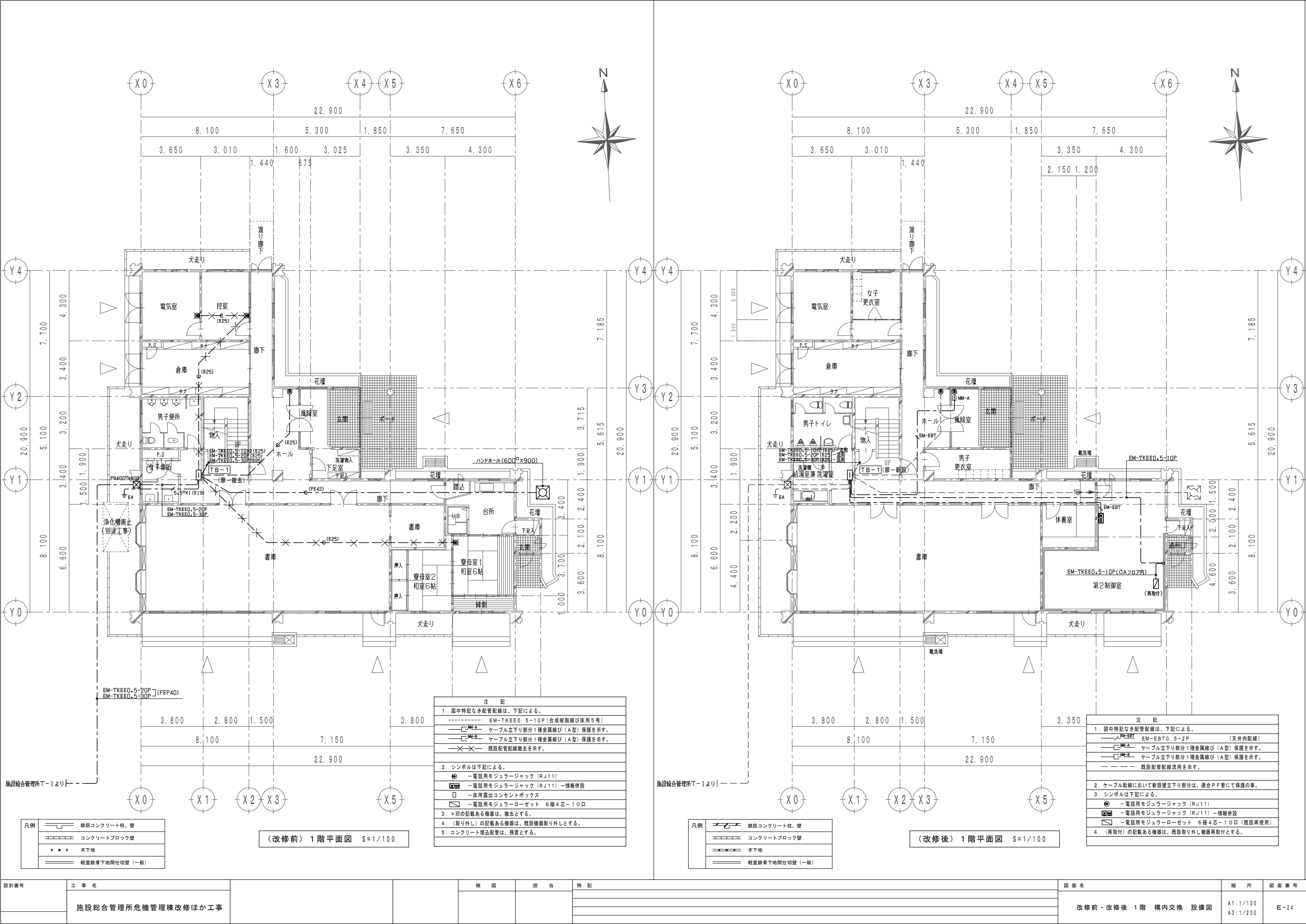


(改修後) 2階平面図 S=1/100

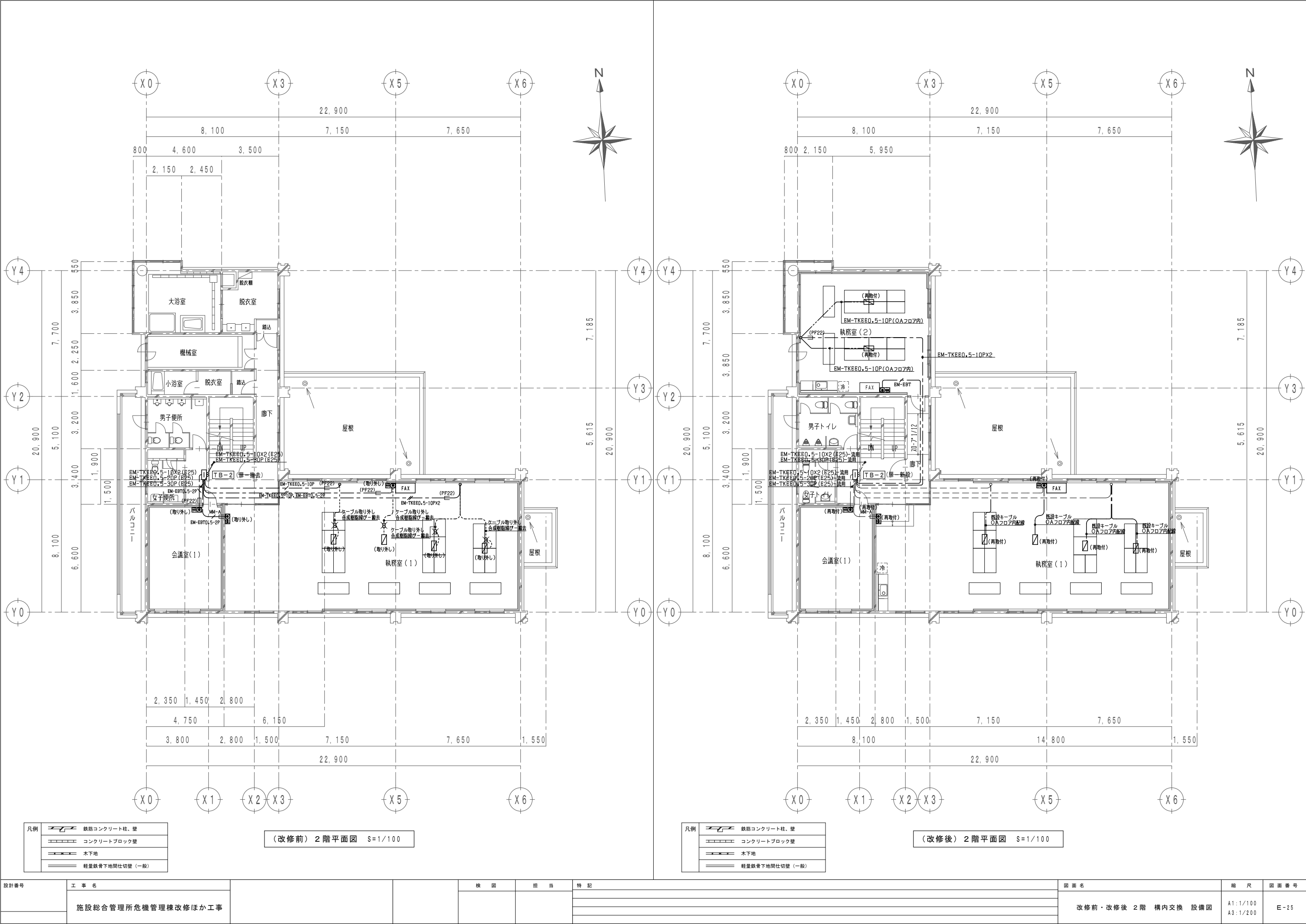
設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修前・改修後 2階 構内情報通信網 設備図	A1:1/100 A3:1/200	E-22



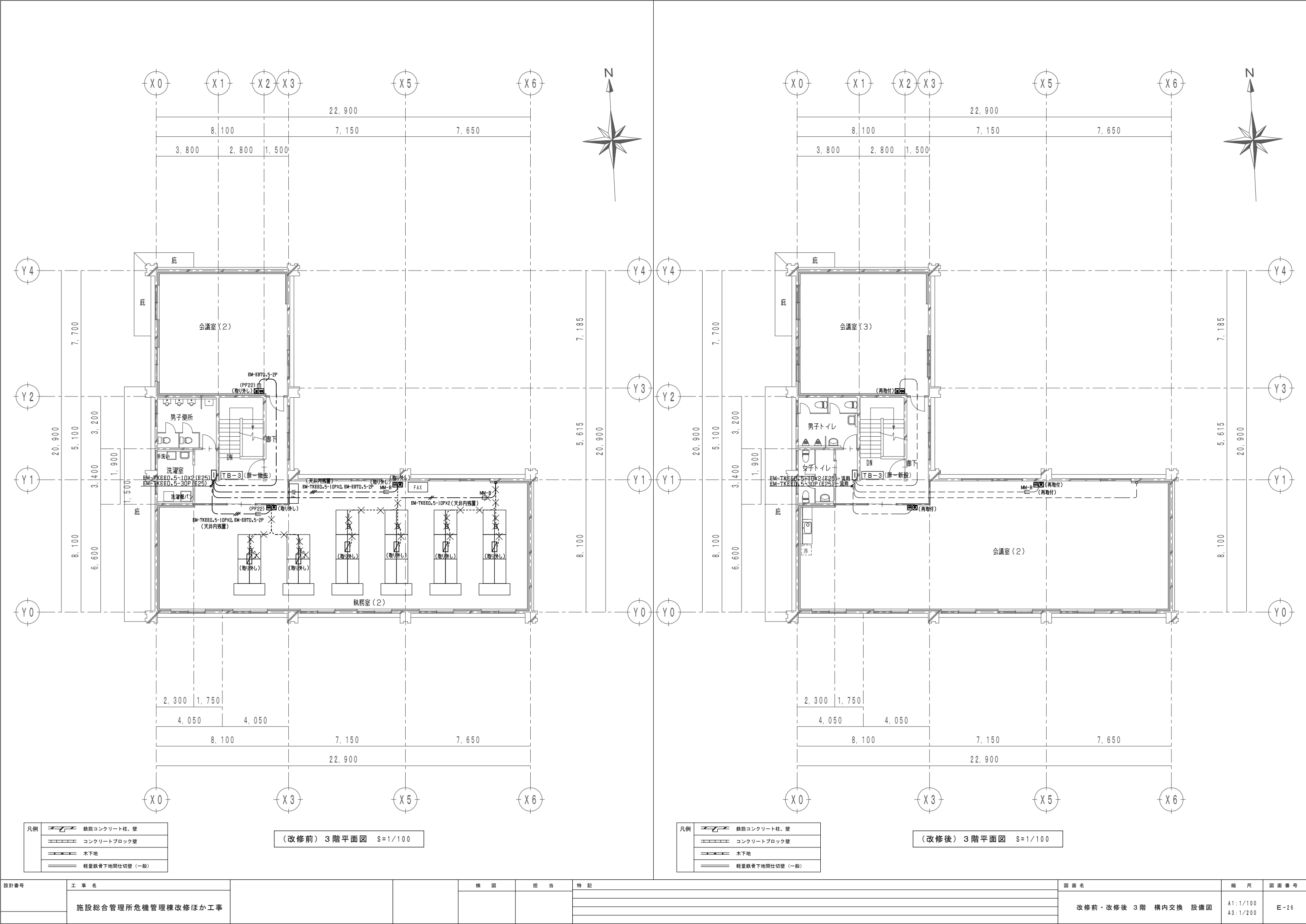
設計番号	工 事 名		検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
						改修前・改修後 3階 構内情報通信網 設備図	A1:1/100 A3:1/200	



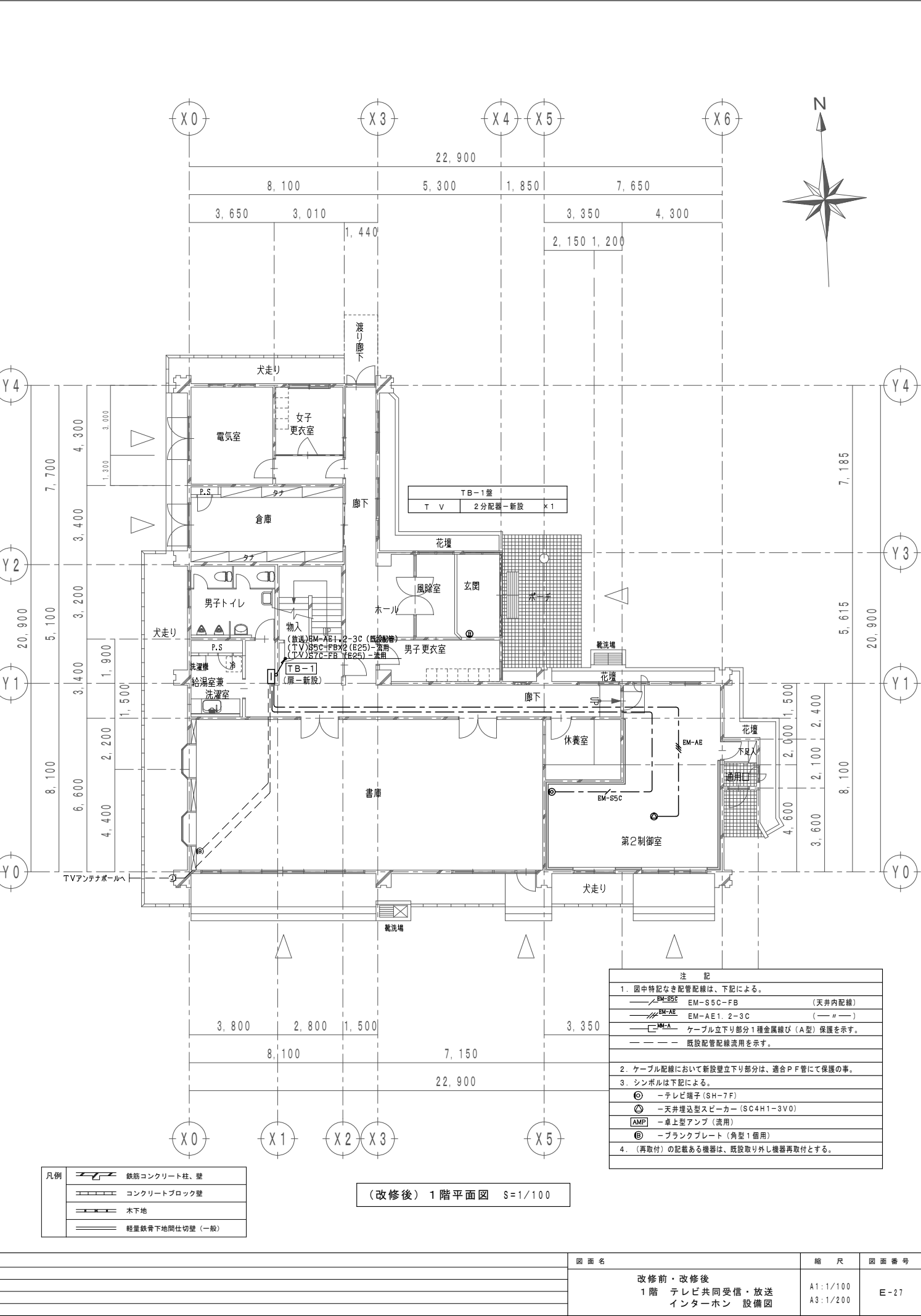
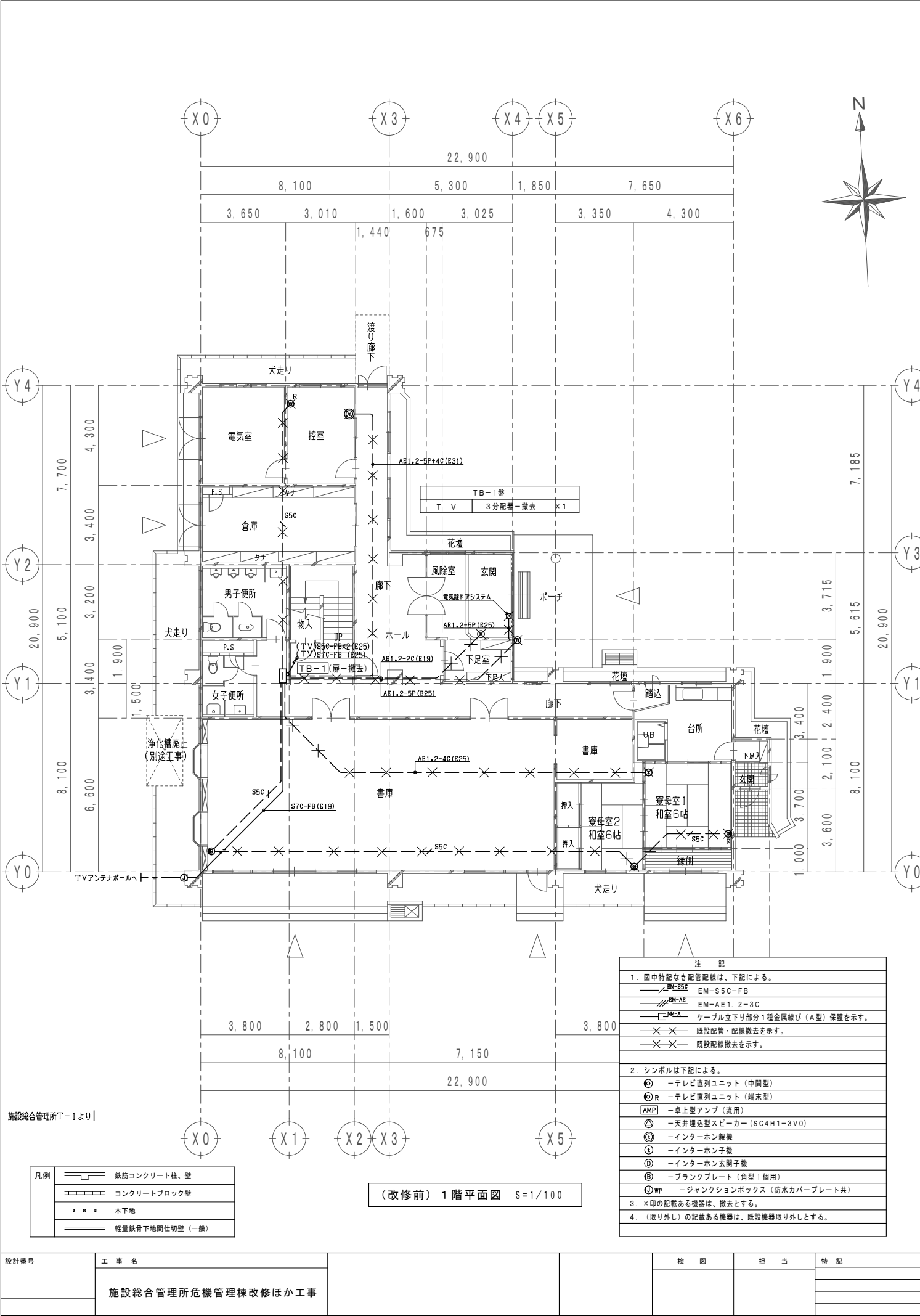
設計番号	工事名	検図	担当	特記	図面名	縮尺	図面番号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修前・改修後 1階 構内交換 設備図	A1:1/100 A3:1/200	E-24



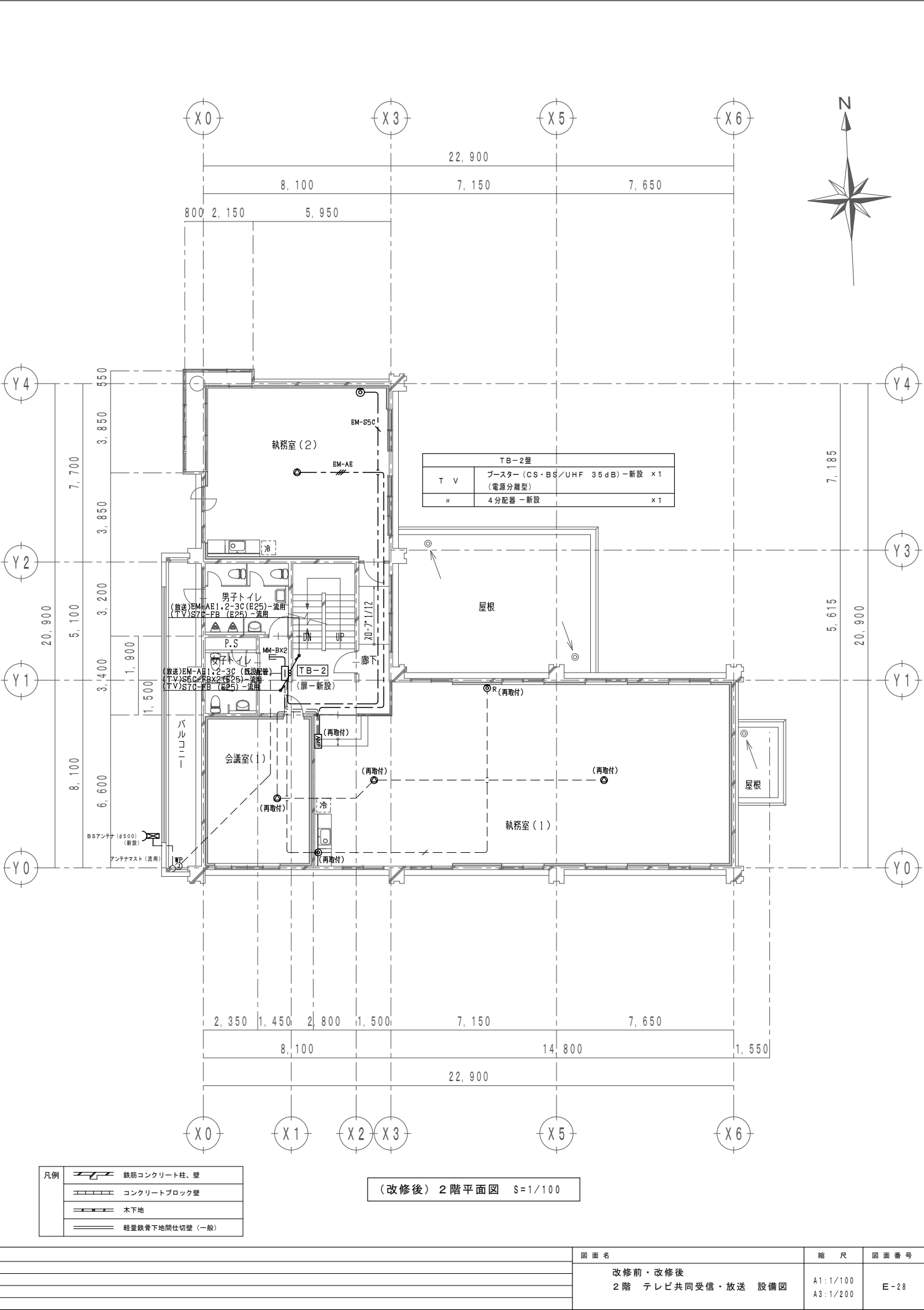
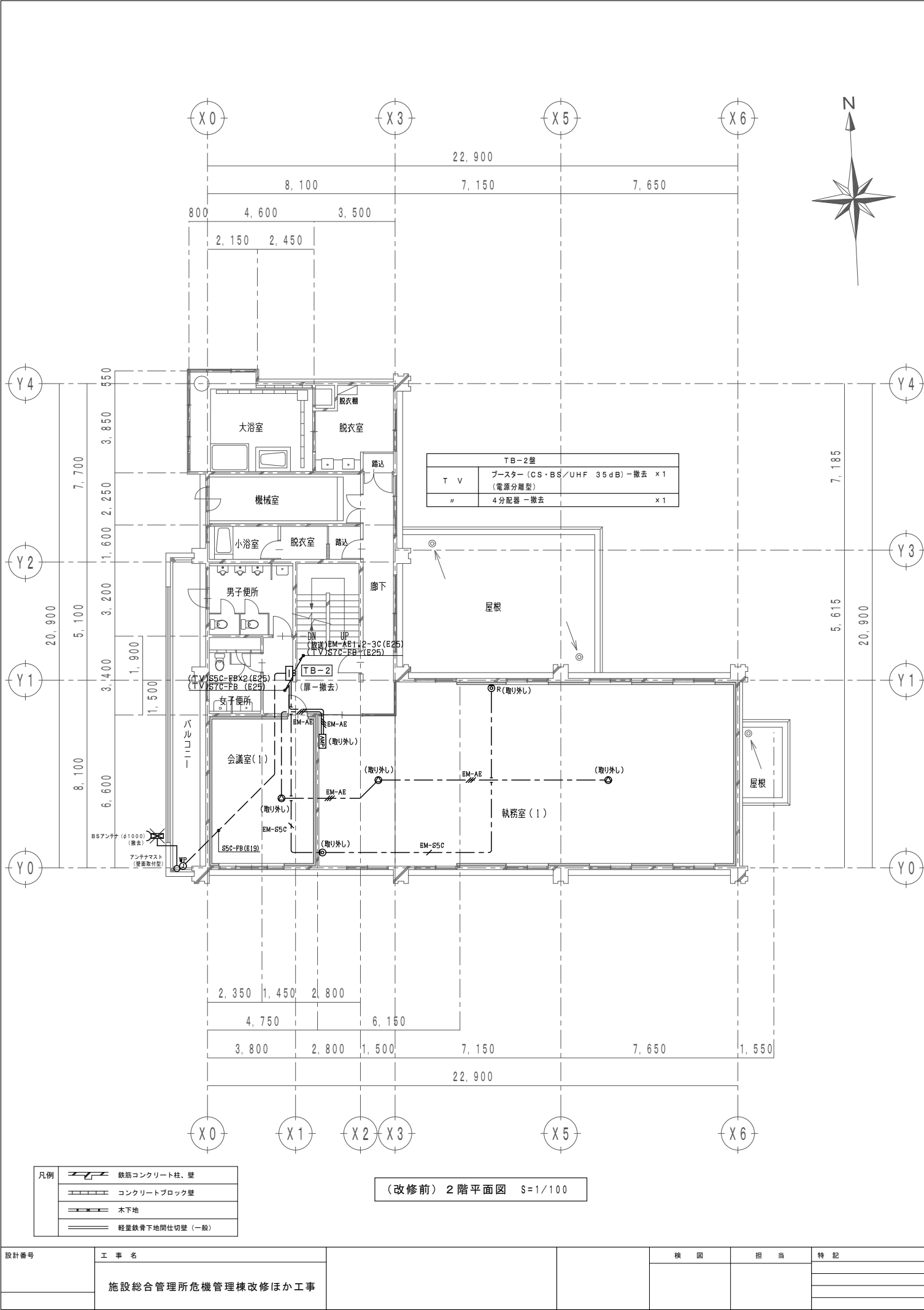
設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修前・改修後 2 階 構内交換 設備図	A1:1/100 A3:1/200	E-25



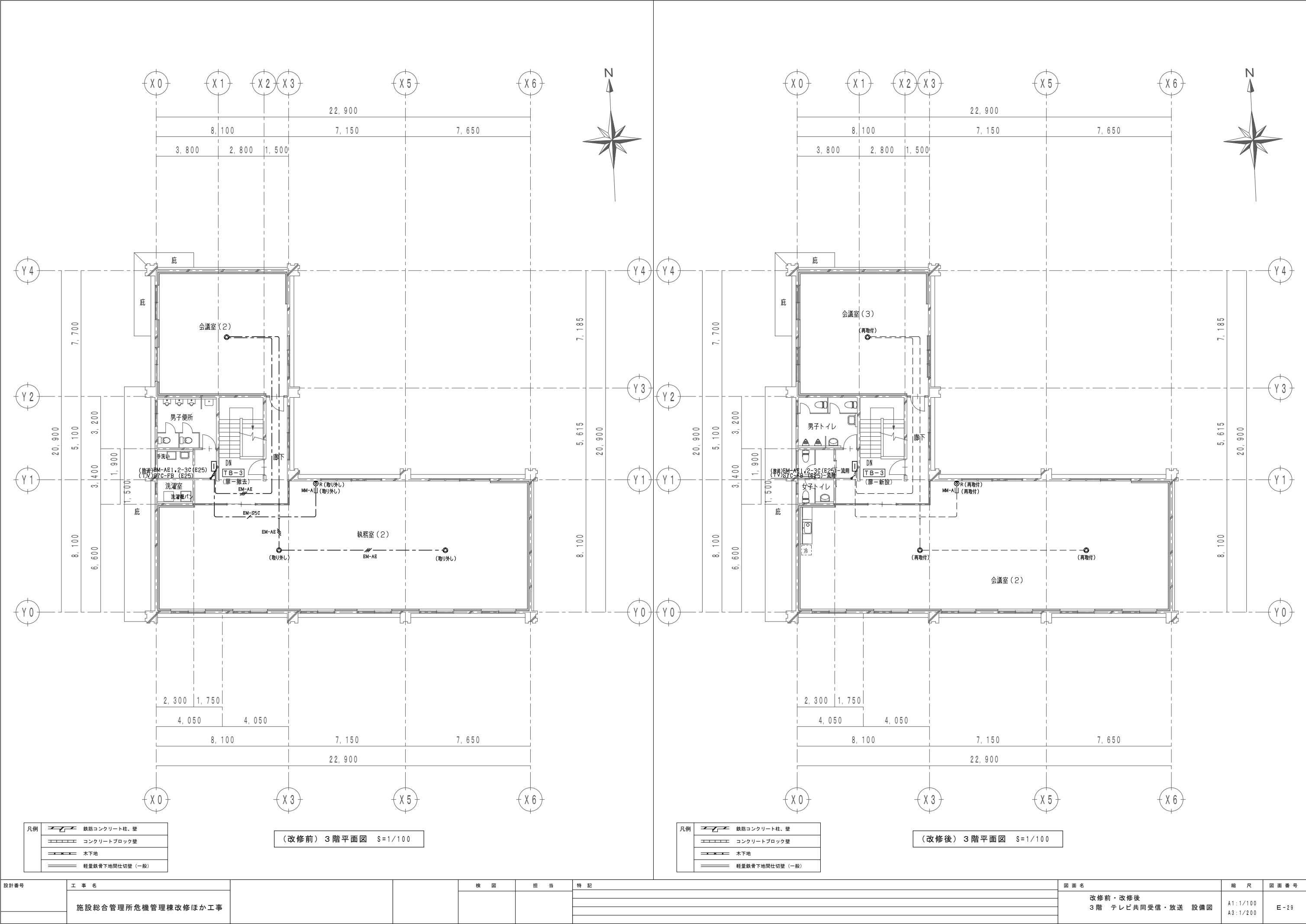
設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修前・改修後 3階 構内交換 設備図	A1:1/100 A3:1/200	E-26



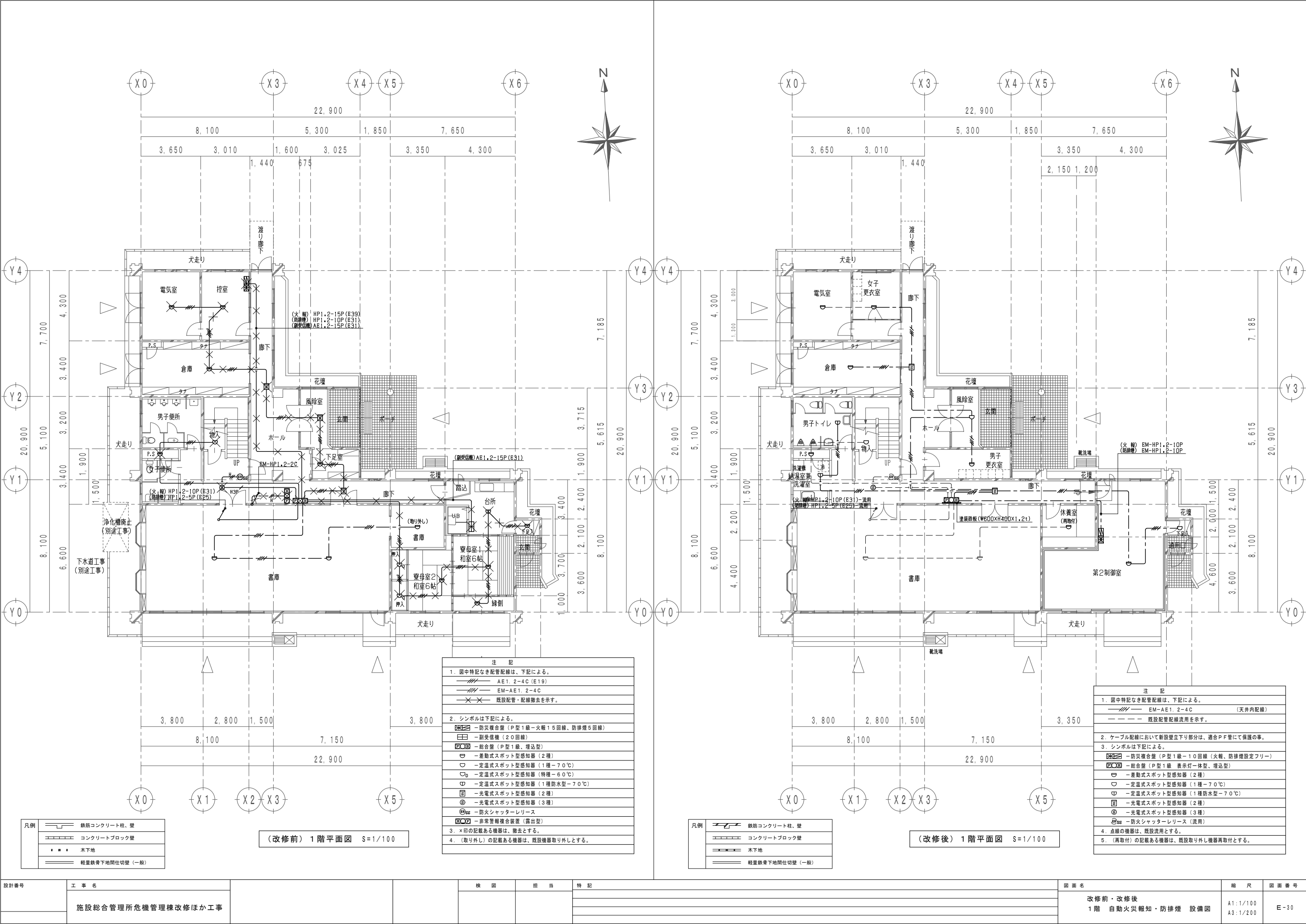
設計番号	工事名	検図	担当	特記	図面名	縮尺	図面番号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修前・改修後 1階 テレビ共同受信・放送 インターホン 設備図	A1:1/100 A3:1/200	E-27



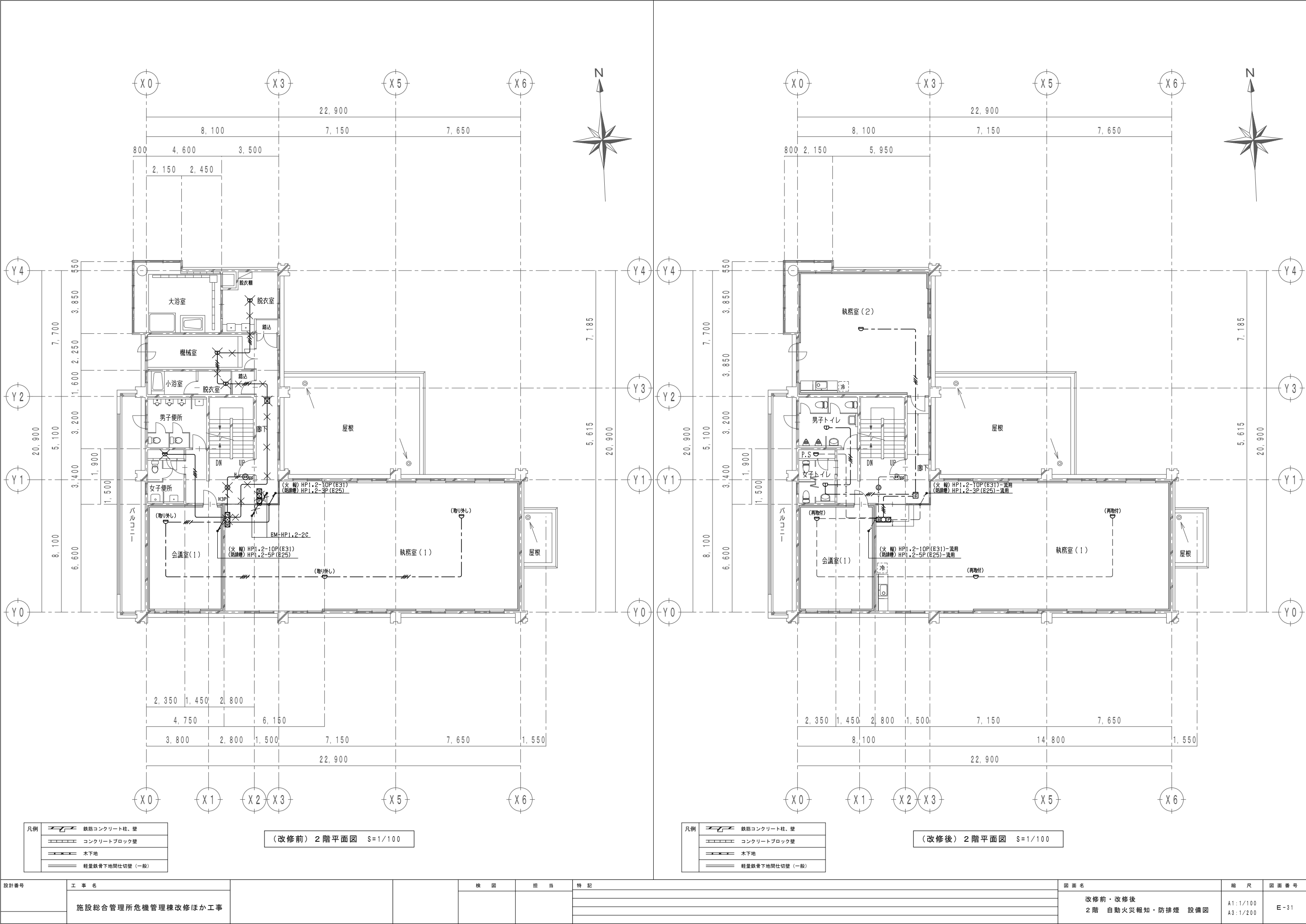
設計番号	工事名	検図	担当	特記	図面名	縮尺	図面番号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修前・改修後 2階 テレビ共同受信・放送 設備図	A1:1/100 A3:1/200	E-28



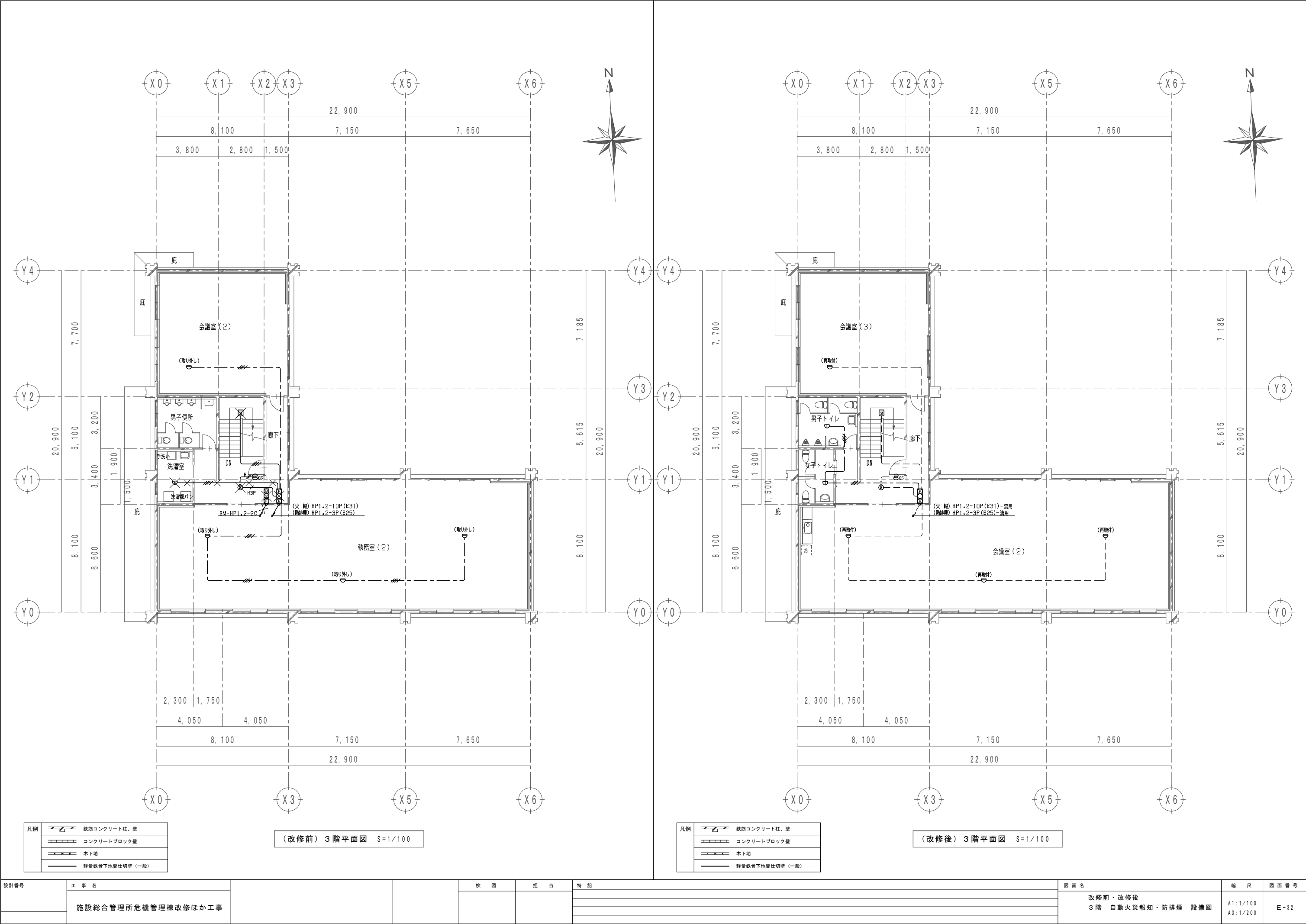
設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修前・改修後 3階 テレビ共同受信・放送 設備図	A1:1/100 A3:1/200	E-29



設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				改修前・改修後 1階 自動火災報知・防排煙 設備図	A1:1/100 A3:1/200	E-30



設計番号	工 事 名		検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
						改修前・改修後	A1:1/100	E-31
						2階 自動火災報知・防排煙 設備図	A3:1/200	



設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号	
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事							改修前・改修後 3階 自動火災報知・防排煙 設備図	A1:1/100 A3:1/200	E-32

機械設備改修工事特記仕様書

Ⅰ. 工事概要

1. 工事場所 岩手県盛岡市上田字松屋敷地内

2. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令 別表第 1 の区分	備 考
危機管理棟	RC	地上 3 地下 塔屋			改修工事

3. 工事種目 (●印の付いたものが対象工事)

工事種目	工 事 種 別				
● 空気調和設備	改設一式				
● 換気設備	改設一式				
○ 排煙設備					
○ 自動制御設備					
● 衛生器具設備	改設一式				
● 給水設備	改設一式				
● 排水設備	改設一式				
● 給湯設備	改設一式				
○ 消火設備					
○ 厨房機器設備					
○ ガス設備					
○ 浄化槽設備					
● 撤去・処分	撤去処分一式				

4. 指定部分

●無し
○有り 範囲：

5. 設備概要 (●印の付いたものを適用する。)

方 式	設 備 概 要
空気調和方式	○ 空気調和 [既設] ○ 個別方式 (GHP) [改設] ● 個別方式 (EHP) ○ 個別方式 [既設] ○ 温風暖房機 ○ [改設] ○ ○ 直接暖房 [既設] ○ [改設] ○
自動制御方式	[既設] ○ 電気式 ○ [改設] ○ 電気式 ○ 電子式 ○ デジタル式
給水方式	[既設] ○ 加圧給水方式 ● 加圧給水方式 ○ [改設] ○ 水道直結方式 ● 加圧給水方式
排水方式	建物内の汚水と雑排水 [既設] ● 分流式 ○ 合流式 [改設] ● 分流式 ○ 合流式 放流先 汚水 [既設] ● 下水道直放流 ○ 浄化槽 [改設] ● 下水道直放流 ○ 浄化槽 雑排水 [既設] ● 下水道直放流 ○ 浄化槽 [改設] ● 下水道直放流 ○ 浄化槽
給湯方式	[既設] ● 局所式 ○ 中央式 [改設] ● 局所式 ○ 中央式
消火設備方式	○ 屋内消火栓設備 [既設] ○ 湿式 ○ [改設] ○ 湿式 ○ 連結送水管 ○ 窓素 ○ スプリンクラー設備 [既設] ○ 湿式 ○ [改設] ○ 湿式 ○
ガス設備方式	○ 都市ガス (種別 、高位発熱量 ㎖/㎥ 、低位発熱量 ㎖/㎥ 、供給圧力 Pa) 供給事業者名 ○ 液化石油ガス

Ⅱ. 工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (令和4年版) 」 (以下、「改修標準仕様書」という。) 及び国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修「公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (令和4年版) 」 (以下、「標準図」という。) による。ただし、改修標準仕様書に記載されていない事項は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (令和4年版) 」 (以下、「標準仕様書」という。) による。

(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様は (/) 図、建築工事の特記仕様は (/) 図による。

2. 特記仕様

●印の付いたものを適用し、○印の付いたものは適用しない。
標準仕様書で特記によると表記された事項は、特記を限り図示によるものとする。

章

一般共通事項

項目

特記事項

○ 適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重の算定は次の条件による。
○ 風圧力
風速 (V o = m / s)
地表面粗度区分 ()
○ 積雪荷重
建設省告示第 1 4 5 5 号における区域 別表 ()

○ 工事期間中停止させない機器

○ なし ○ 有り

○ 再使用品の特別な清掃等

○

○ 再使用品の状態及び性能・機能確認

○

● 材料・機材の品質等

(1) 本工事に使用する材料・機材等は設計図書に定める品質及び性能を有するもの、又は同等のものとする。ただし、製造業者等が記載されている場合で同等品を使用する場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。
(2) 別表に示す材料・機材等を使用する場合の製造業者等は次の 1) から 6) すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。
1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
3) 安定的な供給が可能であること。
4) 法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。
5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。(なお、システムとして機能するものにあっては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられていること。)

別 表 (品質及び性能に該当する材料・機材等)。

鋼鉄製ボイラー	鋼製簡易ボイラー	鋼製小型ボイラー
鋼製ボイラー	真空式温水発生機 (鋼製・鉄製)	無圧式温水発生器 (鋼製・鉄製)
チリングユニット	吸収冷水機	吸収冷水機ユニット
遠心冷凍機	冷 却 塔	ユニット形空気調和機
ファンコイル型空気調和機	パッケージ形空気調和機	コンパクト形空気調和機

一般共通事項

● 機材の承諾図

● 環境への配慮

● 技能士の適用

○ 仮設工事

● 火気の使用

● 施工調査

○ 石綿含有製品調査

○ 環境及び盛土

● 容量等の表示

● 電源周波数

● 電動機

● 完成時の提出図書

○ 埋戻し及び盛土

● 容量等の表示

● 電源周波数

● 電動機

● 完成時の提出図書

○ 埋戻し及び盛土

● 容量等の表示

● 電源周波数

● 電動機

● 完成時の提出図書

マルチパッケージ型空気調和機

ガスエンジン・ヒートポンプ式空気調和機

277 (6.7) ㎡ (約 73.6 畳) 8 動

自動巻取りエアフィルター

電気集じん器

全熱交換器 (回転形、静止形)

遠心送風機 (多翼形送風機)

斜流送風機

軸流送風機

消音ボックス付送風機

横形遠心ポンプ

水モーターポンプ (汚水用、雑排水用、汚水用)

立形遠心ポンプ

風量ユニット (変風量・変風量)

自動制御システム

衛生器具ユニット

F R P 製バルブタンク

壁掛け式温水タンク (空調用、給湯用)

ステンレス鋼製バルブタンク (給湯用、給湯用)

スプリンクラー消火システム

不活性ガス消火システム

泡消火システム

ハロゲン化物消火システム

厨房システム

マンホールふた・弁棚ふた

機械設備工事機材承諾図様式集 (令和4年版) によるほか、監督職員の指示による。

1) 国等による環境物品等の推進等に関する法律に基づく特定調達物品等に関する判断の基準は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針 (令和4年2月閣議決定) 」による。
2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④までを満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びビスフェノールを含有しない又は発散量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑剤 (フタル酸ジノルブチル及びフタル酸ジノルブチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く) が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビスフェノールを含有しないか、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。
3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。
① 建築基準法施行令第 2 0 条の 7 第 1 項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
② 建築基準法施行令第 2 0 条の 7 第 4 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
③ 建築基準法施行令第 2 0 条の 7 第 1 項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
④ 建築基準法施行令第 2 0 条の 7 第 3 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
● 配管施工 (配管工事) ○ 建築金施工 (ダクト製作及び取付け) ● 熱絶縁施工 (保温工事)
● 冷凍空調調和機器施工 (チリングユニット、パッケージ形空気調和機の取付け及び整備)
○ (建築工事の部) 特記仕様書による。
○ 監督職員事務所
○ 設けない
○ 設ける (規模及び仕上げの程度、設置する備品等の種類及び数量等は現場説明書による)
○ 足場その他
○ 関連工事の関係者が定置したものは無償で使用できる。
○ 本工事で設置する。
足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における 2 の (2) 手すり据置方式又は (3) 手すり先行専用足場方式により行う。
○ 外部足場 種別 ○ A 種 ○ B 種 ○ C 種 ○ D 種 ○ E 種 ○ F 種
○ G 種
防護シート ○ 設置する ○ 設置しない
○ 内部足場 種別 ○ A 種 ○ B 種 ○ C 種 ○ D 種 ○ E 種 ○ F 種
○ 材料、搬入材等の運搬方法 (建築工事編 2. 2. 1 表 2. 2. 2 による。)
種別 ○ A 種 ○ B 種 ○ C 種 ○ D 種 ○ E 種
○ 仮設倒仕切 種別 ○ A 種 ○ B 種 ○ C 種
○ 既設部分の養生 ○ 行う ○ 行わない
建築物内での火気の使用は原則として行わない。
公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) によるほか下記による。
事前調査 ● 本工事 ○ 別途
調査項目 ● 今回工事範囲全般
調査範囲 ○ 図示
調査方法 ○ 図示 ○
イ) 下記撤去部位は、石綿含有製品が使用されており、原則、調査不要とする。
○ 保温材 (石綿入りけいそう土保温材 1 号) ○ たわみ継手
○ 保温外装材 (石綿セメント) ○ 煙道用パッキン (煙道伸縮部：石綿ロープ)
○ 保温外装材 (特殊石棉板) ○ 煙道用パッキン (壁貫通部：石棉)
○ 配管接合材 (石棉ジョイントシート) ○ タクトパッキン (石棉テープ)
ロ) 下記の撤去資材等については石綿含有製品調査を行い監督職員に報告する。
調査範囲 ○ 熱源機器 ○
調査方法 ○ 型番確認の上製造者ヒアリング ○
ハ) 下記の撤去資材等については定性分析調査を行うものとし、採取部位及びサンプル数は監督職員と協議する。なお、調査にかかる費用は、○ 本工事 ○ 別途 とする。
種別 ○ A 種 ○ B 種 (ただし、コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類)
イ) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。
ロ) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は原則として表示された数値以下とする。
5 0 H z とする。
換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は製造者規格による標準品としてもよい。
工事完成時に下記の図書を監督職員に提出する。なお、施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に譲渡するものとする。
完成図書
○ 完成図書 ● 改修標準仕様書 1. 8. 2 ~ 1. 8. 4 による。 ○
○ 写真 ○ 工事用、完成用ともカラーとし、監督員の指示による。
○ その他書類 ● 監督員の指示による。 ○
○ C A D データの提出 ● 監督員の指示による ○
● 電子納品対象書類については、「岩手県電子納品ガイドライン」による。

一般共通事項

○ 耐震措置

● 総合運転調整

○ 弁等のサイズ

○ 建物導入部配管の変位吸収

○ 絶縁継手取付箇所

○ 接続部の非破壊検査

● 支持及び固定

● 支持金物・固定金具

○ 地中埋設様等

● 既存躯体への穿孔

● あと施工アンカー

● 既設インサート他

○ 配管の試験

○ 他工事との工事区分

● 保温外装

○ 塗装

○ 電線類

○ 冷媒 (フロン系) 回収

耐震措置の計算及び施工方法は、次に示す事項以外、すべて建築設備耐震設計・施工指針 (国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修 2 0 1 4 年版) による。
(1) 機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器の質量 (自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量) に、次に示す設計用標準水平震度と地域係数を乗じたものとする。
地域係数は、昭和 5 5 年建設省告示第 1 7 9 3 号 (最終改正 平成 1 9 年国交省告示第 5 9 7 号) による。

設 置 場 所	設 計 用 標 準 水 平 震 度				
	機 器 種 別	特 定 の 施 設	一 般 の 施 設	機 器 種 別	特 定 の 施 設
上層階、屋上及び塔屋	機 器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5
	水 槽 類	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
中間階	機 器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0
	水 槽 類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
1 階及び地下階	機 器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6
	水 槽 類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6

注1) 上層階とは 2 ～ 6 階建の場合は最上階、7 ～ 9 階建の場合は上層 2 階、1 0 ～ 1 2 階建の場合は上層 3 階、1 3 階建以上の場合は上層 4 階とする。
注2) 中間階とは地階、1 階を除く各階で上層階に該当しないもの
イ) 本施設は (○ 一般の施設 ○ 特定の施設) とする。
ロ) 1 0 0 k g 以下の軽量な機器 (標準仕様書の適用を受けるものを除く) においても耐震を考慮し、据付け又は取付を行うものとするが、前記指針の方法によらずともよい。
ハ) 重要機器は次のものを示す。
○ 給水機器 () ○ 防災設備
○ 排水機器 () ○ 監視制御設備
○ 換気機器 ○ 危険物貯蔵装置
○ 空調機器 ○ 火を使用する設備
○ 熱源機器 ○ 避難経路上に設置する機器
(2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の 1 / 2 とする。
○ 工事対象部位の個別試験運転調整を行い、下記の測定報告書を提出する。
○ 各機器の個別運転調整後下記のとおり総合調整を行い、測定報告書を提出する。
○ 風量調整 ● 水量調整 ● 室内外空気の温度の測定
○ 室内空気及びびんあいの測定 ○ 騒音の測定 ○ 飲料水の品質の測定
○ 排水水の品質の測定
特記されていない弁等のサイズは機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。
図示の箇所に施工する。施工方法は下記による。
標準図 施工 4 (○ (a))
施工 5 (○ (b) ○ (c))
図示による。
対象配管系統 ○ 冷水水 ○ 冷却水 ○ 消火 (水用) ○ 油 ○ ガス
標準仕様書記載以外の天井吊形、カセット形、天井隠ぺい形の機器の支持は、吊り用ボルトで行い、振れ止めを施したものとする。
イ) ポンプ、屋外機器及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製 (S U S 3 0 4) とし、屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ (樹脂製) を取り付ける。
ロ) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
ハ) 冷水及び冷水水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。
二) 冷媒管の吊り用支持受け材として保護プレートを、断熱材被覆鋼管と吊り金物との間に設け、自重による断熱材の食い込みを防止する。
○ 地中埋設様 (図示の位置) ○ 要 ○ 不要
○ 埋設様テープ (排水管を除く) ○ 要 ○ 不要
穿孔機械を使用し既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工する。
既設インサート及びびんあきボルト ● 使用しない ○ 使用する
既設配管系統の試験 給 水 ○ 行わない ○ 行う
排 水 ○ 行わない ○ 行う
冷水水 ○ 行わない ○ 行う
冷却水 ○ 行わない ○ 行う
試験方法 給 水 ○
排 水 ○
冷水水 ○
冷却水 ○
工事区分による
○ 屋内露出の保温外装は、合成樹脂カバー 1 とする。
○ 保温を行わない居室・便所・湯沸室及び屋外の露出配管 (鋼管)、ダクトには塗装を行う。
○ 図示による
冷凍機等の搬入に伴う冷媒回収方法は、改修標準仕様書第 3 編 2. 4. 3 により適切に行う事。
ただし、家電リサイクル対象機器は除く。
冷媒回収の費用は (○ 本工事 ○ 別途) とする。

空気調和設備

○ 設計温度

○ ばい煙濃度計

○ 煙突

○ 鋼板製煙道

○ ダクトの区分

● 3 ㎡ (約 8 坪) 以上の区分

○ 長方形ダクトの工法

○ 風量測定口

○ ダンパー

● 配管材料

○ 弁類

○ 鋼管用伸縮管継手

○ 温度計

○ 瞬間流量計

○ チャンバー

● 保温

○ 換気設備

○ 準拠事項

○ 開放形湯沸器用排気フード

○ 厨房用排気ダクト

○ 厨房用排気フード

○ 多湿箇所の排気ダクト

○ 保温

設計温度
○ ばい煙濃度計
○ 煙突
○ 鋼板製煙道
既設 ○ 低圧ダクト
改設 ○ 低圧ダクト
○ 長方形ダクトの工法
既設 ○ アングルフランジ工法
改設 ○ コーナーボルト工法 (共振又はスライド)
○ 風量測定口
取付箇所は図示による。取付方法は監督職員の指示による。
1) 防炎ダンパー 備付方式 遠隔式 (電気式 (定格入力は D C 2 4 V、0. 7 A 以下))
2) ビストンダンパー 復帰方式 遠隔式
イ) 冷水水管 既設 ○ 配管用炭素鋼管 (白)
改設 ○ 配管用炭素鋼管 (白)
ロ) 冷却水管 既設 ○ 配管用炭素鋼管 (白)
改設 ○ 配管用炭素鋼管 (白)
ハ) 蒸気管 (給気管) 既設 ○ 配管用炭素鋼管 (黒)
改設 ○ 配管用炭素鋼管 (黒)
(還管) 既設 ○ 圧力配管用炭素鋼管 (黒) (S c h 4 0)
改設 ○ 圧力配管用炭素鋼管 (黒) (S c h 4 0)
ニ) 油管、油用通気管 (一般) 既設 ○ 配管用炭素鋼管 (白)
改設 ○ 配管用炭素鋼管 (白)
(地中) 既設 ○ ポリエチレン外面被覆鋼管
改設 ○ ポリエチレン外面被覆鋼管
ホ) 膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりボイラー等への補給水管 既設 ○ 配管用炭素鋼管 (白)
改設 ○ 配管用炭素鋼管 (白)
ヘ) 空調用排水管 既設 ● A C ドレン
改設 ● 配管用炭素鋼管 (白) ● A C ドレン
ト) 冷媒管 既設 ● 断熱材被覆鋼管 (難燃性)
改設 ● 断熱材被覆鋼管 (難燃性)
○ 弁類
○ 5 K
ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
○ 鋼管用伸縮管継手
○ ベローズ形
○ スリプ形
円形指示計とする。
イ) 止水コック付とする。 ○ 差形形 ○ 固定形
ロ) 着脱形の流量指示部 (○ 4 0 A 用 個、○ 1 0 0 A 用 個、○ 2 5 0 A 用 個) を付属する。
イ) 内貼タンパー類の寸法表示は、外形寸法とする。
ロ) 空気調和機に取り付けるサブライチャンパー、レタランチャンパー及びダクト系統で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設ける。なお、大きさは図示による。
ハ) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
イ) 蒸気通り管の保温不要 (屋内露出は除く)
ロ) 建物内のエア抜き管の保温は、標準仕様書第 2 編 3. 1. 4 (表 2. 3. 2) の温水管の項による。(エア抜き弁以降の配管は除く)
ハ) 屋外露出管 (弁、フランジを含む) の保温は、標準仕様書第 2 編 3. 1. 5 (表 2. 3. 5 e 2 (ハ)) とし、厚さは呼び径 2 5 mm 以下は 5 0 mm、呼び径 3 2 mm 以上は 4 0 mm とする。
二) 遠気ダクトの保温 ○ 不要 ○ 要 (保温の厚さ 2 5 mm、範囲は図示による)
ホ) 外気取り入れダクト及びチャンパーボックスの保温 ○ 要 ○ 不要
ト) 排気ダクトは外壁間隙部より 1 m 程度を保温する。(チャンパーボックスを含む)
ト) 冷媒管の保温外装
居室露出部 ○ 保温化粧ケース (樹脂製) ○
屋外 ● 保温化粧ケース (樹脂製) ○ 保温化粧ケース (S U S 製)
下記の部位に使用するダクトには塗装を行う。
○ 制気口ボックス内面 (居室・便所の見えがかり部)
○ 図示
● 準拠事項
[○ 空気調和設備の当該事項に準ずる。]
○ ダクトの区分 ○ 長方形ダクトの工法 ○ 風量測定口 ○ 防煙ダンパー
○ チャンパー ○ 塗装 ● 3 ㎡ (約 8 坪) 以上の区分
○ 開放形湯沸器用排気フード
○ 既設 ○ 新設 (○ 別途 ○ 本工事)
○ 厨房用排気ダクト
アングルフランジ工法ダクトとする。
既設 ○ 亜鉛鉄板
○ ステンレス鋼板 (S U S 3 0 4) (板厚は衛生器具表空調 1 の厨房排気ダクトの板厚表による)
改設 ○ 亜鉛鉄板
○ ステンレス鋼板 (S U S 3 0 4) (板厚は衛生器具表空調 1 の厨房排気ダクトの板厚表による)
○ 厨房用排気フード
既設 材質 (天幕とも) ○ ステンレス鋼板 (S U S 3 0 4) ○
既設 フード周囲の天幕 (フード面から天井面まで) ○ 有 ○ 無
改設 材質 (天幕とも) ○ ステンレス鋼板 (S U S 3 0 4) ○
改設 フード周囲の天幕 (フード面から天井面まで) ○ 取り付ける ○ 取り付けない
改設 フードコック ○ 取り付ける ○ 取り付けない
○ 多湿箇所の排気ダクト
厨房系統、浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) 系統のダクトのシールは標準図の N シール + A シール + B シールとする。
水抜き管 ○ 要 ○ 不要
○ 保温
空気調和設備の当該事項による他、全熱交換器の給気ダクトの保温を行う。

設計番号	工 事 名		検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号						
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事													
	機械設備改修工事 特記仕様書 1					N / S		M-01						

102

空調 機器表

設備機器一適用規格

• J I S B 8616

パッケージエアコンディショナ（空冷式）

定格標準能力（冷房・暖房）、定格標準消費電力（冷房・暖房）

定格標準能力（冷房・暖房）、定格標準消費電力（冷房・暖房）

[illegible]

換氣 機器表

設備機器一適用規格

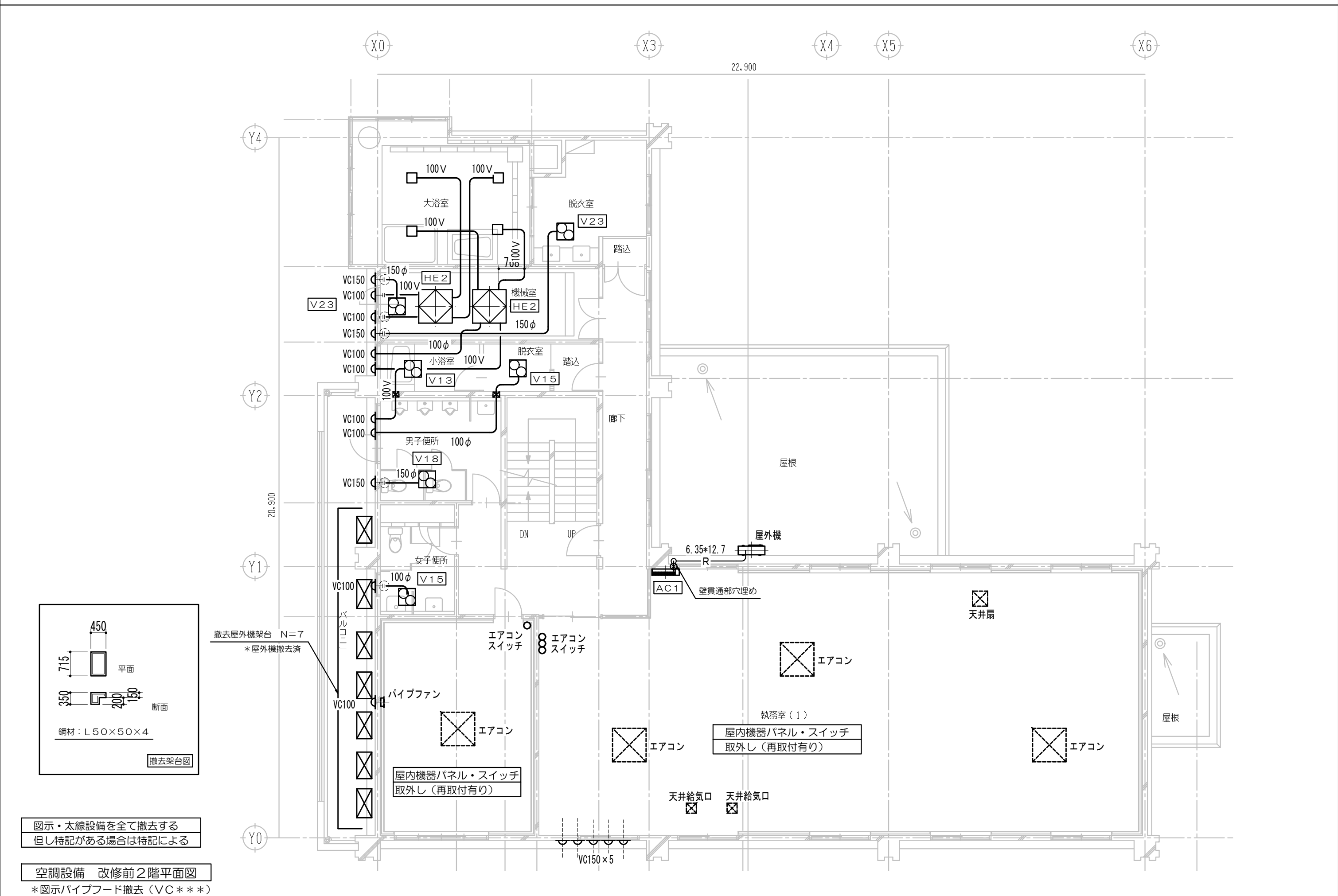
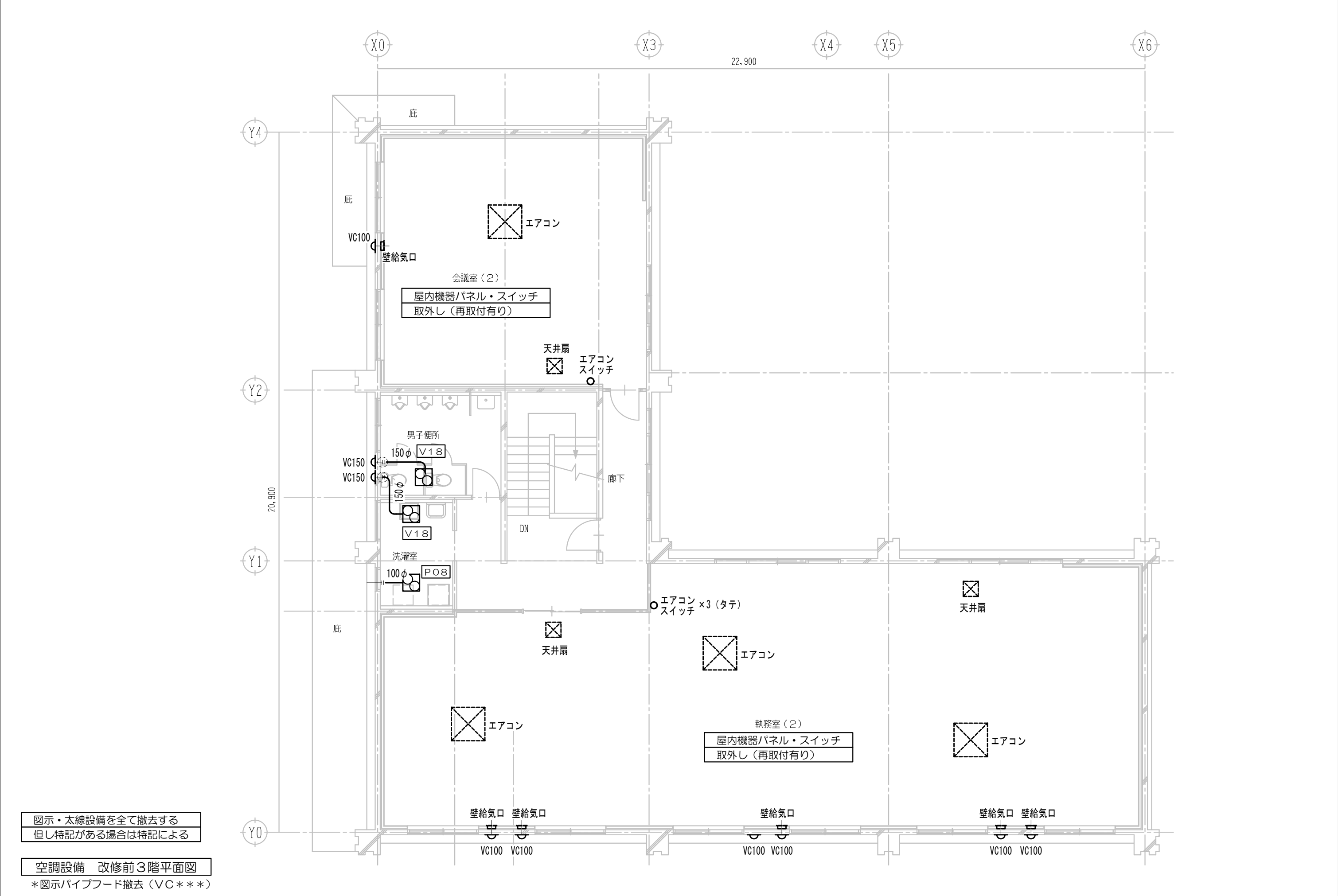
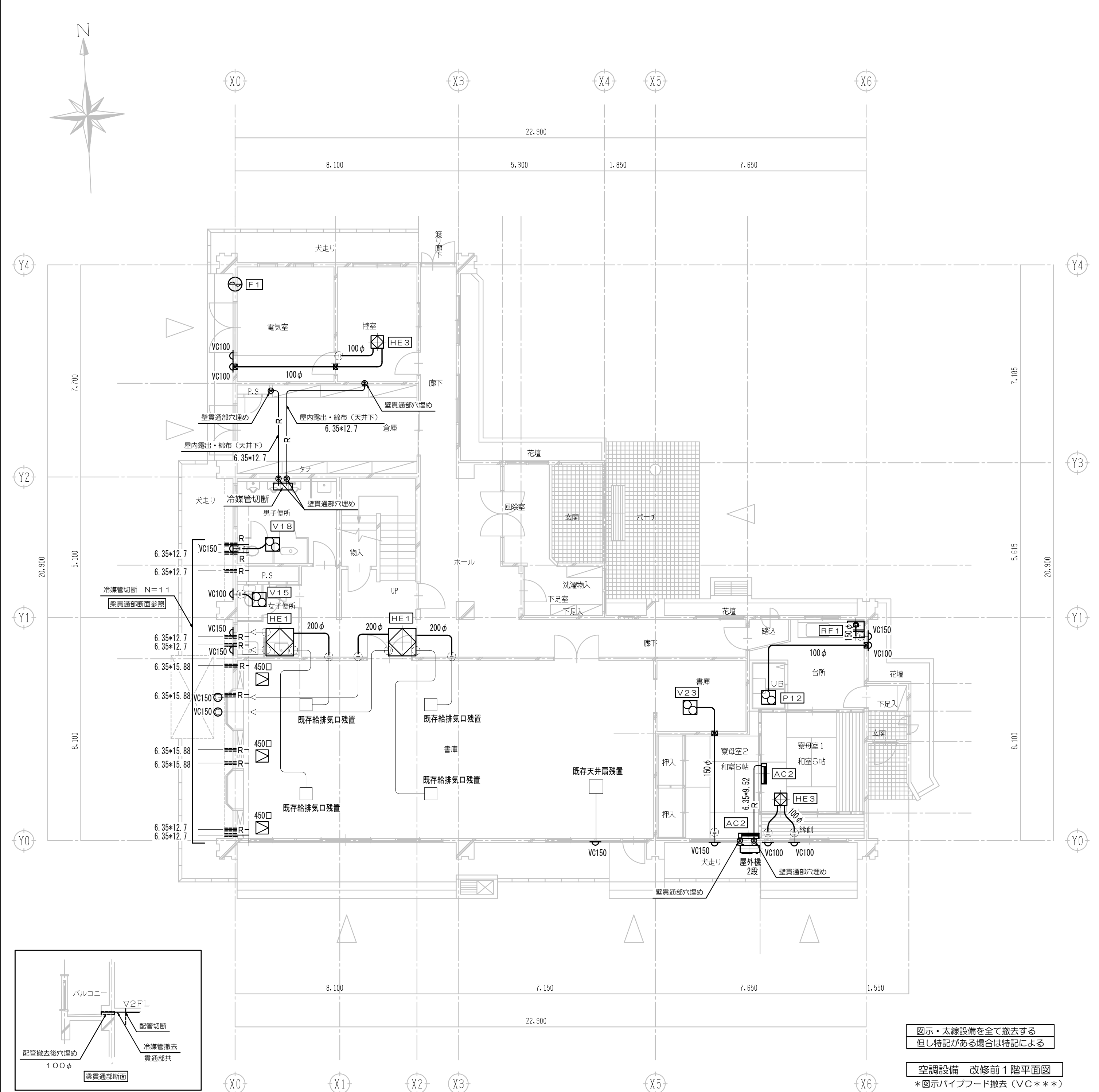
• J I S B 8628

全熱交換器

全熱交換効率（冷房・暖房）

[illegible]

設計番号	工 事 名			検 査	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事						空調設備 機器表	N / S	M-03



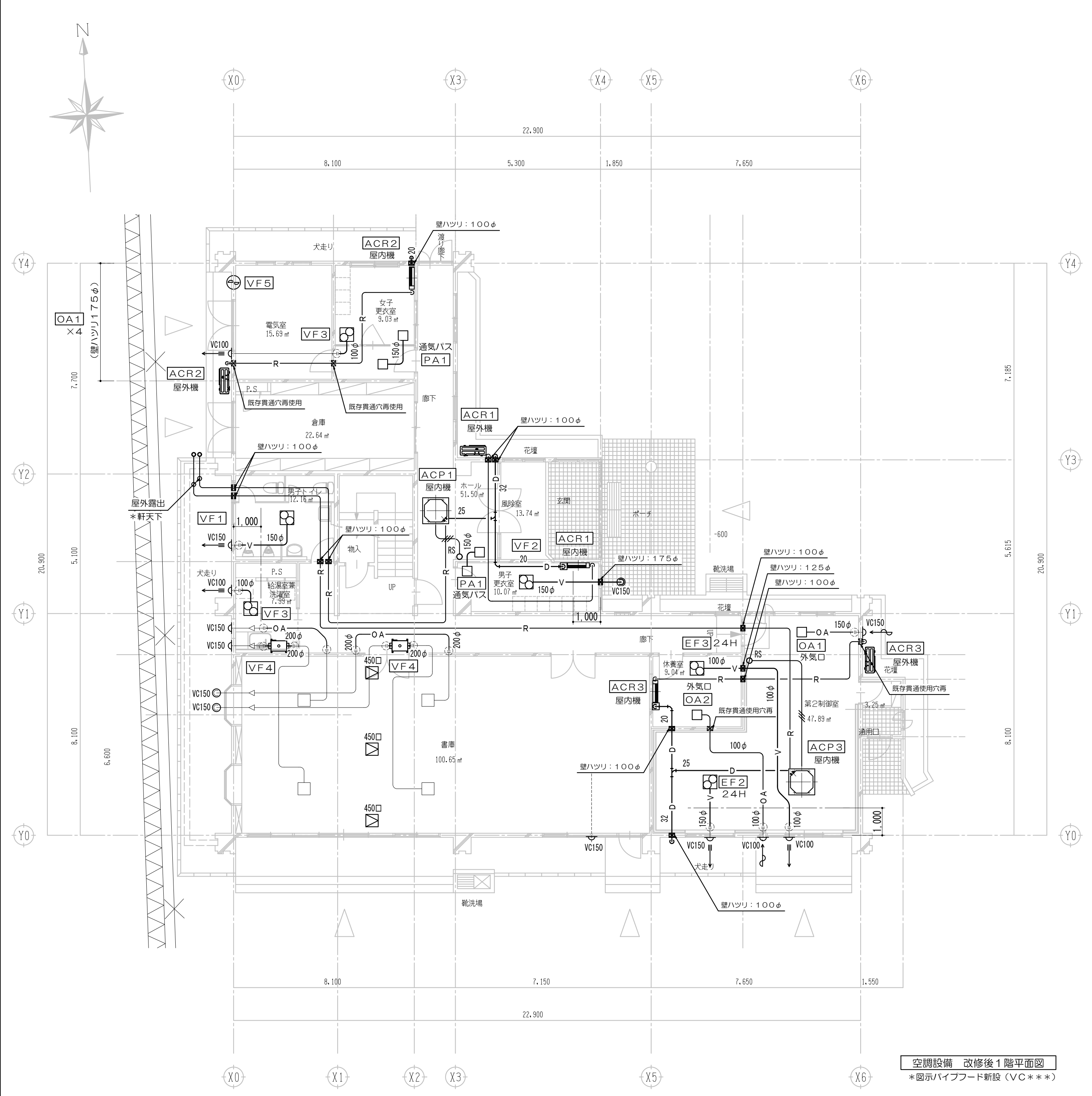
【取外し機器】 *発注者に引き渡し（取外し前機能確認、冷媒回収共）		
空調設備	合計	備考
AC1 ルームエアコン80形（S80YTDXP-W）	1台	・屋外機架台撤去
AC2 ルームエアコン22形（S22XTES-W）	2台	・屋外機二段架台撤去

【 特記・凡例 】
【 配管・ダクト 】
冷媒 空調用被覆付銅管・ヘアチューブ
樹脂製ドレンホース共（AC1、AC2）
配管径 図示による
ダクト 一般 スパイラルダクト
ダクト 多湿 硬質塩化ビニル管（VP）
ダクト径 図示による

【 特記・凡例 】
既存ダクト（撤去）
ダクト切断
450φ
天井点検口450φ 新設

【撤去機器】				
換気設備	合計	1階	2階	3階
HE1 天埋型全熱交換換気扇（接続：200φ）	2台	2		・給排気口残置
HE2 天埋・耐湿型全熱交換換気扇（接続：100V）	2台	2		・多湿VP
HE3 カセット型全熱交換換気扇（接続：100φ）	2台	2		
V2.3 ダクト用換気扇・2.3型（接続：150φ）	3台	1	2	
V1.8 ダクト用換気扇・1.8型（接続：150φ）	4台	1	1	2
V1.5 ダクト用換気扇・1.5型（接続：100φ）	3台	1	2	
V1.3 ダクト用換気扇・1.3型（接続：100V）	1台		1	・多湿VP
RF1 レンジフードファン（接続：150φ）	1台	1		
P12 バイブファン・1.2型（接続：150φ）	1台	1		
P08 バイブファン・0.8型（接続：100φ）	1台			1
F1 壁付換気扇・250φ	1台	1		・ウェザーカバー撤去

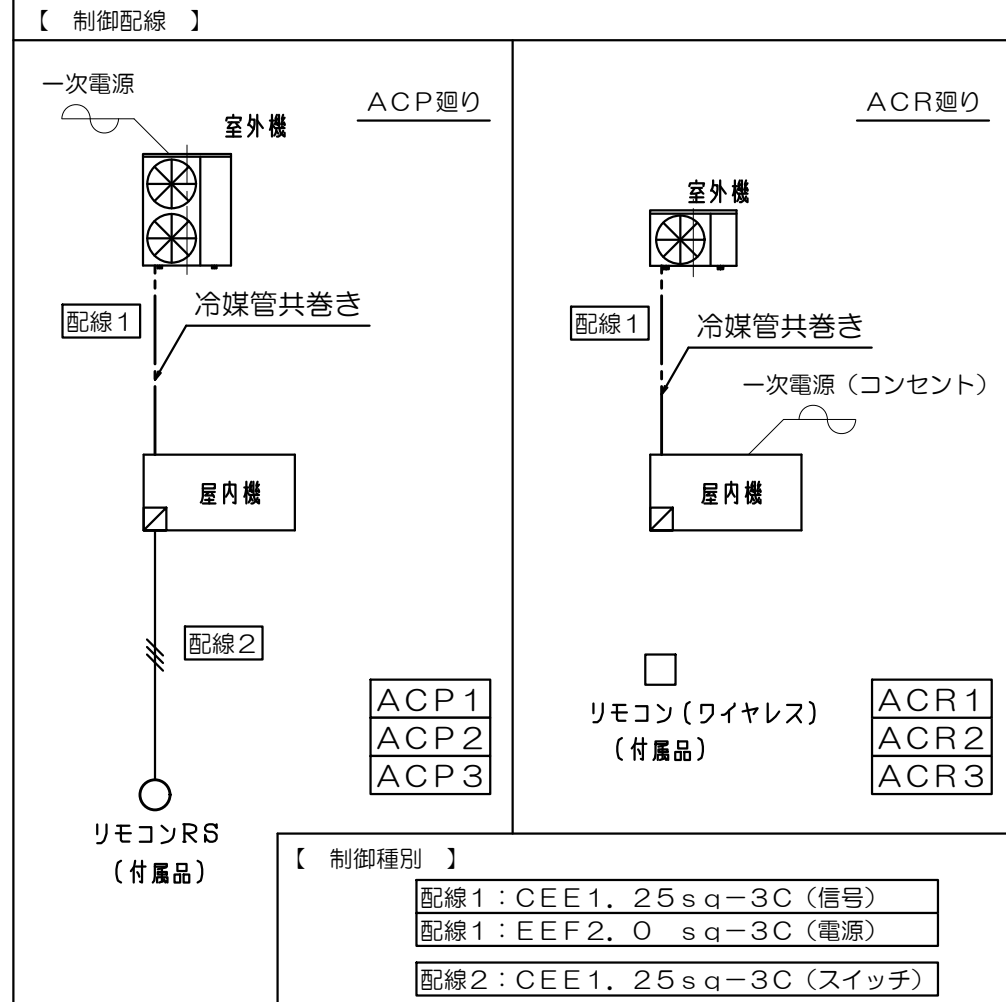
設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				空調設備 改修前平面図	A1:1/100 A3:1/200	M-04



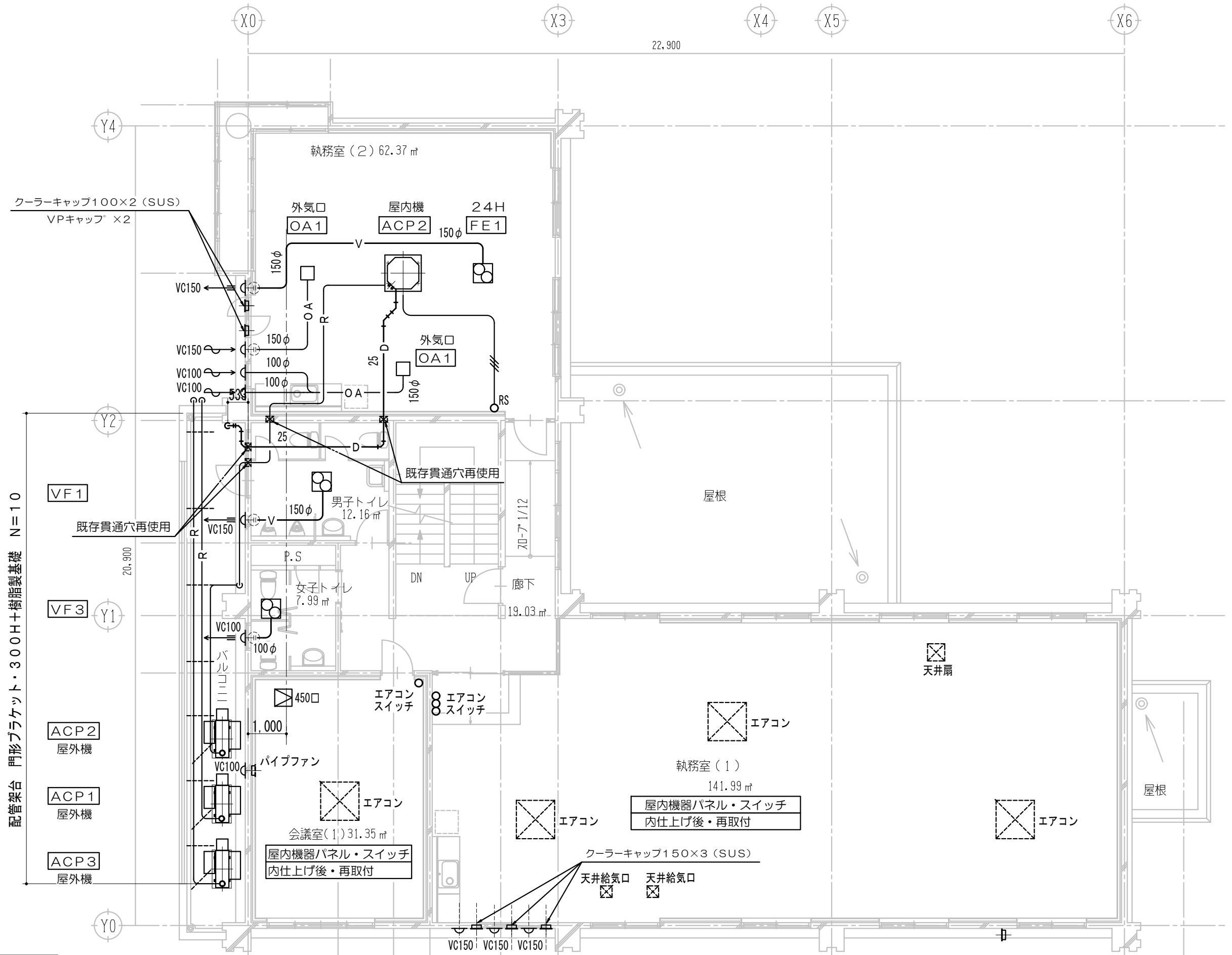
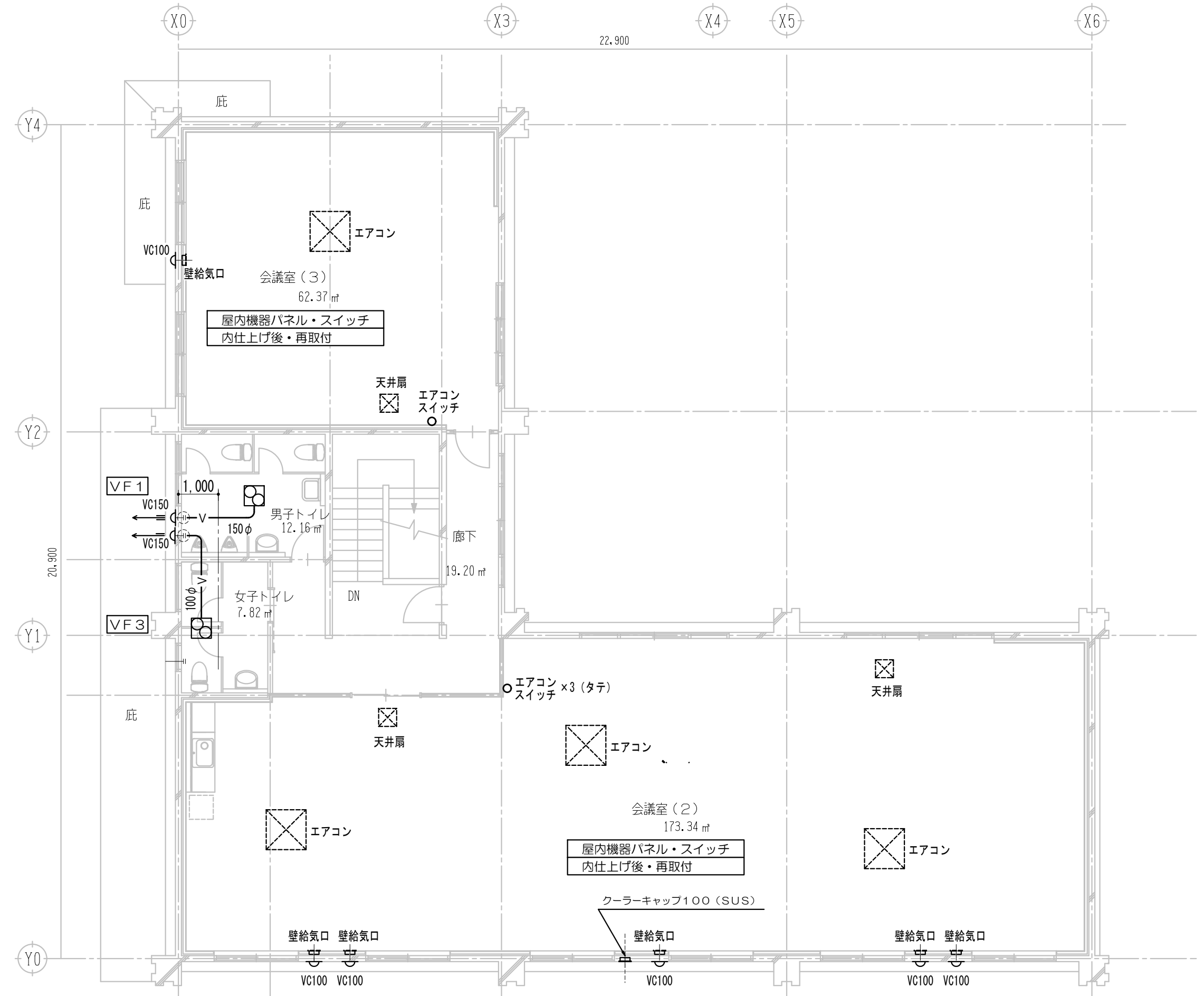
【 特記・凡例 】	
管材 断熱材付被覆銅管 (ヘア)	
被覆厚 ガス20mm 液10mm	
配管口径	
ACP1、2、3	9.52×15.88
ACR1、2、3	6.35×9.52
【 ドレン配管 】 -D-	
ACP1、2、3 ACR1、3	
管材 空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管	
ACドレン (保温無し)	
ACR2	
管材 配管用炭素鋼々管 (白)	
配管口径 図示による	

【 特記・凡例 】	
【 露出部保温外装 】	
ACP*** ACR***	
屋外露出 樹脂製保温化粧ケース施工 (冷媒)	
ACP1、2、3 ACR1、3	
屋外露出 ACドレン (保温無し)	
ACR2	
屋外露出 配管用炭素鋼々管 塗装	
*ドレン屋外部分端末 専用逆止弁	
GL (バルコニー面含む) 付近で大気開放	
【 機械はつり (壁) 】	
図示による	
450□	
天井点検口450□ 新設	

【 特記・凡例 】	
【 換気ダクト 】	
ダクト種別・断熱	
保温付きフレキシブルダクト施工	
・PAダクト (PASS)	
・-OA- 外気ダクト	
上記以外 スパイラルダクト施工	
外壁より1m部分断熱施工 (GW25mm)	
・VF4接続部 たわみ継手使用	
ダクト径	
図示による	
新設ダクト	
既存ダクトに接続	

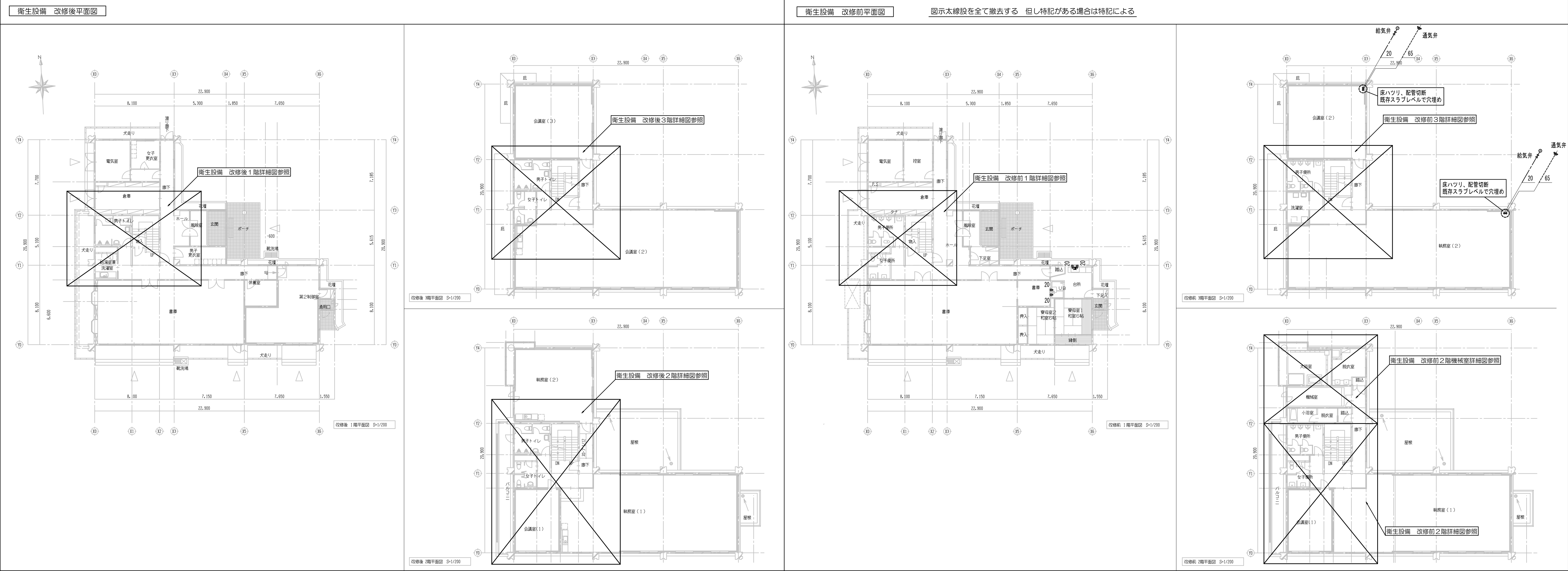


空調設備 改修後3階平面図
*図示パイプフード新設 (VC***)



空調設備 改修後2階平面図
*図示パイプフード新設 (VC***)

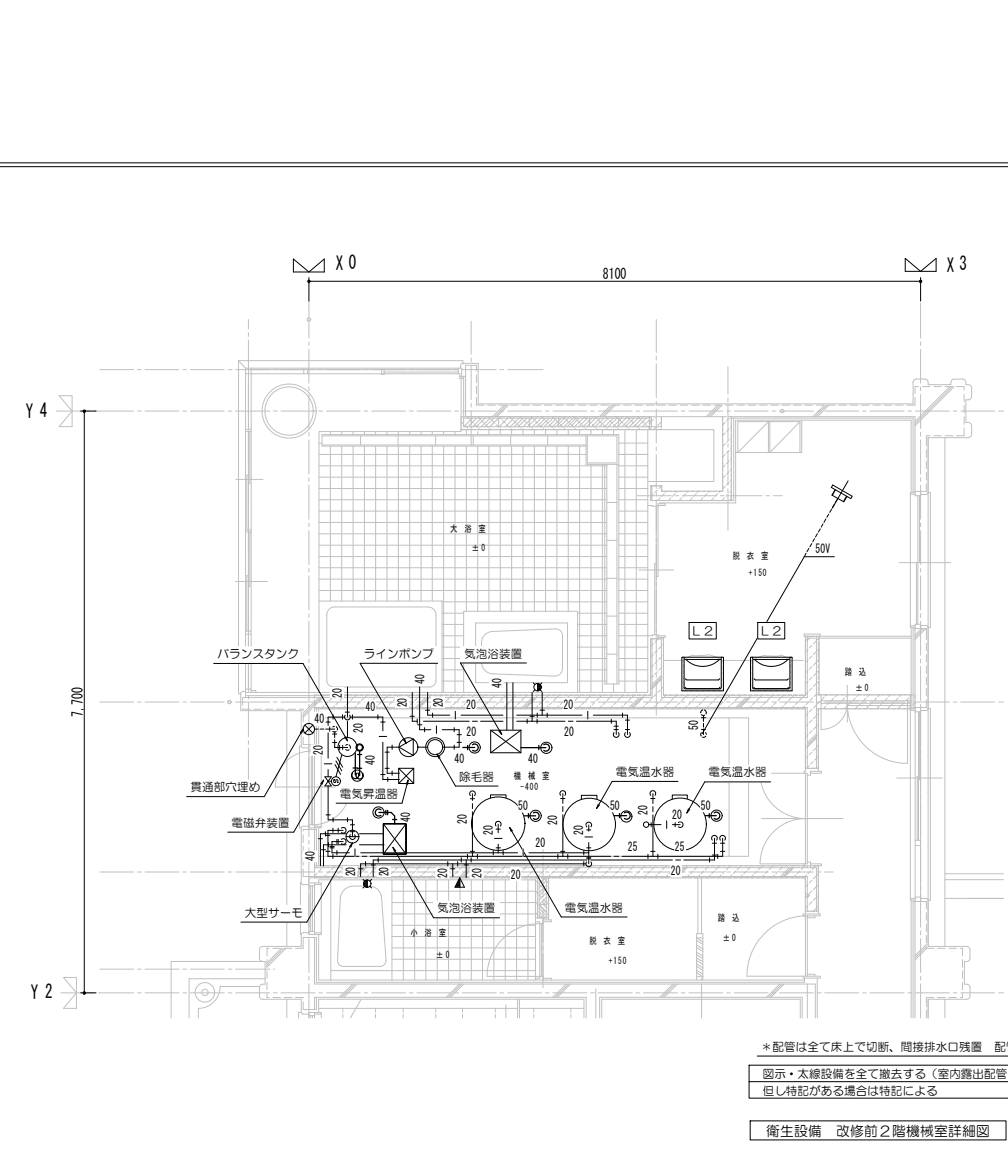
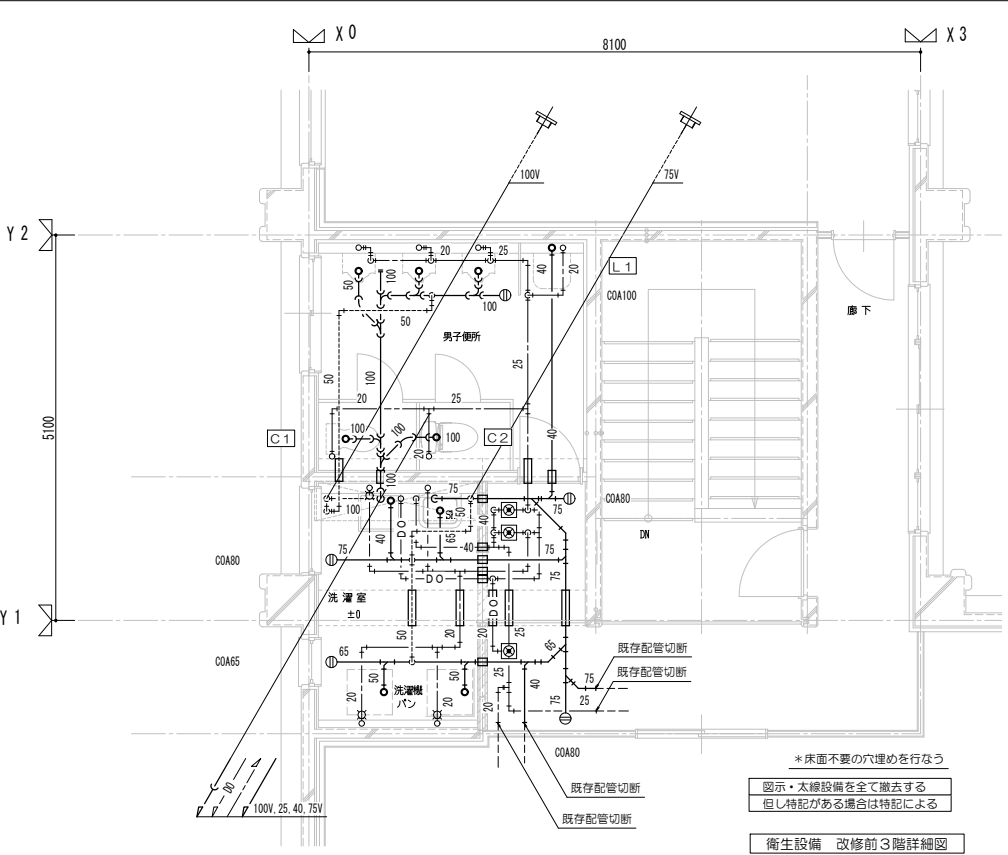
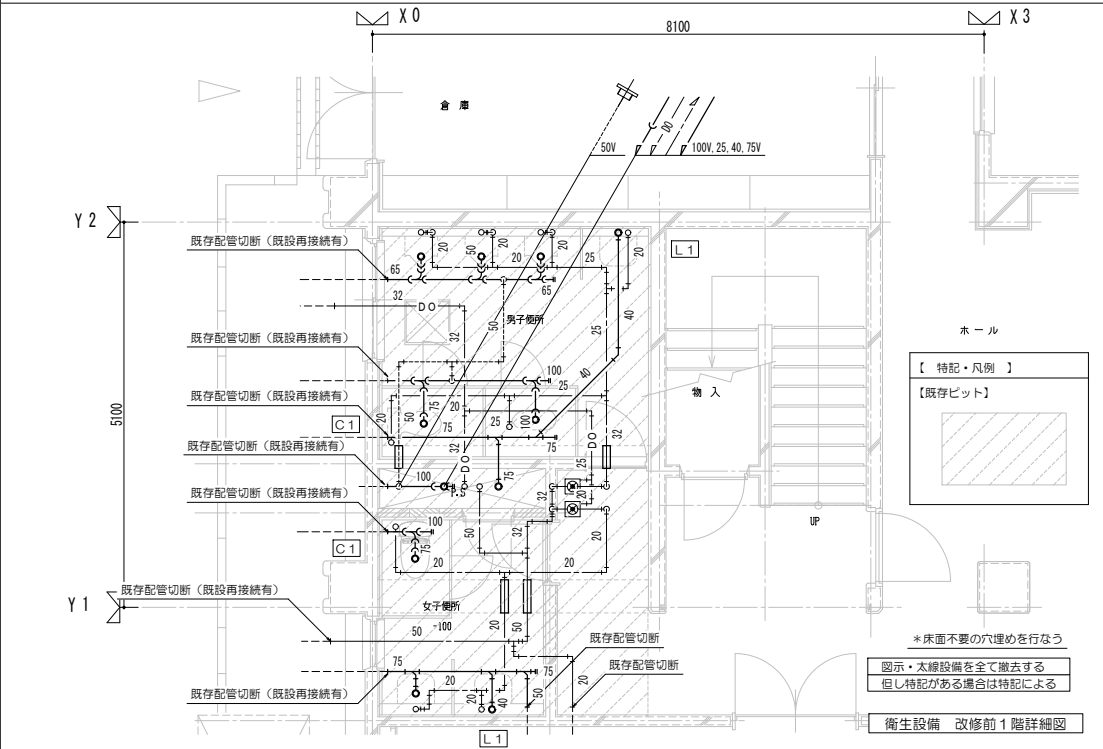
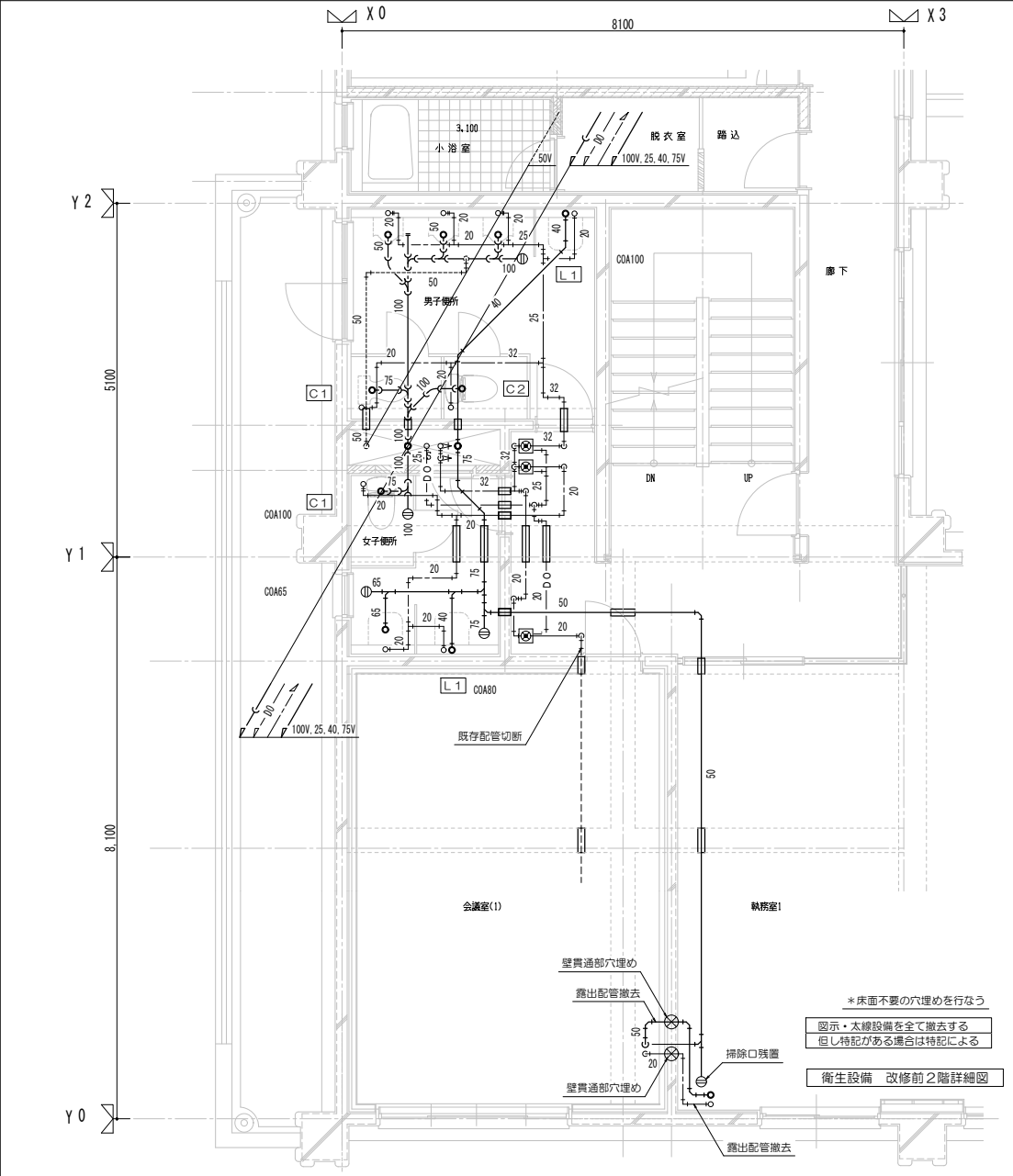
設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				空調設備 改修後平面図	A1:1/100 A3:1/200	M-05



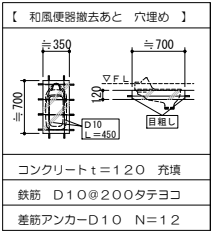
衛生 器具表																		
記号	品 名	仕 様 ・ 内 訳		電気容量	合 計	1 階												
		＜ 参考品番 ＞		100V W		男子 トイレ	給湯室 兼 洗濯室		男子 トイレ	女子 トイレ	執務室 (1)	執務室 (2)		男子 トイレ	女子 トイレ	会議室 (2)		
		T：(TOTO品番)																
		L：(LIXIL品番)																
C1	腰掛便器	T：CS232B	床置床排水大便器 洗浄：4、8L	他付属品一式共	311	10	2			2	2				2	2		
		L：BC-Z30S	便器機能：節水、抗菌、汚れ付着抑制 密結ロータンク：接続金具一式（分岐水栓共） 床給水・床排水															
			洗浄便座 貯湯式・蓋付 リモコン付 温風乾燥無し 便座機能：洗浄便座 便器洗浄 暖房便座 振音装置 脱臭 節電 抗菌															
			エコリモコン：便器洗浄リモコン、本体操作リモコン															
			棚付き2連紙巻器 ＊ワンハンドカット															
U1	小便器	T：UFS910	床置型 センサーフラッシュバルブ一体型（自動洗浄）	トラップ箱脱式 抗菌 汚れ抑制	0.5	6	2			2				2				
		L：YU-A51AP																
S1	掃除用流し	T：SK22A	バック付流し	他付属品一式共		3	1			1					1			
		L：S-202A	レバー水栓 壁止水栓 床排水：Sトラップ ゴム栓 リムカバー 取付金具															
L1	壁掛洗面器	T：L250C	壁掛角形型	他付属品一式共	600	5	1			1	1			1	1			
		L：L-176UFCR	自動水栓（サーモ）一体型壁掛電気温水器（3L） 壁止水栓 壁排水：Pトラップ ＊水石ゲン入れ無し															
			＊電気温水器湯水重量：与6、0kg 15、0kg以下により<国土交通省告示1447号>対象外	電気温水器														
M1	化粧鏡		耐食鏡 450×600	他付属品一式共		5	1			1	1			1	1			
P1	洗濯機パン		樹脂製 640口 縦引きトラップ	他付属品一式共		1		1										
EH1	電気温水器		パブリック飲料・洗い物用 25L 床置型（流し下設置） 耐震固定脚 開放式排水ホッパー	他付属品一式共	2000	4	1											
			熱湯飲料栓付混合栓（台付・シングルレバー） 給湯器機能：出湯温度調節、節電、ウィークリータイマー、自動給排水															
			湯水時質量：39、0kg（告示1447号対象・15kg以上） ＊製造者指定耐震固定脚による固定															
			<1φ200V仕様>															

衛生 機器表														
記号	品 名	仕 様 ・ 内 訳		合 計										
T1	洗濯機水栓	給気弁・緊急止水付 K-4TCP	他付属品一式共	1	1階	給湯室兼洗濯室								
BH1	階上水抜栓（ドレン付）	32×D20 800H	他付属品一式共	2	1階	男子トイレ								
		手動開閉機能付き電動開閉器 操作スイッチ ＊電気設備に支給			2階	男子トイレ								
BH2	階上水抜栓（ドレン付）	25×D20 800H	他付属品一式共	2	1階	給湯室兼洗濯室								
		手動開閉機能付き電動開閉器 操作スイッチ ＊電気設備に支給			2階	女子トイレ								
BH3	階上水抜バルブ（ドレン付）	32×D20	他付属品一式共	1	3階	男子トイレ								
		手動開閉機能付き電動開閉器 操作スイッチ ＊電気設備に支給												
BH4	階上水抜バルブ（ドレン付）	25×D20	他付属品一式共	1	3階	女子トイレ								
		手動開閉機能付き電動開閉器 操作スイッチ ＊電気設備に支給												
MT1	水抜栓	50×600H	他付属品一式共	1		屋外								
		バルブボックス：B1+VP200												

設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記		図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事 (危機管理棟)							衛生設備 平面図 器具表・機器表	A1:1/200 A3:1/400	M-06



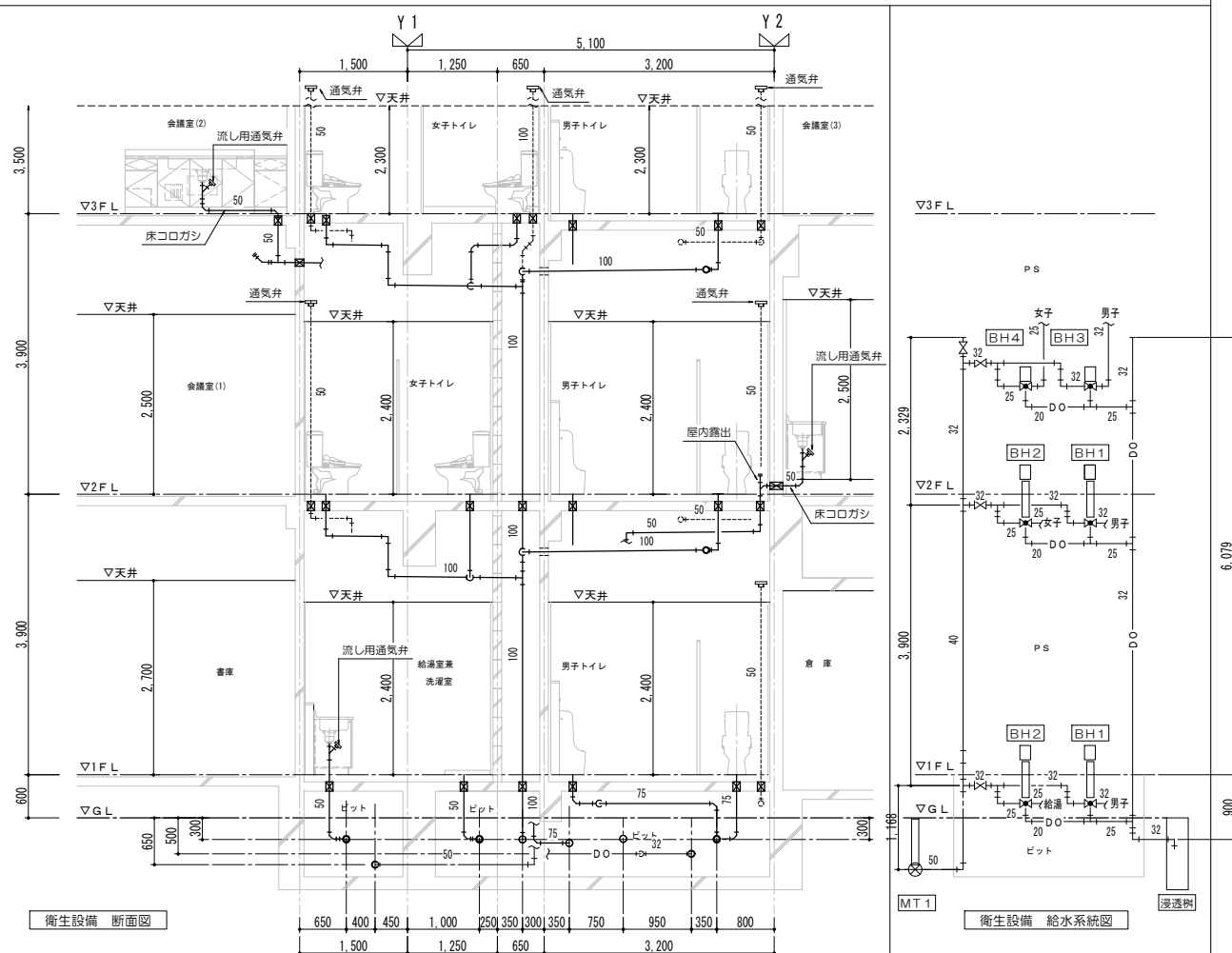
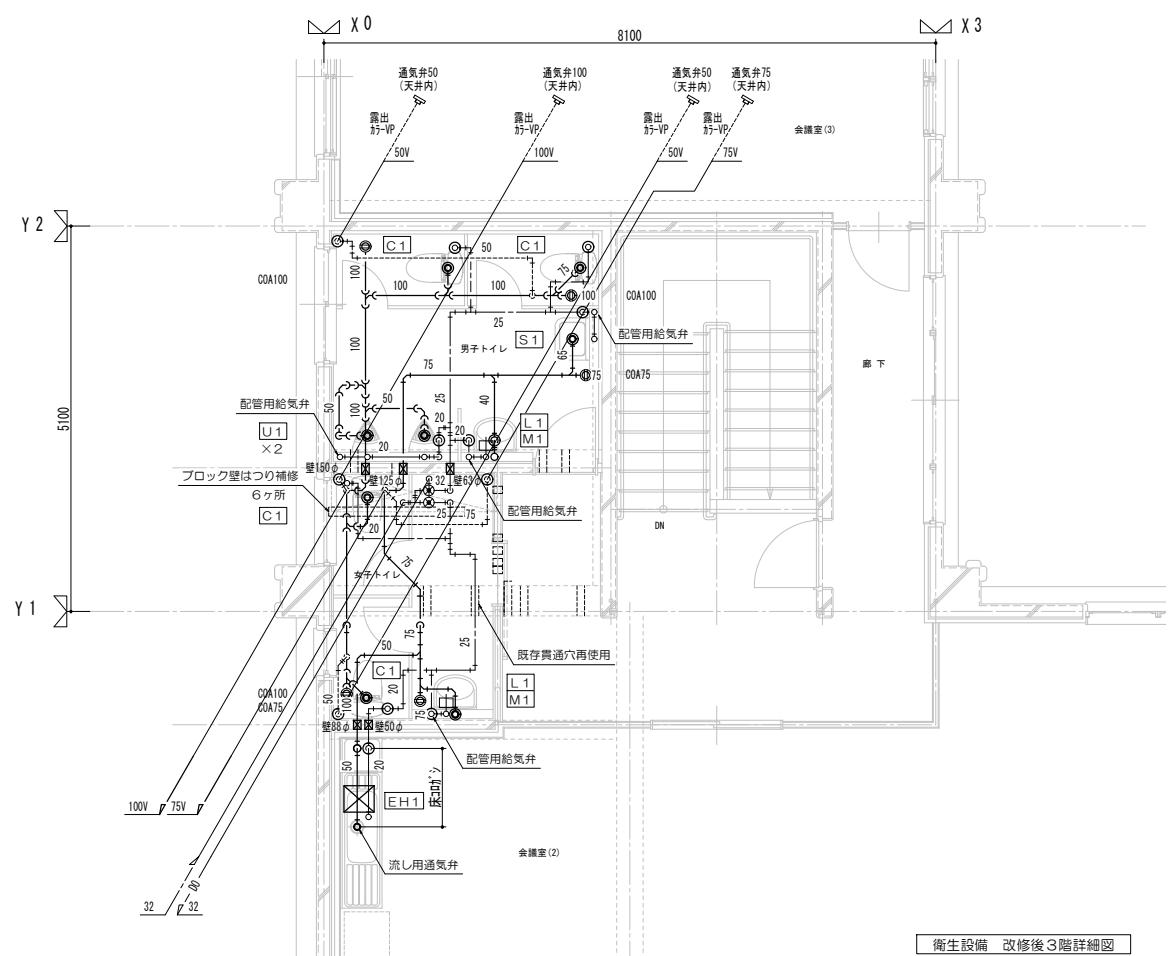
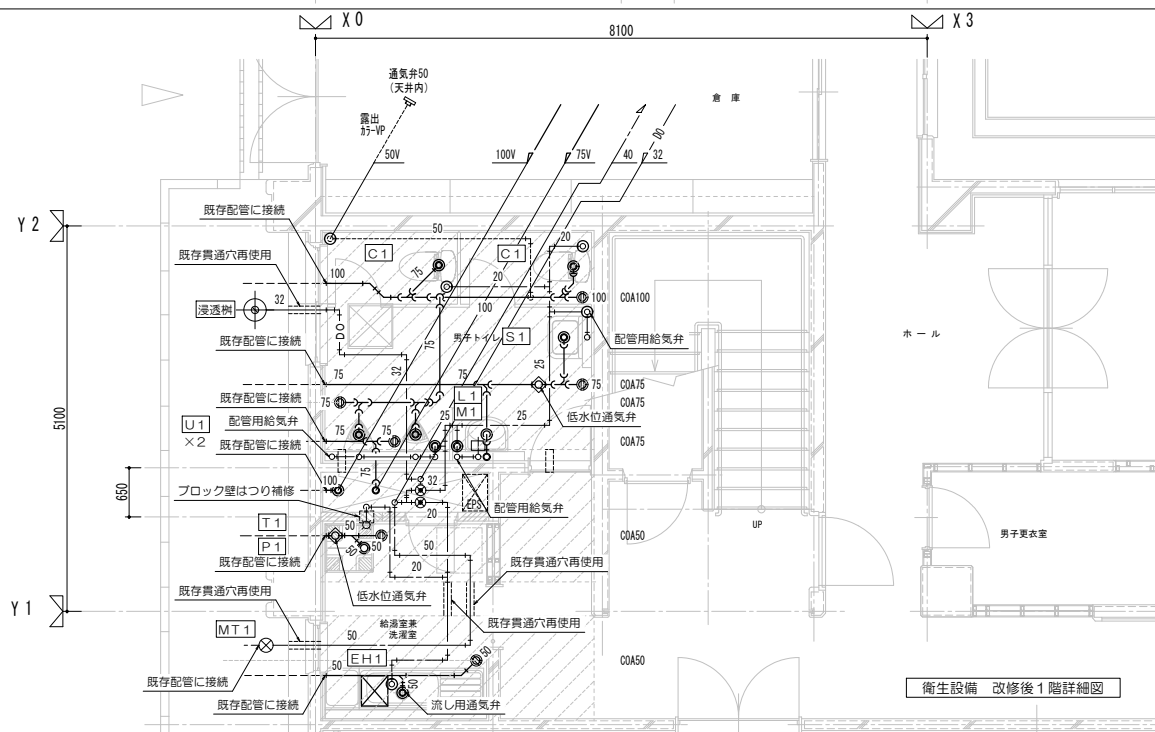
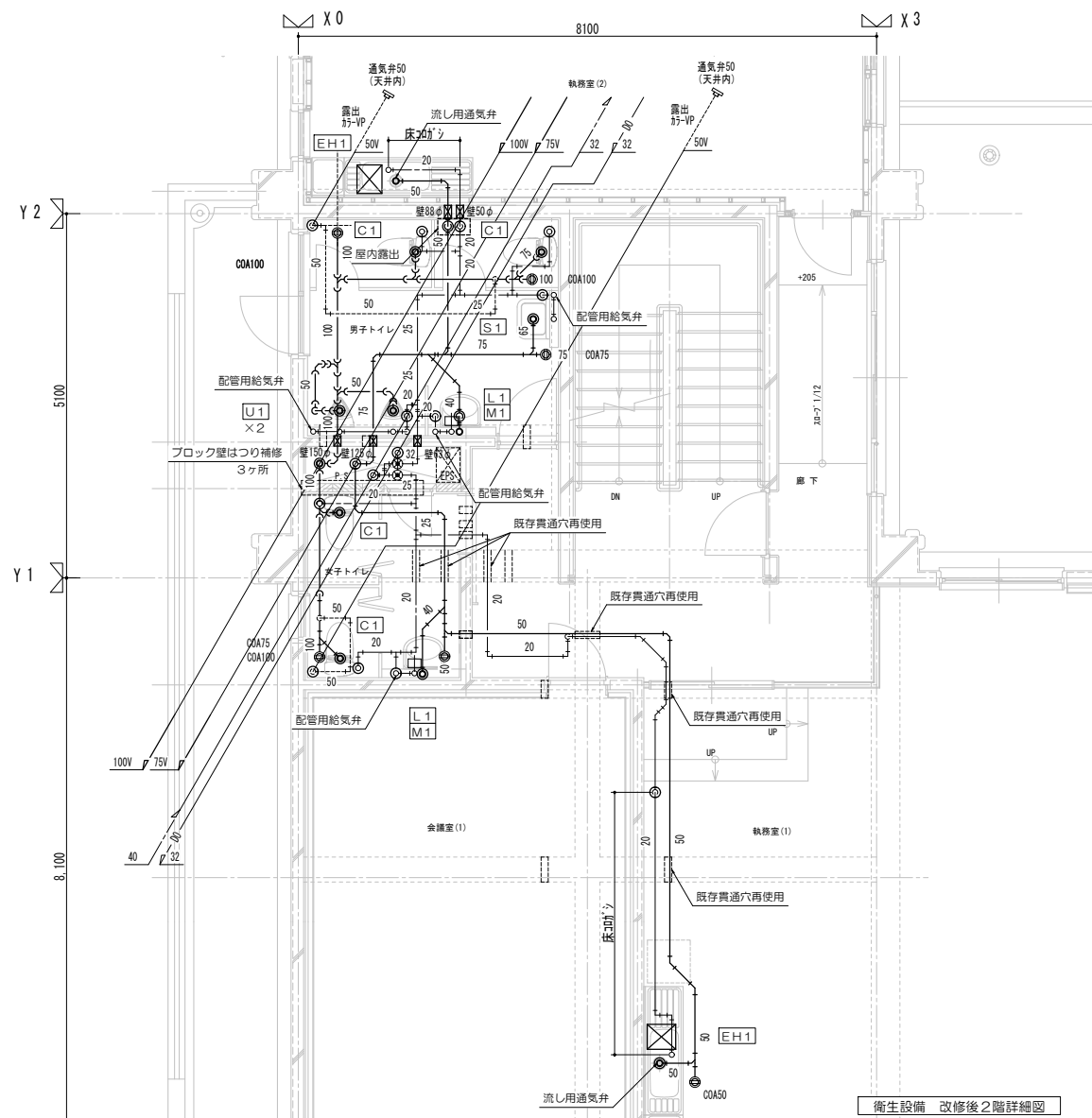
【既存器具・機器撤去】				
衛生設備	合計	1階	2階	3階
C1 洋風便器 (タンク) 経路便座	5組	2	2	1
C2 洋風便器 (タンク) 洗浄便座	2組		1	1
和風便器 (FV)	1組	1		
小便器 (FV)	9組	3	3	3
掃除用流し	3組	1	1	1
L1 洗面器 電気温水器	5組	2	2	1
手洗流し	1組			1
化粧鏡	7枚	2	4	1
混合栓	1個			
水栓	3個			3
水栓栓 FH200口共	8個	2	3	3
洗濯機パン	2個			2



【既存器具・機器撤去】		
衛生設備	合計	
L2 洗面器	2組	*脱衣室
混合栓、露出シャワー金具	3個	
電気温水器 縦型460L 8.4kw	3台	
電気昇温器 縦型 10kw	1台	
ラインポンプ 20φ 20w	1台	
除毛器 SUS・400φ	1台	
気泡浴装置 内蔵ポンプ550w	2台	
大型サーモ 露出配管型	1台	
バランスタンク SUS・200φ×1000H	1基	*水位制御電極4P共
電磁弁装置20・パイパス付 (水位制御用)	1基	*弁～電極間配線共

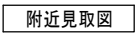
設計番号	工 事 名	機 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所k危機管理棟改修ほか工事				衛生設備 改修前詳細図	A1:1/50 A3:1/100	M-07

【 特記・凡例 】			
【既存ビット】			
			
【 衛生器具 配管径（器具口径） 】			
器具名	給水	排水	
大便器	20（15）	75（75）	
小便器	20（15）	50（50）	
掃除用流し	20（20）	65（65）	
洗面器	20（15）	40（32）	
流し・温水器	20（15）	50（50）	
【給水配管】			
ポリ粉体ライニング鋼管（PB）			
給気弁			
器具用：大便器ロータンク（V－L S同等品）			
器具用：EH1（電気温水器） 給気弁付止水栓			
配管用：図示			
＊洗濯機水栓：給気弁付			
【水抜きドレン配管】			
配管用炭素鋼々管（白）			
【排水配管】			
ビット 硬質塩化ビニル管（VP）			
インペイ1（PS、天井裏）			
耐火二層管（VP）			
インペイ2（配管バック・床コログシ）			
耐火VP（中間密付・結露防止）			
＊建築物用耐火性硬質塩化ビニル管			
通気弁			
器具用：流し用通気弁（図示）			
配管用：図示			
低水位：図示（ビット内・雑排水）			
排水接続	洗面器：40VP	防臭ゴム	
上記以外器具 直接接続			
【通気配管】			
ビット 硬質塩化ビニル管（VP）			
インペイ 硬質塩化ビニル管（VP）			
屋内露出 着色硬質塩化ビニル管（カラーVP）			
【 保温・塗装 】			
給水	ビット内	着色アルミガラスクロス	
	インペイ	アルミガラスクロス	
	屋内露出	樹脂製化粧カバー	
ドレン	ビット内	仕上げ無し	
	インペイ	鋼管（白）塗装	
排水	ビット内	保温無し	
	インペイ1	保温無し（耐火二層管）	
	インペイ2	保温無し（結露防止密付配管）	
	屋内露出	樹脂製化粧カバー	
通気	ビット内	保温無し	
	インペイ	保温無し（耐火二層管）	
	屋内露出	保温無し（カラーVP）	
【浸透例】			
既成コンクリート製300φ×1000H			
MH B300 下部砂利数0.5m3			
【 機械はつり 】			
凡例 （※）		給水ハツリ箇所	
		水抜きドレンハツリ箇所	
		排水（金物）ハツリ箇所	
		通気ハツリ箇所	
給水・ ドレン	配管径	20A	25A 32A 40A
	貫通径	50φ	63φ 63φ 63φ
	配管径	50A	
	貫通径	88φ	
排水	配管径	40V	50V 65V
	貫通径	75φ	88φ 100φ
	配管径	75V	100V
	貫通径	125φ	150φ
＊機械はつり（壁）は図示による（口径は床と同じ）			



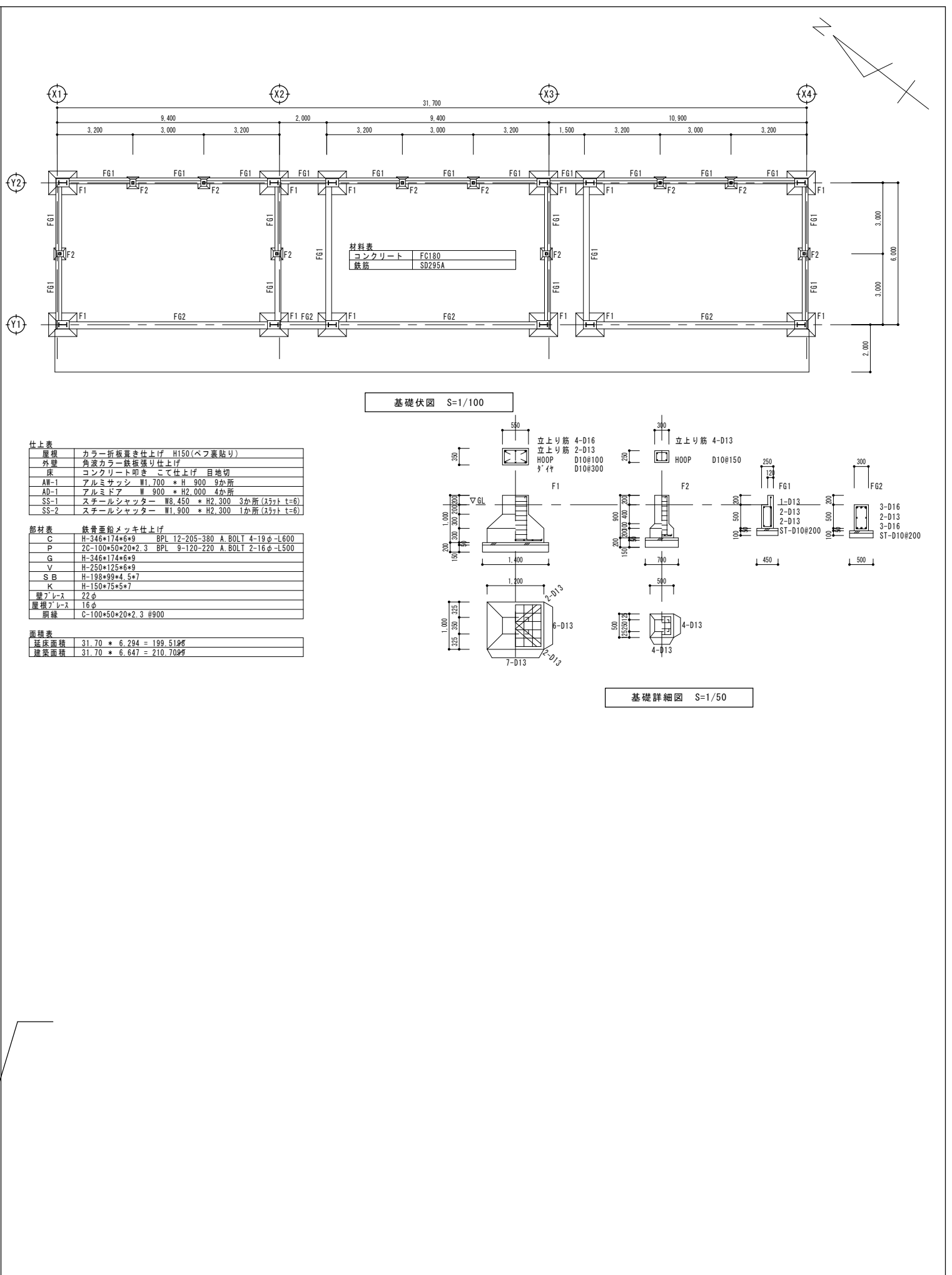
設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所車危機管理棟改修ほか工事						衛生設備 改修後詳細図	A1:1/50 A3:1/100	M-08

建築物解体工事特記仕様書		○ 施工計画書等		※ 施工計画書等、次のものを提出する。 (1) 工事総合施工計画書 一般事項、準備作業、仮設計画、解体作業計画、再生資源の利用計画、建設副産物処理計画、終結作業、安全衛生管理計画、重機進入経路及び解体撤去経路等を記載する。 (2) 仮設計画書（養生計画含む） 仮囲い、ゲート、仮設建物、仮設設備等について記載する。 廃棄落下物の防止や騒音・粉塵等の抑制のための足場、養生方法等を記載する。 在来利用建物及び在来利用配管、配線がある場合は、養生計画を添付する。 ※ 本工事に係る施工計画書の著作権の権利は、当該建物における使用に限り発注者に移譲するものとする。 解体対象建物の構造等を事前に調査、把握するとともに、事故防止に十分配慮した解体工法の選択、施工計画の作成を行うこと。 解体工事途中段階で想定外の構造、設備等が判明した際は、工事を一時的に施工計画の修正を検討する。 公衆災害を防止する観点から、工事の各段階において構造的な安定性を保つよう、工法の選択、施工計画の作成、工事の実施を適切に行うこと。 鉄骨造、鉄筋コンクリート造、プレキャストコンクリート造等の異なる構造の接合部、増設部分と従前部分の接合部等の解体については、特に接合部の強度等に十分配慮して、施工計画の作成、工事の実施を行うこと。 大規模な建築物の解体工事における事故の影響、責任、解体工事に係る技術の必要性等を十分認識し、関係法令を遵守するとともに、適切な契約、施工計画の作成、工事の実施を行うこと。 事故が発生した場合は、施工計画書に基づき速やかに報告すること。		6章 アスベスト含有建材の除去等		測定方法		7章 建築設備工事		事前処置 ○ 管接続及びダクト接続のフランジに使用していたアスベスト含有ガスケットは、適切に処分する。 ○ アスベスト含有保温材及び配管のエルボ等を使用していた成形継ぎ材にアスベストが含有されている場合は、特別管理産業廃棄物として適切に処分する。 ○ 「特定家庭用機器再商品化法」に定められた機器は、適切に処分する。 ○ 冷凍機の冷凍フロウ、ブライン液等は回収し、適切に処理する。 ○ 吸収式冷凍機の吸収液の臭化リチウムは回収し、適切に処理する。 ○ 廃油は、関係法（廃棄物処理法、消防法等）により適切に処分する。 ○ タンク類の徹底洗浄液は、適切に処理する。 ・ 洗浄・消毒を行い、洗浄水は適切に処理する。 解体工事 ○ 下記の（１）～（６）に分別解体する。 （１）配管及びダクト （２）機 器 類 （３）保 温 材 （４）浄化槽、ユニットバス（FRP） （５）衛生陶器類 （６）その他の機械設備 解体後の処理 ○ 配管材料は、管径ごとに分別収集し、再資源化に努める。 ○ 配管材料、ダクト及び機器と保温材は、分別する。 ○ 弁類の配管付属品及び配管吊り鋼材等は、再資源化に努める。 ○ ダクトの機械部品は、材質ごとに分別収集する。 ○ 金属類（亜鉛鉄板、ステンレス鋼板、鋼材及び機器の構成材）は、再資源化に努める。 ○ 冷卻機、洗浄槽及びユニットバス等の廃プラスチック類は、再資源化に努める。 ○ 鋼等に使用したコンクリート製品等は、原則として再資源化を行う。 ○ 衛生陶器類は、適切に処分する。	
I. 工事概要		○ その他		○ 事故報告等		○ 仮囲い		○ 監督員事務所 ○ 工事用水 ○ 工事用電力		○ 騒音・粉塵等の対策		○ 足場その他	
II. 解体工事仕様		○ 建設リサイクル法		○ 解体方法		○ 山留め ○ 事前解体作業		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 施工調査	
○ 適用基準等		○ 解体方法		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 地下埋設物・埋設配管	
○ 工事実績情報の登録 （工事カルテ）		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地	
○ 保険		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地	
○ 建設副産物対策等の 責任者		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地	
○ 作業主任者等		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地	
○ 施工体制		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地	
○ 事前調査と届出		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地	
○ 公害対策		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地	
○ 安全対策		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地	
○ 環境保全		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地	
○ 提出書類		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地		○ 地下埋設物・埋設配管		○ 解体後の整地	
設計番号		工 事 名		検 図		特 記		図 面 名		縮 尺		図 面 番 号	
施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事		施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事		検 図		特 記		図 面 名		縮 尺		図 面 番 号	
2020.07.13 敷地面積修正		2020.07.13 敷地面積修正		2020.07.13 敷地面積修正		2020.07.13 敷地面積修正		2020.07.13 敷地面積修正		2020.07.13 敷地面積修正		2020.07.13 敷地面積修正	
解体工事特記仕様書		解体工事特記仕様書		解体工事特記仕様書		解体工事特記仕様書		解体工事特記仕様書		解体工事特記仕様書		解体工事特記仕様書	
A1:NON A3:NON		A1:NON A3:NON		A1:NON A3:NON		A1:NON A3:NON		A1:NON A3:NON		A1:NON A3:NON		A1:NON A3:NON	
K-00-01		K-00-01		K-00-01		K-00-01		K-00-01		K-00-01		K-00-01	

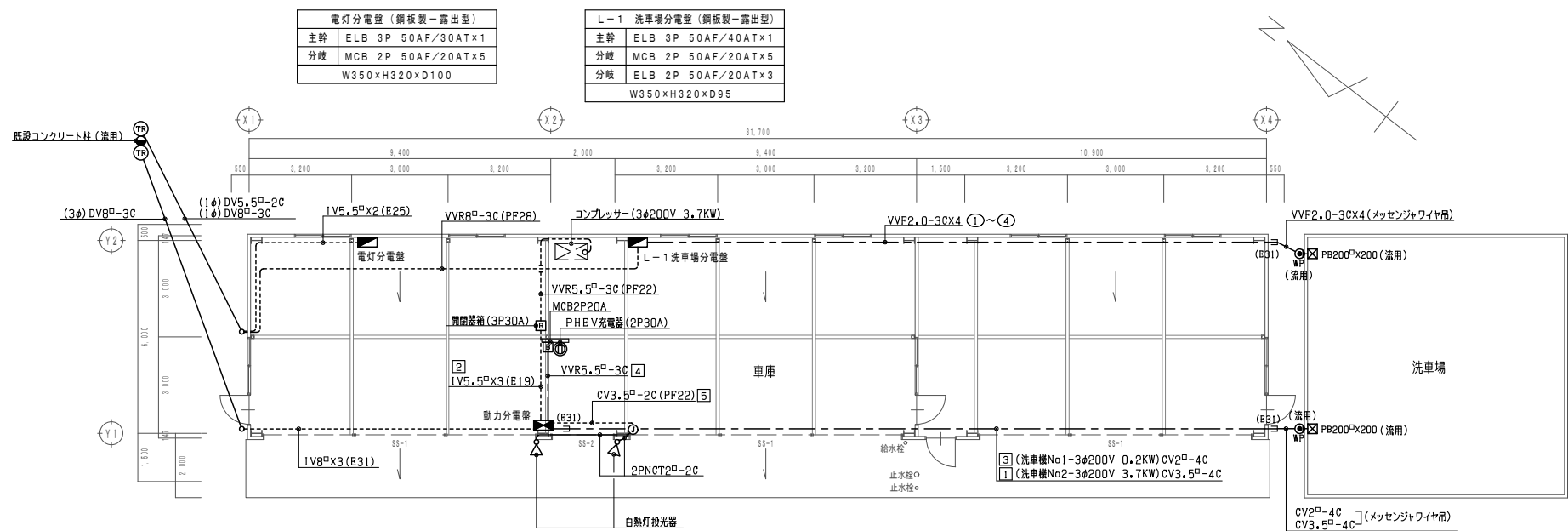


既存車庫 配置図・付近見取図 A1:図示
解体工事 A3:図示の1/2

設計番号	工 事 名			検 査	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号	
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事						既存車庫 解体工事	配置図・付近見取図	A1:図示 A3:図示の1/2	K-01



設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事								



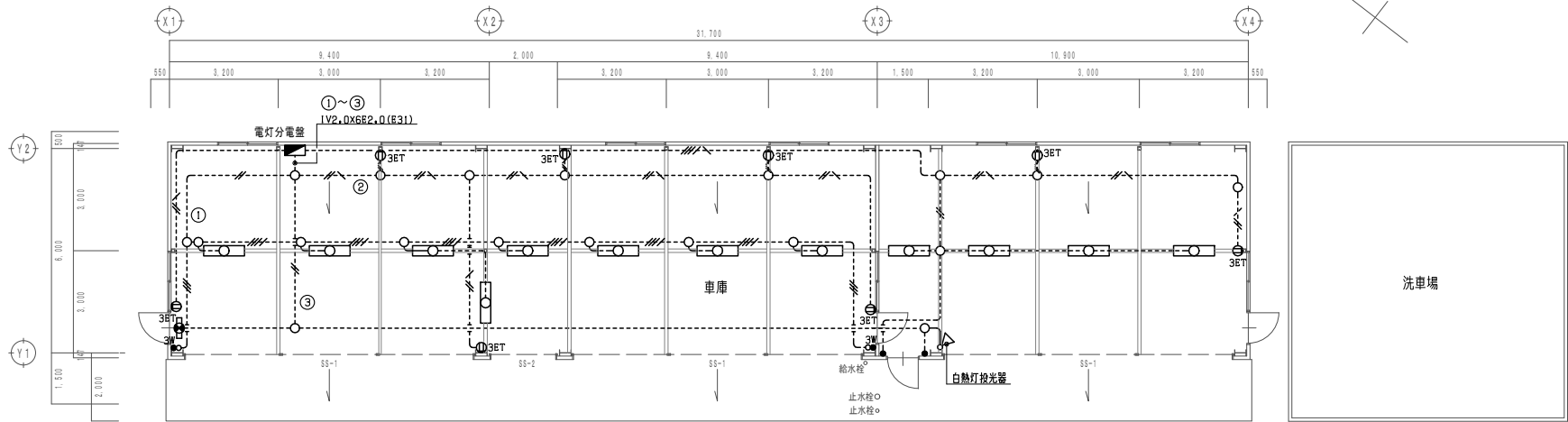
電灯分電盤 (銅板製-露出型)	
主幹	ELB 3P 50AF/30AT×1
分岐	MCB 2P 50AF/20AT×5
W350×H320×D100	

L-1 洗車場分電盤 (銅板製-露出型)	
主幹	ELB 3P 50AF/40AT×1
分岐	MCB 2P 50AF/20AT×5
分岐	ELB 2P 50AF/20AT×3
W350×H320×D95	

動力分電盤 (銅板製-露出型)	
主幹	ELB 3P 50AF/50AT×1
分岐	MCB 3P 50AF/50AT×2
分岐	MCB 3P 50AF/30AT×2
分岐	MCB 2P 50AF/20AT×1
デジタルサーモ ×1	
電磁接触器 ×1	
W450×H700×D120	

幹線・動力・電灯コンセント設備 撤去図 S=1/100

注 記	
1. 図中特記なき配管配線は、下記による。	
-----	1V1. 6×2 (E19)
-----	1V1. 6×3 (E19)
-----	1V1. 6×4 (E19)
-----	1V2. 0×2 (E19)
-----	1V2. 0×2E2. 0 (E19)
-----	1V2. 0×4E2. 0 (E25)
2. シンボルは下記による。	
●	-タンブラスイッチ (1P15A×1)
●3W	-タンブラスイッチ (3W15A×1+PL)
①3ET	-コンセント (2P15A×3+E.T)
○	-丸型露出ボックス
⊙WP	-防雨入線カバー
□	-露出型蛍光灯 (FL40W×2)
□	-露出型避難誘導灯 (FL10W×1)
3. 特記なき配管・配線・機器類は、全て撤去とする。	



電灯コンセント設備 撤去図 S=1/100

設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				幹線・動力・電灯コンセント設備 撤去図	A1:1/100 A3:1/200	KE-01

工事名

施設総合管理所危機管理棟改修ほか

工事 特記仕様書

I. 工 事 概 要

1. 工事場所 岩手県盛岡市上田字松屋敷地内

2. 敷地面積 1,569.05 m²

3. 工事規模及び工事範囲

新築 自動車庫庫 S 造 平屋建 199.70 m² 新築一式及び電気・機械設備一式

解体 自動車庫庫 (詳細は解体工事特記仕様書による)

解体・撤去一式

II. 建 築 工 事 仕 様

1. 共 通 仕 様

図面、特記仕様書及び現場説明事項に記載されていない事項は、全て国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「標仕」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

2. 特 記 仕 様

(1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記仕様書に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) G印は、「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月変更閣議決定）」に定める判断の基準を満たす物品を示す。

章 項 目

特 記 事 項

1

各章共通事項

① 適用基準

○図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。

・建築物解体工事共通仕様書（最新版） 国土交通大臣官房官庁営繕部

○本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す

・建築工事標準詳細図（最新版） 国土交通大臣官房官庁営繕部

② 工事実績情報の登録（工事カルテ）

○適用する (1.1.4)

③ 施工管理技術者

現場には下記の施工管理技術者を置く。 (1.3.2)

・監理技術者又は主任技術者：建設業法第26条による有資格者を専任又は常駐させること。

・現場技術員：適正な技術員を専任又は常駐させること。

④ 電気保安技術者

○適用する (1.3.3)

5. 施工条件

・1.3.5(a)以外の施工条件 (1.3.5)

⑥ 発生材の処理等

・引渡しを要するもの（・金属類・PCB含有物 (1.3.11)

○特別管理産業廃棄物（・廃石棉・PCB含有物 ()

有（・廃石棉・PCB含有物 ()）処理方法（・ ()

○無 ()

○現場において再利用を図るもの（・ ()

・再資源化を図るもの（・ ()

※上記以外の発生材は、可能な限り中間処理施設等において再利用・減量化等を図るものとし、処理方法等は監督員と協議する。

※現場における分別：保存材は、分別する。

・本工事で発生する建設廃棄物のうち、岩手県内の最終処分場（中間処理施設経由を含む）に搬入される産業廃棄物については、岩手県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。

⑦ 建築材料等

(a)原則として、全ての材料について監督員の承認を受ける。 (1.4.1)

(b)環境への配慮

※標仕 1.4.1 による (1.5.2)

⑧ 技能士

技術検定の職種	作業の種類
仮設工事（○とび）	○全て・
鉄筋工事（○鉄筋施工）	○全て・
コンクリート工事（○左官・型枠施工）	○全て・
鉄骨工事（○とび）	○全て・
ブロック・ALCパネル工事・PCカーテンウォール工事（・ブロック建築・ALCパネル施工・カーテンウォール施工）	・全て・
防水工事（○防水施工）	○全て・
石工事（・石材施工）	・全て・
タイル工事（・タイル張り）	・全て・
木工事（○建築大工）	○全て・
屋根・とい工事（○建築板金・かわらぶき）	○全て・
金属工事（○内装仕上げ施工（鋼製下地））	○全て・
左官工事（○左官）	○全て・
建具工事（○サッシ施工○ガラス施工）	○全て・
塗装工事（○塗装）	○全て・
内装工事（○内装仕上げ施工（床、天井仕上げ等）・表装）	○全て・
植栽工事（・造園）	・全て・

⑨ 化学物質の濃度測定

測定化学物質 (1.5.9)

○ホルムアルデヒド ○トルエン ○キシレン

○エチルベンゼン ○スチレン ○パラジクロロベンゼン

測定は「官庁営繕部における平成15年度からのホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」（平成15年4月1日付け国営建第1号、国営設第1号）により行い、厚生労働省の指針値以下であることを確認し、報告すること。

測定箇所

※監督員の指示による 図示

10. 特別な材料の工法

標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。

⑪ 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

⑬ 完成図

⑭ 工事・完成写真

⑮ 設備工事との取合い

⑯ 経年検査

2 仮設工事

① 監督員事務所

2. 監督員事務所の備品等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 足場等

3 土留め

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3. 山留め

④ 騒音振動の防止

4 地業工事

① 床下防湿層

② 床下防湿層

③ 床下防湿層

④ 床下防湿層

5 鉄筋工事

① 鉄筋の位置

② 鉄筋の定着

③ 鉄筋のかぶり厚

① 提出書類

1-2 一般共通事項

⑫ 施工図及び施工計画書

16-3

建具工事

17-2

カーテンウォール工事

17-3

ガラスブロック

17

カーテンウォール工事

設計番号

工事名

施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事

検図

担当

特記

図面名

新築工事

特記仕様書 4

縮尺

—

図面番号

A-01-04

熱線吸収板ガラス (16.14.2)

品 種	性 能	色 調
・熱線吸収フロート板ガラス	・1種	・ブルー ・グレー ブロonz
・熱線吸収納入磨き板ガラス	・2種	

・複層ガラス 板ガラスの種類及び厚さの組合せ、複層ガラスの厚さは建築家による (16.14.2)

品 類	断熱性の区分	日射取得性・透へ性による区分	乾燥気体の種類
・断熱複層ガラス	・T1 ・T3 ・T5 ・T2 ・T4 ・T6	・G ・S	・空気 ・アルゴン
・日射熱遮へい複層ガラス	・T1 ・T3 ・T5 ・T2 ・T4 ・T6	・G ・S	○空気 ・アルゴン

・熱線反射ガラス (16.14.2)

品 種	日射遮へい性	耐久性による区分	色 調
・熱線反射ガラス	・1種	A種	・ブルー
・高性能熱線反射ガラス	・2種	・A種 ・B種	・グレー
	・3種		・ブロンズ ・シルバー

反射被覆面 ・内面 ・外面 (16.14.4)

映像調整 ・行わない ・行う

・倍強度ガラス (16.14.2)

材料板ガラスによる種類の名称	厚さ	色 調
・フロート倍強度板ガラス	※図示	――
・熱線吸収倍強度板ガラス	※図示	・グレー ・ブルー ブロonz

ガラス留め材、溝の大きさ (16.14.2) (16.14.3)

建具の種類	ガラスの留め材	ガラス溝の大きさ (mm)
アルミニウム製	○シーリング材 ○ガasket ・グレイジングチャンネル形	・図示 ○建具製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽重	○シーリング材	・図示 ○建具製造所の仕様による
ステンレス製	・シーリング材	・図示 ・建具製造所の仕様による
樹脂製	○シーリング材 ○ガasket ・グレイジングチャンネル形	・図示 ○建具製造所の仕様による

17. ガラスブロック (16.14.5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色 調	目地幅 (mm)	防火性能
正方形	・125×125	・80	クリア 乳白 その他	平積み 外側 ※15以下	※無し ・有り
	・160×160	・95	・ - ・ - ・図示	※8~15	
	・200×200	・95	・ - ・ - ・図示	・15~25	
	・320×320	・95	・ - ・ - ・図示	内側 ※6以上	
長方形	・250×125	・80	・ - ・ - ・図示		
	・320×160	・95	・ - ・ - ・図示		

壁用金属枠及び補強材 ・設ける (形状 ※図示 ・ 設けない)

カ骨 材質 ※ステンレス製 (SUS304)
寸法 ※径5.5mm
形状 ※はしご形状複筋及び単筋

化粧目地モルタルの色 ()

シーリング材の種類 (・シリコーン系 ・)

金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
寸法 ※図示 形状 ※図示

木下地の金属枠の取付け間隔 ※図示

建築基準法に基づく風圧力に対応した工法
※適用する (建築基準法による風圧力の (・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法)

伸縮目地 ※6m以下ごとくに幅10~25mm ・図示

目地部のカ骨の補強方法 ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示

2. メタルカーテンウォール

3. PCカーテンウォール

18

塗装工事

①材 料 (18.1.3)

②素地ごしらえ (18.2.2~7)

③禁止め塗料塗り (18.3.2~3)

④塗 料 (18.4.1~18.13.2)

⑤塗装業者 (19.2.2~19.7.2)

①接着剤 (19.2.2~19.7.2)

2. ビニル床シート [G] (19.2.2~3)

種類の記号 色柄 厚さ (mm) 特殊機能 備考

※FS ・	・無地 ○マーブル柄 ・柄物	※2.0 ・	○帯電防止 (種類: 性能:) ・耐動荷重性 (種類:) ○防汚性 (種類:)	
----------	----------------------	-----------	--	--

目地処理する場合の工法 ※熱溶接工法 ・

特殊機能
帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満
又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10⁷~1×10¹⁰Ω程度 (19.2.2)

JIS記号 色柄 厚さ (mm) 寸 (mm)法 特殊機能 備考

※KT ・IT ・FT ・FOL ・FOB	・無地 ・柄物	※ 2.0 ・2.5 ・3.0	・300角 ・450角 ・500角	・帯電防止 (種類: 性能:) ・防汚性 (種類:)	
-----------------------------------	------------	-----------------------	-------------------------	---------------------------------	--

・視覚障害者用床タイル (種類: 形状:) (19.2.2)
・耐動荷重性床シート・床タイル (種類: 厚さ (mm): 性能:)
・防汚性床シート・床タイル (種類: 寸法 (mm): 厚さ:)
特殊機能 ・帯電防止: 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満
又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10⁷~1×10¹⁰Ω程度

19

内装工事

⑩断熱材 [G] (19.8.2)

断熱材打込み工法 (19.9.2)

種 類	厚 さ (mm)	施 工 箇 所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキム層なし)	・25・30 ・50	・接合部分 ・地中梁、357°下断熱補強部
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・
・フェノールフォーム断熱材	・	・

現場発泡断熱材 (19.9.3)

断熱材の種類	※A種1又はA種1H 厚さ (mm)	・25・30 ・
施工箇所	※図示	
品質・性能	・難燃性 () ・発熱性 ()	

4. ビニル幅木

5. ゴム床タイル

6. カーペット敷き [G]

材質 ○軟質 ・硬質 (19.2.2)
高さ (mm) : (※60 ○75 ・100) 厚さ (mm) : (※1.5以上)

種 類	厚 さ (mm)	寸 法 (mm)	色 柄
・	・3.0・4.5・6.0・9.0	・	・

下地が3kg/㎡系、木質系以外の場合の接着剤 ・製造所の仕様による

織じゅうたん (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.1)

パイル形状	織 り 方	色柄	帯 電 性	参考品番
・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用	・ウィルトン ・ダブルウェス ・アキスミンスター	・無地 ・柄物 (標準品)	・適用する (性能) ※人体 耐電圧3KV以下 ・適用しない	

無地の織りじゅうたんの種別 ・A種 ・B種 ・C種
下敷き ※反毛フェルト (JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm

タフテッドカーベット (19.3.3) (19.3.4) (表19.3.2)

パイル形状	パイル長さ (mm)	工 法	帯 電 性	参考品番
・カットパイル ・ループパイル ・レベルループパイル ・カット、ループ併用	・※5~7 ・※4~6 ・※4 ・	※ 全面接着 工 法 ・「グリップ」工 法	・適用する ・適用しない	

下敷き材 (グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト (JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ 8mm

ニードルパンチカーベット (19.3.2)

厚 さ (mm)	帯 電 性	参考品番
・	・適用する ・適用しない	

タイルカーベット (19.3.2)

パイル形状	種 別	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	参考品番
※ループパイル	・第一種 ・第二種	※500×500 ・	※ 6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種	※500×500 ・	※ 6.5 ・	
・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種	※500×500 ・	※ 6.5 ・	

タイルカーベットの敷き方 (19.3.3)

平 場 ※市松敷き ・模様流し
階段部分 ※模様流し ・市松敷き

見切り、押え金物 材質 ()
種類 ()
形状等 ※図示

7. 合成樹脂塗床 (19.4.2)

塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (19.4.2) (19.4.3) (表19.4.1~8)

種 別	施工箇所	工 法	仕 上 げ の 種 類
・厚膜型塗床材 ・弾性ウレタン樹脂系塗床		/	※平滑仕上 ・防汚仕上 ・つや消し仕上
・厚膜型塗床材 ・エポキシ樹脂系塗床			・平滑仕上 ・防汚仕上
・薄膜型塗床材		・薄膜流し覆べ工法 ・厚膜流し覆べ工法 ・樹脂モルタル工法	※平滑仕上

8. フロロリング (19.5.2) (19.5.4) (19.5.5)

フロロリングの種別 (19.5.2~19.5.6) (表19.5.1~6)

○単層フロロリング [G]

種 類	工 法	樹 種	厚さ (mm)	大きさ (mm)	仕上塗装	関係材料等の適用
○フロロリングボード1等	・釘留め工法 (根太張り) ○釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら ・ ※なら ・	・15 ・12以上 ・15	幅 75 長さ400以上 幅 75 長さ400以上	○塗装品 ・無塗装品	・ ・
・フロロリングブロック1等	・接着工法 ・モルタル埋込み工法	※なら ・	・15 ・	303×303 ※303×303 ・	・塗装品 ・無塗装品 ・無塗装品	・ ・

・複合フロロリング [G]

種 類	工 法	樹 種	種 別	仕上塗装	厚さ・大きさ (mm)	関係材料等の適用
・天然木化粧複合フロロリング	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら ・ ※なら ・	・A種 ・B種 ・C種	・塗装品 ・無塗装品	厚さ・12以上 長さ400以上 長さ900以上 長さ900以上	・ ・ ・

接着工法の場合の経街材 ※合成樹脂発泡シート

現場塗装仕上 ・行う (施工箇所:)
塗装の種類: ※ウレタン樹脂ワニス ・オイルステインの上ワックス塗り
・生地そのままワックス塗り
○行わない

9. 畳敷き (19.6.2) (表19.6.1)

19-2	内装工事	⑩断熱材 [G] (19.8.2)	断熱材打込み工法 (19.9.2)	種 類	厚 さ (mm)	施 工 箇 所
				・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・
				・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキム層なし)	・25・30 ・50	・接合部分 ・地中梁、357°下断熱補強部
				・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・
				・フェノールフォーム断熱材	・	・
				現場発泡断熱材 (19.9.3)		
				断熱材の種類	※A種1又はA種1H 厚さ (mm)	・25・30 ・
				施工箇所	※図示	
				品質・性能	・難燃性 () ・発熱性 ()	

19-3

内装工事

⑪壁紙張り

断熱材 [G] (19.8.2)

断熱材打込み工法 (19.9.2)

種 類	厚 さ (mm)	施 工 箇 所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキム層なし)	・25・30 ・50	・接合部分 ・地中梁、357°下断熱補強部
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・
・フェノールフォーム断熱材	・	・

現場発泡断熱材 (19.9.3)

断熱材の種類	※A種1又はA種1H 厚さ (mm)	・25・30 ・
施工箇所	※図示	
品質・性能	・難燃性 () ・発熱性 ()	

[illegible]

22-2

舗装工事

8. 砂利敷き

路面標示用塗料

・舗石舗装

(22.8.4)

種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層	基層の厚さ (mm)
・花崗岩	・割石	・	・うるご張り	・コンクリート版	※70
・	・図示	・	・	・7x7x7t選合物	※50

クッション材 ※砂 ・空鋪りモルタル
仕上りの平たん性 ※歩行に支障のないものとし、舗石間の段差3mm以内とする

(22.9.2)

種別 ・A種（施工範囲：・図示 ・通路 ・）
・B種（施工範囲：・図示 ・建物周囲地 ・）

路面標示用塗料はJIS K 5665による。

種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)
※3種1号	溶解	粉体状	・白	・150	・1.0
・1種	常温	液状	・	・100	・
・2種	加熱	・	・	・	・

低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

23

植栽工事

1. 植栽地の確認等

2. 植栽基盤の整備

3. 植込み用土

4. 土壌改良材

5. 植樹

6. 芝、吹付けは種地被類

7. 屋上緑化

土壌の水素イオン濃度指標（pH）試験 ・行う ・行わない

(23.1.3)

電気伝導度（EC）の試験 ・行う ・行わない

(23.2.2～4)

植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材
・樹木	※ A 種	樹高12m以上 (※100 ・) 樹高7m以上～12m未満 (※80 ・) 樹高3m以上～7m未満 (※60 ・) 樹高3m未満 (※50 ・)	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない
・芝、地被類	※ B 種	※ 20	・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備 ・設ける（※図示 ・）
・設けない

・現場発生土の良質土 ・客土

(23.2.3)

・バーク堆肥

(23.2.3)

施工箇所 ※植栽範囲 ・図示
使用量 植栽基盤面積 1㎡あたり（・50L ・）

汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）

施工箇所 ※植栽範囲 ・図示
使用量 植栽基盤面積 1㎡あたり（・10L ・）
材料 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合した原料を使用したもので、食害試験の調査の結果、害が認められないものとする。

・樹木 樹種、寸法、株立数等 ※図示 ・

(23.3.2～3)

・支柱 支柱材 ※丸太（間伐材） ・真竹 ・
防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 ・
形式 図示 ・

・幹巻き用材料
材料 ※幹巻き用テープ ・わら、こも

・新植、移植樹木、芝等の枯保証

(23.3.4～6) (23.4.7)

新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯保証の期間
※引渡の日から1年 ・無し ・
移植樹木の枯損処置を行う機関
※引渡の日から1年 ・無し ・

・芝 種類 ※コウライシバ ・ノシバ ・

(23.4.2～3)

芝張りの工法 （平地）※目地張り ・べた張り
（法面）・目地張り ※べた張り

・吹付けは種

(23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量 (g/㎡)	備考
※洋芝類（採取後2年以内）	※発芽率80%以上		
・	・		

・地被類

(23.4.2)

樹種	径	単位面積当たりの株数	芽立数
・	・	・	・
・	・	・	・

植栽基盤及び材料

(23.5.2～4)

・屋上緑化システム
土壌層の厚さ ・図示 ・
排水層 ・軽量骨材（層の厚さ： ・）
・板状成形品

植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土

樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等
※図示 ・

見切り材、舗装材、排水孔、マルテング材等
※図示 ・

(品質・性能)

項目	性能
透水フィルター	材質は、合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるもの。透水性能は、その透の数値が直前の透の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できる事。
透水、排水層等構成材の主要材料	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。（保水層を有する場合は、保水層共）
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。
排水層の鉛直方向の排水性能	240 L/㎡/h 以上

23-2

植栽工事

・屋上緑化軽量システム
樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等
※図示 ・

見切り材、舗装材、排水孔、マルテング材等
※図示 ・

(品質・性能)

項目	性能
透水、排水層等構成材の主要材料	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。（保水層を有する場合は、保水層共）
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植込み用土を流出させない構造であること。
排水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生ずることがなく、植込み用土を流出させない構造であること。
排水層の鉛直方向の排水性能	240 L/㎡/h 以上
耐荷重性能	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。3×10 ⁴ N/㎡の載荷重で破壊・有害なひずみなど異常がないこと。（保水層を有する場合は保水層共）
耐根層	重ね合せ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。但し、耐根層がこれと同等の性能を有すると認められる場合は省略することができるものとする。

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1.0 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法とする。
支柱 ・設置する（形式 ・図示 ・）
かん水装置 ・設置する（種類 ・ ・）

設計番号

工事名

施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事

検図

担当

特記

図面名

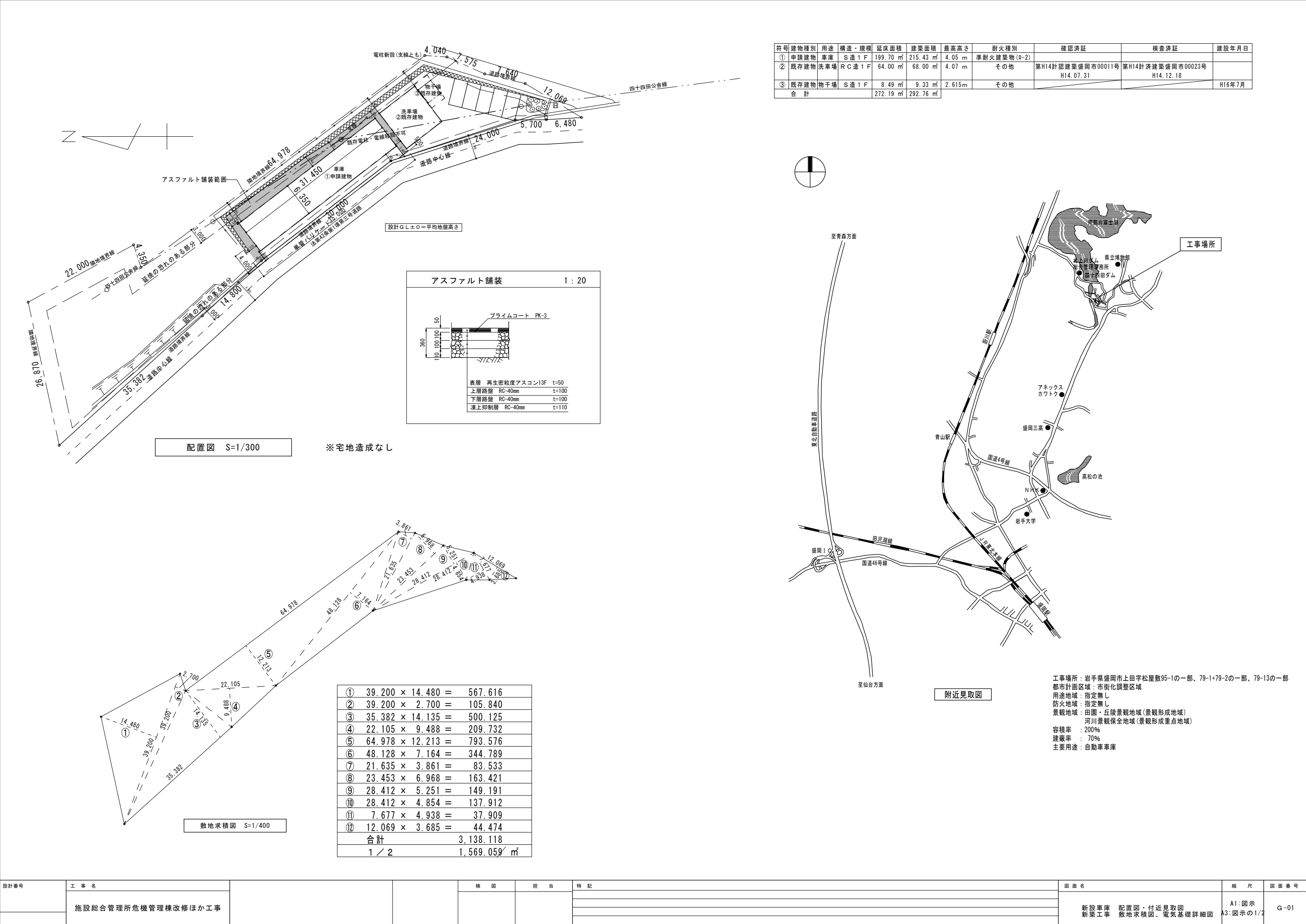
新築工事

特記仕様書 6

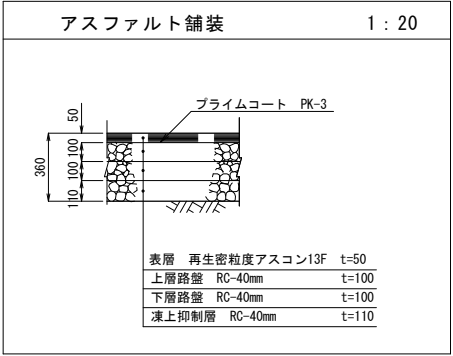
縮尺

図面番号

G-00-06



符号	建物種別	用途	構造・規模	延床面積	建築面積	最高高さ	耐火種別	確認済証	検査済証	建設年月日
①	申請建物	車庫	S造1F	199.70㎡	215.43㎡	4.05m	準耐火建築物(Ⅱ-2)			
②	既存建物	洗車場	R C造1F	64.00㎡	68.00㎡	4.07m	その他	第H14計認建築盛岡市00011号	第H14計済建築盛岡市00023号	
③	既存建物	物干場	S造1F	8.49㎡	9.33㎡	2.615m	その他	H14.07.31	H14.12.18	
合 計				272.19㎡	292.76㎡					H16年7月

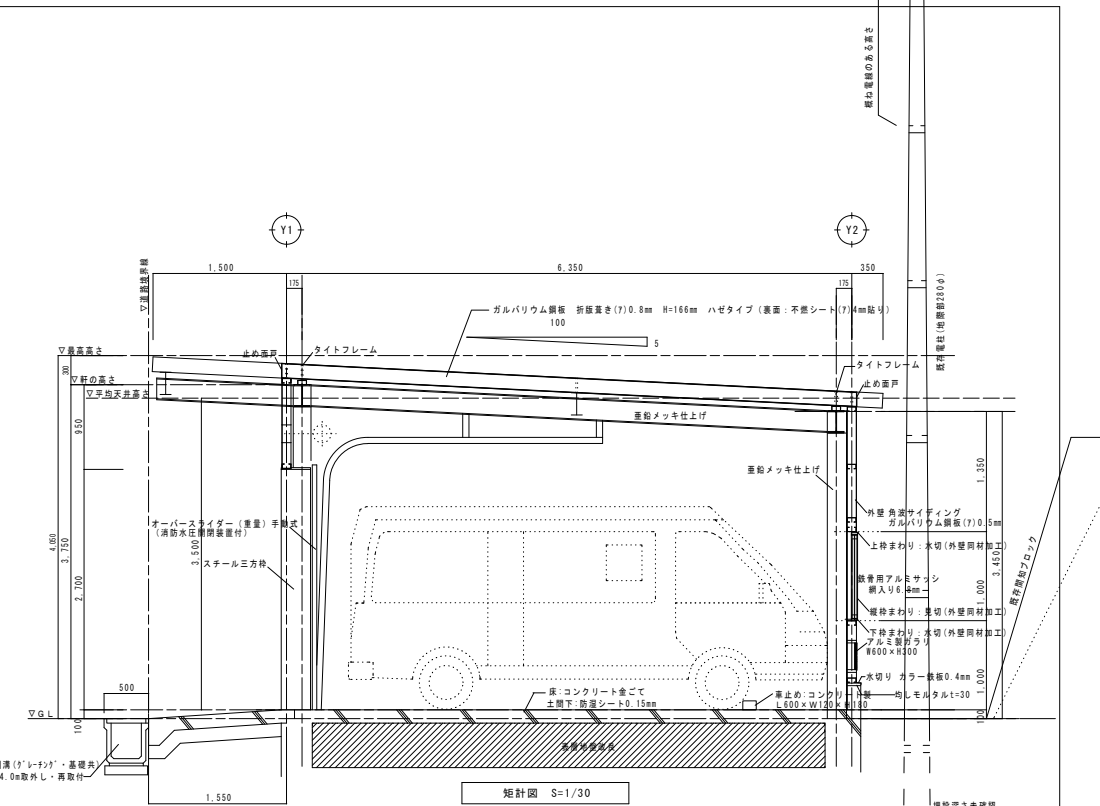
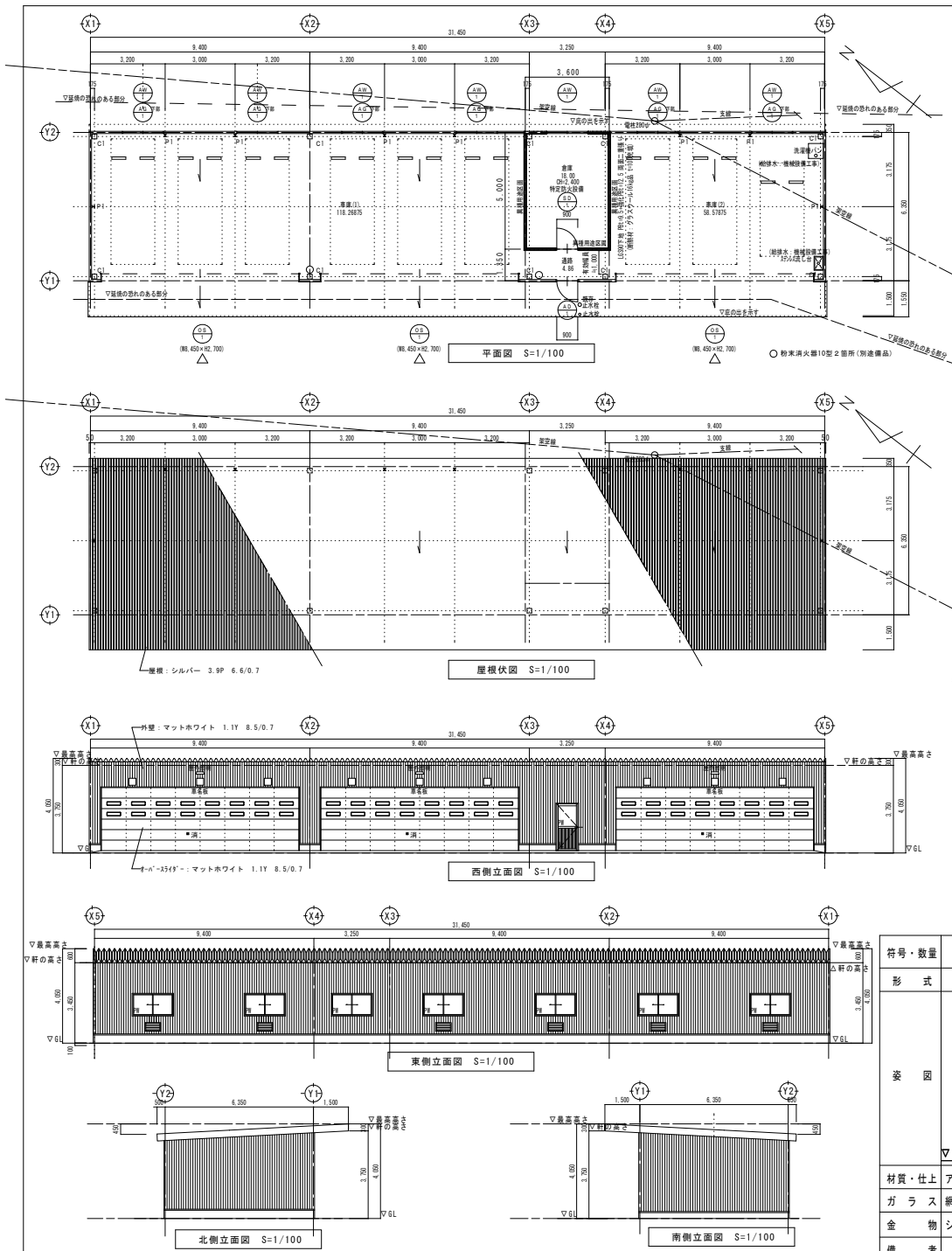


附近見取図

工事場所：岩手県盛岡市上田字松屋敷95-1の一部、79-1+79-2の一部、79-13の一部
都市計画区域：市街化調整区域
用途地域：指定無し
防火地域：指定無し
景観地域：田園・丘陵景観地域(景観形成地域)
河川景観保全地域(景観形成重点地域)
容積率：200%
建蔽率：70%
主要用途：自動車車庫

①	39.200 × 14.480	=	567.616
②	39.200 × 2.700	=	105.840
③	35.382 × 14.135	=	500.125
④	22.105 × 9.488	=	209.732
⑤	64.978 × 12.213	=	793.576
⑥	48.128 × 7.164	=	344.789
⑦	21.635 × 3.861	=	83.533
⑧	23.453 × 6.968	=	163.421
⑨	28.412 × 5.251	=	149.191
⑩	28.412 × 4.854	=	137.912
⑪	7.677 × 4.938	=	37.909
⑫	12.069 × 3.685	=	44.474
合計			3,138.118
1 / 2			1,569.059㎡

設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				新設車庫 配置図・付近見取図 新築工事 敷地求積図、電気基礎詳細図	A1:図示 A3:図示の1/2	G-01



仕上表(車庫150㎡以上の為、通防火建築物とする(ロ-2)、柱・梁:不燃材料、屋根:不燃材料、外壁:準不燃材料(延焼部分は防火構造・今回なし)、異種用途区分(60分準耐火)有り)			
屋根	ガルバリウム鋼板 折板葺きt=0.8 H166ハゼタイプ (屋内裏面:不燃シートt=4mm貼リ(NM-4617-1))	天井	屋根材現し 倉庫:化粧石膏ボード t=9.5張り(0W充填)
外壁	鉄骨同縁+PB12.5t+PB9.5t+透湿防水シート+角波サイディング 8Aハタイプ鋼板t=0.5(NM-86)防火構造[PC0308E-008]	壁	外壁材現し 倉庫:化粧石膏ボード t=9.5+12.5(強化) 両面二重張り(R)告示195号) 倉庫外壁面:鋼板下地、石膏ハタイプt=9.5+12.5 倉庫壁仕上げ:E.P.塗装(壁内はとも0W充填)
基礎・柱	コンクリート打放補修(8種)仕上	巾木	外周部:コンクリート打放補修(8種)仕上
AW-1	アルミサッシ W1,700 * H 900 7か所	倉庫間仕切壁下部	コンクリート打放補修(8種)仕上
AD-1	アルミドア W 900 * H2,000 2か所	床	コンクリート金ゴテ仕上げ 目地切(建物前部とも)
OS-1	オーバースライダー(重量) W8,450 * H2,700 3か所 手動式(消防水圧閉鎖装置付)	備考	7kハタイプ W600 * H 300 6か所 天井点検口:7kハ製450角 1箇所 入替式車名板:アクリル板300角 t=5(外壁面) 9箇所 車止め:コンクリート製 L600×W120×H180 建物周囲 アスファルト舗装 縁縁:スプルス UC 断熱材(天井、控室壁(四周)):グラスウール16kg品 t=100充填
面積表			
延床面積	31.45 * 6.35 = 199.2075		
建築面積	31.45 * 6.85 = 215.4325		

建具表 S=1/50

符号・数量	1ヶ所	1ヶ所	7ヶ所	3ヶ所
形 式	アルミサッシ片開戸	スチール製片開戸	アルミサッシ引違い窓	オーバースライダー
要 図				
材質・仕上	アルミ製サッシ ステンカラー	スチール製ドア t1.5mm以上 SOP塗装外付アルミ製サッシ ステンカラー	アルミサッシ	オーバースライダー (重量) 手動式アルミパネル (消防水圧閉鎖装置付)
ガラス	網入りガラス t=6.8mm	—	網入りガラス t=6.8mm	明かり窓 網入りガラス t=6.8mm
金 物	シリンダー錠 付属金物一式	シリンダー錠 付属金物一式 ドアチェック (自動閉鎖)	クレセント 付属金物一式	付属金物一式
備 考	告示第1360号、1369号を満たす 告示第2563号、2564号を満たす	アンクル一体枠 網戸	三方枠スチール製1.6mm SOP塗装	

設計番号	工 事 名	棟 名	用 途	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				新設車庫 平面図・立面図・断面図 新築工事 基礎伏図・詳細図 仕上表・部材表・面積表	A1:図示 X3:図示の1/2	G-02

6章 コンクリート工事	7章 鉄骨工事	8章 その他	9章 その他	10章 その他	11章 その他	12章 その他	13章 その他	14章 その他	15章 その他	16章 その他	17章 その他	18章 その他	19章 その他	20章 その他	21章 その他	22章 その他	23章 その他	24章 その他	25章 その他	26章 その他	27章 その他	28章 その他	29章 その他	30章 その他	31章 その他	32章 その他	33章 その他	34章 その他	35章 その他	36章 その他	37章 その他	38章 その他	39章 その他	40章 その他	41章 その他	42章 その他	43章 その他	44章 その他	45章 その他	46章 その他	47章 その他	48章 その他	49章 その他	50章 その他	51章 その他	52章 その他	53章 その他	54章 その他	55章 その他	56章 その他	57章 その他	58章 その他	59章 その他	60章 その他	61章 その他	62章 その他	63章 その他	64章 その他	65章 その他	66章 その他	67章 その他	68章 その他	69章 その他	70章 その他	71章 その他	72章 その他	73章 その他	74章 その他	75章 その他	76章 その他	77章 その他	78章 その他	79章 その他	80章 その他	81章 その他	82章 その他	83章 その他	84章 その他	85章 その他	86章 その他	87章 その他	88章 その他	89章 その他	90章 その他	91章 その他	92章 その他	93章 その他	94章 その他	95章 その他	96章 その他	97章 その他	98章 その他	99章 その他	100章 その他	101章 その他	102章 その他	103章 その他	104章 その他	105章 その他	106章 その他	107章 その他	108章 その他	109章 その他	110章 その他	111章 その他	112章 その他	113章 その他	114章 その他	115章 その他	116章 その他	117章 その他	118章 その他	119章 その他	120章 その他	121章 その他	122章 その他	123章 その他	124章 その他	125章 その他	126章 その他	127章 その他	128章 その他	129章 その他	130章 その他	131章 その他	132章 その他	133章 その他	134章 その他	135章 その他	136章 その他	137章 その他	138章 その他	139章 その他	140章 その他	141章 その他	142章 その他	143章 その他	144章 その他	145章 その他	146章 その他	147章 その他	148章 その他	149章 その他	150章 その他	151章 その他	152章 その他	153章 その他	154章 その他	155章 その他	156章 その他	157章 その他	158章 その他	159章 その他	160章 その他	161章 その他	162章 その他	163章 その他	164章 その他	165章 その他	166章 その他	167章 その他	168章 その他	169章 その他	170章 その他	171章 その他	172章 その他	173章 その他	174章 その他	175章 その他	176章 その他	177章 その他	178章 その他	179章 その他	180章 その他	181章 その他	182章 その他	183章 その他	184章 その他	185章 その他	186章 その他	187章 その他	188章 その他	189章 その他	190章 その他	191章 その他	192章 その他	193章 その他	194章 その他
----------------	------------	-----------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

10.1 壁

- (a) 一般事項
- (1) 壁鉄筋の重ね継手及び定着の長さは、重ね継手長さを L_1 、定着長さを L_2 とする。
鉄筋の継手位置は、柱、梁部以外とする。
- (2) 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。
- (3) 打増し部分に壁及び $\phi 37$ 等が取付く場合は、鉄筋の定着長さに打増し部分を含まない。

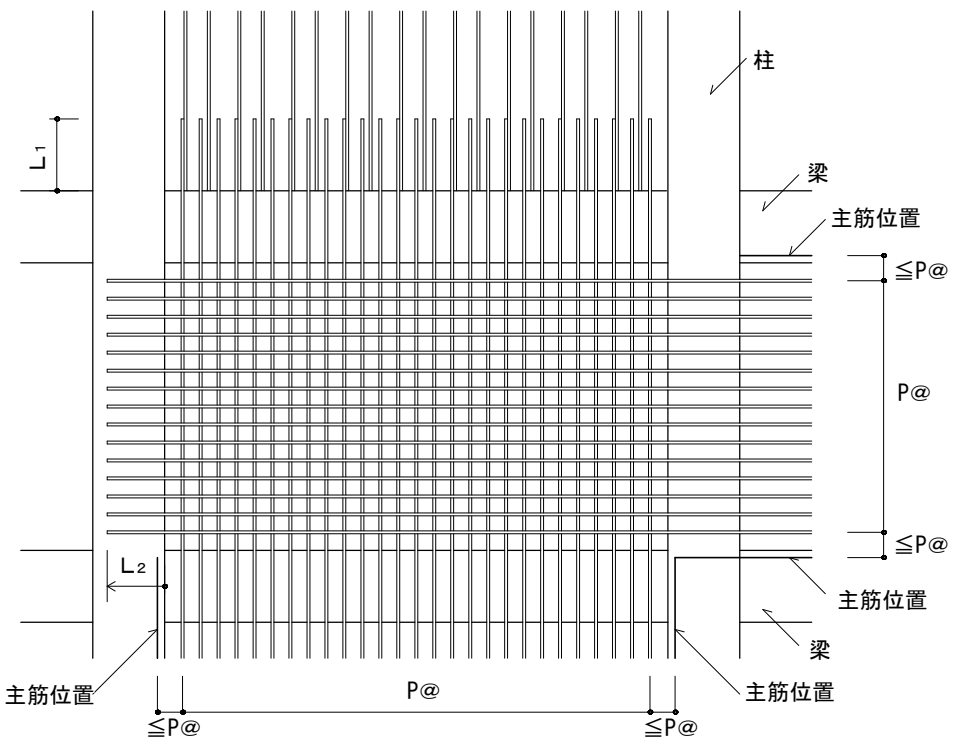


図10.1 壁の配筋

- (b) 壁の基準配筋は表10.1により、種別は構造図による。

表10.1 壁の基準配筋		
種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	

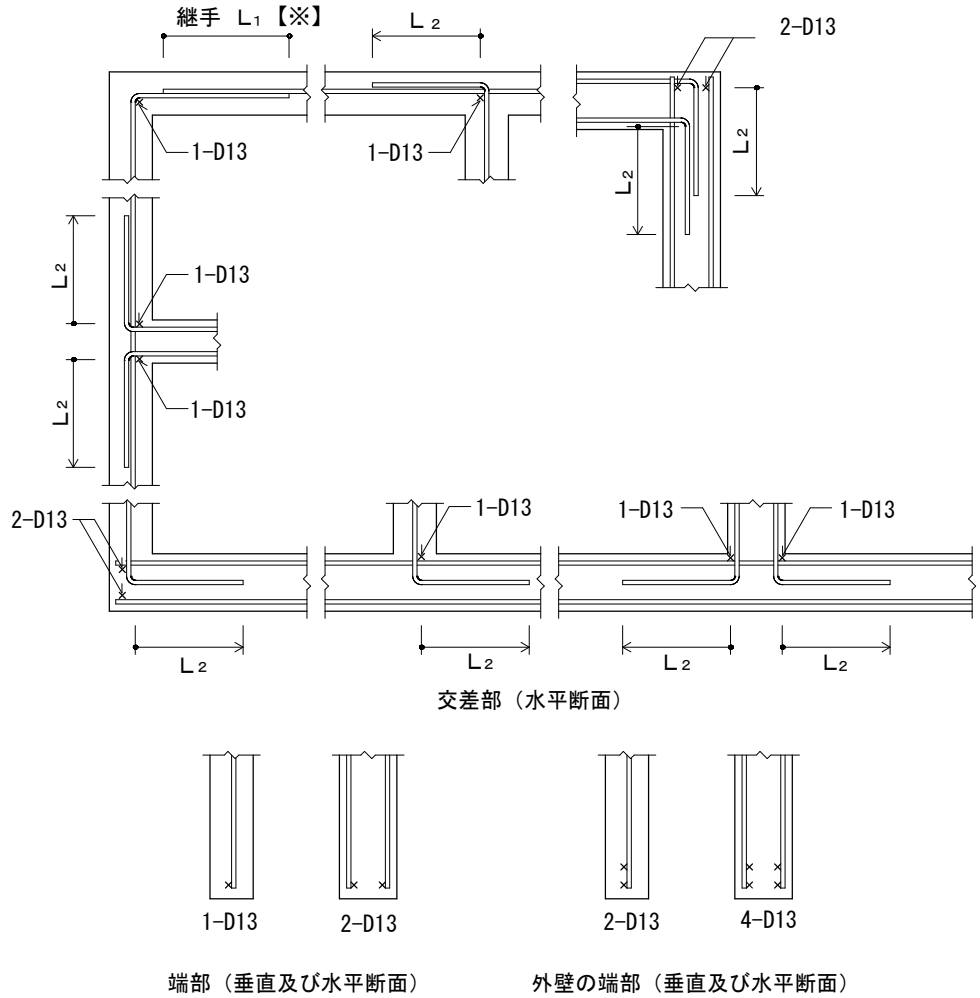
(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

- (c) 片持スラブ形階段を受ける壁の基準配筋は表10.2により、種別は構造図による。

表10.2 片持スラブ形階段を受ける壁の基準配筋			
種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	階段の配筋種別 (表12.1)
KW1	縦筋 D13-200@ダブル	180	KA1
	横筋 D10-200@ダブル		KA3
KW2	縦筋 D13-150@ダブル	200	KA2
	横筋 D10-200@ダブル		KA4

(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

- (d) 土圧を受ける壁の配筋は、構造図による。
- (e) 壁の交差部及び端部の配筋は、図10.2による。



※ 耐震壁の重ね継手長さは、4.1(a)(2)(注)3に規定する継手長さ

図10.2 壁の交差部及び端部の配筋

10.2 壁の補強

- (a) 壁開口部の補強
- (1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形は表10.3、B形は表10.4とし、適用は14.3(b)(1)による。
なお、耐震壁の補強筋は、構造図による。

表10.3 壁開口部補強筋 (A形)		
壁の種別	補強筋	
W12, W15	縦横	斜め
	1-D13	1-D13
W18, W20	2-D13	2-D13

表10.4 壁開口部補強筋 (B形)		
壁の種別	補強筋	
W12, W15	縦横	斜め
	2-D13	1-D13
W18, W20	4-D13	2-D13

- (2) 壁開口部補強の定着長さは、図10.3による。

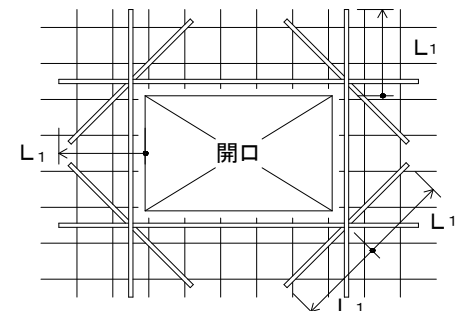


図10.3 壁開口部補強筋の定着長さ

- (b) コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、14.3(b)(3)による。

11.1 スラブ

- (1) スラブ及び土間コンクリートの上がりが下がりは、FLを基準とした寸法値とする。
- (2) 土間スラブ下の砂利地床厚及び捨てコンクリート厚は14.1(1)による。
- (3) 土間コンクリート補強筋(S0)の配筋及びコンクリート厚さは14.4(a)(1)による。
- (4) スラブの基準配筋(S形基準配筋)は表11.1及び図11.1により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

表11.1 S形基準配筋		
配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域	長辺方向 (配力筋) 全域
S1	D13-100@	D13-100@
S2	同 上	D13-150@
S3	同 上	D10, D13-150@
S4	D13-150@	D13-150@
S5	同 上	D10, D13-150@
S6	同 上	D10-150@
S7	D10, D13-150@	D10, D13-150@

配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域	長辺方向 (配力筋) 全域
S8	D10, D13-150@	D10-150@
S9	同 上	D10-200@
S10	D10, D13-200@	D10, D13-200@
S11	同 上	D10-200@
S12	同 上	D10-250@
S13	D10-200@	D10-200@
S14	同 上	D10-250@

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。

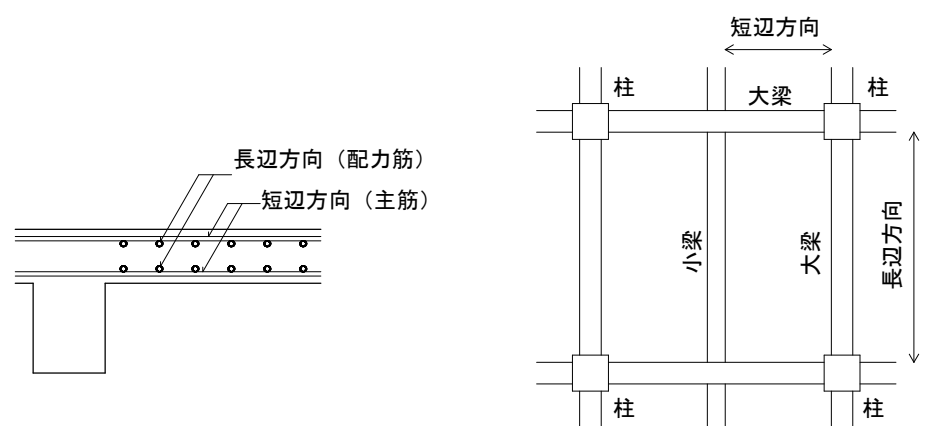


図11.1 スラブの配筋

- (5) 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
- (6) 鉄筋の重ね継手長さは、 L_1 とする。
- (7) 定着長さ及び受け筋は、図11.2による。
ただし、引き通すことができない場合は、図11.3により案内に定着する。

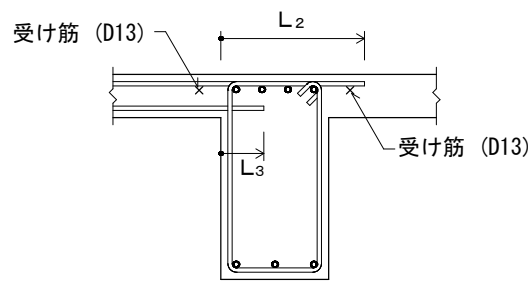


図11.2 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その1)

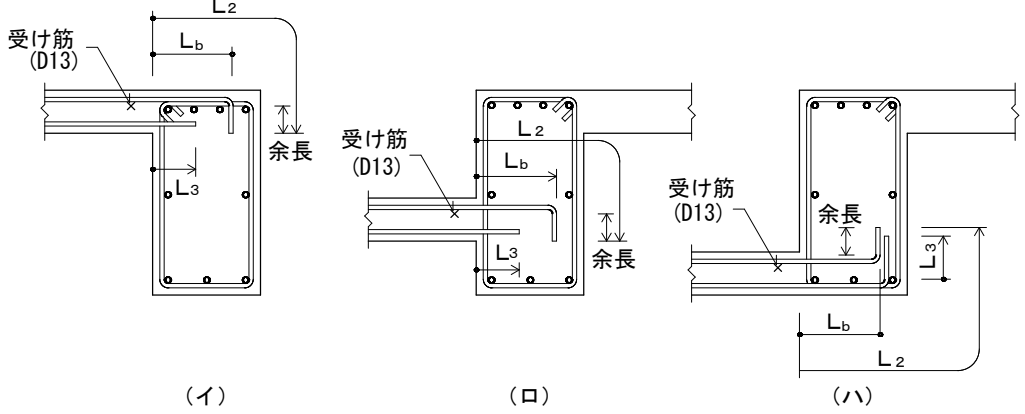


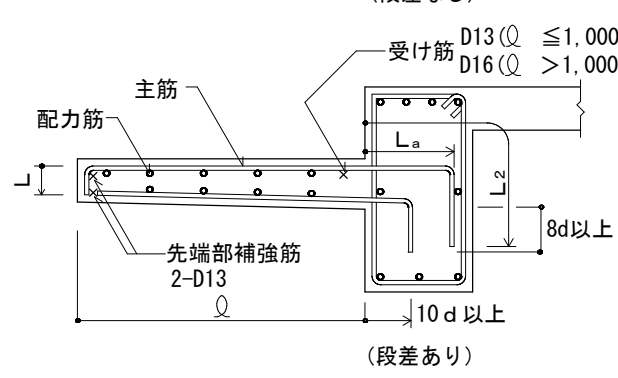
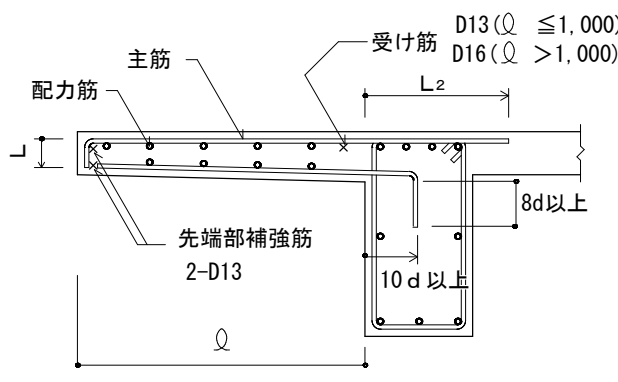
図11.3 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その2)

11.2 片持スラブ

- 片持スラブの配筋は、次による。
- (1) 片持スラブの基準配筋 (CS形基準配筋) は、表11.2並びに図11.4及び図11.5により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

表11.2 CS形基準配筋		
配筋種別	主筋	
CS1	上 D13-100@	下 D13-200@
CS2	上 D13-150@	下 D13-300@
CS3	上 D10, D13-150@	下 D10, D13-300@
CS4	上 D10, D13-200@	下 D10-200@

配筋種別	主筋	
CS5	上 D10-200@	下 D10-400@
CS6	上 D10, D13-200@	下 —
CS7	上 D10-200@	下 —



(注) 1. 先端の折り曲げ長さ L_1 は、スラブ厚よりかぶり厚さを除いた長さとする。

図11.4 片持スラブの配筋 (CS1からCS5)

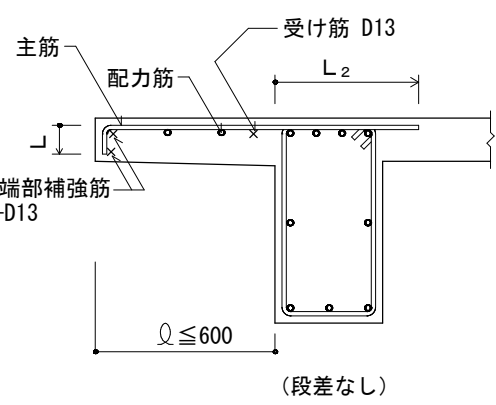


図11.5 片持スラブの配筋 (CS6及びCS7)

(注) 1. 先端の折り曲げ長さ L_1 は、スラブ厚よりかぶり厚さを除いた長さとする。

- (2) 先端に壁が付く場合の配筋は、図11.6による。

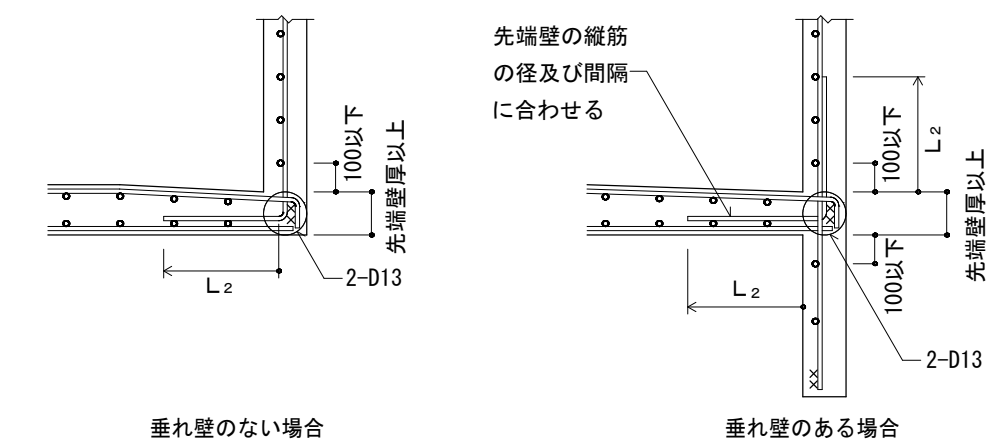


図11.6 先端に壁が付く場合の配筋

- (3) 出隅部
- (i) 補強の配筋は構造図により、配筋方法は、図11.7による。
- (ii) 出隅受け部分 (図11.7の斜線部分) の補強筋は構造図による。

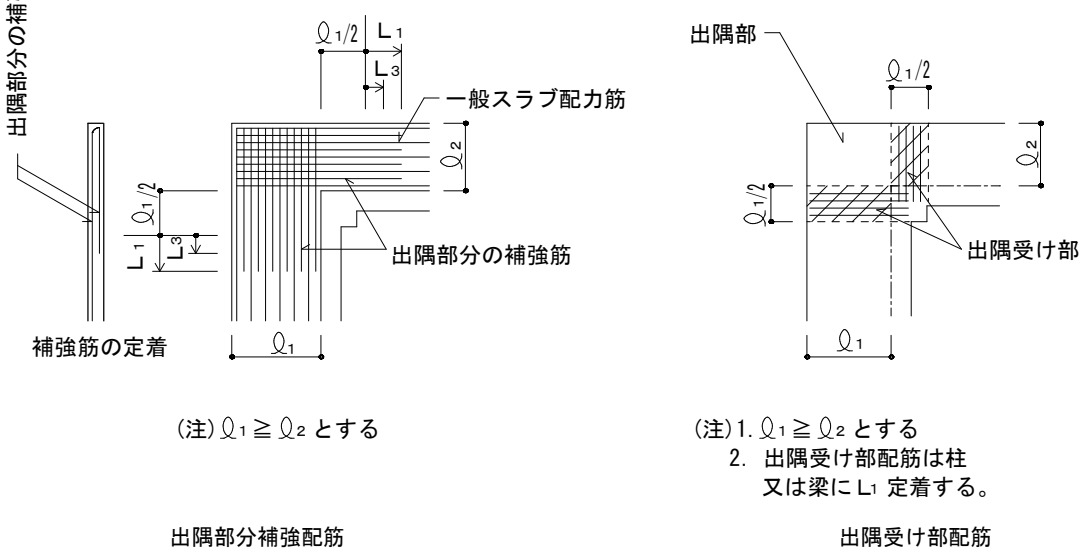


図11.7 片持スラブ出隅部の補強配筋

11.3 スラブ等の補強

- (a) スラブ開口部の補強
- スラブ開口部の補強は、特記による。
- (i) スラブ開口の最大径が700mm以下の場合は、図11.8により開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅内部に斜め方向に2-D13 ($Q=2L_1$) シングルを上下筋の内側に配筋する。

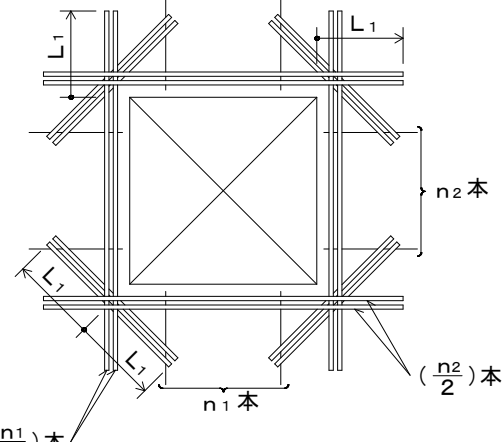


図11.8 スラブ開口部の補強配筋

- (ii) スラブ開口の最大径が開口方向の間隔以下で、鉄筋を縦や曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

- (b) 屋根スラブの補強
- 屋根スラブの出隅及び入隅部分には、図11.9により、補強筋を上端筋の下側に配置する。

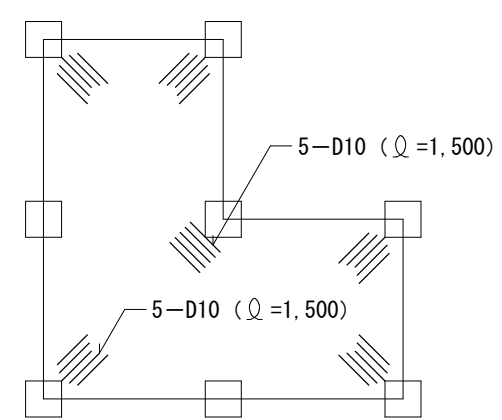


図11.9 出隅及び入隅部の補強配筋

- (c) 土間スラブの打継ぎ補強
- 基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合の補強は図11.10による。
ただし、土間スラブとは、土に接するスラブでS形の配筋によるものをいう。
 $a > 300$ の場合は特記による。

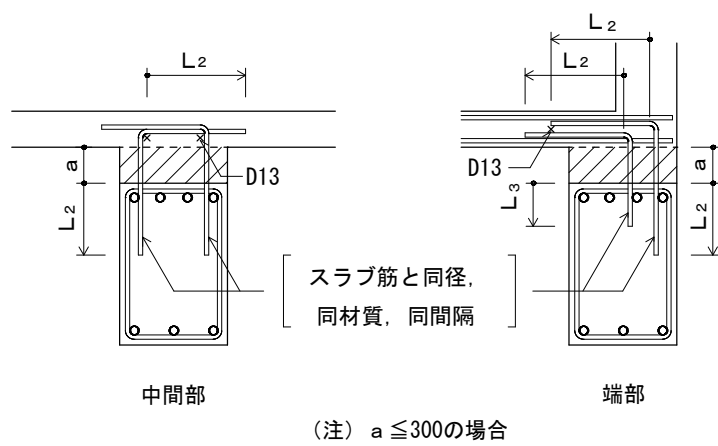


図11.10 打継ぎ補強配筋

- (d) 土間コンクリートの補強
- 土間コンクリートの補強筋は、構造図による。なお、基礎梁との接合部は、図11.11による。
 $a \geq 300$ の場合は特記による。

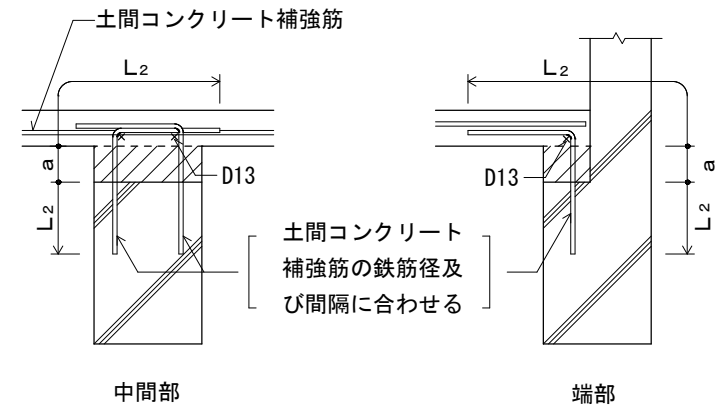
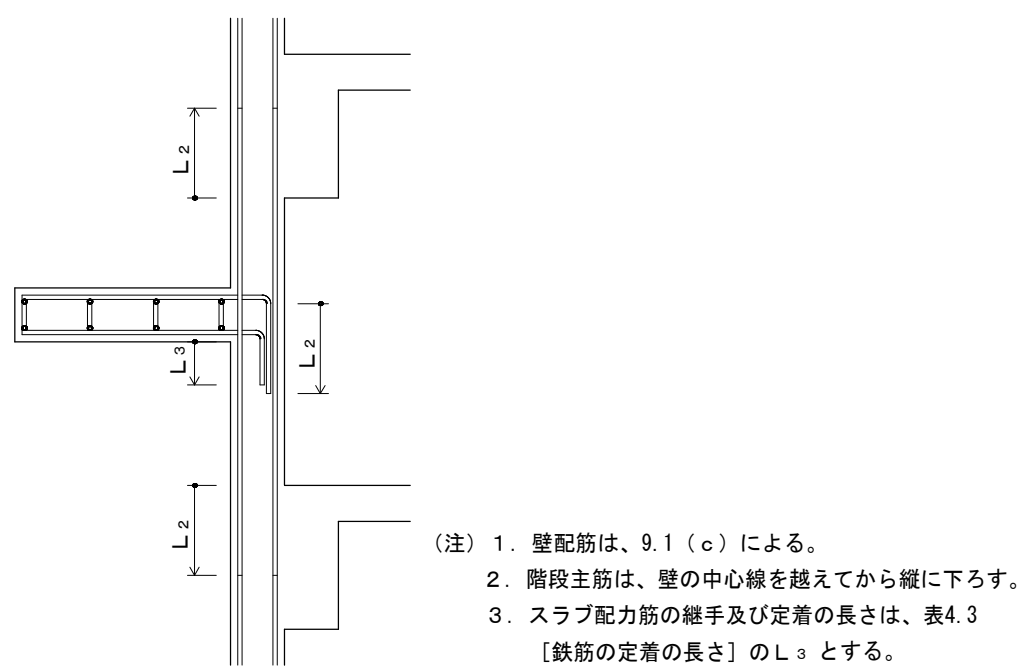


図11.11 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

12.1 片持スラブ形階段

片持スラブ形階段の基準配筋は、表12.1及び図12.1により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表12.1 片持スラブ形階段の基準配筋			
配筋種別	KA1	KA2	KA3
配筋図			
配筋種別	KA3	KA4	KA4
配筋図			



- (注) 1. 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に下ろす。
2. スラブ配力筋の継手及び定着の長さは、表4.3 [鉄筋の定着の長さ] の L_3 とする。

図12.1 片持スラブ形階段配筋の定着

設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				新設車庫	A1:— A3:—	S-05
					配筋標準図3		

12.2 二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段の基準配筋は表12.2並びに図12.2及び図12.3により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表12.2 二辺固定スラブ形基準配筋	
配筋種別	上端筋、下端筋とも（全域）
KB1	D13-200#
KB2	D13-150#
KB3	D13-100#
KB4	D13、D16-150#
KB5	D16-150#
KB6	D16-125#
KB7	D16-100#

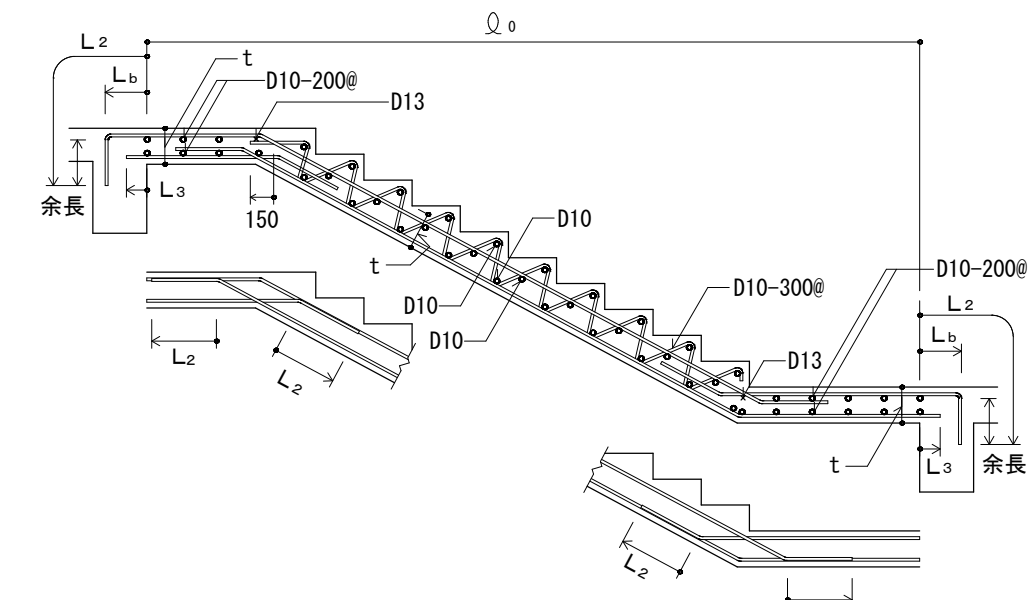
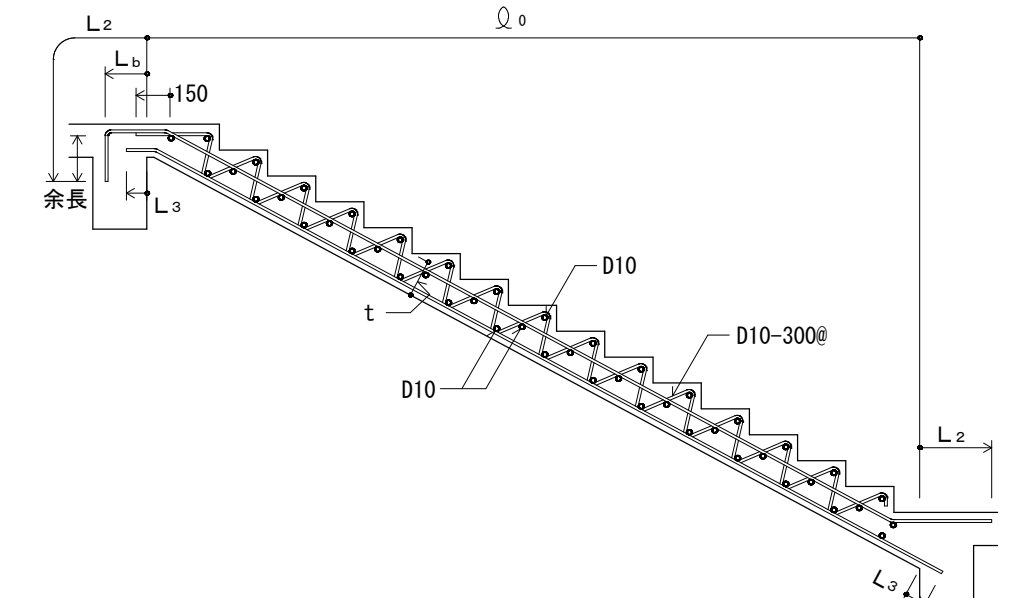


図12.2 二辺固定スラブ形階段配筋（その1）



(注) 下図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。

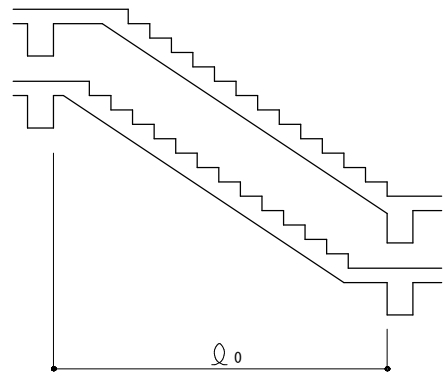


図12.3 二辺固定スラブ形階段配筋（その2）

13.1 梁貫通孔

(a) 梁貫通孔は、次による。

- (1) 梁貫通孔補強筋の名称等は、図13.1による。
- (2) 孔の径は、梁せいの1/3以下とする。
- (3) 孔の上下方向の位置は図13.2による。
- (4) 孔は、柱面から原則として、1.5D（Dは梁せい）以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除くが、その場合の範囲は特記による。
- (5) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- (6) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
- (7) 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図13.3による。
- (8) 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることににより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
- (9) 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
- (10) 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋 1-13φのリング筋を取り付ける。
なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
- (11) 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。
- (12) 貫通孔の位置は図13.4のように開孔をはさむ±45度の領域（ハッチ部）には他の開孔を設けないこととする。

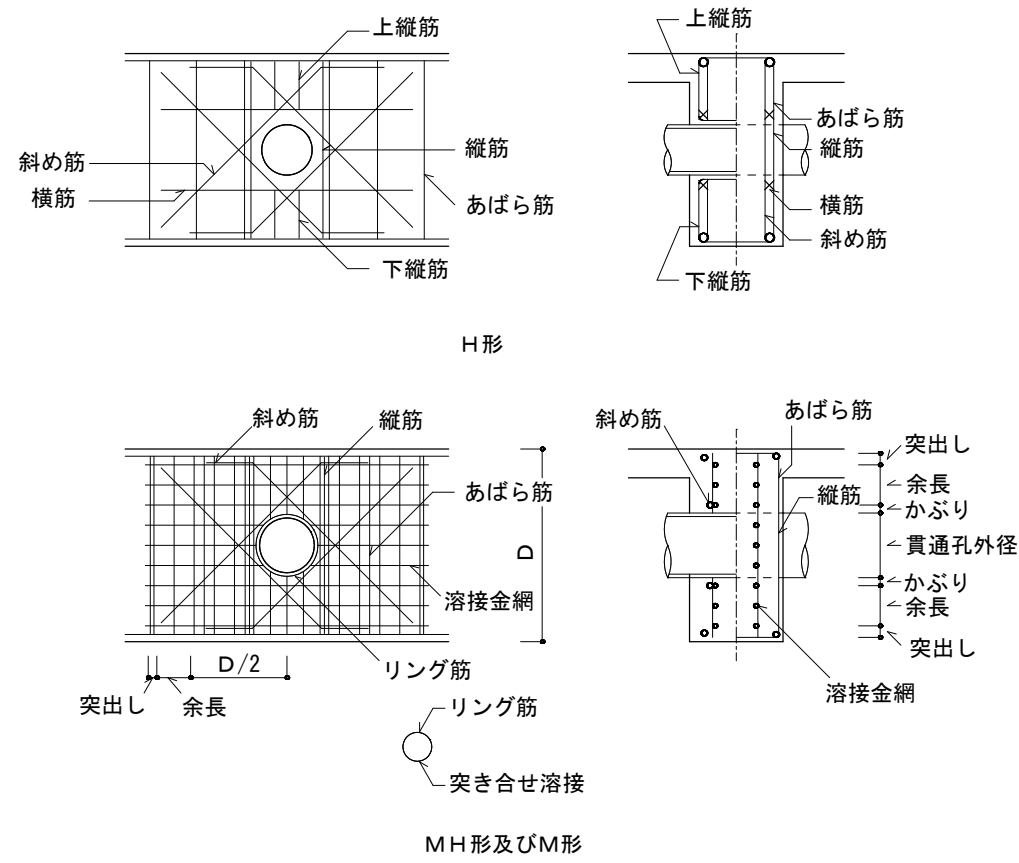
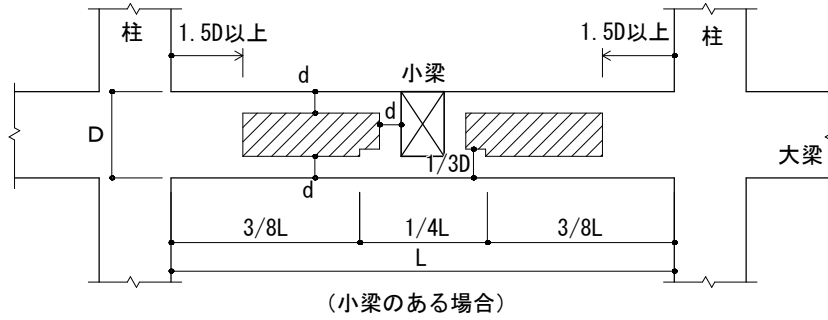
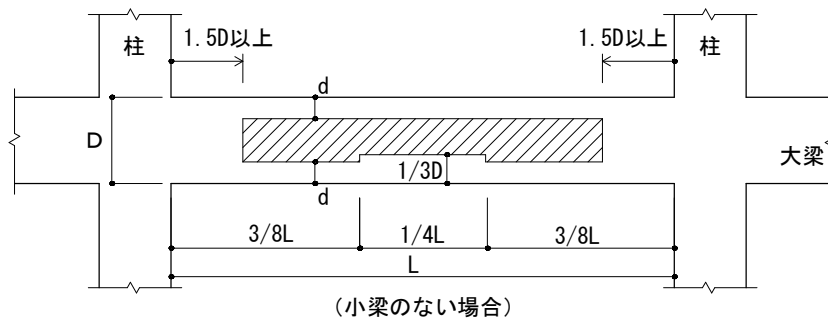


図13.1 梁貫通孔補強筋の名称等



- ：梁貫通孔を設置出来る範囲
- (注) 1. 梁貫通孔のへりあき寸法 d は下記による
- | | | |
|-----------|-------|-------|
| 500≦D<700 | | d≧175 |
| 700≦D<900 | | d≧200 |
| 900≦D | | d≧250 |

図13.2 梁貫通孔の設置範囲

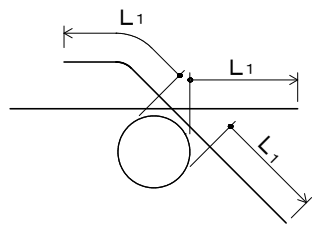


図13.3 補強筋の定着長さ

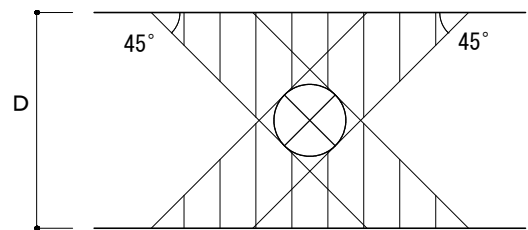


図13.4 他の開孔を設けない範囲

(b) 梁貫通孔の補強形式は表13.1～表13.3により、配筋種別は構造図による。

表13.1 H形配筋					
配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H2		2-2-D13			
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16				
H5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H6	4-2-D19				
H7	4-2-D22				

(注) ———は、一般部分のあばら筋を示す。

表13.2 M形配筋			
配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
M1	2-2-D13	なし	
M2	4-2-D13		
M3	4-2-D13	2-6φ-100#	
M4	6-2-D13		

(注) ———は、一般部分のあばら筋を示す。

表13.3 MH形配筋				
配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH1	2-2-D13	なし	なし	
MH2		2-2-D13		
MH3	2-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100#	
MH4	4-2-D13			
MH5	4-2-D16			
MH6	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100#	
MH7	4-2-D19			

(注) ———は、一般部分のあばら筋を示す。

13.2 コンクリートブロック帳壁との取合い

(a) 控壁は、次による。

- (1) 控壁の配置は、構造図による。
- (2) 配筋は、図13.5による。

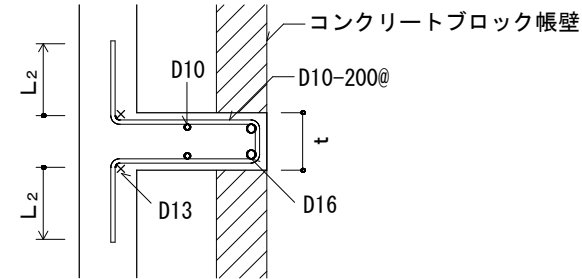


図13.5 控壁の配筋（水平、垂直とも）

(b) 帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図13.6による。

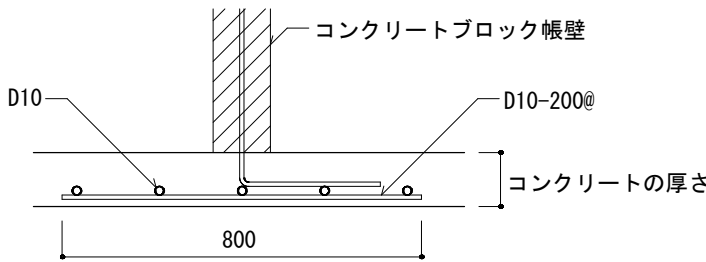


図13.6 壁付き土間コンクリートの補強配筋

13.3 バラベット

バラベットの先端補強筋は、図13.7による。尚、コンクリート厚さ及びバラベット配筋は構造図による。

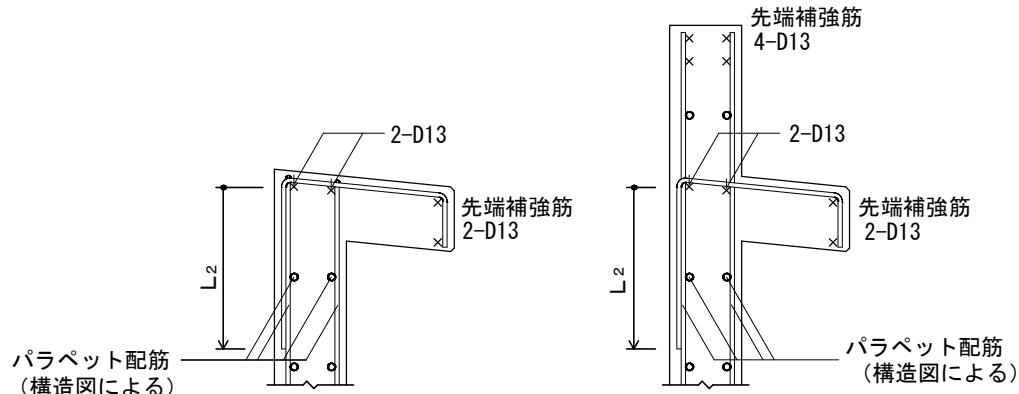
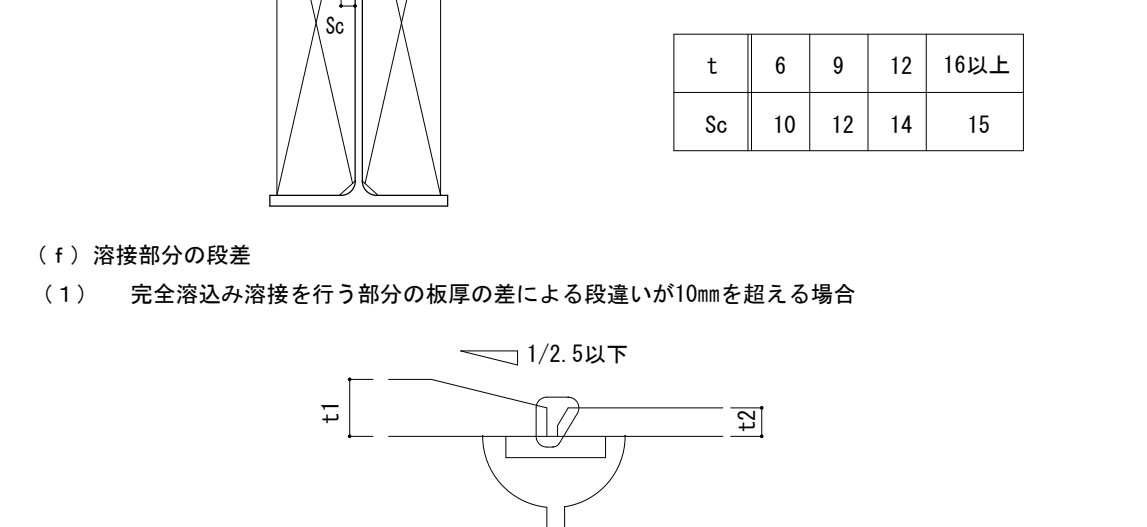
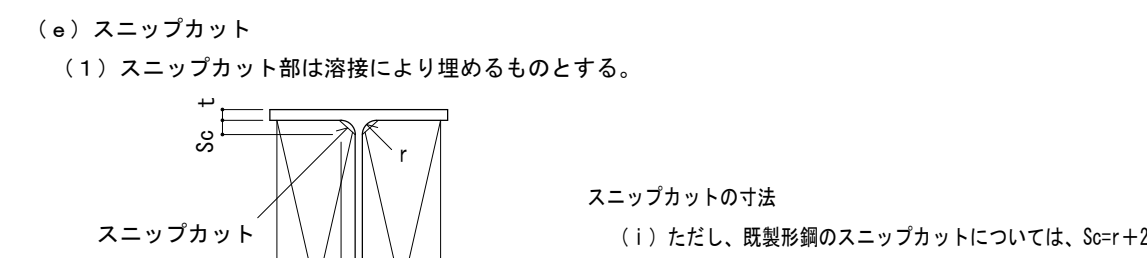
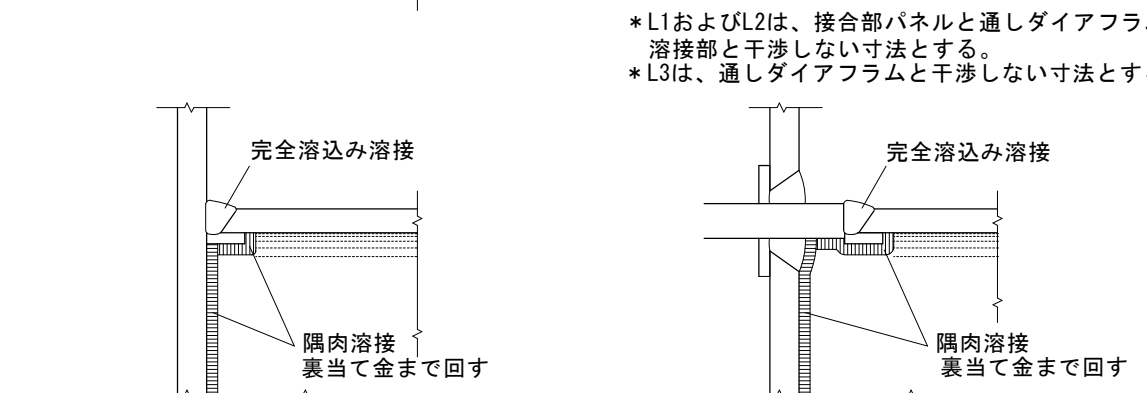
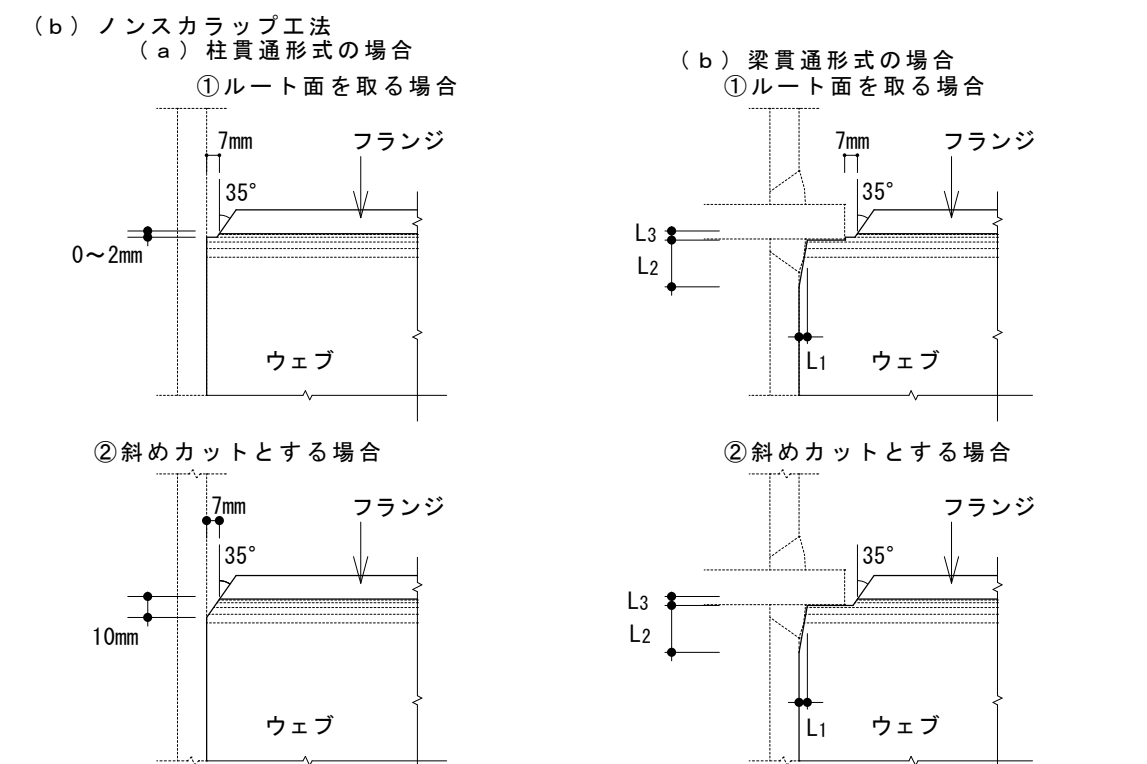
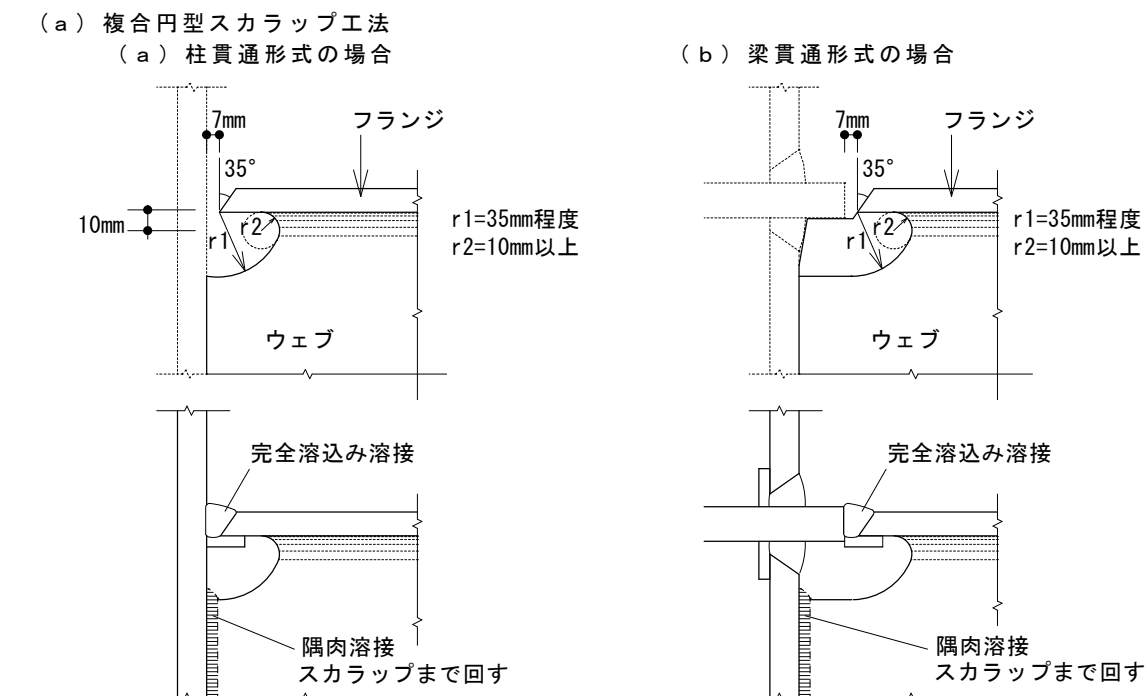


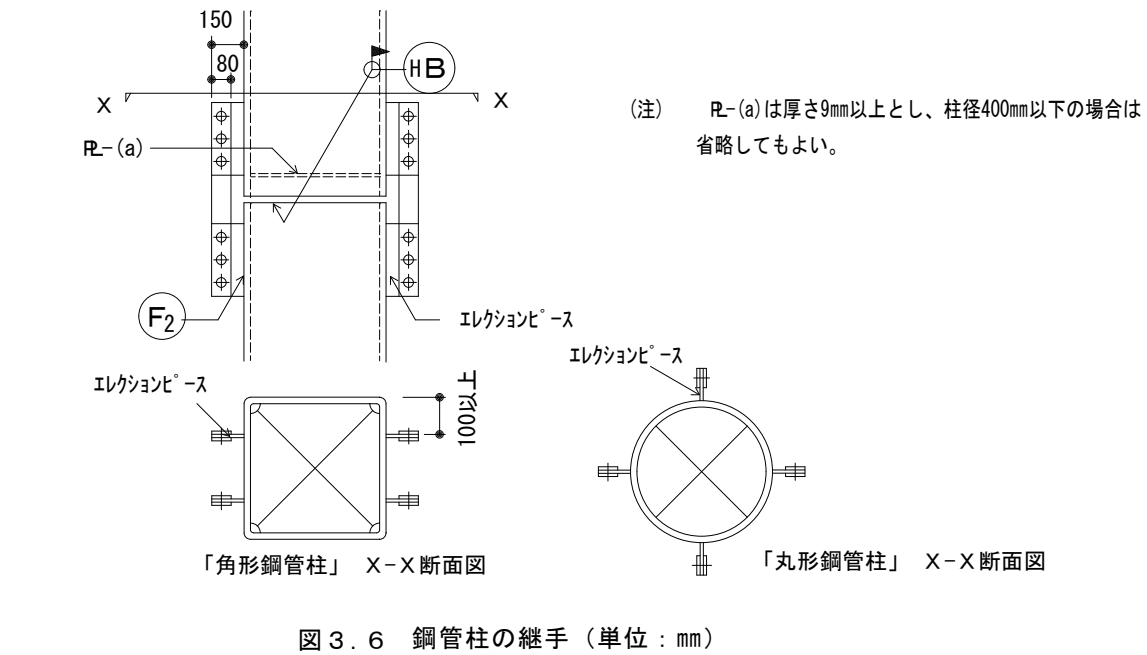
図13.7 バラベットの配筋

設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
12	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				新設車庫	A1:— A3:—	S-06
12-01					配 筋 標 準 図 4		

3-6 スカラップ



3-7 鋼管柱の継手



3-8 余盛り

- (1) 完全溶込み溶接 (突合わせ継手、かど継手)、隅肉溶接及びフレア溶接の溶接部は、余盛りを行うものとする。
- (2) 完全溶込み溶接 (T形継手)の溶接部は、ビード表面が滑らかになるように仕上げるものとする。

余盛り高さの限度 (単位:mm)		
溶接継手	溶接方法	余盛り高さの限度
突合わせ継手 かど継手	手溶接	3
	半自動溶接	4
隅肉溶接 フレア溶接	自動溶接	4
	手溶接	3
	半自動溶接	3

3-9 鋼管分岐継手

- (1) 鋼管分岐継手における支管は、主管外径より細径のものとし、開先標準は、鉄骨標準図 (1) による。
- (2) ただし、自動機械により開先加工を行う場合については、この限りではない。
3. 2mm≦t≦12mm
- 交角 30°≦θ≦150°
-

3-10 スタッド溶接

- (1) スタッド溶接は、アークスタッド溶接方式による直接溶接とし、溶接姿勢は下向きを原則とする。
- (2) スタッド溶接用材料は、JIS B1198「頭付スタッド」の規格に適合するものとし、適用する呼び名は、
- (3) 13、16、19及び22の4種類とする。
- スタッド溶接は、デッキプレート上から行ってはならない。
- ただし、デッキプレート厚1.6mm以下で、あらかじめ良好な溶接が得られることが確認された場合については、この限りではない。
- (4) スタッドの間隔、ゲージ等の寸法は、表3.8及び図3.8による。

スタッドの間隔、ゲージ等の寸法		
項目	呼び名	寸法
間隔 (p)	呼び名の7.5倍以上かつ600mm以下	
最小ゲージ (g)	呼び名の5倍以上	
へりあき (e)	4.0mm以上	

4 高力ボルト接合等

- 4-1 高力ボルト
- (1) 高力ボルトの種類は、JIS B1186「摩擦接合用高力六角ボルト・六角ナット・平座金のナット」(2種F10T)の規格に適合するもの建築基準法に基づき認定されたトルシア形高力ボルト(2種S10T)及び溶融亜鉛めっき高力ボルト(1種F8T相当)とする。
- (2) スプラインプレートの鋼材種別はSN-Bとし、引張強さによる区分は、母材と同等とする。
- (3) フィラープレートの鋼材種別はSS400とする。
- 4-2 普通ボルト
- (1) 普通ボルトのボルト及びナットは、表4.1により、ねじは、JIS B 0205「一般用メートルねじ」による。
- (2) 座金は、JIS B1256「平座金」による並形一部品等級Aとする。
- (3) もや、鋼線鋼の取付け用ボルトを普通ボルト接合とする場合は、二重ナットとする。

ボルト及びナットの材料		
規格番号、規格名称	ボルト	ナット
規格番号	JIS B 1180 (六角ボルト)	JIS B 1181 (六角ナット)
種類	並形六角ボルト	並形六角ナット
材料区分	鋼製	鋼製
強度区分	4.6	4T
ねじの種類	JIS B 0205-4 (一般用メートルねじ 第4部: 基準寸法) による。	
ねじの公称域クラスの規格	JIS B 0209-1 (一般用メートルねじ 公差-第1部: 原則及び基礎データ) による6g	JIS B 0209-1による6H
仕上げる程度	中	中

4-3 ボルトの表示記号

表 4. 2 ボルトの表示記号						
ねじの呼び		M 1 2	M 1 6	M 2 0	M 2 2	M 2 4
ボルトの種類						
高力ボルト	(F10T, S10T)	○	⊕	⊕	⊕	⊕
溶融亜鉛めっき高力ボルト	(F8T相当)	×	×	+	✕	✕
普通ボルト		○	⊕	⊕	⊕	⊕

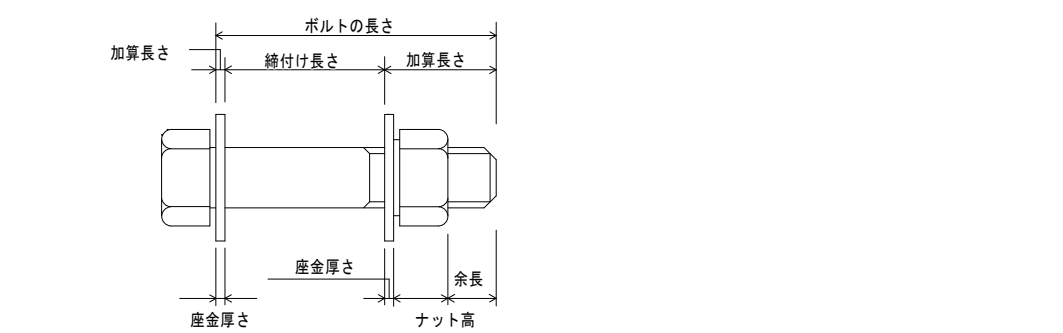
4-4 ボルト孔の径

ボルトの種類		ねじの呼び				
		M12	M16	M20	M22	M24
高力ボルト	(F10T, S10T)	14	18	22	24	26
溶融亜鉛めっき高力ボルト	(F8T相当) ※1	~~14~~	17.5	22.0	24.0	26.0
普通ボルト	※2	12.5	16.5	20.5	22.5	24.5

- ※1 国土交通大臣認定条件による。
- ※2 母屋、鋼線鋼の取付け用ボルトの場合は、ボルトの径+1.0mmとすることができる。

4-5 高力ボルトの長さ

- (1) 高力ボルトの長さは、締付け長さに表4.4の値を加えたものを標準長さとする。
- 表4.4 高力ボルトの締付け長さに加える長さ (単位: mm)
- | ボルトの種類 | ねじの呼び | M12 | M16 | M20 | M22 | M24 |
|-------------------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| トルシア形高力ボルト | | 2.5 | 3.0 | 3.5 | 4.0 | 4.5 |
| JIS形高力ボルト及び溶融亜鉛めっき高力ボルト | | 2.5 | 3.0 | 3.5 | 4.0 | 4.5 |



4-6 縁端距離及びボルト間隔

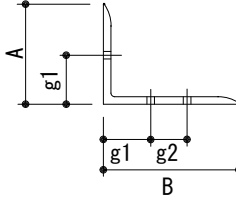
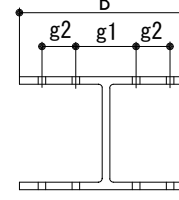
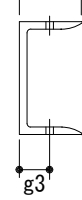
- (1) 縁端距離及びボルト間隔は、原則として表4.5による。
- ただし、引張材の接合部分において、せん断力を受けるボルトが応力方向に3本以上並ばない場合の縁端距離は、ボルト軸径の2.5倍以上とする。
- ただし、アンカーボルトの縁端距離は図示による。

縁端距離及びボルト間隔 (単位:mm)		
ねじの呼び	縁端距離 (e)	ボルト間隔 (p)
M12		
M16		
M20		
M22		
M24		

4-7 千鳥打ちのゲージ及び間隔

千鳥打ちのゲージ及び間隔 (単位:mm)		
ゲージ (g)	千鳥打ちの間隔 (Pt)	
	ねじの呼び	
	M12, M16, M20, M22	M24
3.5	5.0	6.5
4.0	4.5	6.0
4.5	4.0	5.5
5.0	3.5	5.0
5.5	2.5	4.5
6.0	—	4.0

4-8 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

表 4. 7 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径										(単位 : mm)
										
A 又は B	g 1	g 2	最大軸径	B	g 1	g 2	最大軸径	B	g 3	最大軸径
4.5	2.5		1.2	10.0	5.6		1.6	5.0	3.0	1.2
5.0	2.8		1.6	12.5	7.5		1.6	6.5	3.5	2.0
6.0	3.5		1.6	15.0	9.0		2.2	7.0	4.0	2.0
6.5	3.5		2.0	17.5	10.5		2.2	7.5	4.0	2.2
7.0	4.0		2.0	20.0	12.0		2.4	8.0	4.5	2.2
7.5	4.0		2.2	25.0	15.0		2.4	9.0	5.0	2.4
8.0	4.5		2.2	30.0	15.0	4.0※1	2.4	10.0	5.5	2.4
9.0	5.0		2.4	35.0	14.0	7.0	2.4			
10.0	5.5		2.4	40.0	14.0	9.0	2.4			
12.5	5.0	3.5	2.4							
13.0	5.0	4.0	2.4							
15.0	5.5	5.5	2.4							
17.5	6.0	7.0	2.4							
20.0	6.0	9.0	2.4							

※ 1 : 千鳥打ちとした場合

※1: 千鳥打ちとした場合

5 柱脚

5-1 アンカーボルト

- (1) アンカーボルトは二重ナット及び座金を用い、その先端は、ねじがナットの外に3山以上出るようにする。
- ただし、コンクリートに埋め込まれる場合は、二重ナットとしないことができる。
- (2) アンカーボルトにせん断力を負担させる場合は、座金厚さの検討を行い、座金とベースプレートとを全周溶接する。
- (3) 柱底均しモルタルの厚さは、特記による。
- (4) コンクリートの表面は、レイタス等を取り除いたのち、自衛しを行う。
- (5) アンカーボルト孔の径を当該アンカーボルトの径に5mmを加えた数値以下の数値とする。
- (6) 折曲げ内法直径Dは、鉄筋D16以下の場合は3d以上とし、鉄筋D19以上の場合は4d以上とする。
- (7) アンカーボルト末端フックは、鉄筋D16以上の場合には180°とし、鉄筋D13以下の場合には135°とする。
- (8) aは定着長さとする。

図5.1 アンカーボルトの形状の例

6 鉄骨標準詳細図

6-1 柱・梁仕口部 (H形柱)

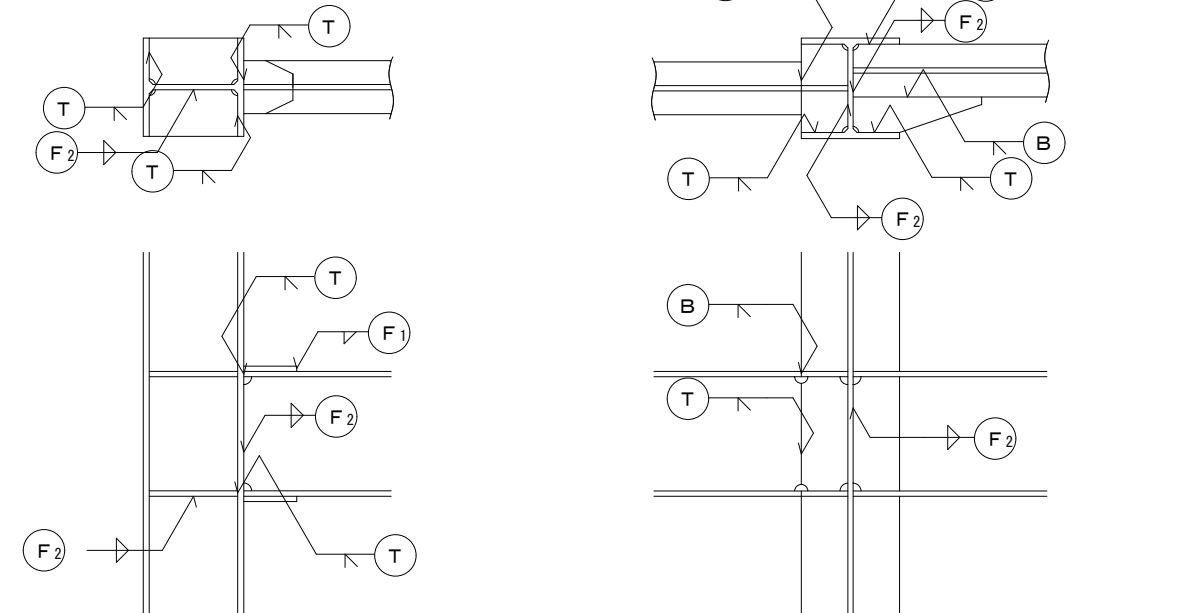


図6.1 仕口部の溶接 (H形柱) (単位: mm)

6-2 柱・梁仕口部 (角形鋼管柱)

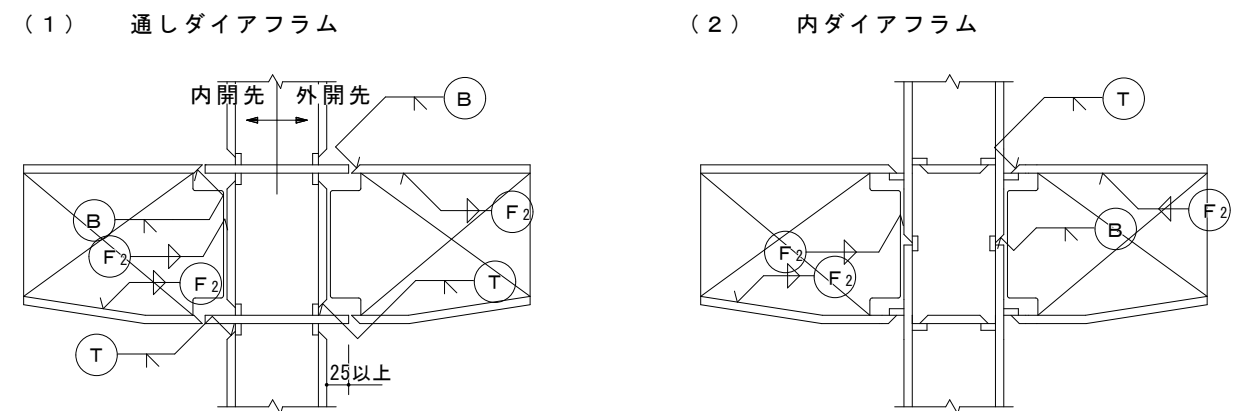


図6.2 仕口部の溶接 (角形鋼管柱) (単位: mm)

6-3 柱脚

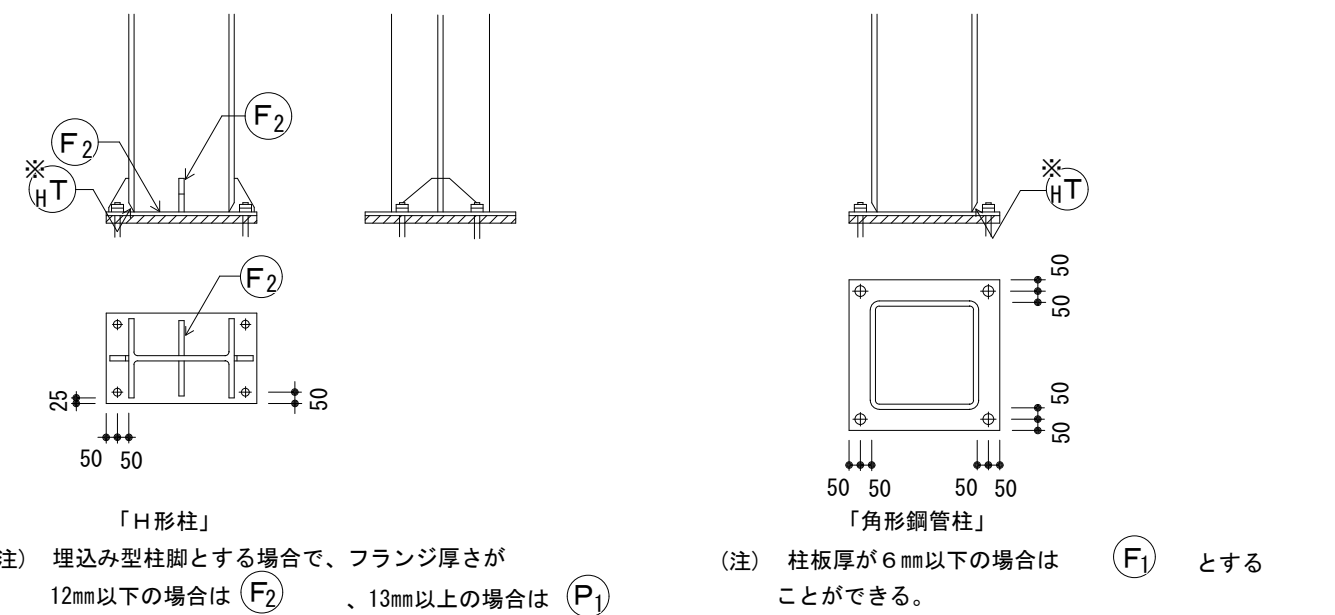
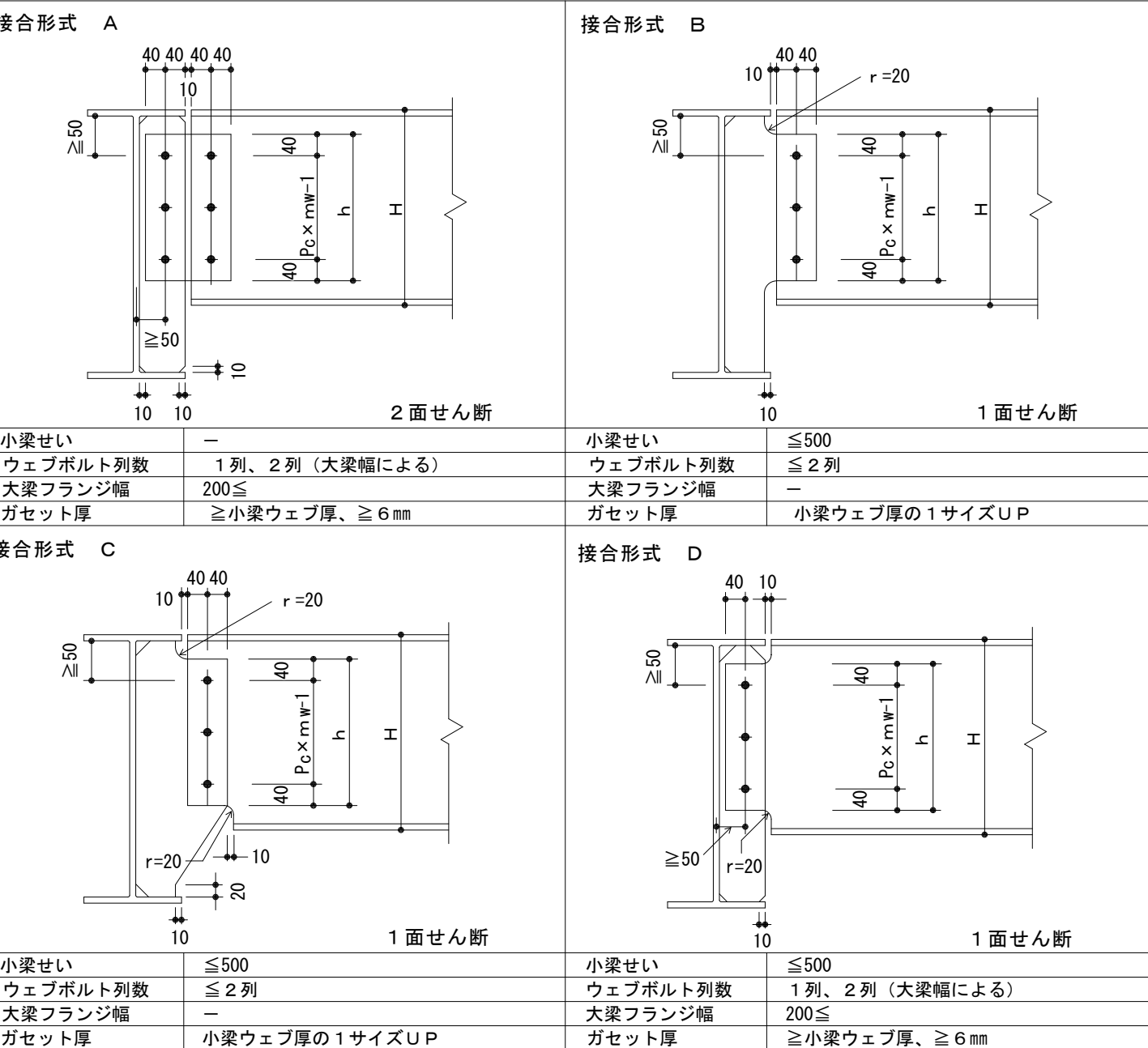


図6.3 H形柱脚部 (単位: mm)

図6.4 鋼管柱脚部 (単位: mm)

6-4 小梁の接合 (ピン接合)



- 共通事項:
- 大梁せいで小梁せいで
 - ガセット厚、添板厚 (接合形式A) ≧ 6mm
 - ウェブボルトの配置は、最小ボルト本数を2本、せい方向ピッチを60、90、120mmの3種類とし、小梁のせい方向の中心線に付けとする。

図6.5 小梁の接合 (ピン接合) (単位: mm)

6-5 小梁の接合 (剛接合)

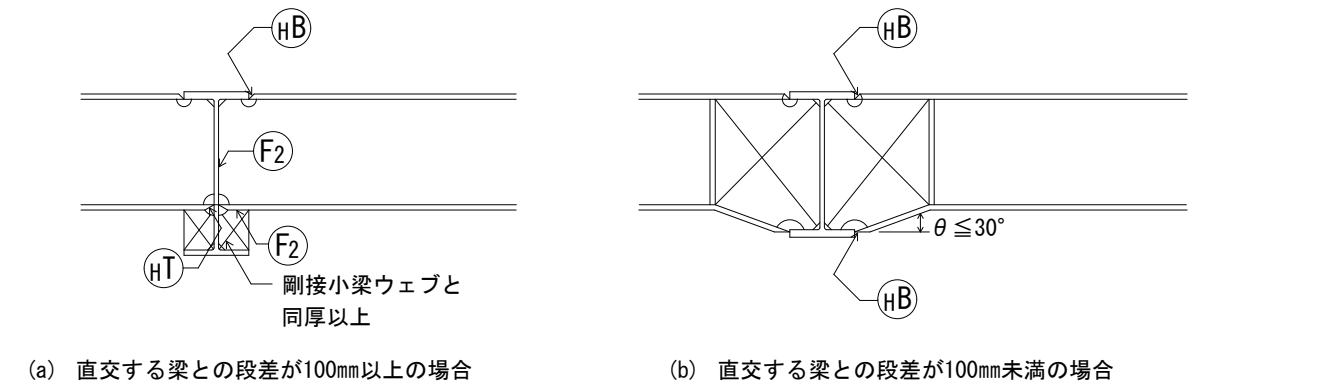


図6.6 小梁の接合 (剛接合)

6-6 梁貫通孔部補強

- (1) 貫通孔の補強方法は、補強プレート法及び補強トラス法とし、貫通孔部分は、必要に応じて鋼管スリーブを取り付ける。

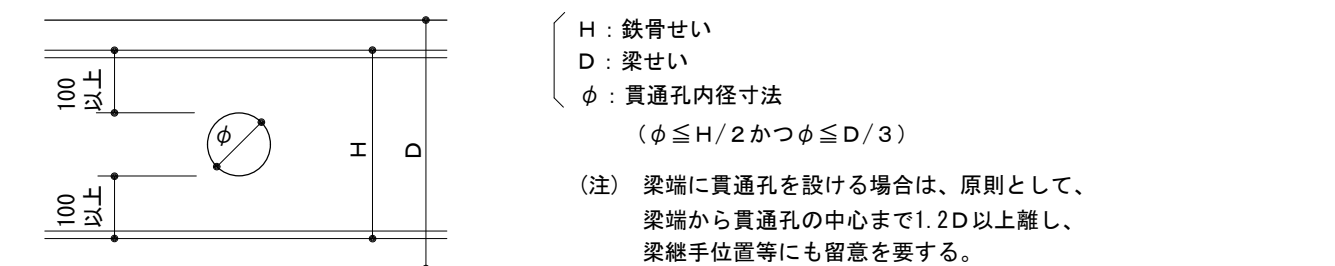


図6.7 梁貫通孔の位置の限度 (単位: mm)

6-7 折板受材

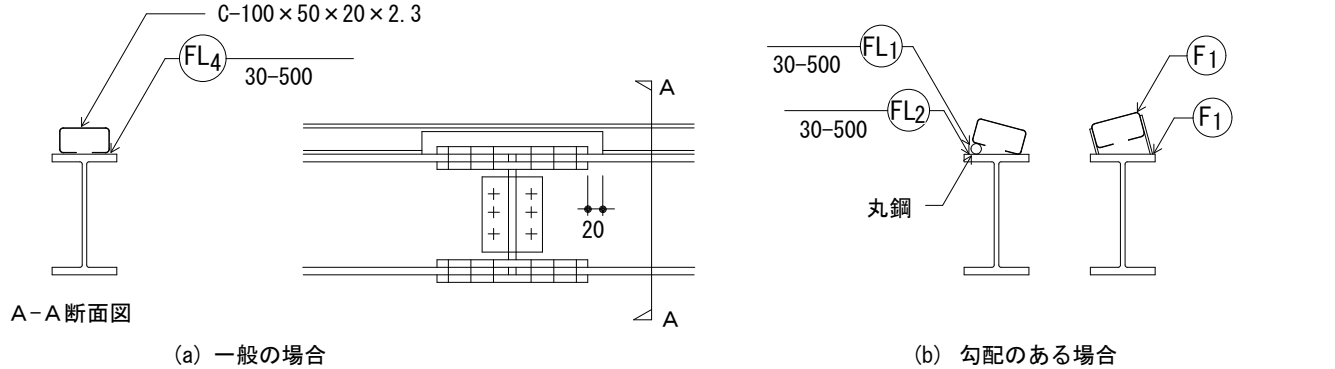


図6.8 折板受材の取付け

設計番号	工事名	検図	担当	特記	図面名	縮尺	図面番号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				新設車庫	A1:— A3:—	S-09
					鉄骨標準図2		

ソイルセメントコラム地業特記仕様書

1. 工事概要

本地業は、ソイルセメントコラム工法による地盤改良地業である。ソイルセメントコラム工法は、スラリー状のセメント系固化材を地盤に注入しながら、角度付共回り防止翼と半円状の掘削爪を装備した攪拌装置を用いて原地盤土と機械的に混合攪拌し、固化材の固化反応により所定の強度を持つ改良体（以下コラムという）を築造するものである。

2. 一般事項

本地業は、本特記仕様書によるほか「2018年版建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針／2018年11月」（日本建築センター、以下指針という）による。

3. 特記事項

- (1)コラムの径・掘削深度（改良長＋空掘長）・本数・配置等は設計図書による。ただし、コラムの径・長さ・本数・配置及び固化材液の配合等について、土質や地盤の状況により変更した方が適切だと判断される場合は、監督員の承認の下に変更することができる。
- (2)コラムの設計基準強度は、 $F_c=400\text{KN/m}^2$ とする。
- (3)設計の要求する性能を確保するため、適切な配合管理及び品質検査を実施する。
- (4)本工法は、改良体の品質（変動係数25%）が、建設大臣認定機関の「一般財団法人日本建築センター」にて証明された技術審査証明取得工法とする。

4. 施工計画

- (1)本工法施工業者は、本工法の施工技術に精通した業者とする。
- (2)施工計画書
工事に先立ち、施工計画書を監督員に提出する。施工計画書は、次の事項を明記する。

a.工事内容（コラム径、コラム長、空掘長、コラム数、設計基準強度）

b.工事期間及び工程

c.工事要領（使用固化材、配合、攪拌翼吐出量の昇降速度等）

d.施工機器

e.施工管理の方法

f.品質管理の方法

g.各種作業の主たる従事者の組織表

h.環境の保全対策

i.安全対策

j.品質証明書（技術審査証明書等）

5. 施工

- (1)作業地盤は、施工機械が傾斜・転倒しないように養生する。
- (2)施工手順は、施工計画書による。
- (3)本工事により排出される発生残土は、場内処分とする。
- (4)施工に対して疑義が生じた場合は、ただちに監督員と協議し、その指示を受ける。

6. 施工機械

- (1)固化材液と原地盤土を確実に混合攪拌ができ、角度付共回り防止翼と半円状の掘削爪を有した攪拌翼を装備した、施工機械とする。
- (2)所定の施工管理項目を、計測・記録できるデジタルディスプレイ式施工管理装置を用いること。
- (3)改良機本体は、本工事の施工仕様を満足させる施工制御機器を装備したもので、自走式とする。
- (4)ミキシングプラントは、全自動プラントとし、所定の吐出量を十分供給できるものとする。
- (5)施工場所上空に架空線がある為、施工機械全高H=6.0m以下の施工機械を使用する事

7. 配合管理

- (1)固化材液に使用する固化材は、セメント系固化材を使用する。
- (2)配合強度
割増係数は、変動係数を想定し9項に規程する抜き取りヶ所数Nに応じて下表を用いて設定する。

変動係数	N	1	2	3	4～6	7～8	9～
(25%)	α_t	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594

$$X_f = \alpha_t \times F_c$$

[X_f : 配合強度、 α_t : 割増し係数]

- (3)室内配合試験
固化材液の配合（W／C）と使用量（添加量）は、室内配合試験の結果に基づいて現場室内強度比を参考にして、配合強度を満足するように決定する。
- (4)環境基準
施工に当たっては、セメント系固化材等からの六価クロム溶出試験を実施し、環境庁告示第46号の基準値（検液1Lにつき0.05mg以下であること）を満足する様必要な措置を講じる。
- (5)設計配合は、以下の通りとする。ただし、室内配合試験の結果により変更される場合がある。

a.水／固化材比

b.固化材添加量

60%

300kg／m³

8. 施工管理

- (1)施工の安定性を確保するため下記に示す項目について管理する。

管理項目	管理内容	施工管理方法	管理値
寸法・形状の管理	鉛直性	改良機のリーダーに設置された傾斜計やトランシットによる。 施工角度が異なる場合は、その角度を管理する。	1／100 以内
	コラム芯	コラム中心のズレを計測する。	± 100 mm以内
	掘削深度	深度計による。	±50mm/m
	改良径	掘削攪拌装置の形状を計測	± 10mm
	ロッド長	ロッド長さを計測	設計掘削深度＋ 1m以上
固化材管理	材料の計量	自動計量器（練り水、固化材）により、バッチ毎管理	W／C＝± 2%以内
	スラリー比重	比重計による。	規定比重の 99%以上
	スラリー吐出量 スラリー吐出深度	流量計による。 （吐出量、深度及び総量）	規定値以上
	掘進・引上げ速度	速度計による。	規定速度以下
攪拌混合度の管理	攪拌装置	掘削・攪拌翼の枚数など。	4枚以上
	支持地盤の管理	掘削速度 トルク値 電流値	試験施工結果による

9. 品質検査

- (1)検査対象群、検査対象層及び調査ヶ所数

a.検査対象群は概ねコラム300本を1単位とする。土層毎に検査対象層を決めるが、最小層厚を0.5mとする。

b.検査対象層は（粘性土）であり、設計対象層を（粘性土）とする。
設計対象層の平均強度は他の検討対象層の平均強度を超えないこと。
越えてる場合は、最も近い平均強度の層を設計対象層とする。

c.検査ヶ所数
頭部コア：1ヶ所（コラム100本毎に1ヶ所）
深度コア：1ヶ所（コラム100本毎に1ヶ所 全長コアボーリングとする。）
- (2)コア採取率による検査
コアボーリング調査の内、検査対象群に1ヶ所の割合でコア採取率を調査する。
コア採取率が、全長に対して粘性土で90%、砂質土で95%以上、深さ1m毎に粘性土85%以上、砂質土90%以上あることを確認する。
- (3)合格判定

a.抜取ヶ所1ヶ所当たり3個の供試体を採取し、その平均強度をそのヶ所の強度とする。

b.一軸圧縮試験は、公的機関あるいは監督員立ち会いの下に行うものとする。

c.検査手法は、品質のバラツキを想定する場合の検査手法Aによる。

d.検査手法Aによる品質検査
可否の判定は、抜取Nヶ所一軸圧縮試験の平均値が、下式を満足した場合を合格とする。
$$X_N \geq X_L F_c + K_a \cdot \sigma_d$$

$$X_N$$

: Nヶ所の一軸圧縮強度の平均値（KN／m²）

$$X_L$$

: 合格判定値（KN／m²）

$$F_c$$

: 設計基準強度（KN／m²）

$$K_a$$

: 合格判定係数

$$\sigma_d$$

: 標準偏差（KN／m²）＝ $\sqrt{d \cdot qud}$

$$V_d$$

: 変動係数、品質確認書より想定する。

$$qud$$

: 想定した平均一軸圧縮強さ（KN／m²）

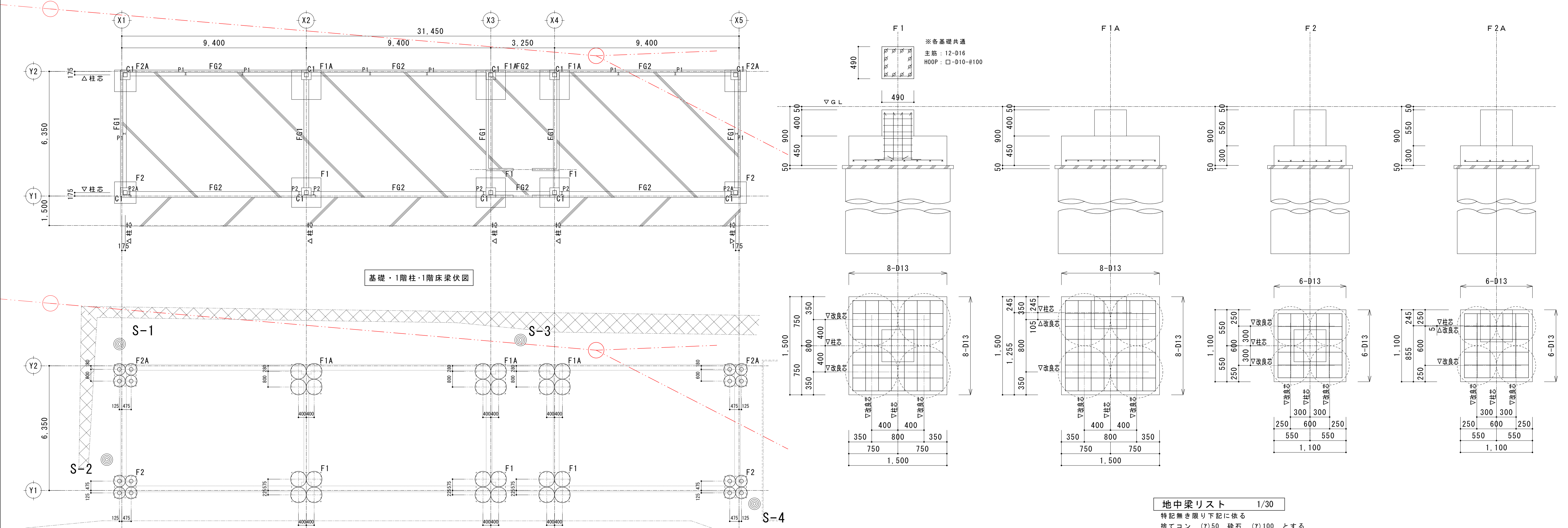
抜取ヶ所数 N	1	2	3	4～6	7～8	9
合格判定係数 K_a	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

10. 報告

工事完了後、次の項目について報告書をまとめ、3部監督員に提出する。

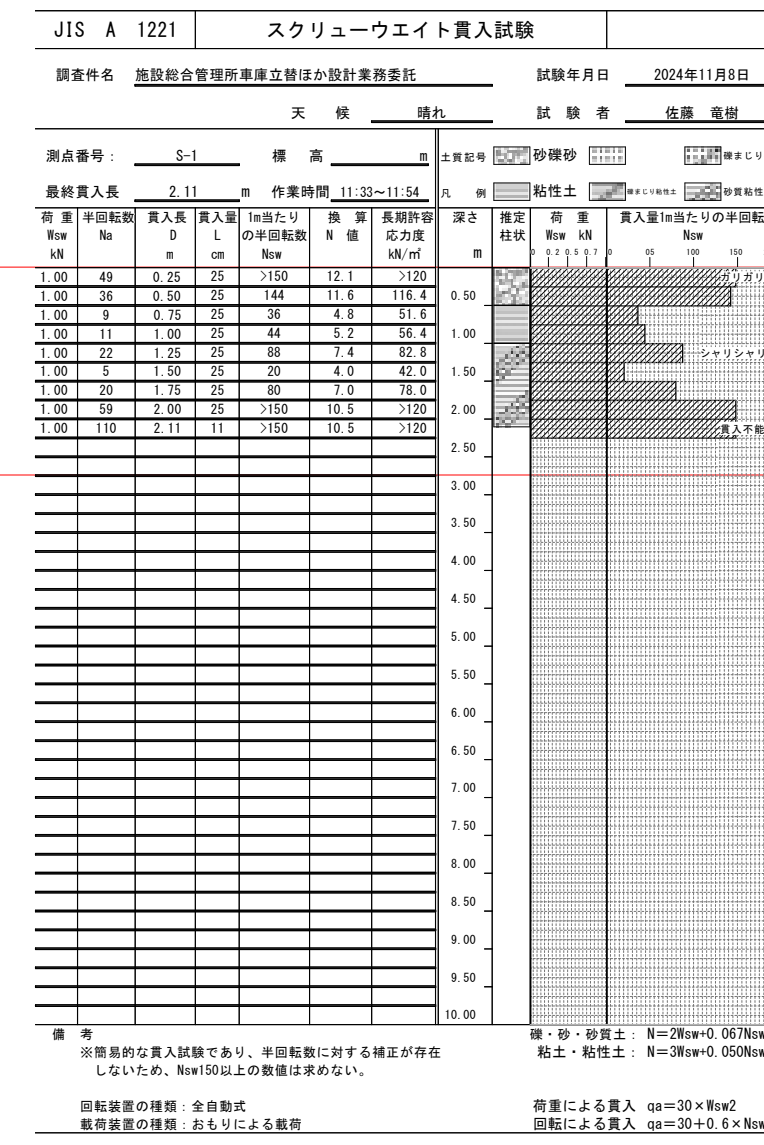
- a.コラムの伏図及び番号
- b.コラムの施工日
- c.コラムの径・及び長さ
- d.掘削深度
- e.トルク値
- f.掘削深度及び引き上げ速度
- g.固化材液の配合及び注入量と固化材の使用量
- h.コアの強度管理試験結果
- i.合格判定結果

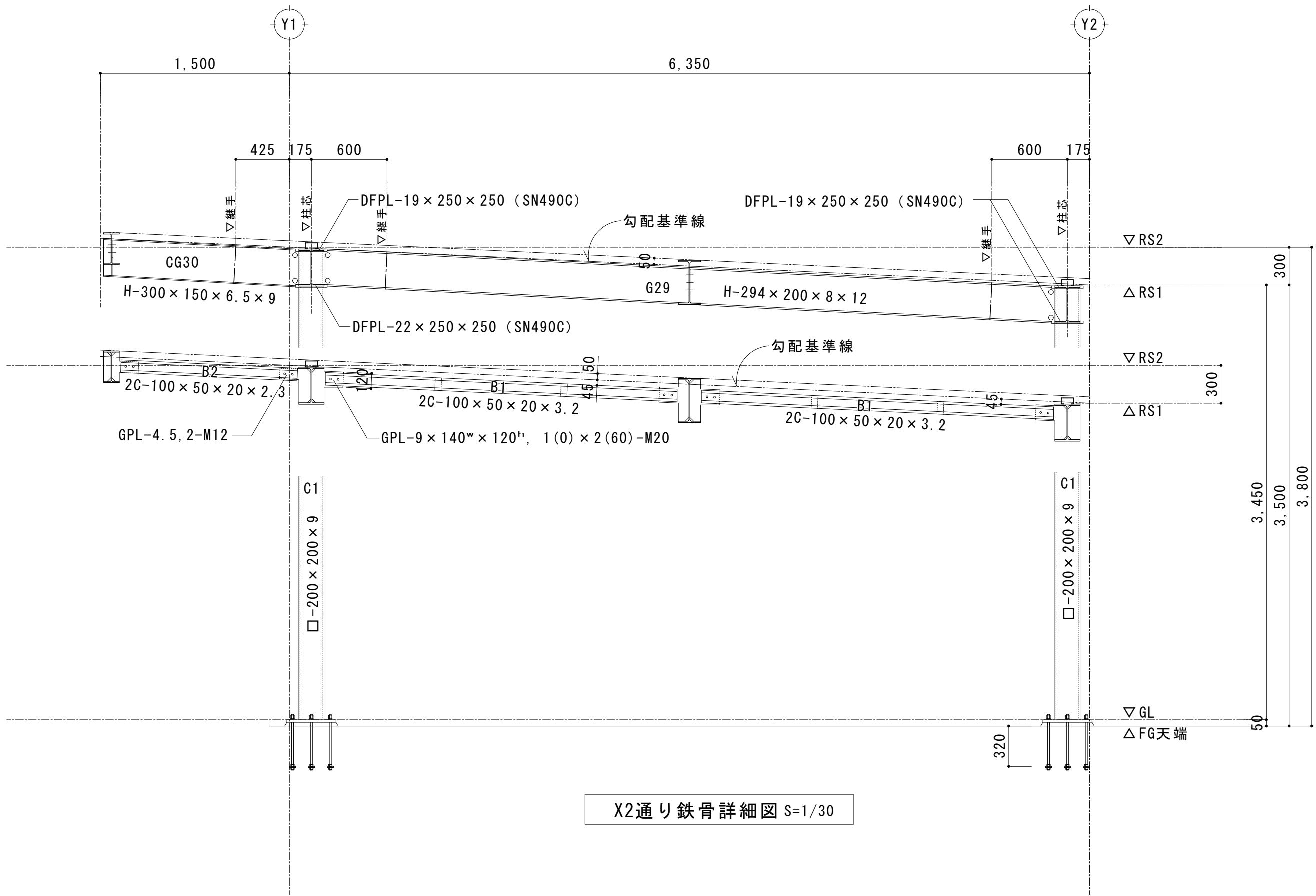
設計番号	工 事 名				検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事							新設車庫		
								ソイルセメントコラム地業特記仕様書		S-11



特記無き限り下記に依る
捨てコン (7)50 砕石 (7)100 とする

符号	FG1	FG2
位置	全断面	全断面
断面		
B x D	250 x 800	250 x 800
主筋	上端筋 2-D22 下端筋 2-D22	3-D22 3-D22
スタールップ	-D10-@200	-D10-@200
腹筋	2-D10	2-D10
備考		



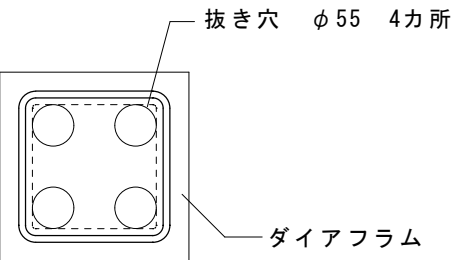


X2通り鉄骨詳細図 S=1/30

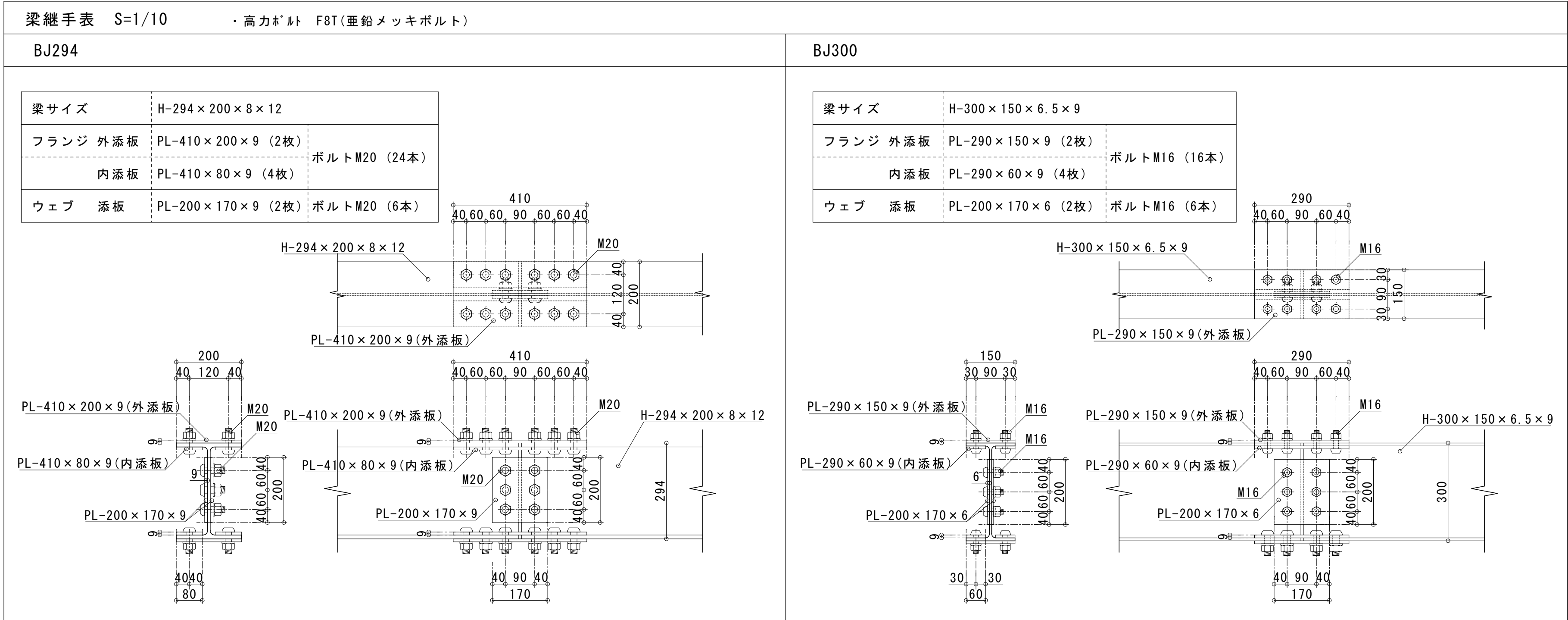
柱・梁の抜き穴

・梁の抜き穴は、溶接線を避けφ40mm程度の穴を上下に設けることとする。

・柱の抜き穴

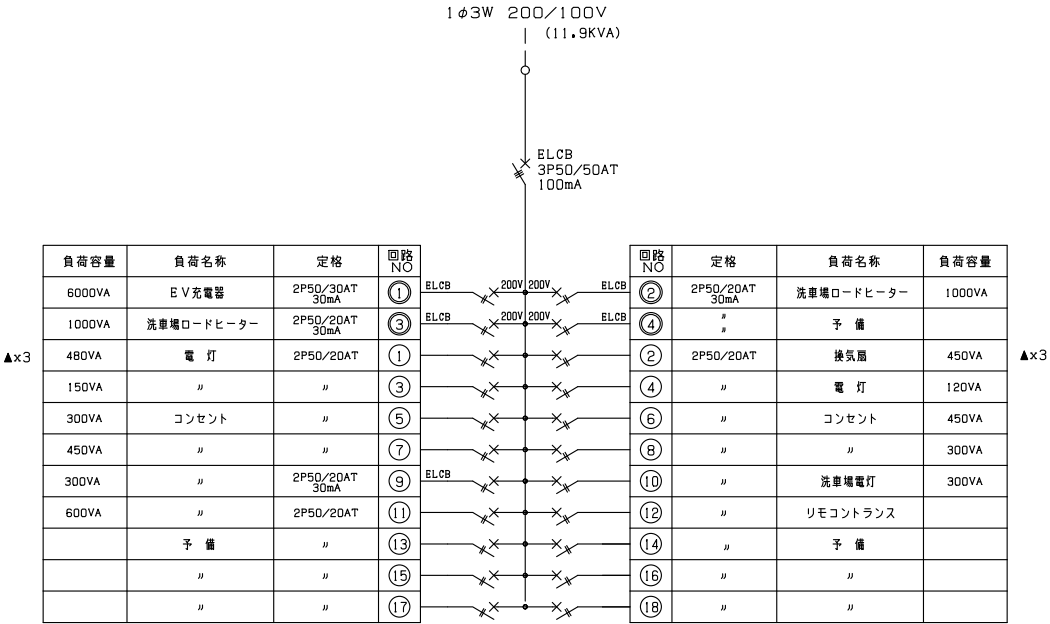


※原則垂鉛メッキの抜き穴は、上図による。
上図によらない場合は、監督員と協議の上決定すること。



設計番号	工 事 名				検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事							新設車庫 鉄骨詳細図 継手リスト	A1:1/30, 1/10 A3:1/60, 1/20	S-14

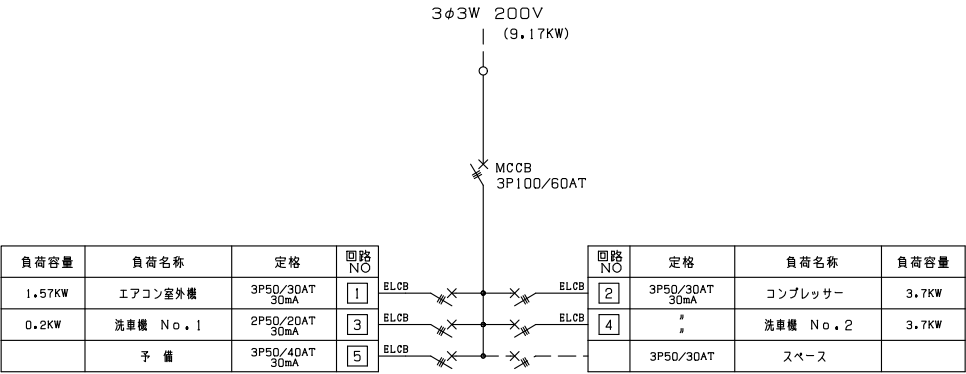
LP-A (露出壁掛型)



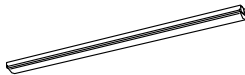
(注記) ブレーカーは、J I S 協約形 I P モジュールとする。

ワンショットリモコン機器類			
20Aリモコンリレー (2P)	×	6	
リモコントランス	×	1	

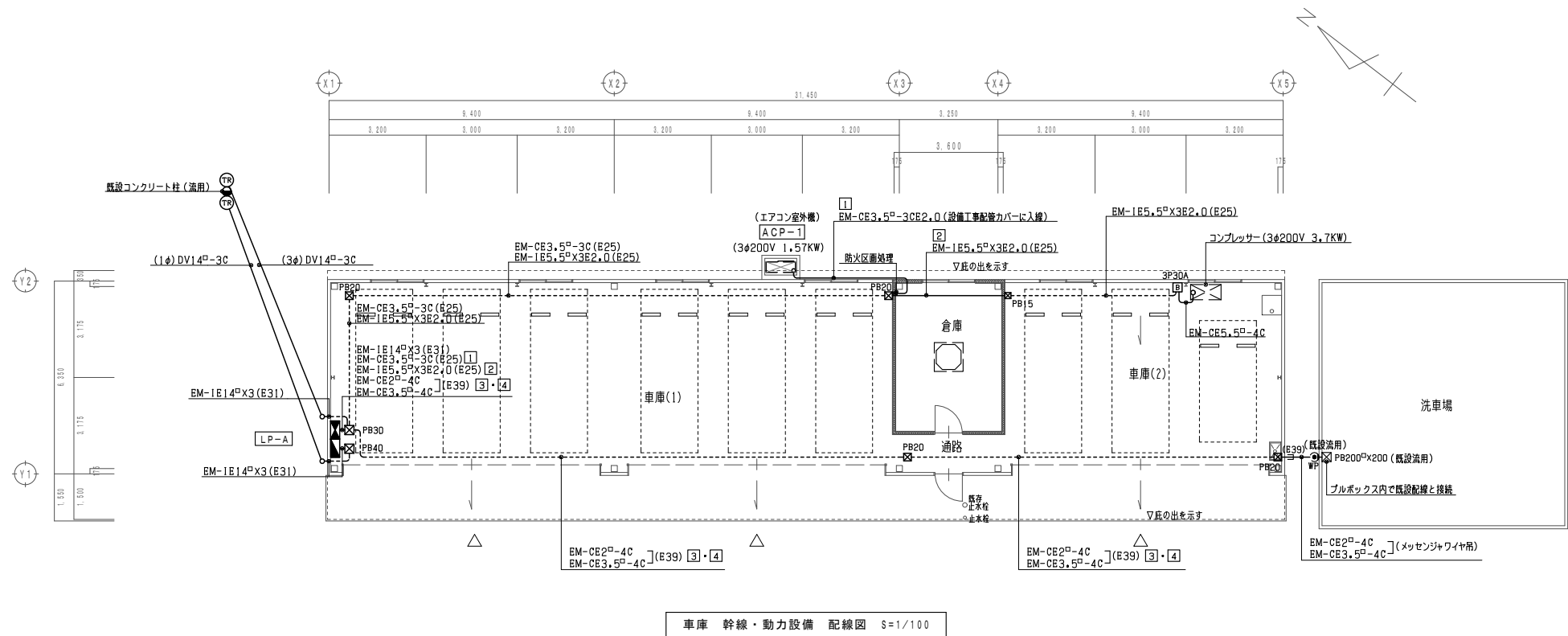
(セパレーター)



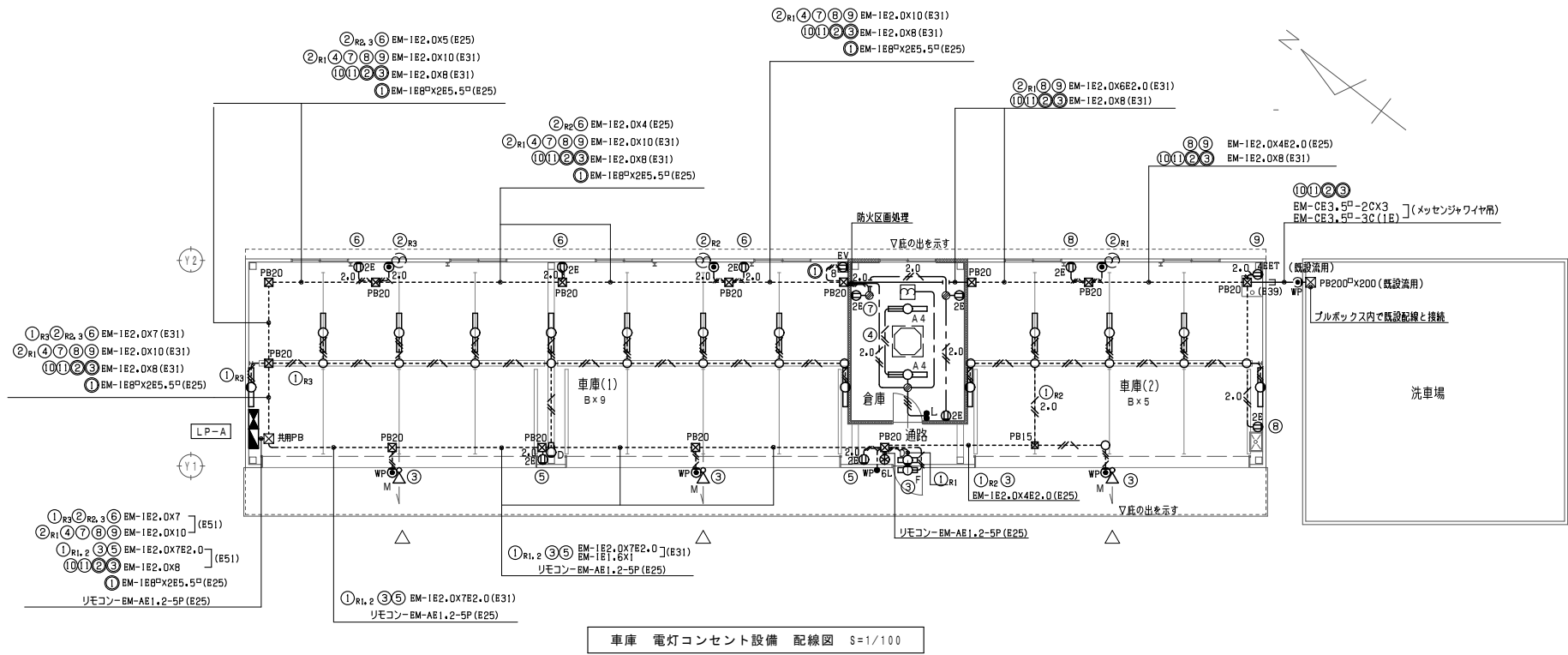
分電盤 結線図

A 4	LED 43. 1W 6900lm	B	LED 31. 9W 5200lm
			
公共施設型番 : A4 : LSS9-4-65		公共施設型番 : LSS1-4-48	
D	LED 14. 9W 1480lm	F	LED 14. 9W 1470lm
(防雨型) 		(防雨型) (人感・E E センサ付) (壁面取付型) 	
公共施設型番 : LBF3MP/RP-2-13			
M	LED 43. 3W 6300lm		
(防噴流・耐塵型) (壁取付フランジ共)  アルミ本体 (ミディアムグレイメタリック) ポリカーボネートパネル			

照明器具 参考姿図



注 記	
1. 図中特記なき配管・配線は、下記による。	
-----	EM-IE1. 6×2 (E19) (露出配管配線)
---//---	EM-IE1. 6×2E1. 6 (E19) (--- // ---)
---//---	EM-IE2. 0×2E2. 0 (E19) (--- // ---)
---//---	EM-IE8□×2E5. 5□ (E25) (--- // ---)
---	EM-EEF1. 6-2C
---	EM-EEF1. 6-3C
---	EM-EEF1. 6-3C (1E)
---	EM-EEF2. 0-3C (1E)
2. シンボルは下記による。	
●L	パイロットランプ付ネームスイッチ
●WP	防水スイッチ (1P15A×1)
⊗6L	ワシヨットリモコンスイッチ (6回路)
⊙	大穴ノズルプレート (角型1個用)
⊙2E	コンセント (E付2P15A×2)
⊙4ET	コンセント (E付2P15A×2+ET×2)
⊙EV	EV・PHEV充電用充電器 (6KW-パナソニックDNH326相当品)
⊙WP	防雨入線カバー
⊙3P30A	ケースブレーカー (MCB 3P30A×1)
○	丸型露出ボックス
⊠PB15	ブルボックス (塗装) 150×150×150
⊠PB20	ブルボックス (塗装) 200×200×200
⊠PB30	ブルボックス (塗装) 300×300×300
⊠PB40	ブルボックス (塗装) 400×400×300
3. 配線器具のプレートは、金属製とする。	



設計番号	工 事 名	検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事				幹線・動力・電灯コンセント設備 配線図	A1:1/100 A3:1/200	G E-03

機 械 設 備 工 事

特 記 仕 様 書

Ⅰ. 工 事 概 要

1. 工事場所

岩手県盛岡市上田字松屋敷地内

2. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延 面 積 (㎡)	消 防 法 施 行 令 別 表 第 1 の 区 分	備 考
車 庫	S	地下 地上 塔屋 1	199.70		

3. 工事種目 (●印の付いたものが対象工事)

建物別及び屋外	工	事	種	別	屋 外
工事種目	車 庫				
● 空調設備	新設一式				
● 換気設備	新設一式				
● 排煙設備					
○ 自動制御設備					
○ 衛生器具設備					
● 給水設備	新設一式				
● 排水設備	新設一式				
○ 給湯設備					
○ 消火設備					
○ 厨房機器設備					
○ ガス設備					
○ 浄化槽設備					
○					
○					

4. 設備概要 (●印の付いたものを適用する。)

方 式	設 備 概 要
空調機和方式	○ 中央方式 ○ 全空調方式 (○定風量 ○変風量) ○ファンコイルユニット・ダクト併用方式 ● 個別方式 ○ パッケージユニット方式 (● EHP ○ GHP)
自動制御方式	○ 電気式 ○ 電予式 ○ デジタル式
給水方式	○ 水道直結方式 ○ 高置タンク方式 ○ ポンプ直送方式 ● 自家水
排水方式	建物内の汚水と雑排水 便所系統 (○ 合流式 ○ 分流水 ○ 一部合流式) 上記以外系統 (○ 合流式 ● 分流水 ○ 一部合流式)
給湯方式	放流先 汚水 (○ 下水道直放流 ○ 浄化槽) 雑排水 (○ 下水道直放流 ● 側溝放流)
給湯方式	○ 局所式 ○ 中央式
消火設備方式	○ 屋内消火栓設備 ○ スプリンクラー設備 ○ 泡消火設備 ○ 遠隔送水管 ○ 不活性ガス消火設備 ○ フード等用簡易自動消火装置
ガス設備方式	○ 都市ガス (種別) ○ 都市ガス (種別) ○ 都市ガス (種別) ○ 都市ガス (種別) 一般ガス導管事業者名

Ⅱ. 工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (令和4年版) (以下、「標準仕様書」という。))及び国土交通大臣官房官庁営繕部監修「環境課監修『公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (令和4年版) (以下、「標準図」という。))による。

(2) 電気設備工事及び建築工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を採用する。
なお、電気設備工事の工事仕様は (/) 図、建築工事の工事仕様は (/) 図による。

2. 特記仕様

●印の付いたものを適用し、○印の付いたものは適用しない。
標準仕様書で特記によると表記された事項は、特記なき限り図示によるものとする。

一 般 共 通 事 項

● 環境への配慮

● 技能士の活用

○ 足場その他

● 監督職員事務所

● 埋戻し及び盛土

● 容量等の表示

● 電源周波数

● 電動機

● 完成時の提出図書

○ 耐震措置

一 般 共 通 事 項

○ 地中埋設等

○ 他工事との工事区分

○ 保温外装

○ 塗装

○ 電線類

● 設計温湿度

○ ばい煙濃度計

○ 煙突

○ 鋼板製煙道

○ ダクトの区分

○ 長方形ダクトの工法

● 鋼板製ダクトの工法

○ 風量測定口

○ ダンパー

● 配管材料

○ 弁類

○ 鋼管用伸縮管継手

○ 温度計

○ 瞬間流量計

○ チャンパー

○ 保温

● 準拠事項

○ 開放形湯沸器用排気フード

○ 厨房用排気ダクト

○ 厨房用排気フード

○ 多湿箇所の排気ダクト

○ 保温

○ ダクト

○ 排煙口の形式

○ 排煙口の開放装置

○ 排煙風量測定方法

一 般 共 通 事 項

○ 一般共通通事項

空 気 調 和 設 備

○ 内部足場 種別 ○ 脚立、足場板等 ○ 外部足場 種別 ○ 設けない ○ 設ける (規模及び仕上げの程度、並びに設置する備品等の種類及び数量等は現場説明書による) 種別 ● B種 (ただし、コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ○ A種 (1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は原則として表示された数値以下とする。 50Hzとする。 換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は製造者規格による標準品としてもよい。 工事完成時に下記の図書を監督職員に提出する。なお、施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に譲渡するものとする。 ○ 完成図等 ● 特記仕様書1.7.2及び1.7.3による ○ その他書類 ● 監督員の指示による。 ○ CADデータの提出 ● 監督員の指示による。 ○ 電子納品対象書類については、「岩手県電子納品ガイドライン」による。 設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて建築設備耐震設計・施工指針2014年版 (独立行政法人建築研究所監修) による。 (1) 機器の据付け及び据付け 設計用水平地震力は、機器の質量 (自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量) に、地域系数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 地域係数は、昭和55年建設省告示第1793号 (最終改正 昭和62年建設省告示第1918号) による。

設 置 場 所	設 計 用 標 準 水 平 震 度			
	機 器 種 別	特 定 の 施 設	一 般 の 施 設	一 般 の 施 設
上層階、屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5
	機 器	1.5	1.0	1.0
中間階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0
	機 器	1.0	0.6	0.6
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0
1階及び地下階	水 槽 類	1.5	1.0	1.0
	機 器	1.0	0.6	0.6

注1) 上層階とは2～6階建ての場合は最上階、7～9階建ての場合は上層2階、10～12階建ての場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。 中間階とは地下階及び1階を除く各階で上層階に該当しないもの。 注2) 屋外設置機器の耐震は1階及び地下階に準ずる。 イ) 本施設は (○ 一般の施設 ○ 特定の施設) とする。 ロ) 100kg以下の軽量な機器 (標準仕様書の適用を受けるものを除く) においても耐震を考慮し、据付又は取付を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。 ハ) 重要機器は次のものを示す。 (水槽類にはオイルタンクを含む) ○ 給水機器 () ○ 排水機器 () ○ 換気機器 ○ 空調機器 ○ 熱源機器 ○ 防災設備 ○ 監視制御設備 ○ 危険物貯蔵装置 ○ 火を使用する設備 ○ 避難経路上に設置する機器 (2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の0.1/2とする。 各機器の個別運動調整後に下記の総合調整を行い、測定報告書を提出する。 ○ 風量調整 ○ 水量調整 ● 室内外空気の温度の測定 ○ 室内気流及びじんあいの測定 ○ 騒音の測定 ○ 飲料水の水质の測定 ○ 雑用水の水质の測定 ○ 特記されていない弁等のサイズは機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。 図示の箇所に施工する。施工方法は下記による。 標準図 施工4 (○ (a)) 施工5 (○ (b)) ○ (c)) 図示による。 対象配管系統 ○ 冷温水 ○ 冷却水 ○ 消火 (水用) ○ 油 ○ ガス 標準仕様書記載以外の天井吊り、カセット形、天井隠ぺい形の機器の支持は、吊り用ボルトで行い、振れ止めを施したものとする。 イ) ポンプ、屋外機器及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製 (SUS304) とし、屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキョップ (樹脂製) を取り付ける。 ロ) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。 ハ) 冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。 二) 冷媒管の吊り用支持受け材として保護プレート合成樹脂製鋼管と吊り金物、支持金物又は固定金物との間に設け、自重による断熱材の食い込みを防止する。

一 般 共 通 事 項

○ 中央監視制御装置

○ 中央監視制御装置の構成・機能

○ 計装用配線

○ 電動弁

○ 弁耐圧

○ 大便器洗浄方式

○ 大便秘器用洗浄弁

○ 小便器自動洗浄

○ 器具付風呂栓

○ 自動水栓

○ 温水洗浄便座

○ 紙巻器

○ 衛生器具ユニット

○ 量水器

○ 量水器樹

● 配管材料

○ 弁類

○ 不凍水栓柱

● 給水栓

● 埋設深さ

○ 保温

○ ステンレス管の接合方法

○ 引込納付金等

● 配管材料

○ 満水試験継手

○ 台所流し等の排水管

○ 衛生器具と配管接続要領

○ 放流納付金等

自 動 制 御 設 備

○ 中央監視制御装置

○ 中央監視制御装置の構成・機能

○ 計装用配線

○ 電動弁

○ 弁耐圧

○ 大便秘器用洗浄弁

○ 大便秘器用洗浄弁

○ 小便器自動洗浄

○ 器具付風呂栓

○ 自動水栓

○ 温水洗浄便座

○ 紙巻器

○ 衛生器具ユニット

○ 量水器

○ 量水器樹

● 配管材料

○ 弁類

○ 不凍水栓柱

● 給水栓

● 埋設深さ

○ 保温

○ ステンレス管の接合方法

○ 引込納付金等

● 配管材料

○ 満水試験継手

○ 台所流し等の排水管

○ 衛生器具と配管接続要領

○ 放流納付金等

衛 生 器 具 設 備

○ 大便秘器用洗浄弁

○ 小便器自動洗浄

○ 器具付風呂栓

○ 自動水栓

○ 温水洗浄便座

○ 紙巻器

○ 衛生器具ユニット

○ 量水器

○ 量水器樹

● 配管材料

○ 弁類

○ 不凍水栓柱

● 給水栓

● 埋設深さ

○ 保温

○ ステンレス管の接合方法

○ 引込納付金等

● 配管材料

○ 満水試験継手

○ 台所流し等の排水管

○ 衛生器具と配管接続要領

○ 放流納付金等

給 水 設 備

○ 量水器

○ 量水器樹

● 配管材料

○ 弁類

○ 不凍水栓柱

● 給水栓

● 埋設深さ

○ 保温

○ ステンレス管の接合方法

○ 引込納付金等

● 配管材料

○ 満水試験継手

○ 台所流し等の排水管

○ 衛生器具と配管接続要領

○ 放流納付金等

排 水 設 備

○ 量水器

○ 量水器樹

● 配管材料

○ 弁類

○ 不凍水栓柱

● 給水栓

● 埋設深さ

○ 保温

○ ステンレス管の接合方法

○ 引込納付金等

● 配管材料

○ 満水試験継手

○ 台所流し等の排水管

○ 衛生器具と配管接続要領

○ 放流納付金等

設計番号

工 事 名

施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事

検 図

担 当

特 記

図 面 名

縮 尺

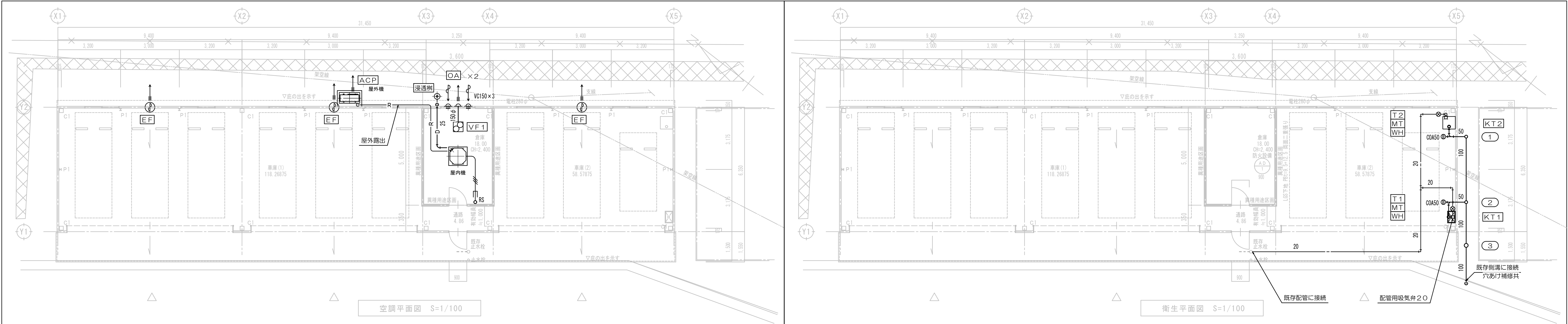
図 面 番 号

機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

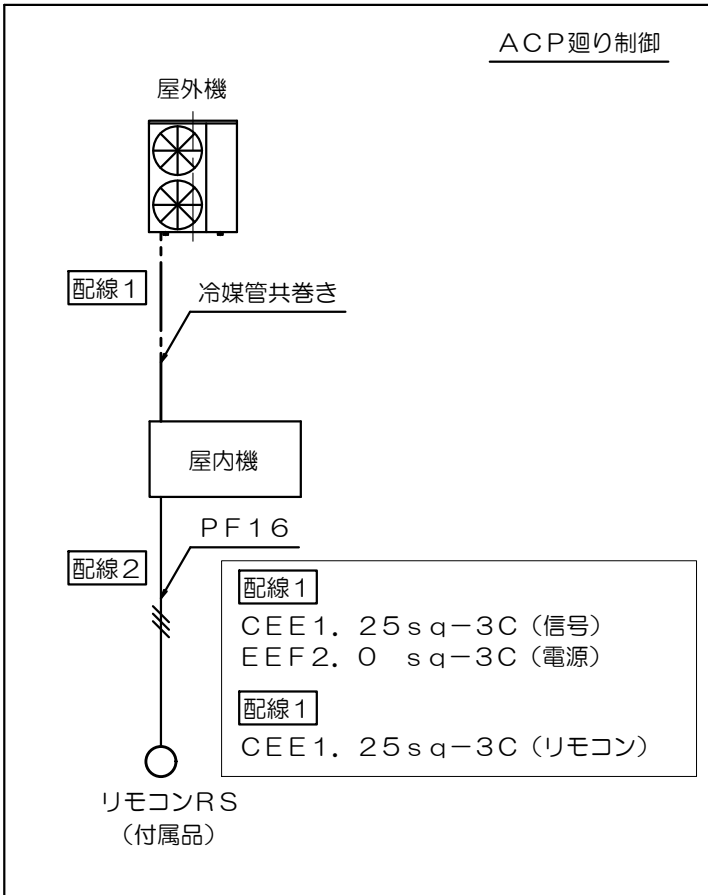
N / S

GM-01

139



【 冷暖配管 】 -R-	【 ドレン配管 】 -D-	【 換気ダクト 】
管材 断熱材付被覆銅管（ヘア）	管材 空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管	ダクト スパイラルダクト
被覆厚 ガス2.0mm 液1.0mm	ACドレン	外壁より1m部分断熱施工（GW25mm）
配管口径	土中部分 硬質塩化ビニル管（VP）	ダクト径
ACP 主管 9、52×15、88	配管口径 25V	図示による
【 屋外保温外装 】	【 屋外保温外装 】	
屋外露出 樹脂製保温化粧ケース（冷暖管のみ）	屋外露出 ACドレン（仕上げ無し）	
【 *参考 屋内機・天井吊り用二次部材 】		
溶融亜鉛メッキ製ダクチャーチャンネル（穴無し）		
D2（40W×45H） L=4、0m以下		
*屋内機1台で2本使用		
*一般鋼材用挟み金物、吊り金物共		



【 給水管 】 *雑用水（飲料不可）
管材 土間 ポリ粉体ライニング鋼管（PD）
露出 ポリ粉体ライニング鋼管（PB）
配管口径 20A
【 保温外装 】
屋内露出 SUSラッキング
【 排水管 】
管材 屋外土中 硬質塩化ビニル管（VU）
土間 硬質塩化ビニル管（VP）
露出 硬質塩化ビニル管（VP）
配管口径 図示による
*屋内露出管：保温無し

排水樹表						
樹仕様						
主管：100φ						
番号号	樹名称	樹径	樹種別	参考樹高さ	蓋等	
①	塩ビ樹	150φ	90L	500H	樹脂蓋 T2	
②	〃	〃	90Y	540H	〃	
③	〃	200φ	分離樹	600H	〃	
屋外配管仕様						
樹径	樹径150φ	樹深さ：H<0.8m	分離樹：200φ			
こう配	排水管：VU 100φ	勾配：1.0%以上				

空調・換気 機器表

設備機器一適用規格
・JIS B 8616 パッケージエアコンディショナ（空冷式） 定格標準能力（冷房・暖房）、定格標準消費電力（冷房・暖房）

記 号	名 称	仕 様	台 数	参考電気容量		
				Φ	V	kw
【空調】						
ACP	空冷パッケージエアコン	寒冷地用（外気温度-10℃時、暖房能力維持） 新冷媒（R32） 他付属品一式共	1	圧縮外	3 200	1.19
	（ヘア・シングル）	P80 定格標準能力 C= 7.1kw H= 8.0kw		送風外	3 200	89w+89w
		＜参考＞ 定格標準消費電力 C= 1.42kw H= 1.57kw H-MAX=4.74kw		送風中	1 200	106w
		屋外機 溶融亜鉛メッキ製高架台・防振ゴム付（500H）＜架台参考：日精金属製＞				1250×800×400H
		上記高架台専用部材：防露屋根 防露パネル（背面、側面） 前面防露パネル				基礎天端GL+150（土中250）
		屋内機 4方向力セット（P80） 化粧パネル（センサー付） ドレンポンプ				鉄筋 D10@150タテヨコ ダブル
		多機能リモコン（ワイヤード） 防振吊り金具 振れ止め金具				
【換気】						
VF	ダクト用換気扇	18cm 低騒音形 樹脂製格子パネル 風圧シャッター 他付属品一式共	1		1 100	26.0
		一般換気：230m3/h×30Pa				
FE	有圧扇	35cm 低騒音形 一般換気：2510m3/h×40Pa 他付属品一式共	3		1 100	150.0
		SUS製ウェザーカバー（防鳥網） 鋼板製風圧シャッター 取付枠 バックガード				
OA	外気口	壁付 給気レジスター・プッシュ開閉式（3段階） 150φ ネットフィルター付 他付属品一式共	2			

衛生器具表

記号	品 名	仕 様 ・ 内 訳	合 計	流し	洗濯
K1	一層シンク	ステンレス製 600W×450D 他付属品一式共	1	1	
		バックガード 排水トラップ 棚			
K2	洗濯機パン	耐衝撃PP製 640□×192H（床上横引きトラップ） 他付属品一式共	1		1
		HBS-6464 ＜参考：シナネン製＞			
KT1	耐寒ホーム水栓	吸気弁・ホースアダプター付 13mm 他付属品一式共	1	1	
		KTL-10CPN ＜参考：竹村製＞			
KT2	洗濯機水栓	吸気弁・緊急止水・ホースアダプター付 13mm 他付属品一式共	1		1
		K-4TCP ＜参考：竹村製＞			
MT	水抜栓	20×600H ボックス：B1+VP200 他付属品一式共	2	1	1
WH	凍結防止ヒーター	自己温度制御型（サーモ・ランプ付） 2m 他付属品一式共	2	1	1

設計番号	工 事 名			検 図	担 当	特 記	図 面 名	縮 尺	図 面 番 号
	施設総合管理所危機管理棟改修ほか工事（車庫棟）						空調、衛生 平面図	A1:1/100 A3:1/200	GM-02